

はじめに

相模原市と町田市は、首都圏のベッドタウンとして人口増加を続け、平成11年には国の第5次首都圏基本計画において「広域連携拠点（首都圏の拠点都市のうち、広域的中心性を有し、首都圏全域にわたる広域的な機能を担い、連携・交流の要となる都市）」として共に業務核都市に位置づけられるなど、強いつながりを持ちながら急速に成長してきた都市である。また、市民の勤務先、買物行動等においても、両市のつながりは強く、境界意識は薄れている。

両市のほか隣接する八王子市も含めると、人口規模は約170万人となり、大きなポテンシャルを持つ都市圏が存在している。各市の特長を活かしながら、首都圏南西部の拠点都市として発展するためには、共通する課題に対して連携して対応していくことが重要と思われる。

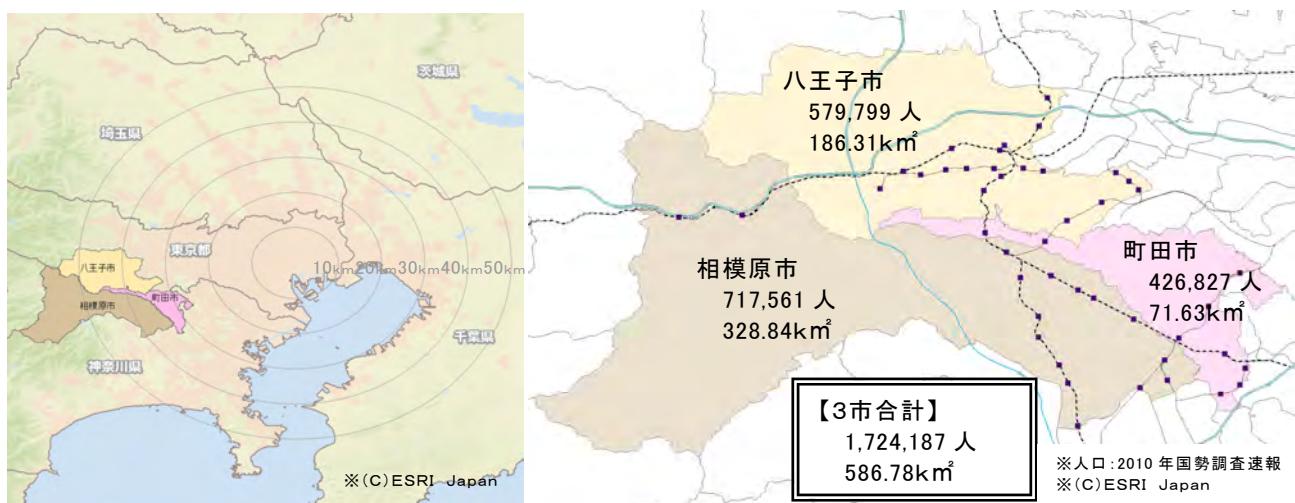
本研究は、自治体間の連携の可能性を検討するためのスタート段階といえる、基礎的データの収集・整理を目的として行ったものであり、各種データを視覚的にわかりやすく地図上に表記し、3市（相模原市、町田市、八王子市）それぞれの特徴や、3市を一つの圏域とした場合の首都圏における位置づけを把握できるように工夫している。

行政職員のみならず、市民の皆様にも地域への関心を高めてもらうきっかけとなれば幸いである。

<共同研究の概要>

1 対象エリア

相模原市、町田市、八王子市（八王子市は人口規模が類似していることに加え、相模原、町田両市に隣接し、施設の共同利用など既に様々な連携を行っているため同一圏域として含めている。）



2 担当部署

相模原市：企画市民局企画部広域行政課さがみはら都市みらい研究所

町田市：政策経営部企画政策課

3 進め方

月に1回程度打合せを設け、それぞれの進捗状況確認やデータの分析を行い、共通認識を持つとともに、両市の実態や課題に関する情報交換を行い、研究内容の充実を図った。

<報告書の構成>

1 各種行政分野に関するデータ（「統計でみる市区町村のすがた 2010」）の分析

総務省統計局は、地方公共団体等の各種施策及び地域分析の基礎資料を提供することを目的に、国民生活全般の実態を示す種々のデータを収集・加工し、これを体系的に編成した「統計でみる市区町村のすがた」を提供している。このデータ集の特色は、幅広い分野にわたる統計データが市区町村別に整備されている点であり、他市区町村との比較によって特定のエリアの地域分析を行うことが容易である。

本研究では、最新版の「統計でみる市区町村のすがた 2010」から東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県内の市区町村のデータを抜粋し、首都圏のすがたや 3 市の特徴がわかりやすいように加工した上、地図データとして表示し、分析している。

2 3 市エリアの 500m メッシュ（平成 17 年国勢調査、平成 18 年事業所・企業統計）の分析

地域メッシュ統計とは、経緯度に基づき地域をすき間なく網の目（メッシュ）の区域に分けて、それぞれの区域に関する統計データを編成したものである。地域メッシュは、ほぼ同一の大きさ及び形状の区画を単位として区分されているため、地域メッシュ相互間の事象の計量的比較が容易である上、市区町村の境界をまたいでデータが存在するため、複数の市区町村をあわせたエリアを面的に分析するのに最適である。

本研究では総務省統計局が編集した「平成 17 年国勢調査に関する地域メッシュ統計」及び「平成 18 年事業所・企業統計調査に関する地域メッシュ統計」から、特に 3 市のエリア内の地域の人口や事業活動の特徴が明らかとなるようなデータを抜粋し、加工した上、地図データとして表示し、分析している。

3 3 市エリアの土地利用状況（都市計画基礎調査）の分析

本研究では、平成 19 年度に東京都、平成 17 年度に神奈川県が実施した都市計画調査結果に基づき、それぞれ編成された「東京都都市計画地理情報システムデータ（東京都都市整備局）」「神奈川県都市情報システムデータ（神奈川県県土整備局）」から、3 市エリア内の土地利用の状況等を的確に把握できるようなデータを抜粋したものを、地図データに加工して、分析を加えて掲載している。

4 3 市エリアの地価（公示価格）の分析

本研究では、国土交通省が地価公示法に基づき、毎年 1 月 1 日時点における標準地の価格を公示しているものの中から、用途区分を「住宅地」に限定し、3 市のエリアを抽出、地図データに加工後、分析している。平成 22 年の公示価格や、平成 7 年、12 年、17 年との比較をポイントで示すとともに、公示価格の動向の要因の一つである新設住宅着工戸数の推移等についても掲載している。

～ 目 次 ～

第1章 各種行政分野に関するデータ（「統計でみる市区町村のすがた 2010」）の分析

　　統計と地図でみる首都圏のすがた～相模原市、町田市、八王子市の現状～

..... 3

第2章 3市エリアの500mメッシュ(平成17年国勢調査、平成18年事業所・企業統計)の分析

1 人口	5 1
2 世帯	6 5
3 住居	7 7
4 労働力	8 9
5 産業	1 0 8

第3章 3市エリアの土地利用状況（都市計画基礎調査）の分析

1 住宅用地の状況	1 2 5
2 農業用地の状況	1 2 6
3 山林の状況	1 2 7
4 工業用地の状況	1 2 8
5 商業等用地の状況	1 2 9
6 公園、運動場等の状況	1 3 0
7 未利用地等の状況	1 3 1
8 建物現況（建物の構造）	1 3 2

第4章 3市エリアの地価（公示価格）の分析

1 平均公示価格の推移	1 3 5
2 平成22年公示価格（住宅地）	1 3 6
3 平成22年公示価格の比率（住宅地）	1 3 7
4 新設住宅着工戸数	1 4 2

【編集】

さがみはら都市みらい研究所 第1章、第4章

町田市政策経営部企画政策課 第2章、第3章

第1章

各種行政分野に関するデータ

(「統計でみる市区町村のすがた 2010」) の分析

【第1章の地図データの留意点】

- ・本章で用いた地図は、平成22年4月1日現在の市区町村の区域を示している。
- ・本章で用いた用語の定義は、「統計でみる市区町村のすがた 2010（総務省統計局）<http://www.stat.go.jp/data/ssds/5b.htm>」に準拠しており、用いたデータも同様である。
- ・【68 自市区町村で従業している就業者数】及び【70 他市区町村からの通勤者数】に用いたデータのうち政令指定都市については、それぞれ2005年国勢調査から「自市で従業する就業者」及び「従業地による就業者のうち他市区町村に常住する就業者」のデータを取得し用いた。
- ・平成21年3月31日から平成22年4月1日の間に合併のあった久喜市、加須市及び印西市については、合併前の旧久喜市、旧加須市及び旧印西市のデータを用いており、合併したその他の市町村のデータの合算は行っていない。
- ・地図データは埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の1都3県を表示しているが、東京都の離島については、地図に表示せず、又、データの計算からも除外している。
- ・【33 耕地面積】、【41 財政力指数】、【42 実質収支比率】、【43 公債費比率】、【72 ごみ総排出量】及び【73 ごみのリサイクル率】については、データのない東京23区は白塗りとし、自然分類や偏差値等の計算から除外している。
- ・地図データを作成する上で各データを人口総数等で除する等の加工を行っており、その計算式を地図の右上に表示しているが、計算に用いる各データの年次が異なる場合がある。
- ・各地域の特徴を視覚的に表すため、数値を4段階で分類し、表示している。分類方法は原則として自然分類(データ値の変化量が大きい所を境界に分割)で行っているため、それぞれのグループのデータの数やデータの間隔が一定ではない。
- ・コメント欄において平均値との比較を多く用いているが、各市の偏差値を見ると分かりやすい。

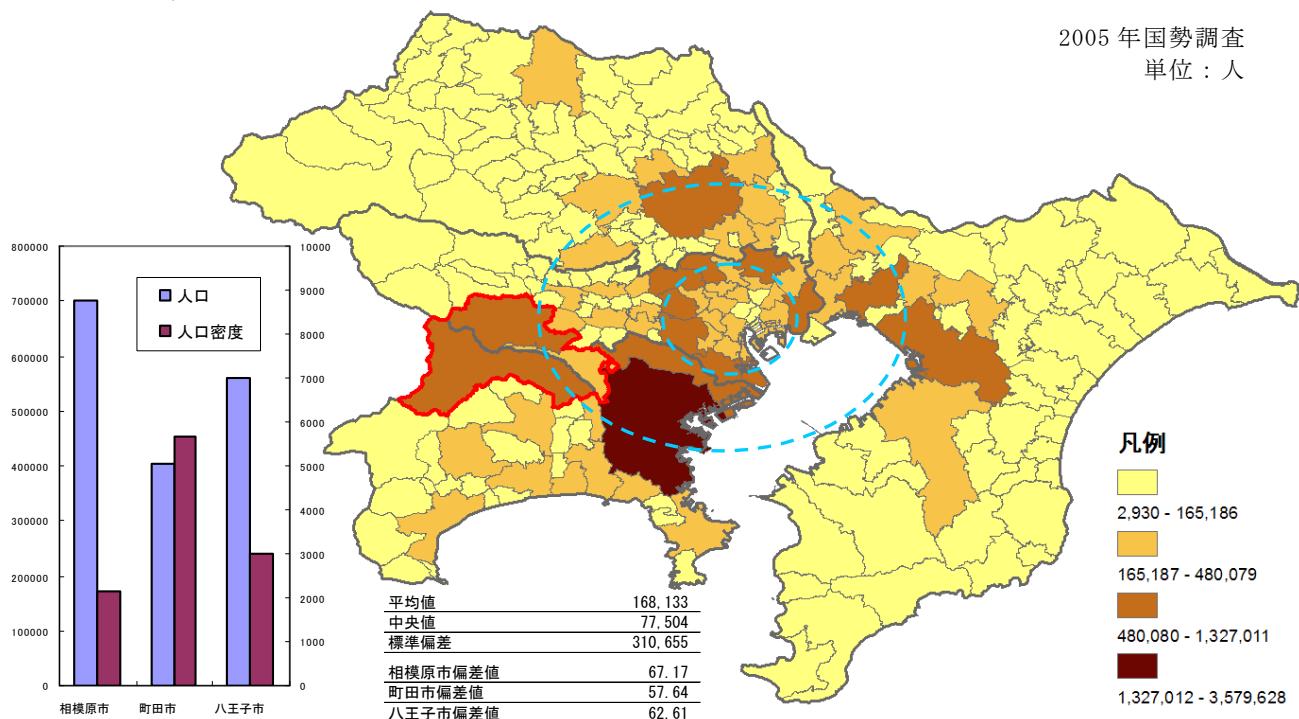
統計と地図でみる首都圏のすがた～相模原市、町田市、八王子市の現状～

本章では、「統計でみる市区町村のすがた 2010（総務省統計局）」に掲載されている 100 項目の基礎データを加工又は抜粋し、次に掲げる 90 項目について、地図データ化及び分析を行った。地図データ化及び分析にあたり、対象エリアを東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県に限定し、便宜的に「首都圏」と表現している。

項目	頁	項目	頁	項目	頁
1 人口総数	4	31 第2次産業従業者数	19	61 第2次産業就業者数	34
2 15歳未満人口	4	32 第3次産業従業者数	19	62 第3次産業就業者数	34
3 15～64歳人口	5	33 耕地面積	20	63 雇用者数	35
4 65歳以上人口	5	34 製造品出荷額等	20	64 役員数	35
5 外国人人口	6	35 製造業従業者数	21	65 雇人のある業主数	36
6 出生数	6	36 商業年間商品販売額	21	66 雇人のない業主数	36
7 死亡数	7	37 商業事業所数	22	67 家族従業者数	37
8 自然増減	7	38 商業従業者数	22	68 自市区町村で従業している就業者数	37
9 転入者数	8	39 標準価格(平均価格)(住宅地)	23	69 従業地による就業者数	38
10 転出者数	8	40 標準価格(平均価格)(商業地)	23	70 他市区町村からの通勤者数	38
11 昼間人口	9	41 財政力指數	24	71 非水洗化人口	39
12 昼夜間人口比率	9	42 実質収支比率	24	72 ごみ総排出量(総量)	39
13 世帯数	10	43 公債費比率	25	73 ごみのリサイクル率	40
14 1世帯あたり人員数	10	44 嵍入決算総額	25	74 小売店数(飲食店を除く)	40
15 一般世帯数	11	45 嵍出決算総額	26	75 飲食店数	41
16 核家族世帯数	11	46 地方税	26	76 大型小売店数	41
17 単独世帯数	12	47 幼稚園数	27	77 百貨店数	42
18 高齢夫婦世帯数	12	48 幼稚園在園者数	27	78 道路実延長	42
19 高齢単身世帯数	13	49 小学校数	28	79 都市公園数	43
20 婚姻件数	13	50 小学校教員1人あたりの児童数	28	80 一般病院数	43
21 離婚件数	14	51 小学校児童数	29	81 一般診療所数	44
22 総面積	14	52 中学校数	29	82 歯科診療所数	44
23 可住地面積	15	53 中学校教員1人あたりの生徒数	30	83 医師数	45
24 可住地人口密度	15	54 中学校生徒数	30	84 歯科医師数	45
25 課税対象所得	16	55 高等学校数	31	85 薬剤師数	46
26 納税義務者数	16	56 高等学校生徒数	31	86 老人ホーム数	46
27 事業所数	17	57 労働力人口	32	87 保育所数	47
28 第2次産業事業所数	17	58 就業者数	32	88 保育所入所待機児童数	47
29 第3次産業事業所数	18	59 完全失業者数	33	89 保育所在所児数	48
30 従業者数	18	60 第1次産業就業者数	33	90 国民健康保険被保険者数	48

1 人口総数

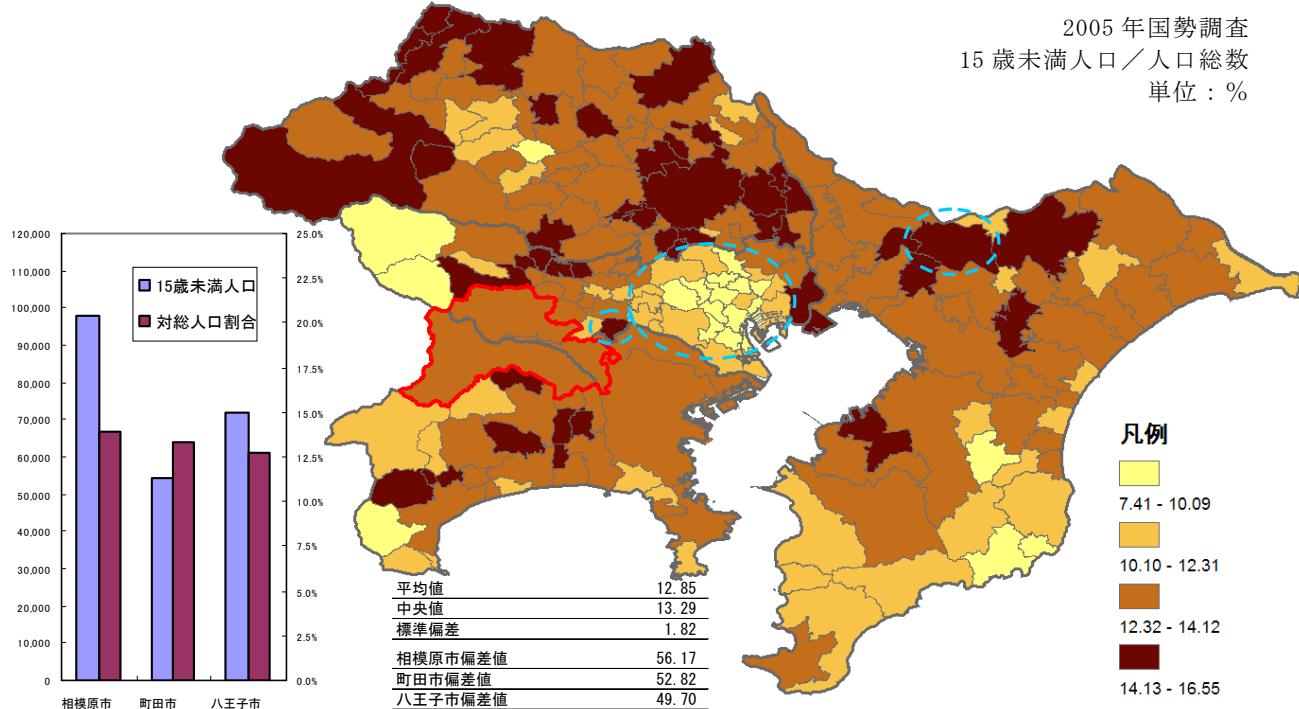
2005 年国勢調査
単位：人



- 都心からドーナツ状に人口の多い自治体が存在している。
- 都心から一定の距離において、人口規模、面積ともに大きく、拠点性のある自治体が存在している。(千葉市、船橋市、さいたま市、八王子市、相模原市、横浜市など)
- 3市の比較では、相模原市の人口が多く、面積が小さい町田市は人口密度が高い。

2 15 歳未満人口

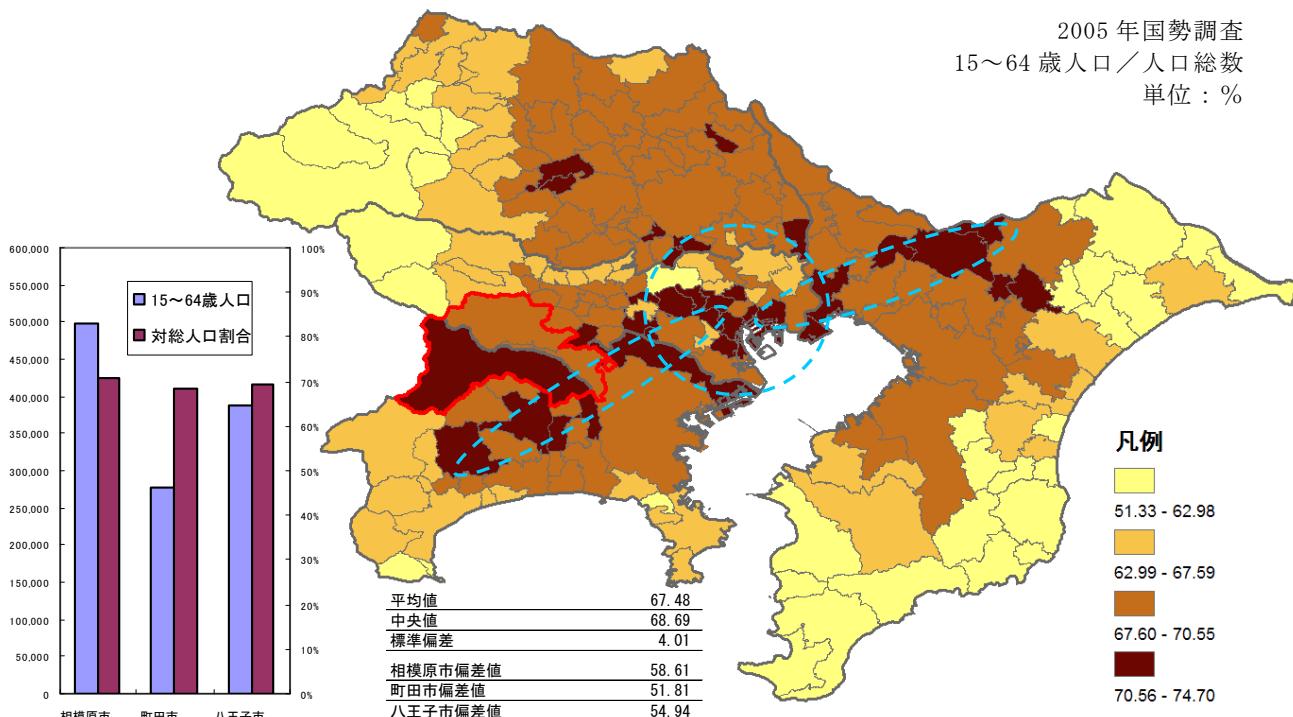
2005 年国勢調査
15 歳未満人口／人口総数
単位：%



- 23 区における年少人口割合の低さが明らかである。
- 近年に子育て世帯向けの大規模開発が行われた稲城市、印西市などで年少人口割合が高い。
- 3市の比較では、単独世帯数の多い八王子市が平均値を若干下回り、相模原市の割合が高いものの、首都圏においては平均的な数値となっている。

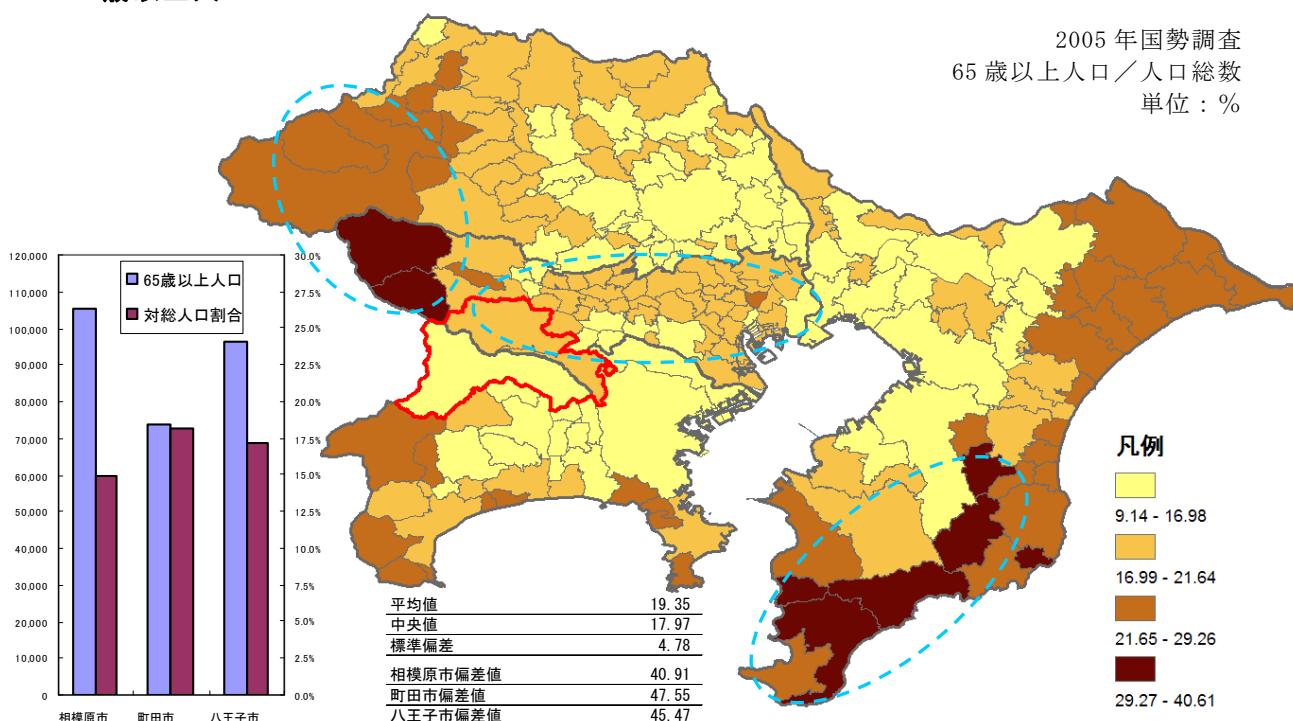
【参考データ : 17 単独世帯数、39 標準価格(平均価格) (住宅地)】

3 15~64 歳人口



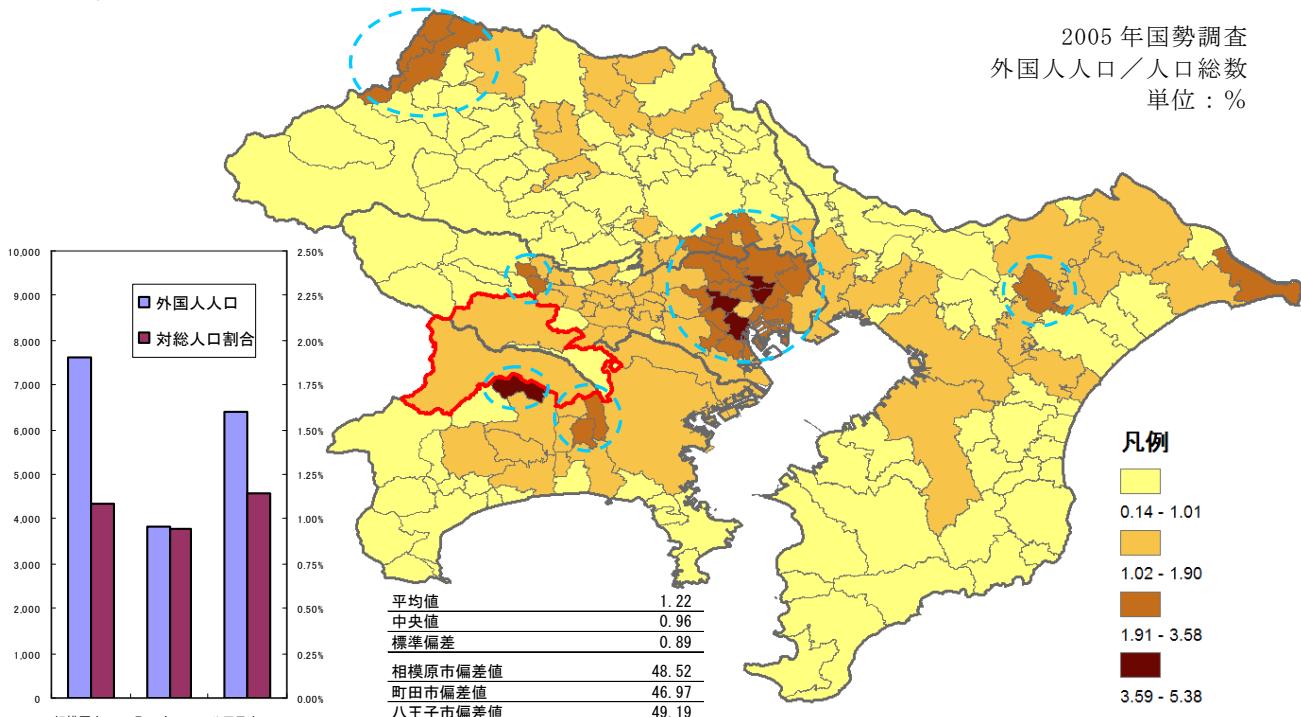
- 生産年齢人口割合は、23 区を中心にドーナツ状に高い自治体が存在する。
- 通勤に便利な私鉄沿線で割合が高く、小田急線、京王線が通る相模原市は、首都圏の中でも割合の高い自治体となっている。
- 3 市の比較では、相模原市の割合が高く、町田市が低いが、3 市とも平均を上回っている。

4 65 歳以上人口



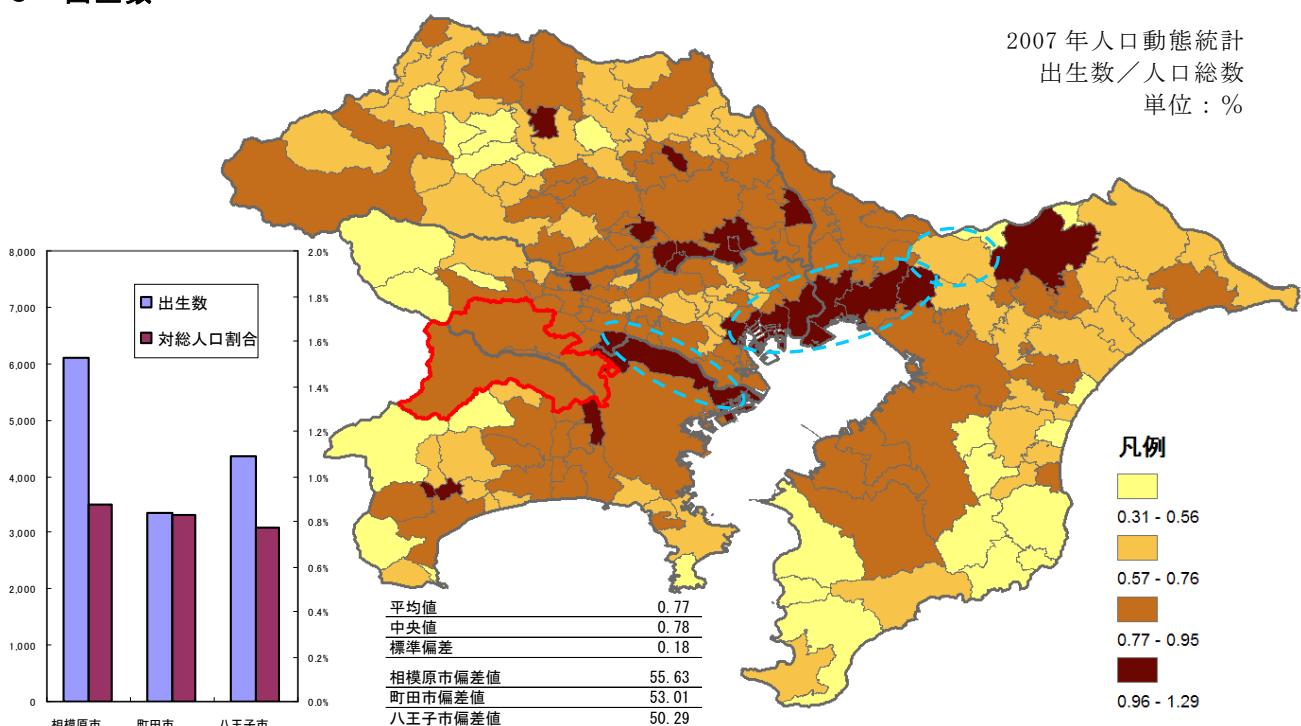
- 奥多摩、秩父、南房総などで極端に高齢化が進んでいる一方、東京都も全体的に老人人口割合が高い。（全国的にみると、都心から比較的近い埼玉県、千葉県、神奈川県の地域が異例であり、今後の急速な高齢化が懸念されている。）
- 3 市の比較では、町田市の割合が高く、相模原市が低いが、3 市とも平均値を下回る比較的若い都市と言える。

5 外国人人口



- 都心の商業地域（特に山手線沿線）で外国人割合が高い。
- 工業団地のある人口の少ない地域は割合が高い。（上里町、富里市、愛川町）
- 福生市、綾瀬市、大和市は米軍基地の影響が大きい。
- 3 市の比較では、大差なく、3 市とも平均値を若干下回る。

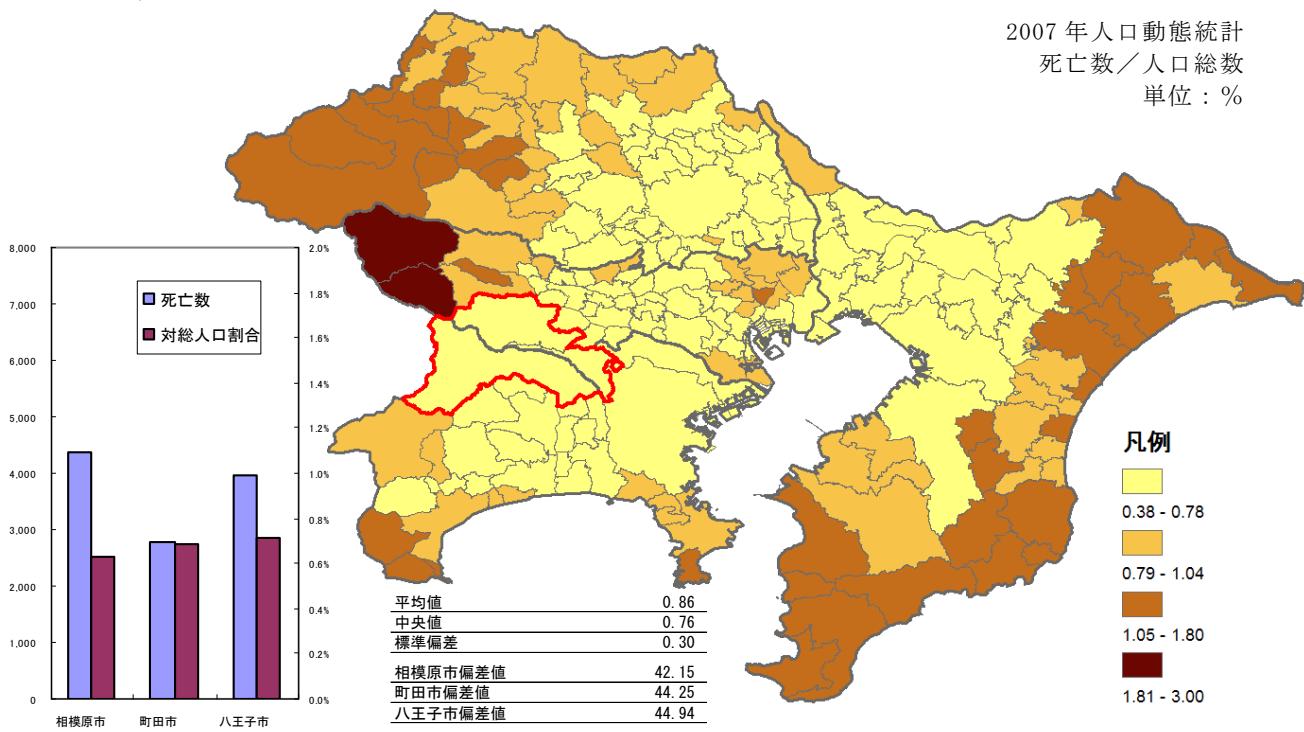
6 出生数



- 出生数の多い地域は、稻城市、川崎市、八千代市、船橋市、市川市、浦安市などであり、年少人口割合の高い地域よりも都心に寄っている。
- 千葉ニュータウンのある印西市では、年少人口割合は高いが出生数の割合は低い。
- 3 市の比較では、八王子市の割合が低いが、3 市とも平均値を上回っている。

【参考データ : 2 15 歳未満人口】

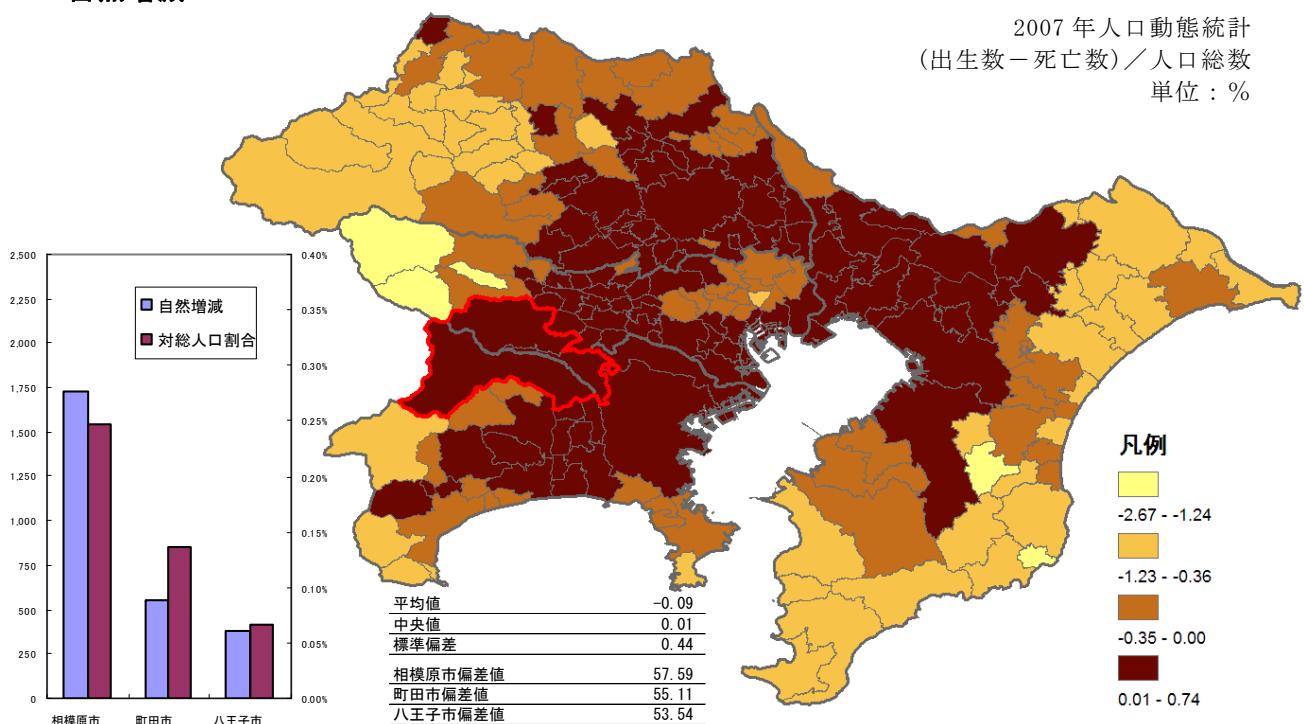
7 死亡数



- ・老年人口割合の高い地域で死亡数の割合が高く、地域ごとの特徴は特に見られない。
- ・3市の比較では、大差なく、3市とも平均値を下回る。

【参考データ：4 65歳以上人口】

8 自然増減



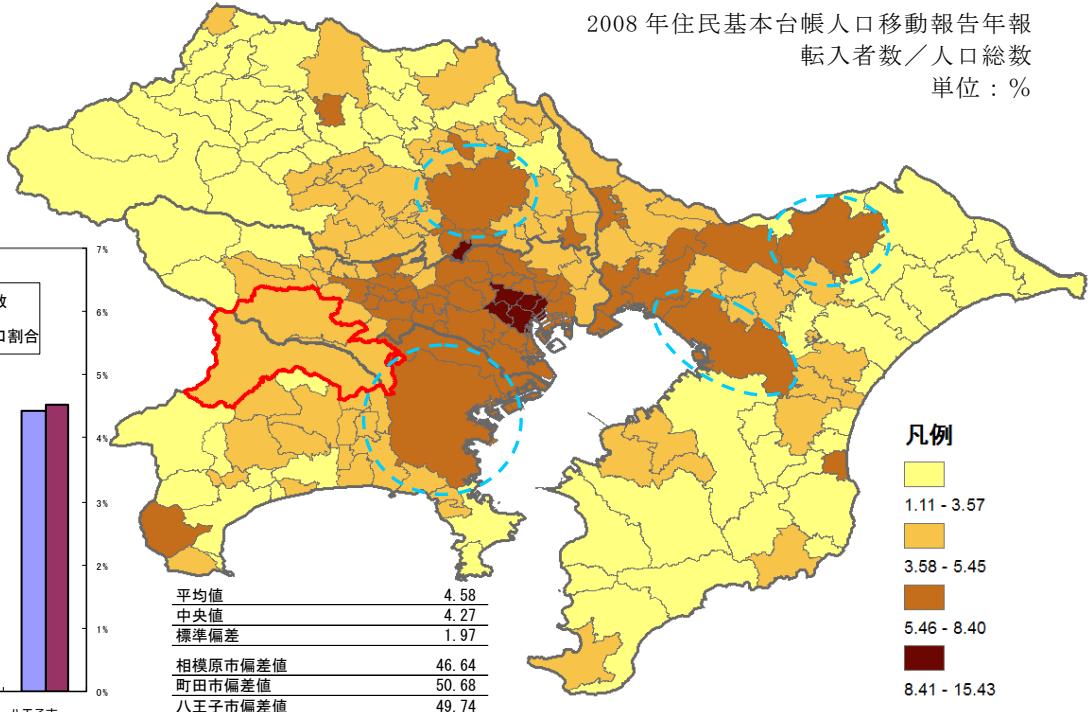
- ・自然増減の平均値は -0.09% と、首都圏においても人口は自然減の局面に突入している。中央値は 0.01 であり、おおよそ半数の自治体が自然減となっている。
- ・自然増となっているのは、都心を取り巻く比較的新しい都市（戦後に人口が急増したと思われる地域）で、相模原市、町田市、八王子市もこれに含まれる。
- ・3市の比較では、相模原市が最も自然増が多いが、3市とも自然増となっている。

9 転入者数

2008年住民基本台帳人口移動報告年報

転入者数／人口総数

単位：%



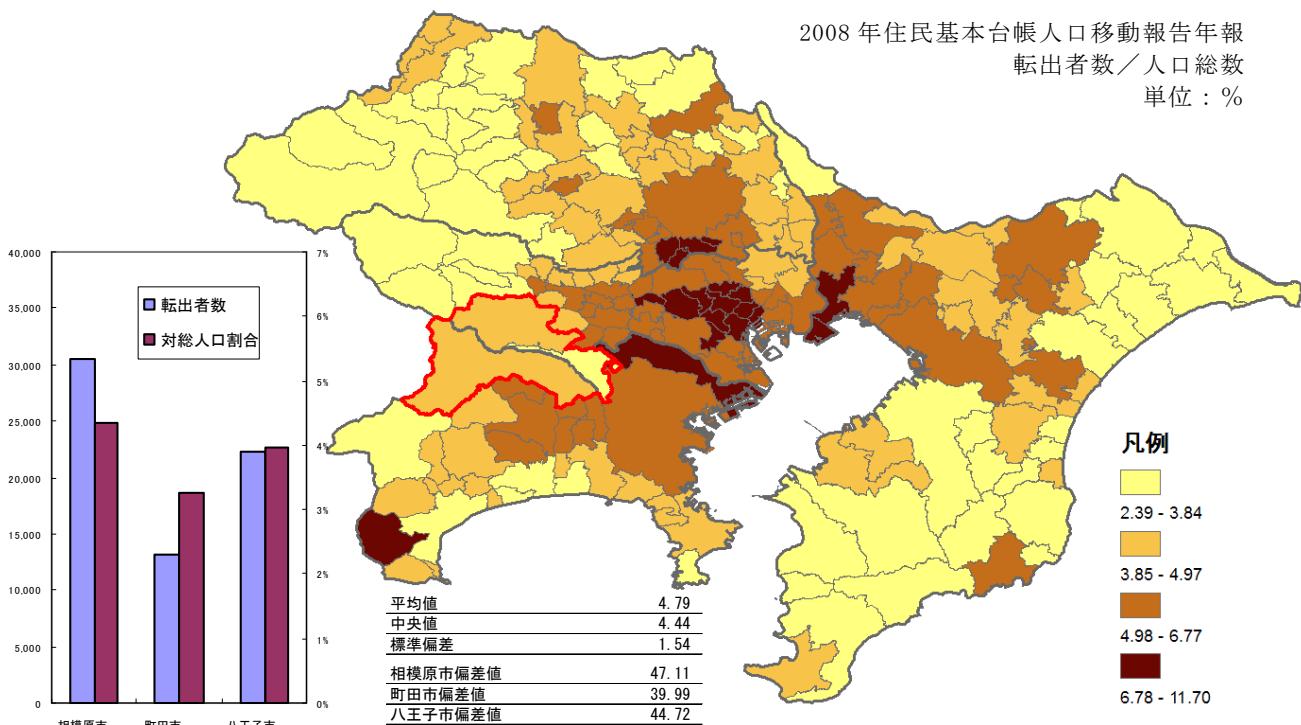
- 23区を中心に、東京都は転入者の割合が高い。
- 横浜市、さいたま市、千葉市、成田市など地域の核となる都市で割合が高い。
- 3市の比較では、相模原市の割合が低いが、町田市、八王子市とも平均値に近い。

10 転出者数

2008年住民基本台帳人口移動報告年報

転出者数／人口総数

単位：%

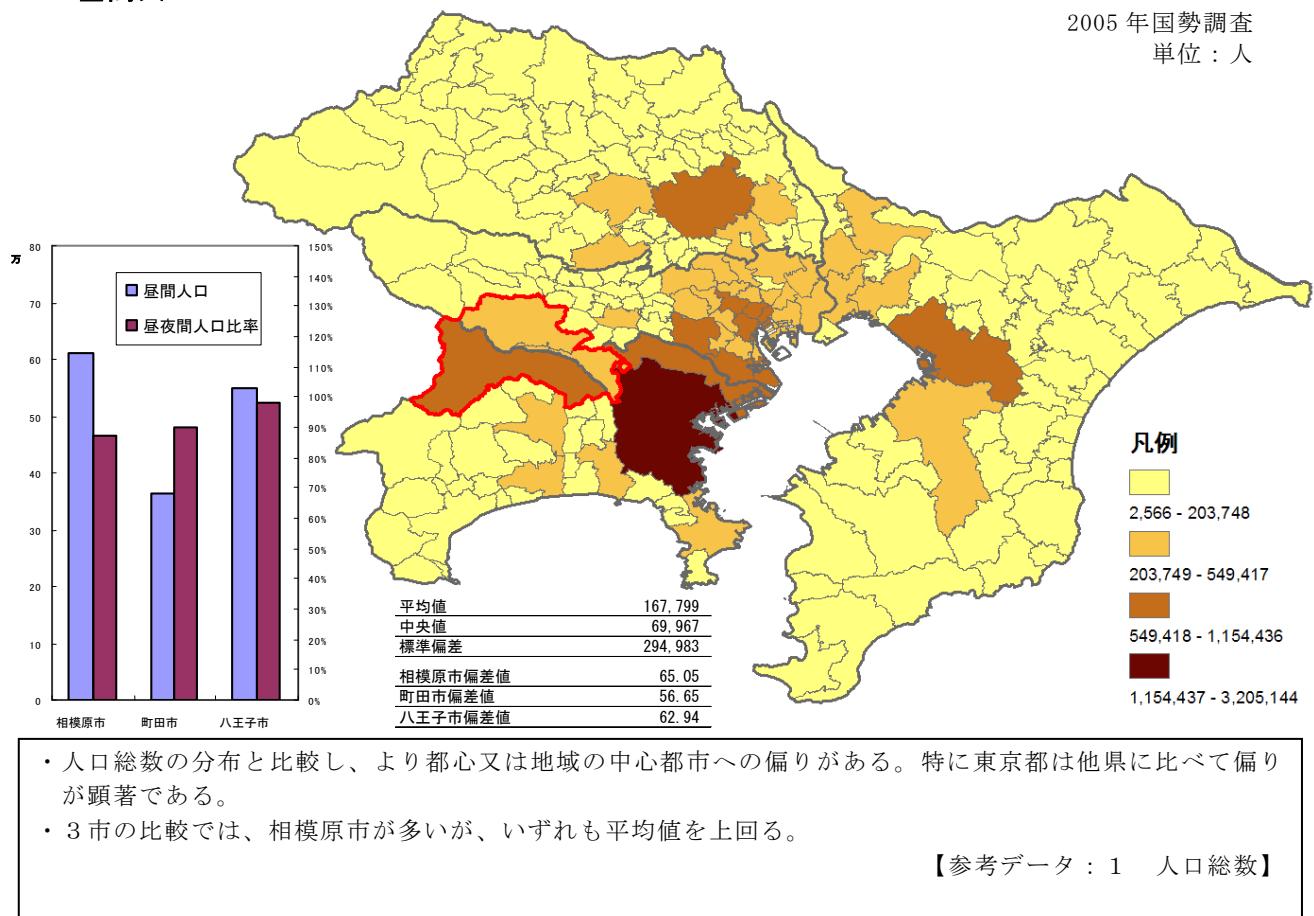


- 転入者の多い地域は転出者も多く、23区や都心から比較的近い都市が人口流動の激しい地域であることがわかる。
- 3市の比較では、町田市が転出者の割合が低いが、相模原市、八王子市も平均値を下回っている。

【参考データ：9 転入者数】

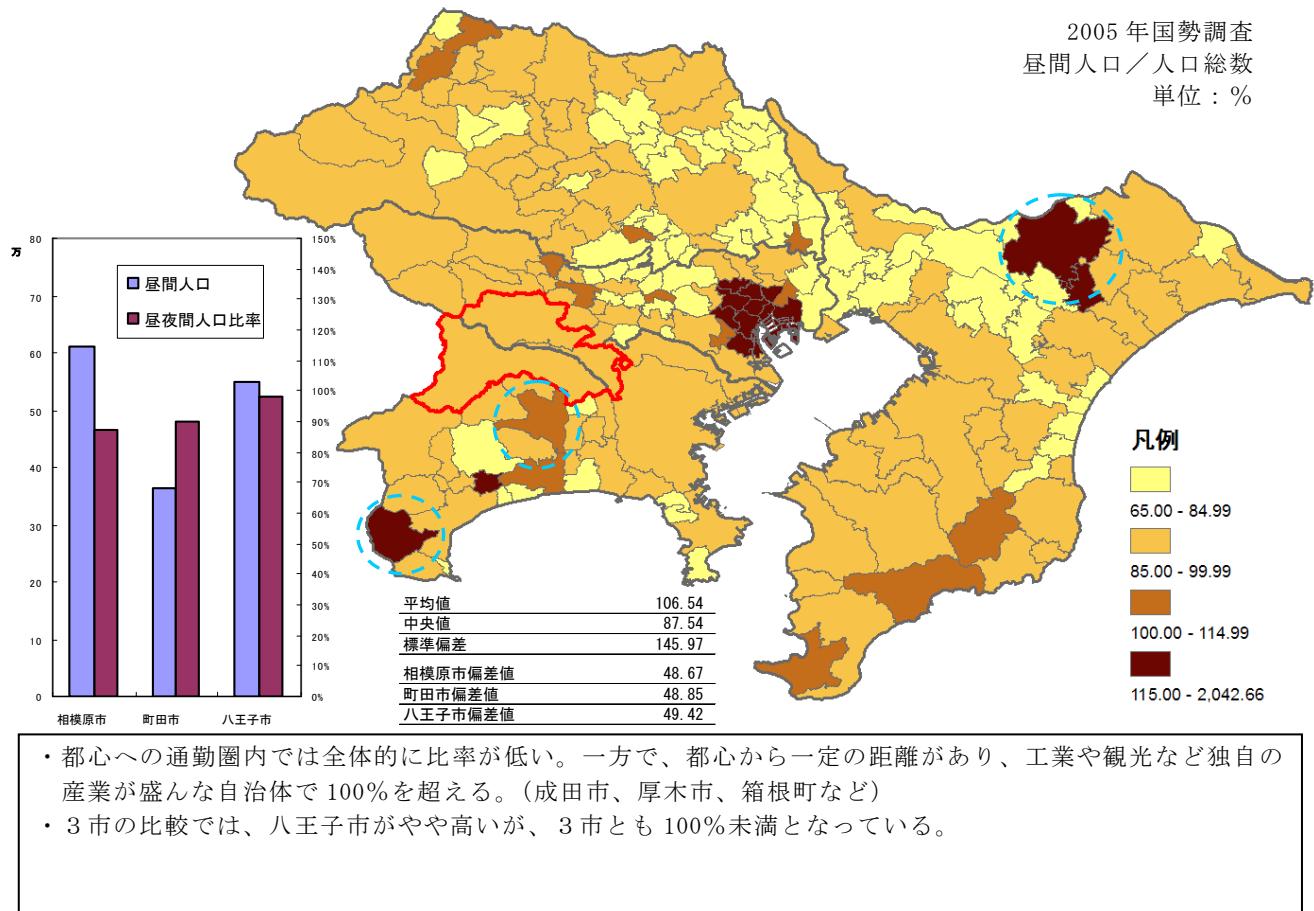
11 昼間人口

2005 年国勢調査
単位：人



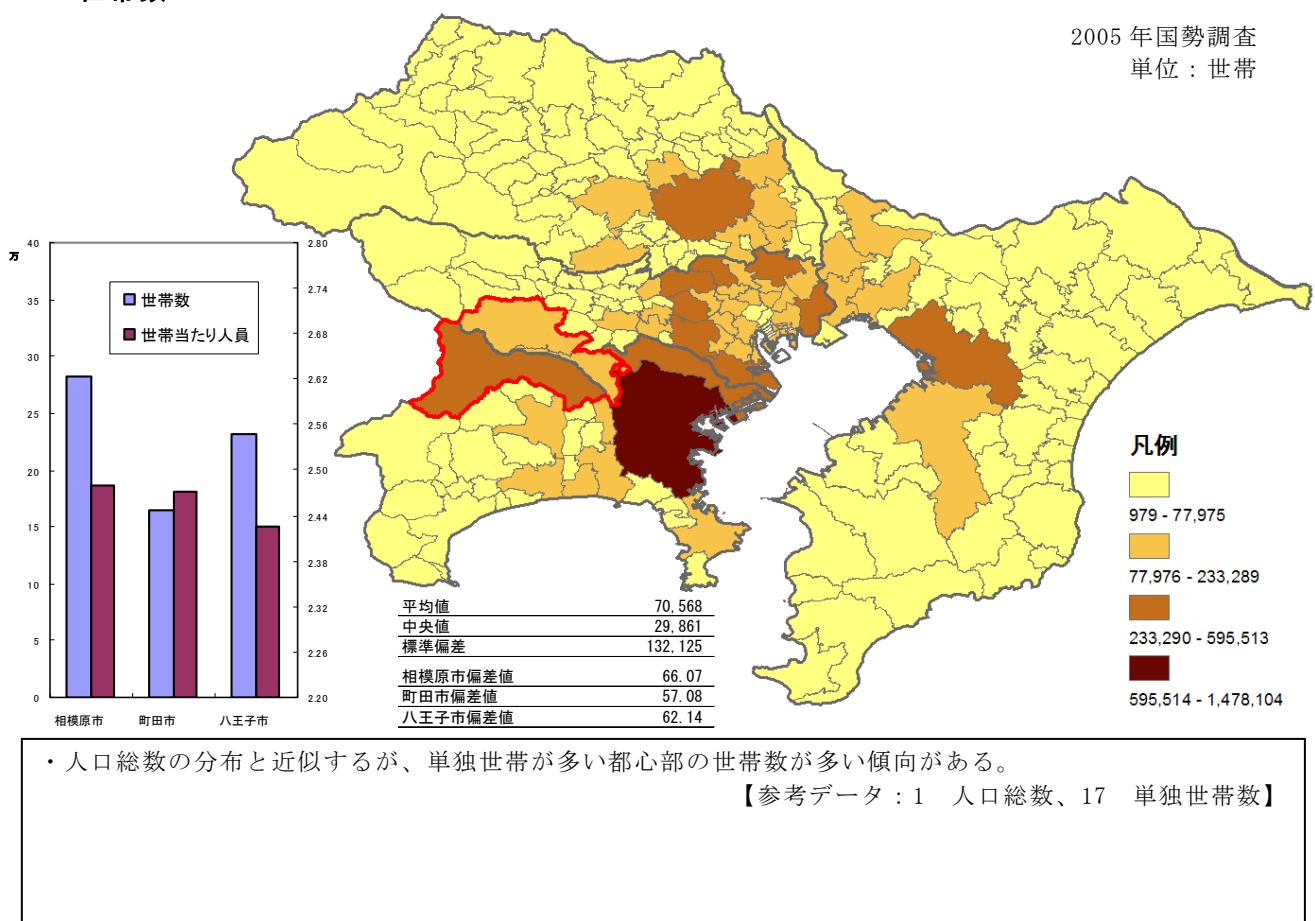
12 昼夜間人口比率

2005 年国勢調査
昼間人口／人口総数
単位：%



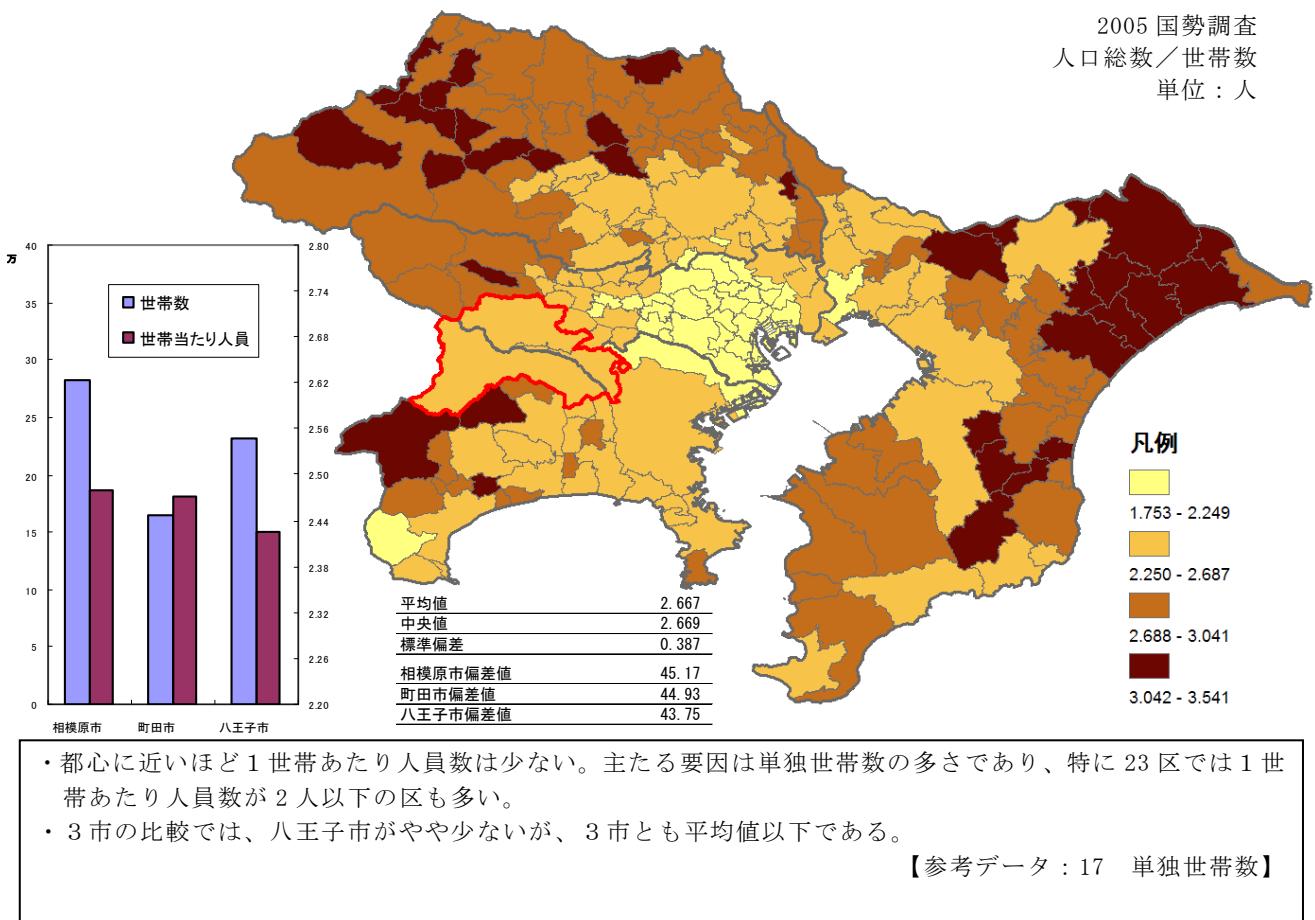
13 世帯数

2005 年国勢調査
単位：世帯

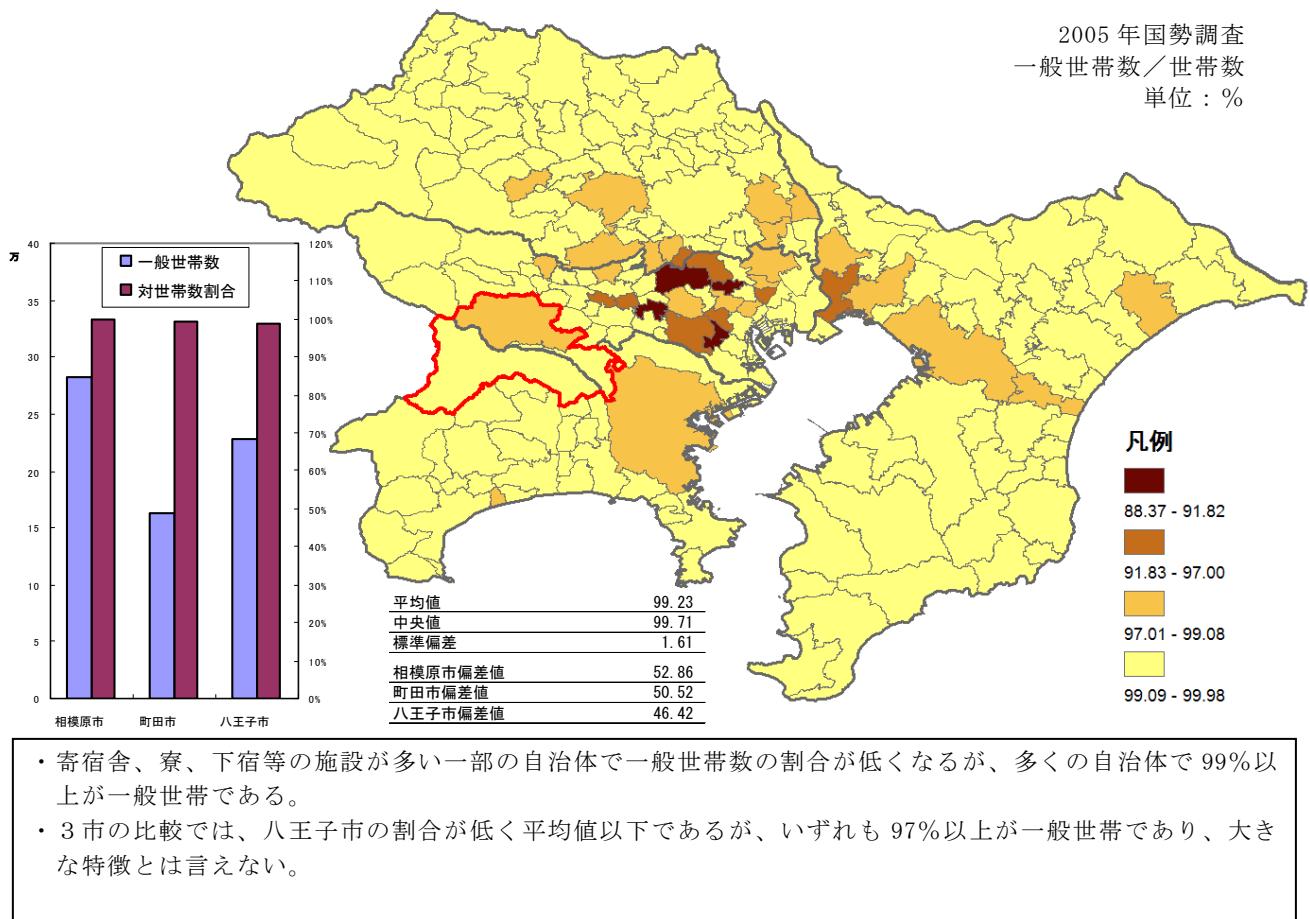


14 1世帯あたり人員数

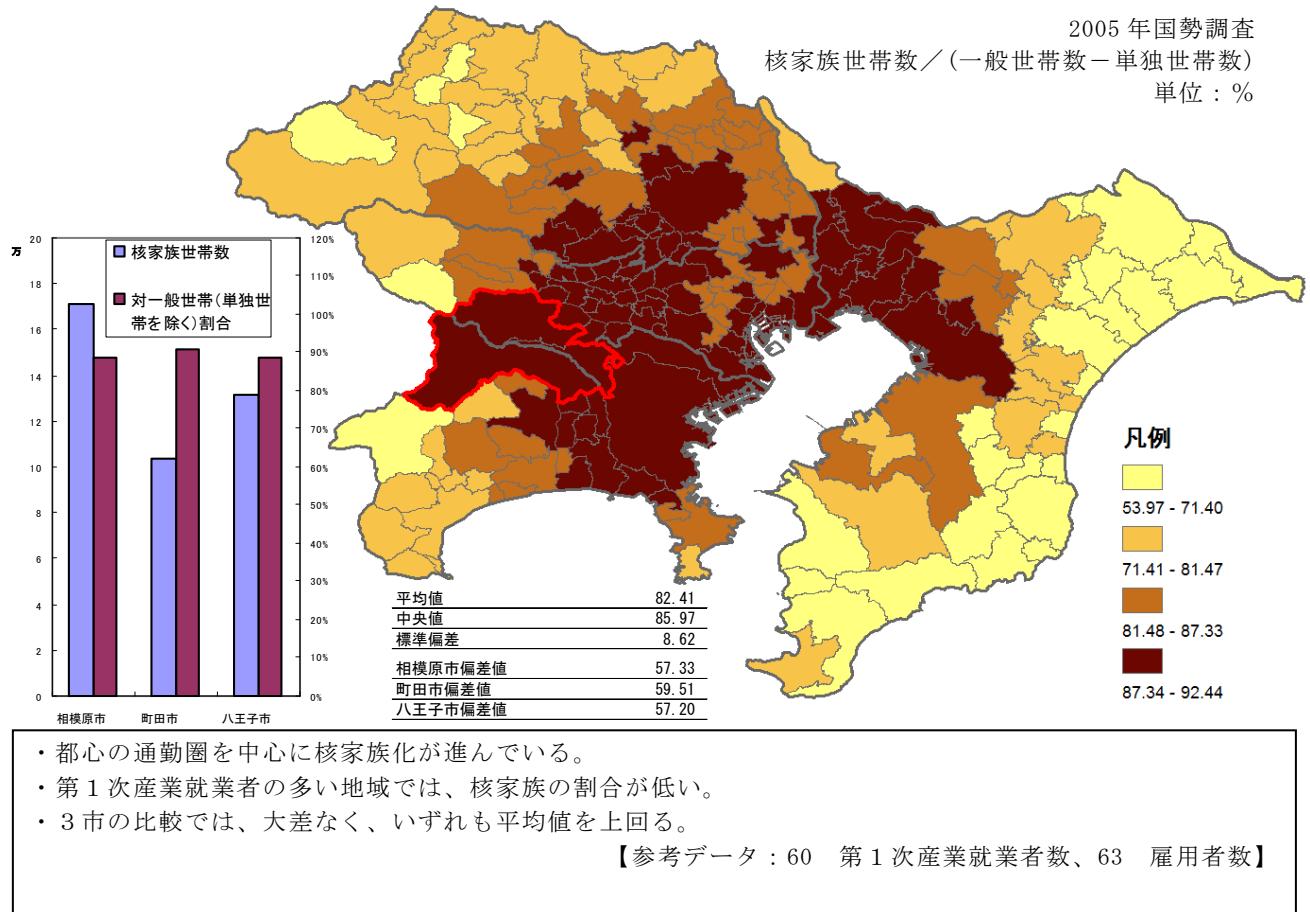
2005 国勢調査
人口総数／世帯数
単位：人



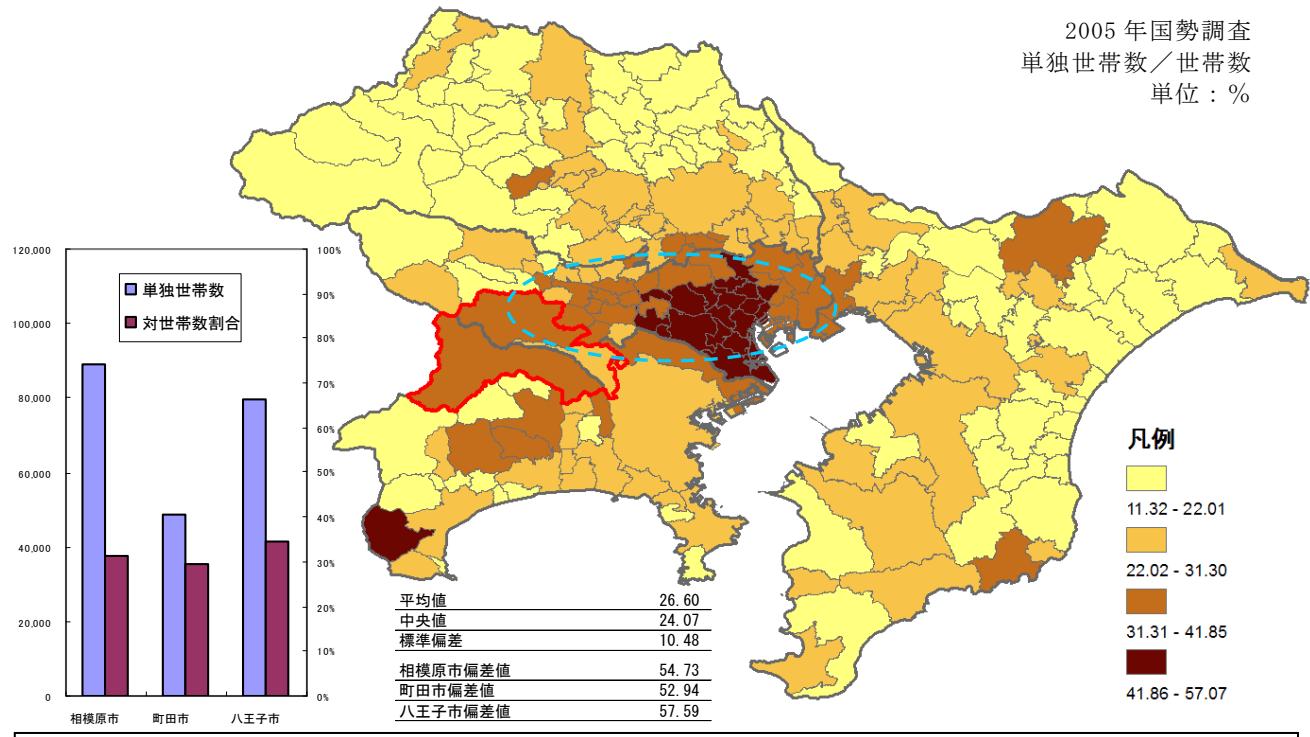
15 一般世帯数



16 核家族世帯数



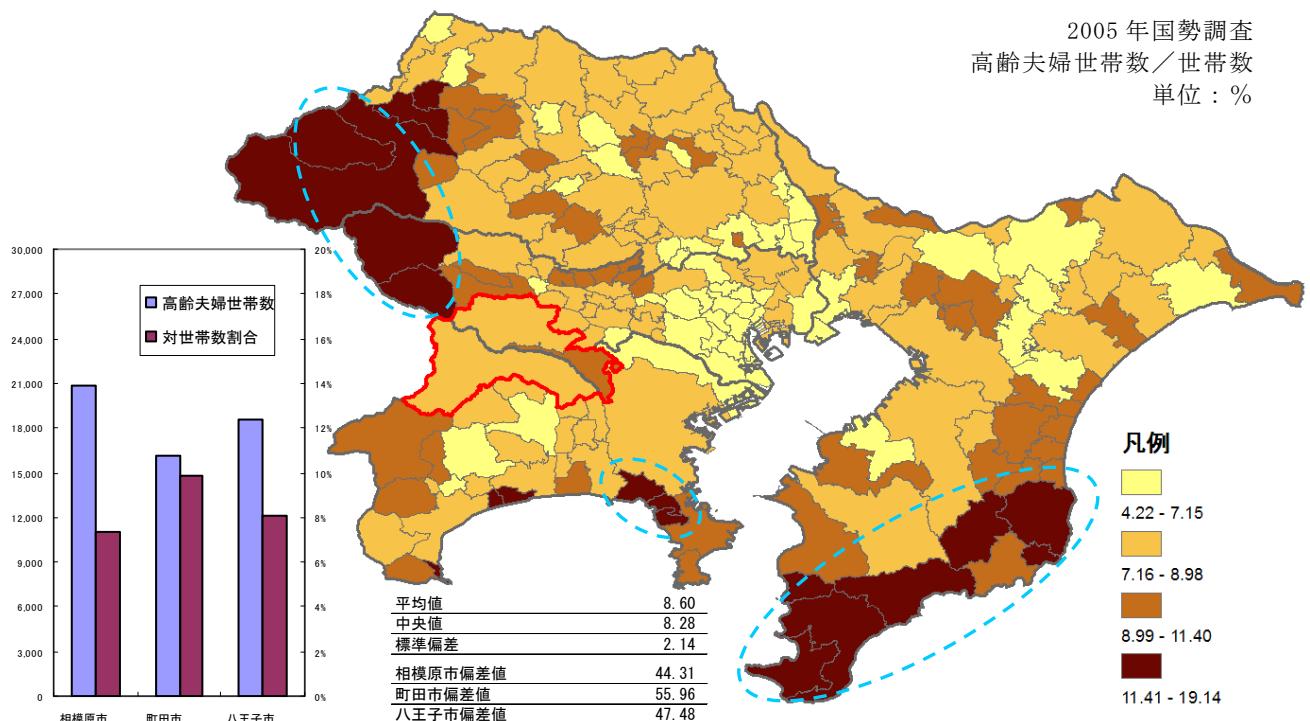
17 単独世帯数



- 昼夜間人口比率の高い地域又はその周辺の地域で単独世帯の割合が高くなる傾向があり、特に東京都は単独世帯の割合が高い。これは職場付近に一人暮らしをする者のほか、学生の数に影響を受けるためである。
- 3市の比較では、八王子市の割合が高く、町田市の割合が低い。八王子市と相模原市は、首都圏の中でも単独世帯の多い自治体となっている。

【参考データ : 12 昼夜間人口比率】

18 高齢夫婦世帯数

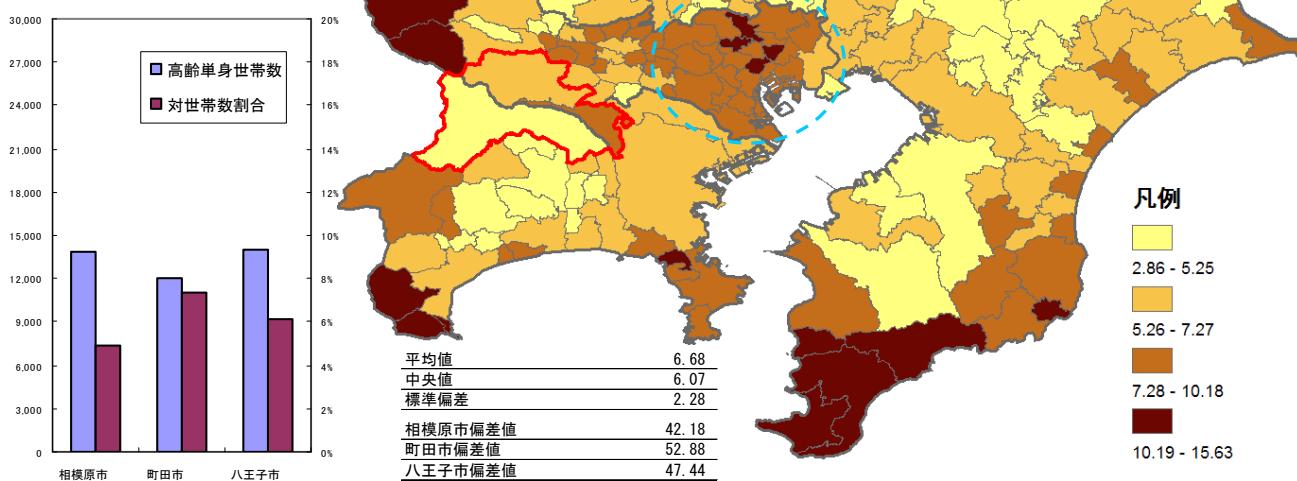


- 65 歳以上人口の比率と同様に、奥多摩、秩父、南房総などで高くなっている。
- 鎌倉市、逗子市、葉山町では、高齢夫婦世帯の割合のほか、役員の割合、雇人のある業主の割合などが高く、納税義務者 1 人あたりの課税対象所得も高いという特徴がある。
- 3市の比較では、町田市の割合が高く平均値を超えており、相模原市と八王子市は平均値を下回る。

【参考データ : 4 65 歳以上人口、25 課税対象所得、64 役員数、65 雇人のある業主数】

19 高齢単身世帯数

2005 年国勢調査
高齢単身世帯数／世帯数
単位 : %

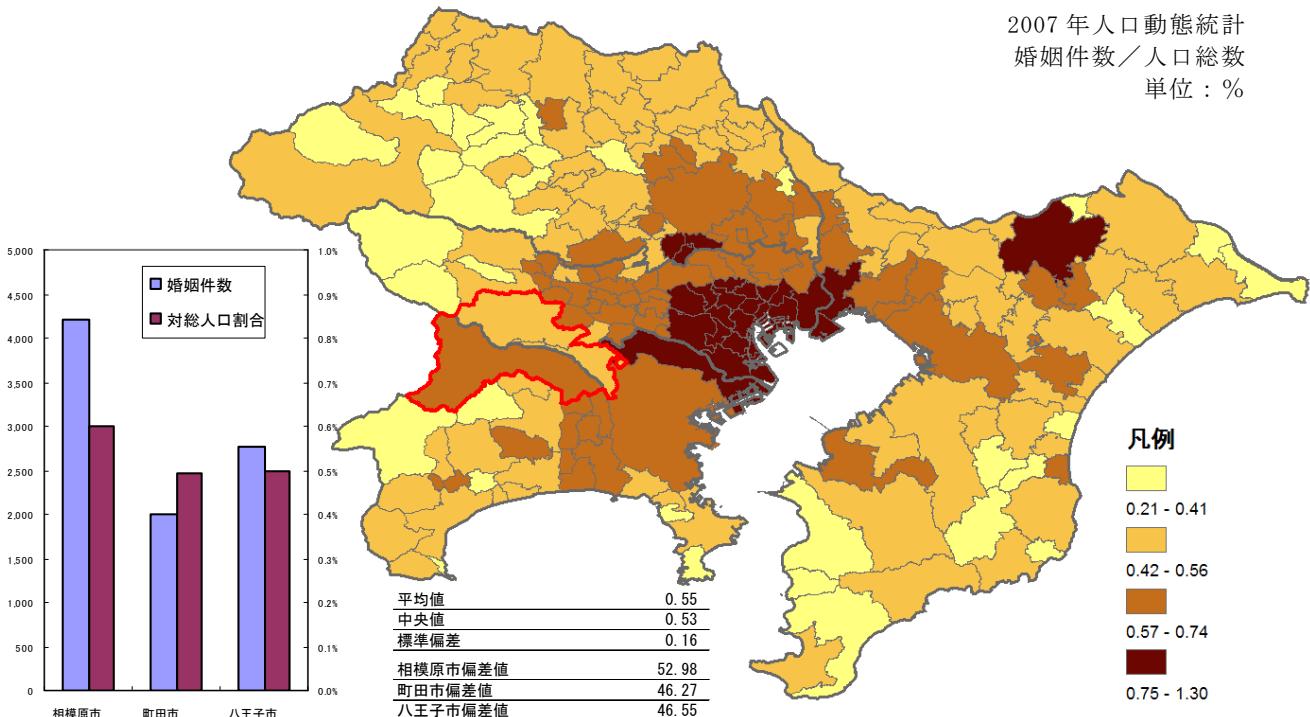


- ・老年人口のやや多い 23 区では、高齢夫婦世帯の割合が少ない一方で、高齢単身世帯の割合が高い。
- ・3 市の比較では、町田市の割合が高く、相模原市の割合が低い。町田市は東京都心に近い傾向の地域、相模原市と八王子市は今後急速に高齢化する地域と言える。

【参考データ : 4 65 歳以上人口、7 死亡数、18 高齢夫婦世帯数】

20 婚姻件数

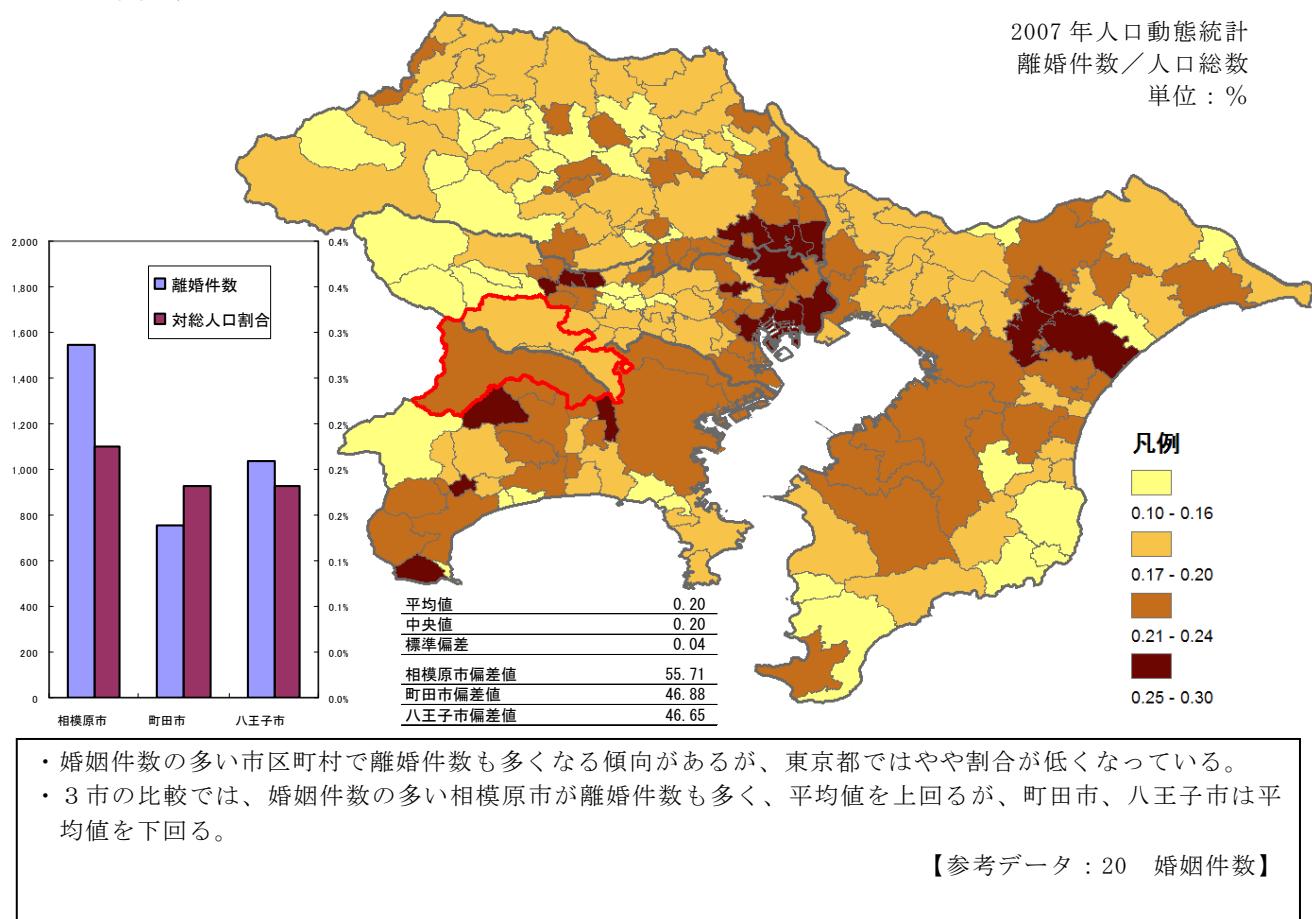
2007 年人口動態統計
婚姻件数／人口総数
単位 : %



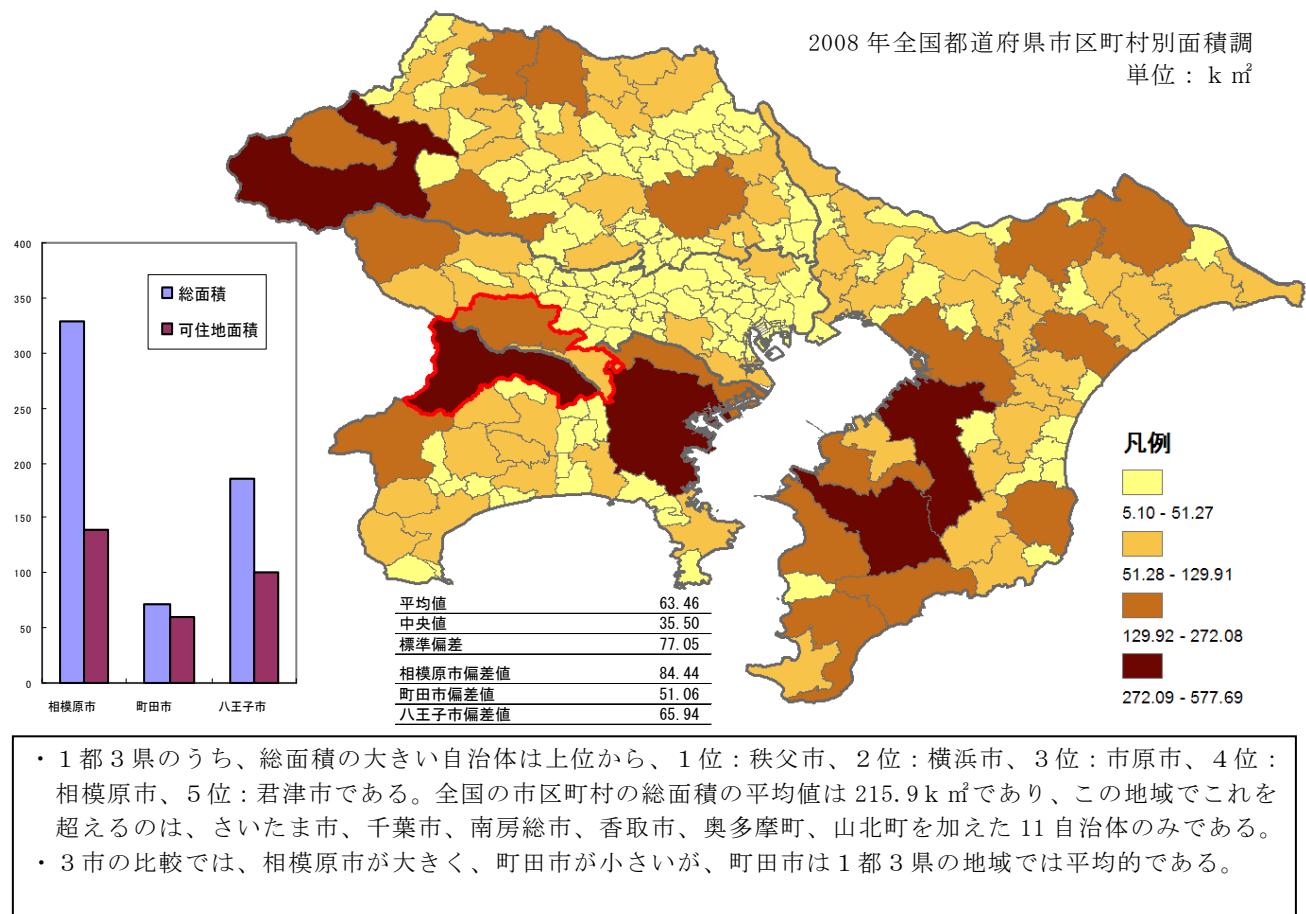
- ・単独世帯数が多く、かつ納稅義務者数も多い都心で婚姻件数も多い。
- ・3 市の比較では、相模原市の割合が高く平均値を上回るが、町田市、八王子市は平均値を下回る。

【参考データ : 3 15~64 歳人口、17 単独世帯数、26 納稅義務者数】

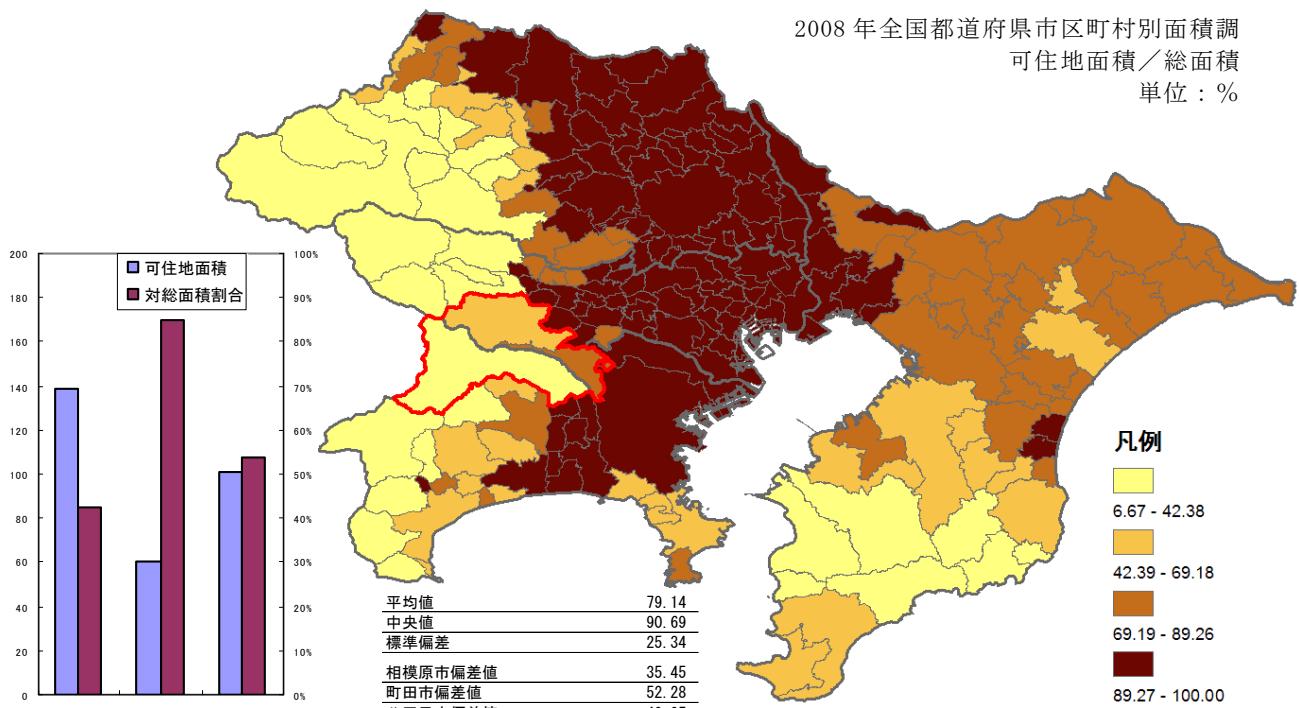
21 離婚件数



22 総面積

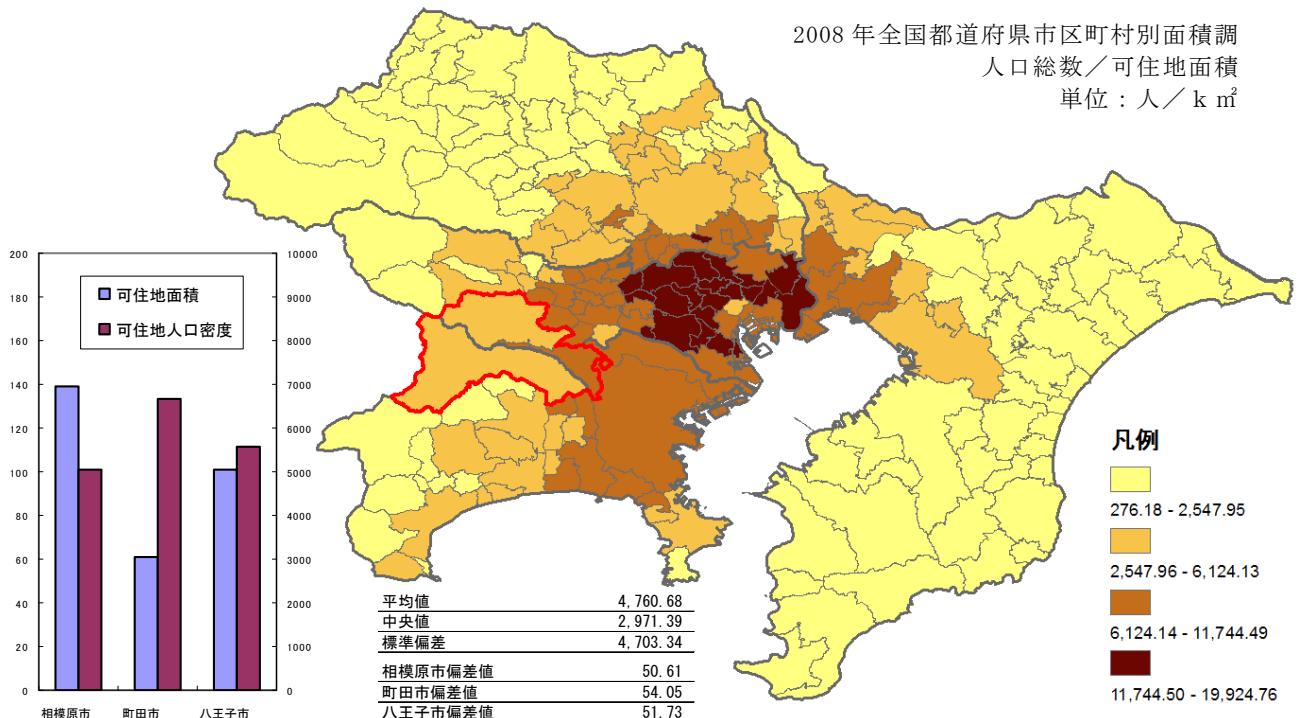


23 可住地面積



- 東京都東部及び埼玉県東部は可住地面積の割合が極めて高い=林野面積（森林+草生地+湖沼）が小さい。
- 3市の比較では、町田市の割合が高く、相模原市の割合が低い。相模原市、八王子市は林野面積が大きく、市街地の多い自治体とは異なった施策が求められる地域である。

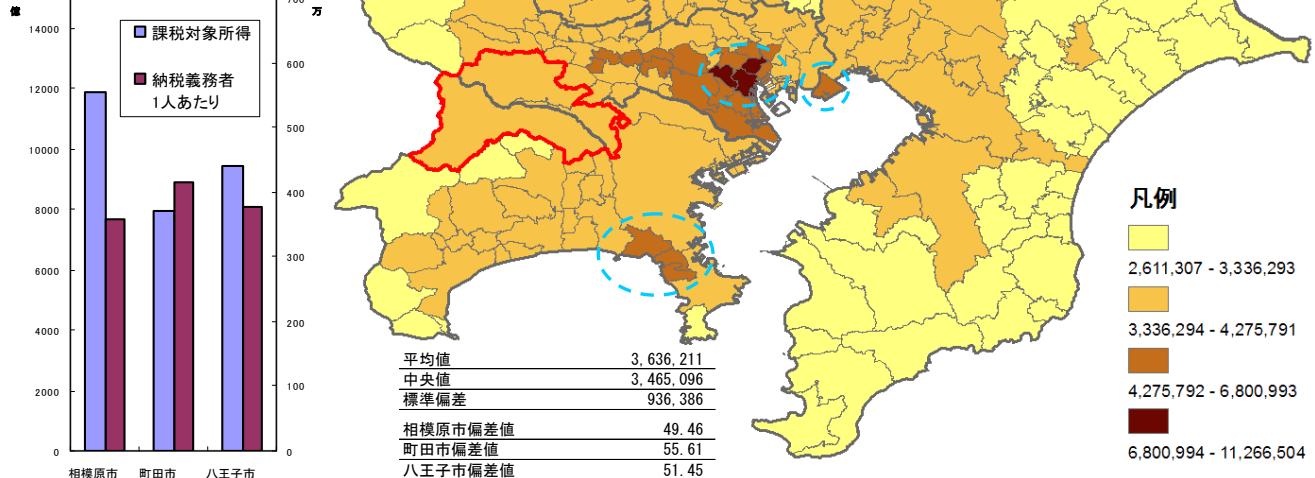
24 可住地人口密度



- 都心から距離が離れるほど可住地人口密度が下がるが、横浜市への通勤圏を含む神奈川県は、埼玉県、千葉県に比べると人口密度の高い市町村が多い。
- 3市の比較では、町田市の可住地人口密度が高く、相模原市、八王子市は平均値に近い。

25 課税対象所得

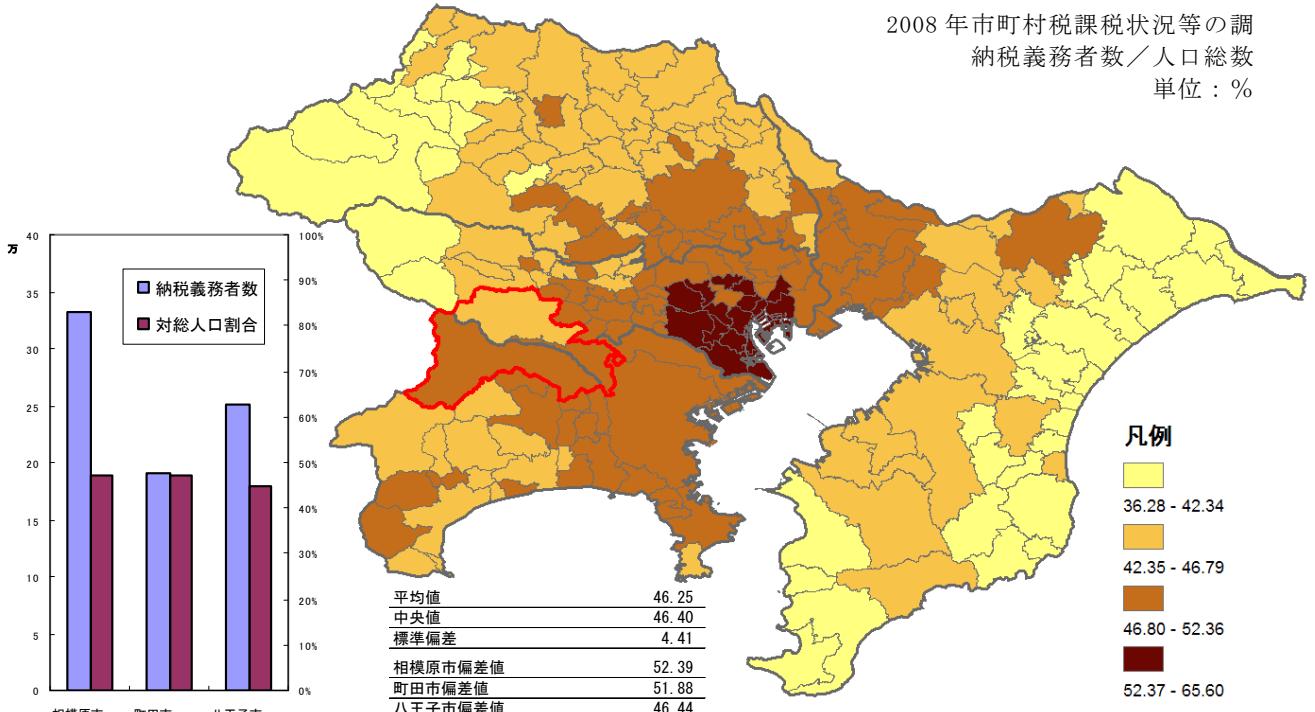
2008 年市町村税課税状況等の調
課税対象所得／納税義務者数
単位：円



- 千代田区、港区、渋谷区とその周辺の地域で納税義務者一人あたりの課税対象所得が高い。特に港区では1,000万円を超える。東京都以外では、浦安市、鎌倉市、逗子市、葉山町が高いのが特徴的である。
- 3市の比較では、町田市が高く、相模原市が低い。

26 納税義務者数

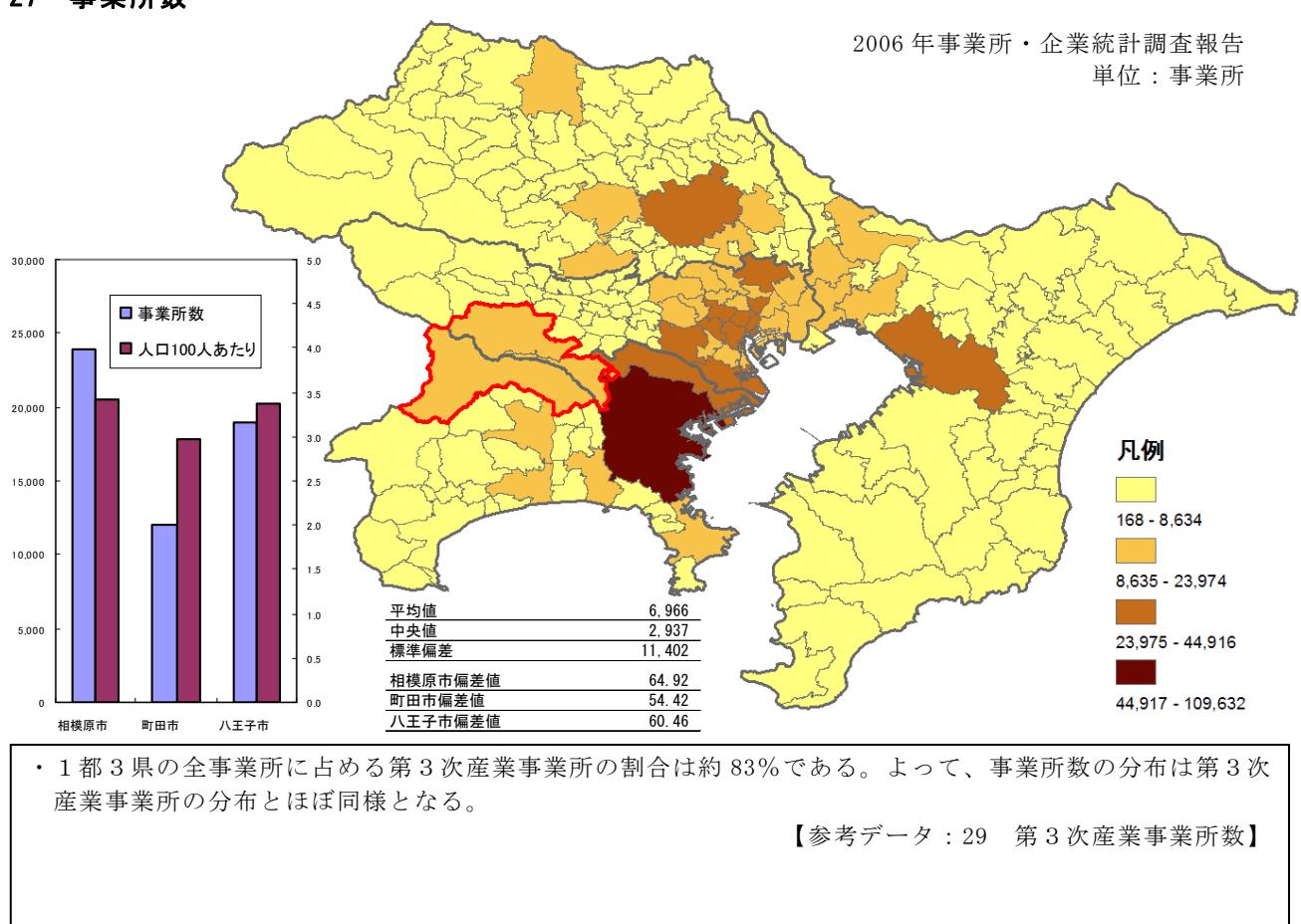
2008 年市町村税課税状況等の調
納税義務者数／人口総数
単位：%



- 都心に近づくほど、納税義務者の割合が高い傾向である。
 - 3市の比較では、八王子市の割合が低く、平均値を下回る。相模原市、町田市は平均値を若干上回る。
- 【参考データ：3 15～64歳人口、17 単独世帯数】

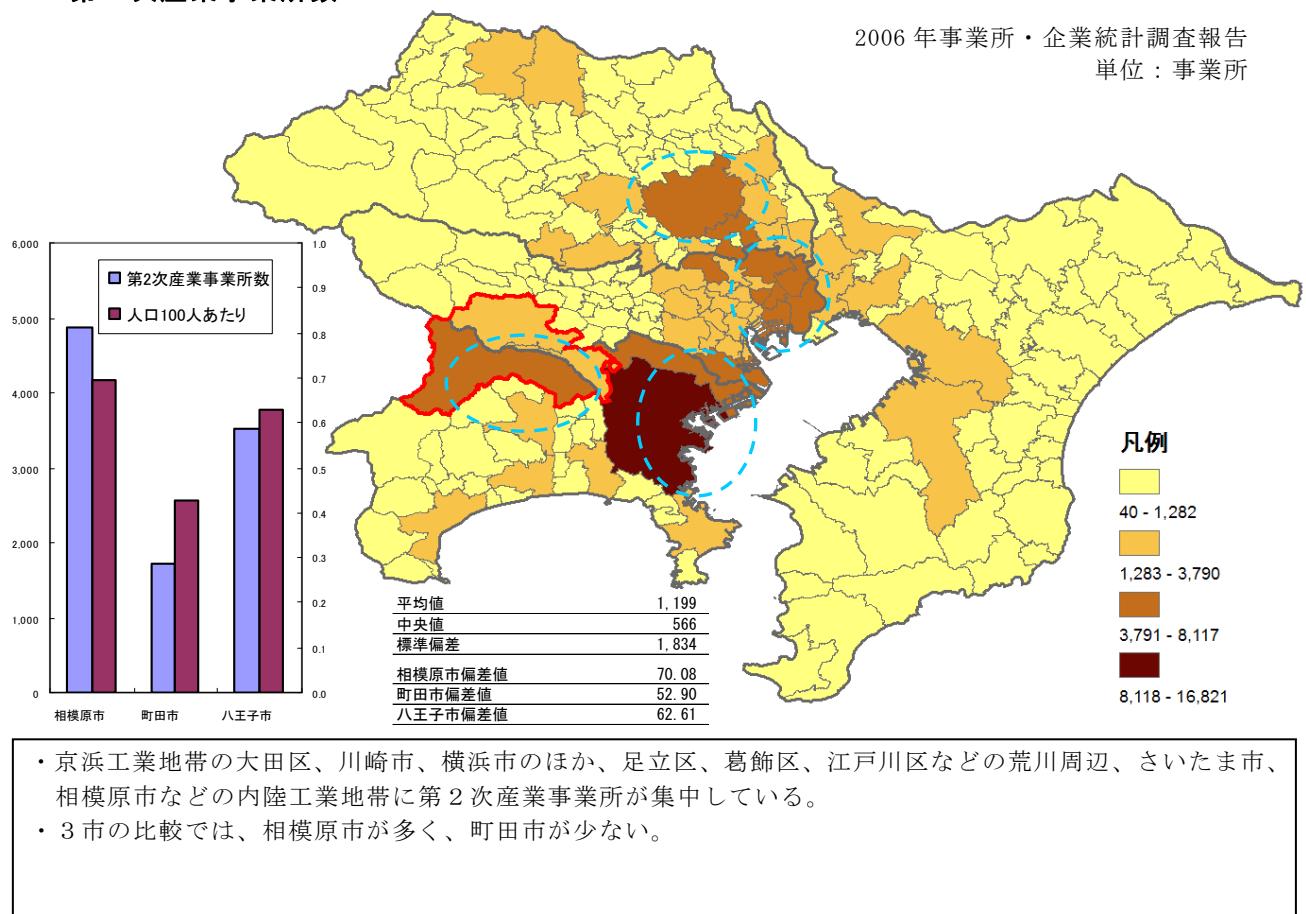
27 事業所数

2006年事業所・企業統計調査報告
単位：事業所



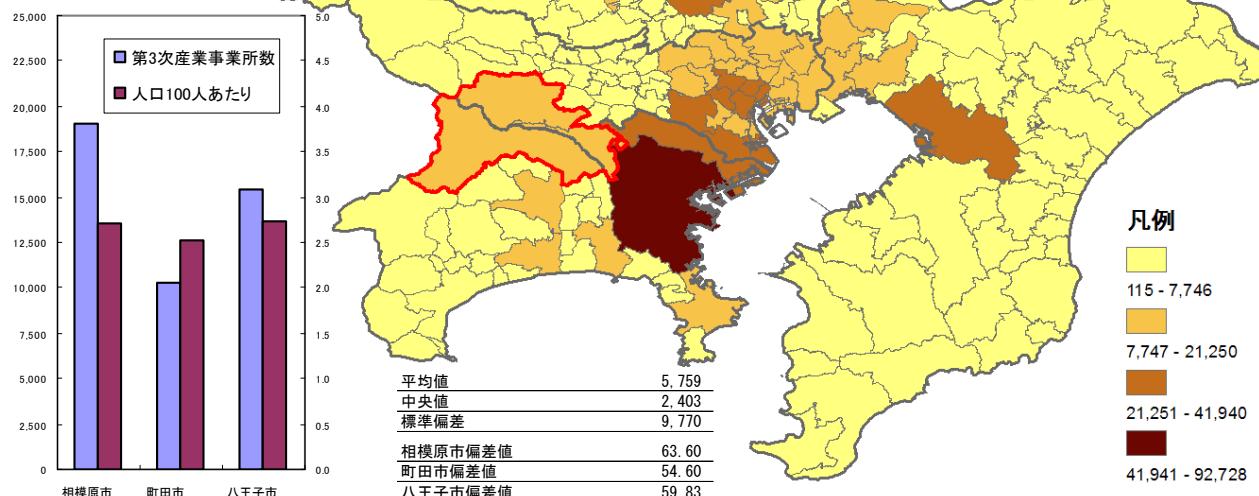
28 第2次産業事業所数

2006年事業所・企業統計調査報告
単位：事業所



29 第3次産業事業所数

2006年事業所・企業統計調査報告
単位：事業所

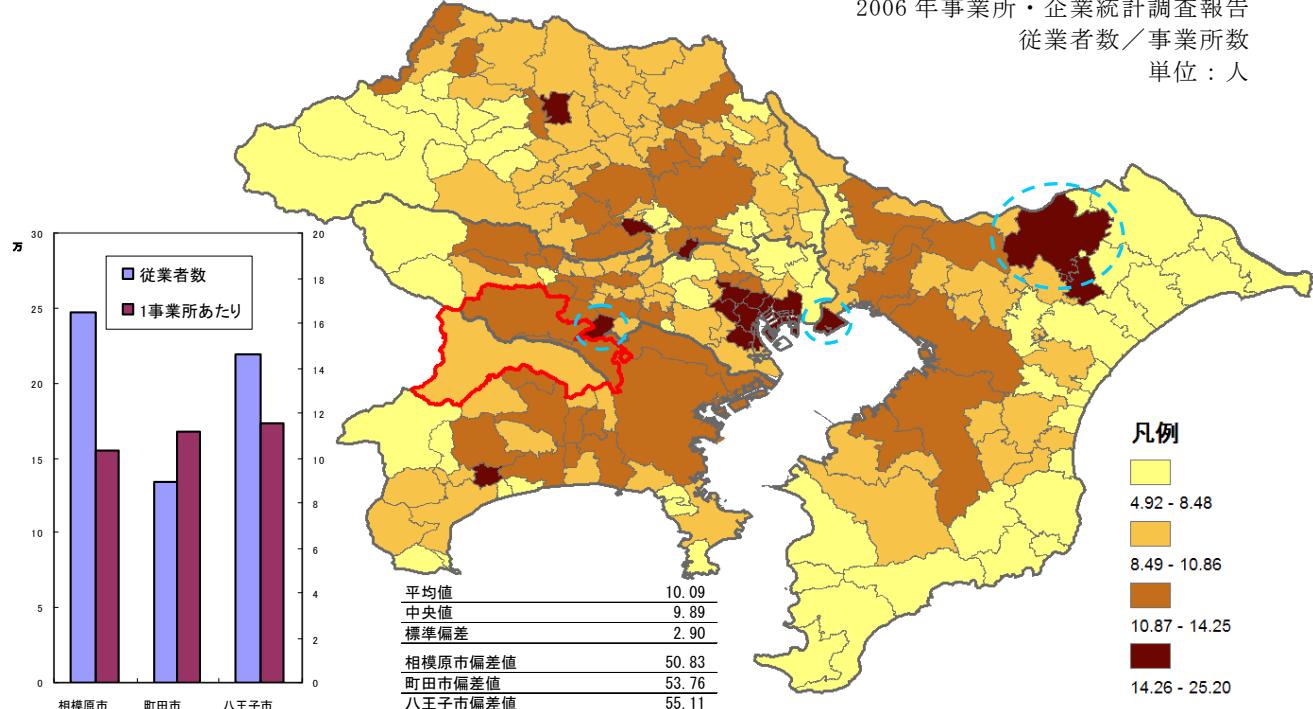


- 人口の分布に比べ、より大都市寄り、東京寄りの分布となっており、昼間人口の分布と同様の傾向である。
- 3市の比較では、人口100人あたりの事業所数に換算しても町田市が少ないが、いずれも平均値を上回る。

【参考データ：1 人口総数、11 昼間人口】

30 従業者数

2006年事業所・企業統計調査報告
従業者数／事業所数
単位：人

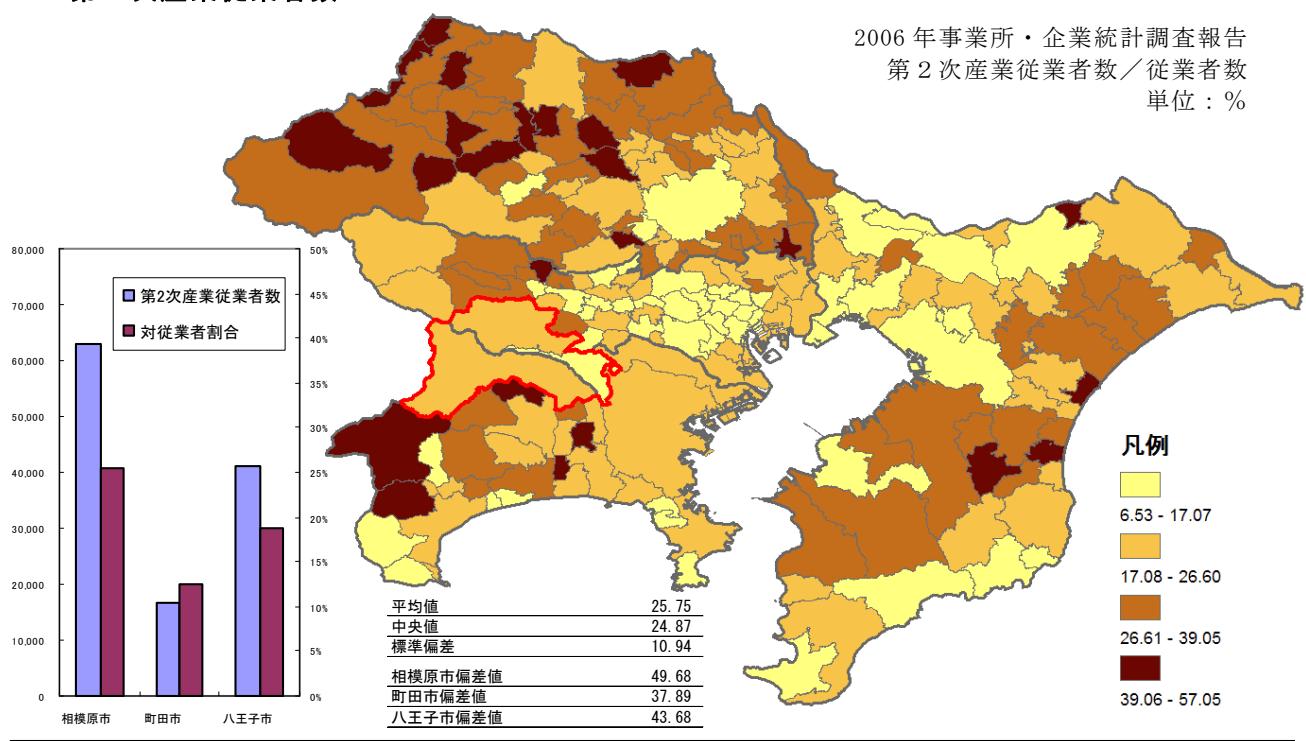


- 1事業所あたりの従業者数をみると、本社機能が集まる都心に従業者数の多い事業所が集中している。
- 事業所が少ないので、1事業所あたりの従業者数が多い地域がある。(浦安市、成田市、多摩市など)
- 3市の比較では、町田市、八王子市は1事業所あたりの従業者が多く、相模原市は少ない。

【参考データ：27 事業所数】

31 第2次産業従業者数

2006年事業所・企業統計調査報告
第2次産業従業者数／従業者数
単位：%

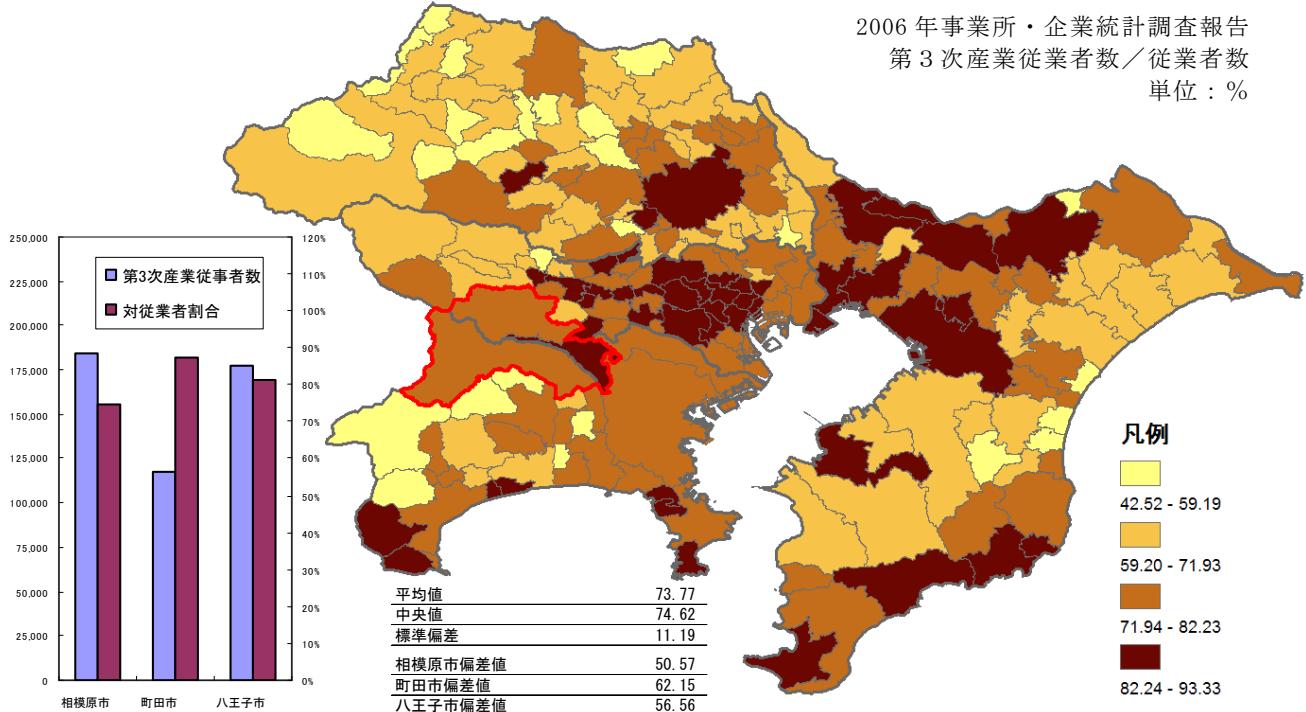


- ・地域の中核を担う大規模事業所や工業団地の存在により、第2次産業従業者の割合が高くなっている地域が点在する。
- ・3市の比較では、相模原市の割合が高く、町田市、八王子市の割合が低い。相模原市は第2次産業従業者と第3次産業従業者の割合がほぼ平均値であるのに対し、町田市は大きく第3次産業に偏っている。

【参考データ：32 第3次産業従業者数】

32 第3次産業従業者数

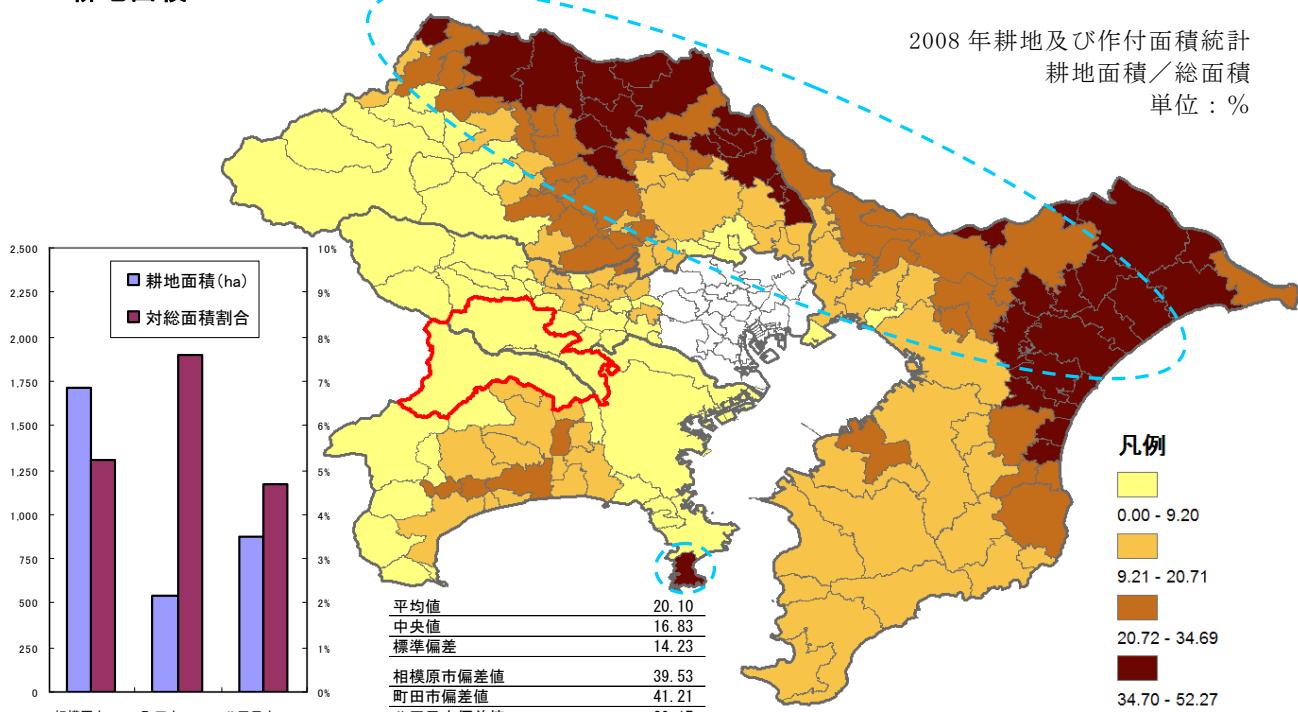
2006年事業所・企業統計調査報告
第3次産業従業者数／従業者数
単位：%



- ・都心への通勤圏では、地価が高いこともあり、新たな第2次産業事業所の立地が難しく、全体としては第3次産業の割合が高くなっている。
- ・3市の比較では、町田市、八王子市の割合が高く、相模原市の割合が低い。相模原市は第2次産業従業者と第3次産業従業者の割合がほぼ平均値であるのに対し、町田市は大きく第3次産業に偏っている。

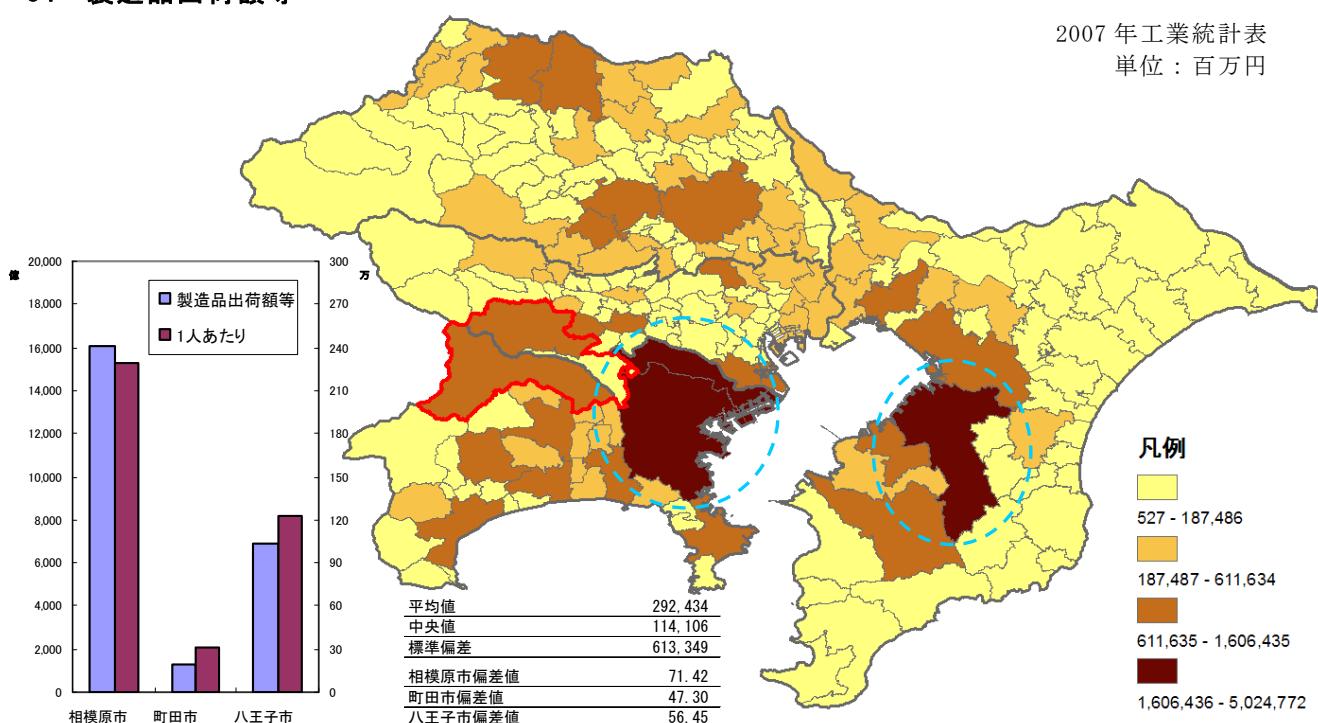
【参考データ：31 第2次産業従業者数】

33 耕地面積



- 埼玉県北部から房総半島にかけて、総面積に対する耕地面積の割合が高い。東京都、神奈川県では総じて耕地面積の割合が低いが、三浦市ののみ突出して割合が高い。(23区はデータなし。)
- 一方、林野面積の大きい地域（秩父市、奥多摩町、相模原市、八王子市等）では耕地面積の割合は低い。
- 3市の比較では、町田市の割合が高いが、いずれも平均値を大きく下回る。

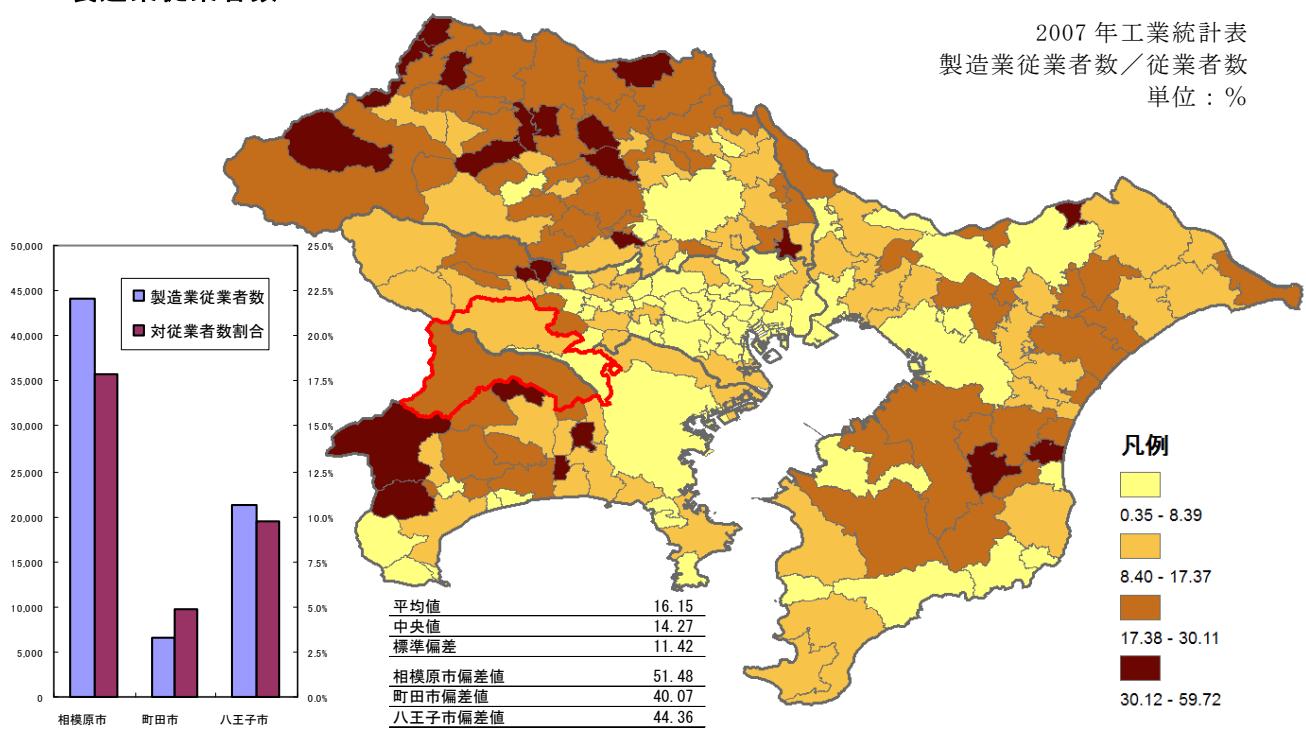
34 製造品出荷額等



- 石油化学ほかの大工場が数多く立地する市原市が製造品出荷額トップで、横浜市、川崎市が続く。1都3県でみると、神奈川県に製造品出荷額の高い自治体が多い。
- 3市では、相模原市が高く、八王子市の約2倍、町田市の約8倍となっている。(人口1人あたり換算)

35 製造業従業者数

2007年工業統計表
製造業従業者数／従業者数
単位：%

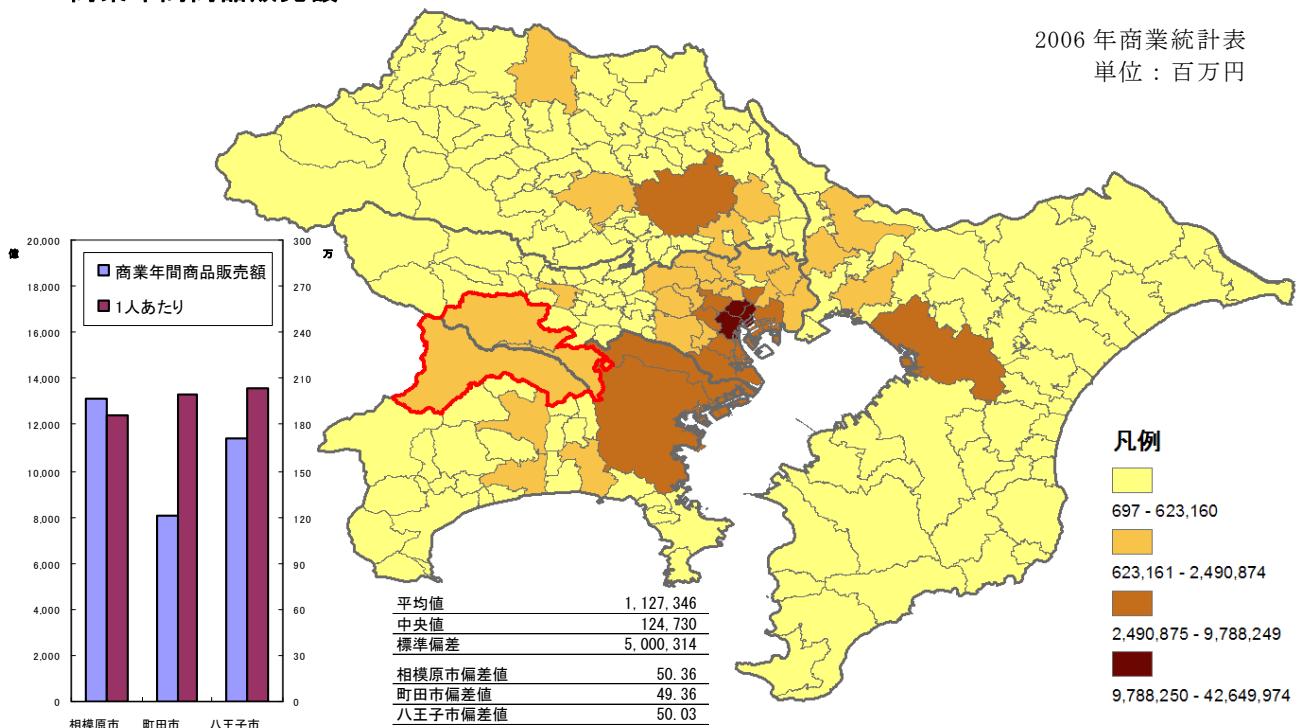


- ・第2次産業従業者の割合の分布とほぼ同様の傾向であるが、鉱業、建設業を除くことで、ゼネコンやハウスメーカーなどの本社が多く立地する都心周辺ではより割合が低くなっている。
- ・3市の比較では、相模原市の割合が高く、町田市、八王子市の割合が低い。

【参考データ：31 第2次産業従業者数】

36 商業年間商品販売額

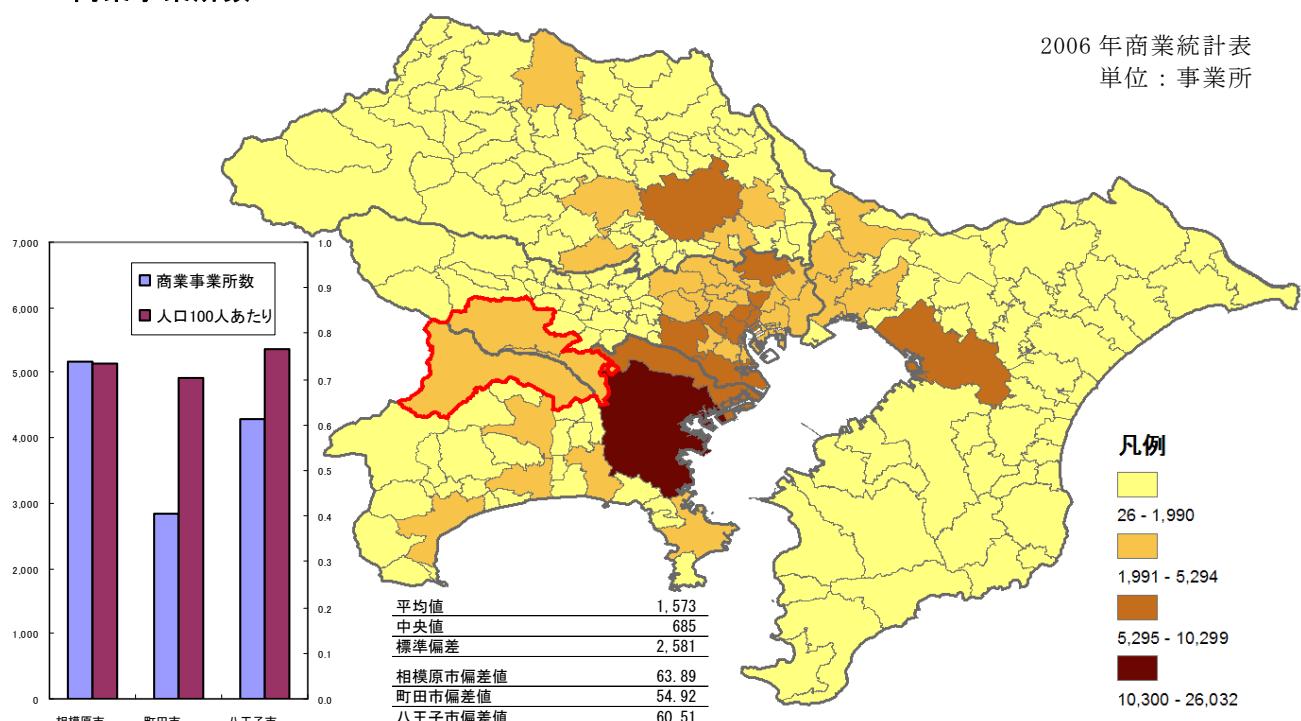
2006年商業統計表
単位：百万円



- ・商社の本社が多く立地する千代田区、中央区、港区が群を抜いて高いほか、横浜市、川崎市、さいたま市、千葉市などの大都市への偏りが大きい。
- ・3市の比較では、大差なく、いずれも平均値に近い。

37 商業事業所数

2006年商業統計表
単位：事業所

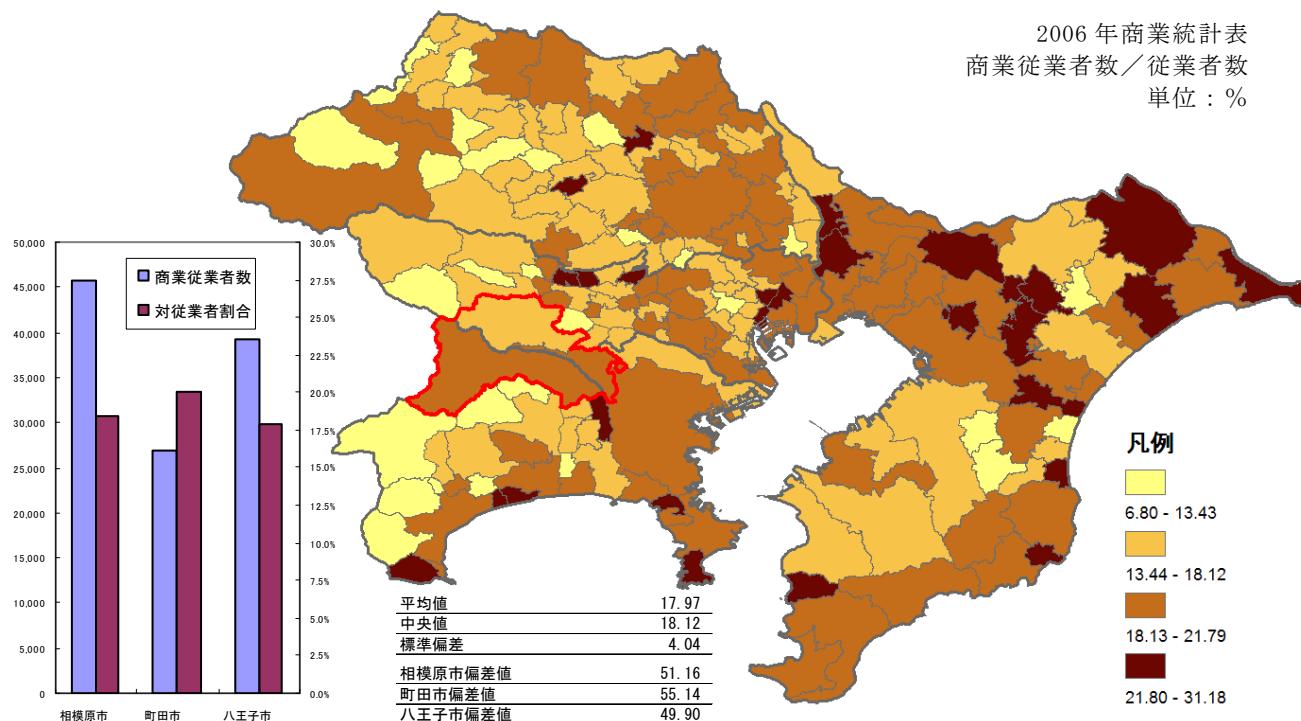


- ・商業年間商品販売額は事業所の規模により偏りが生じるが、事業所数はほぼ昼間人口と同様の分布である。
- ・3市の比較では、相模原市の事業所数が多いが、人口100人あたりに換算すると八王子市の事業所数が多い。

【参考データ：11 昼間人口、36 商業年間商品販売額】

38 商業従業者数

2006年商業統計表
商業従業者数／従業者数
単位：%

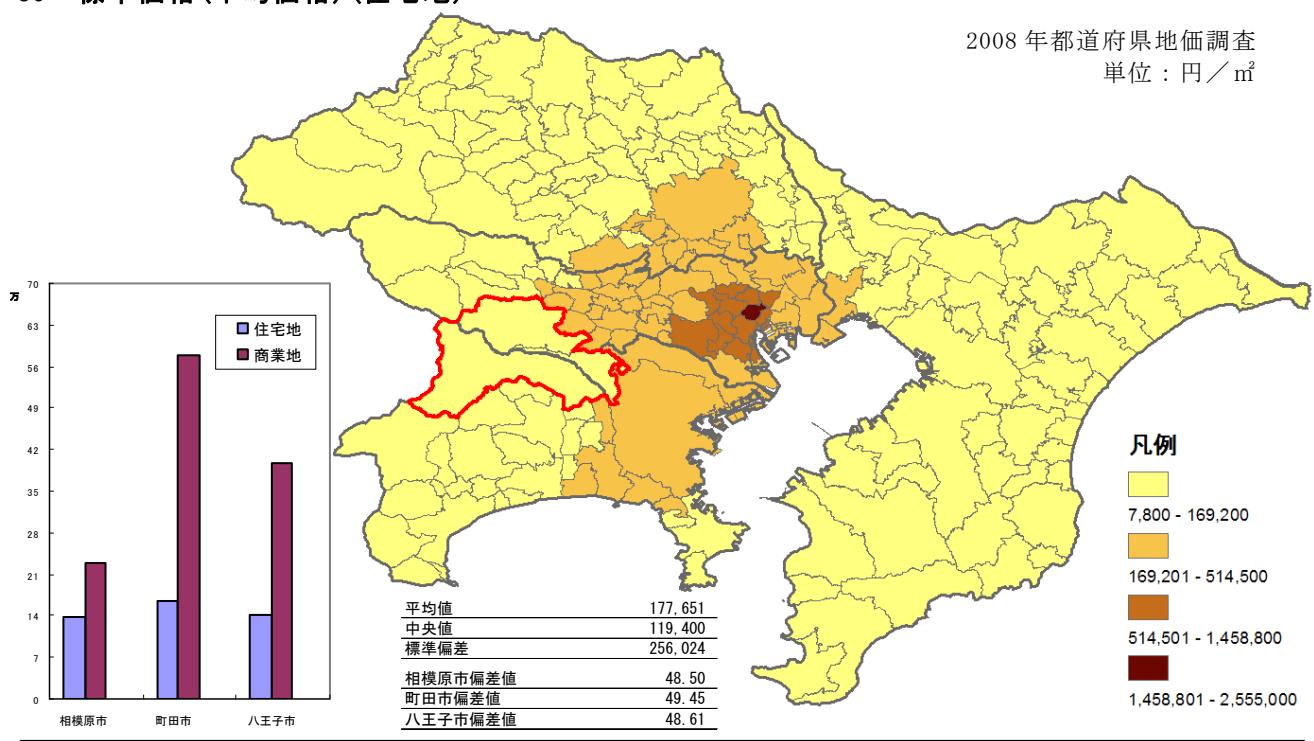


- ・商業事業所は昼間人口に応じて大きな偏りなく存在するため、商業従業者の割合も大きな偏りはない。
- ・3市の比較では、町田市の割合が高く、相模原市、八王子市は平均値に近い。

【参考データ：11 昼間人口、37 商業事業所数】

39 標準価格(平均価格)(住宅地)

2008年都道府県地価調査
単位：円／m²

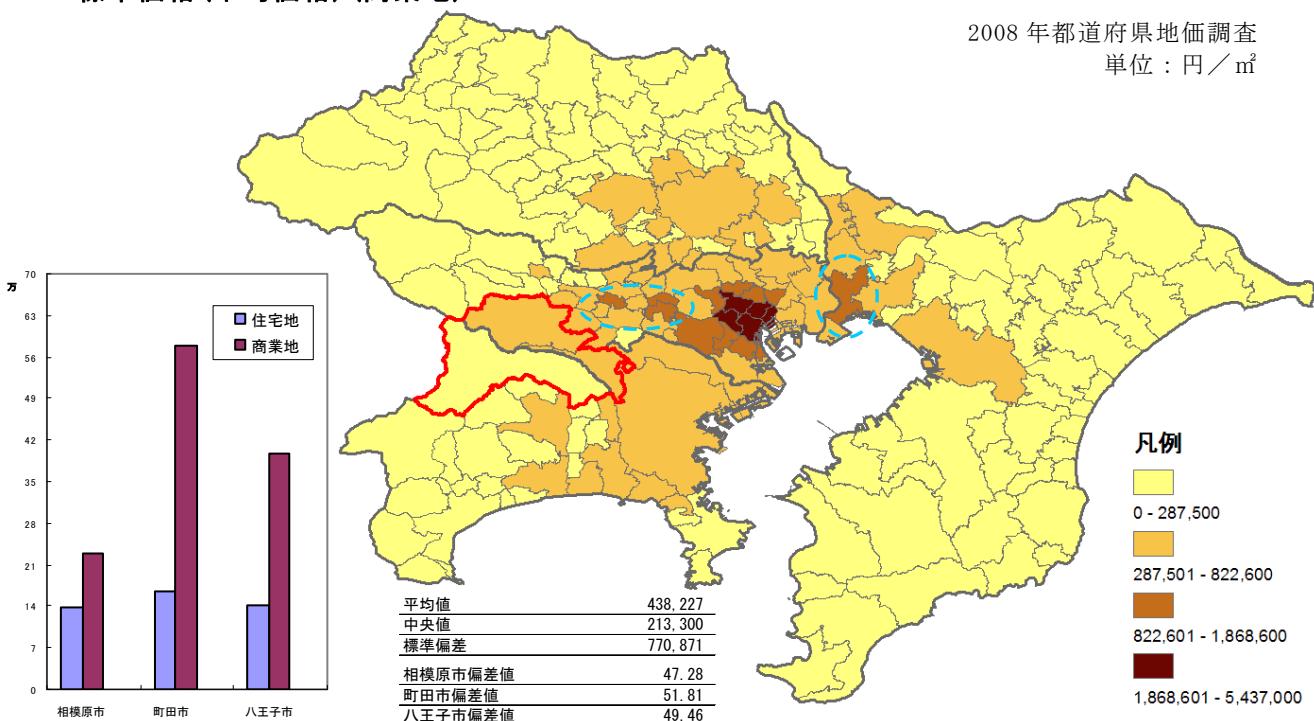


- ・都心に近いほど価格が高い。平均値に対して中央値が低く、価格の高い都心とそれ以外の地域での格差が大きいことがわかる。
- ・3市の比較では、大差なく、いずれも平均値をやや下回る。

【参考データ：24 可住地人口密度】

40 標準価格(平均価格)(商業地)

2008年都道府県地価調査
単位：円／m²

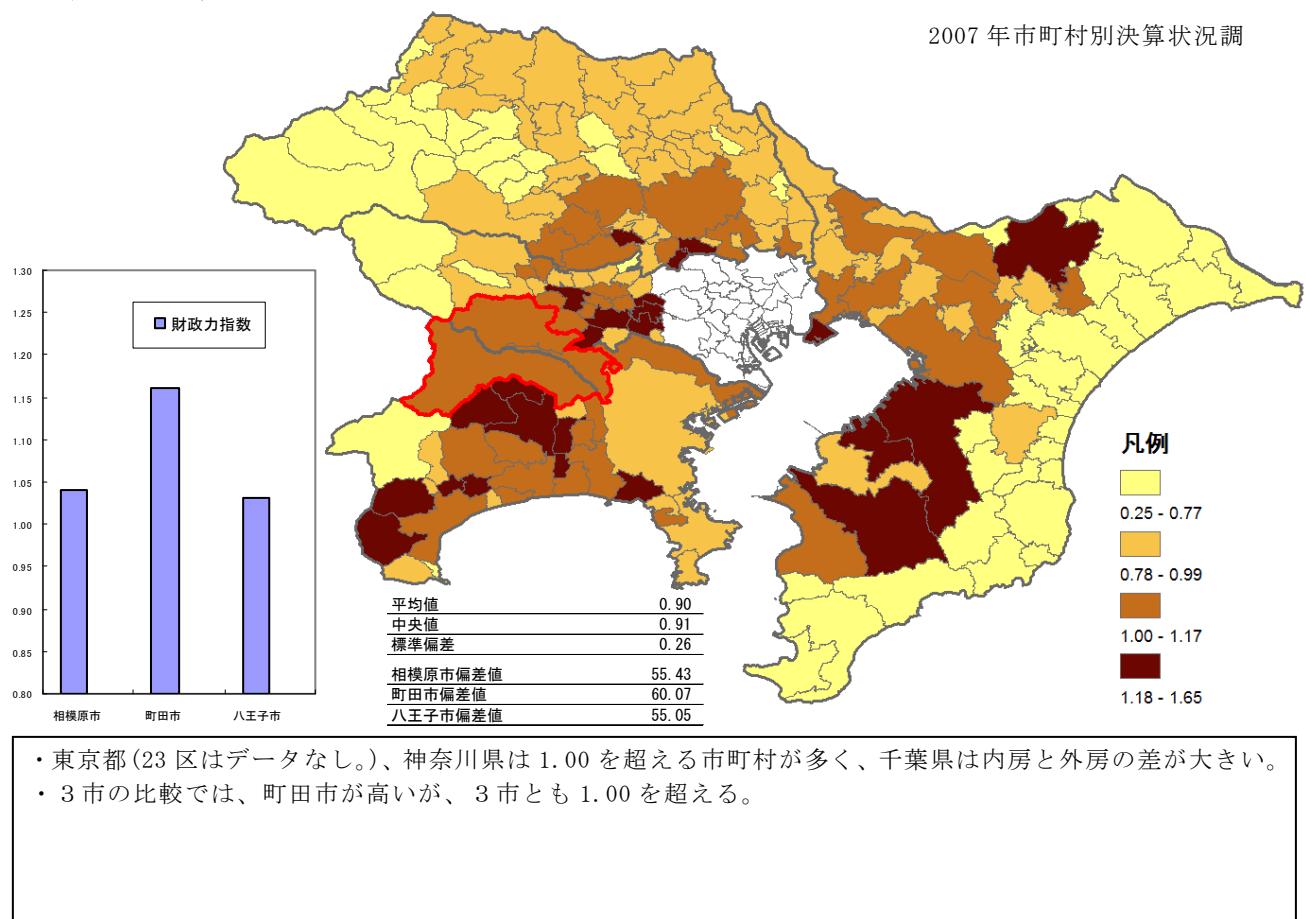


- ・都心が高い点は住宅地と共通だが、横浜市、さいたま市、千葉市などの拠点性の高い地域のほか、三鷹市、武蔵野市、国分寺市、市川市などへも価格の高いエリアが分散している。
- ・3市の比較では、町田市が高く、相模原市が低い。

【参考データ：39 標準価格(平均価格)(住宅地)】

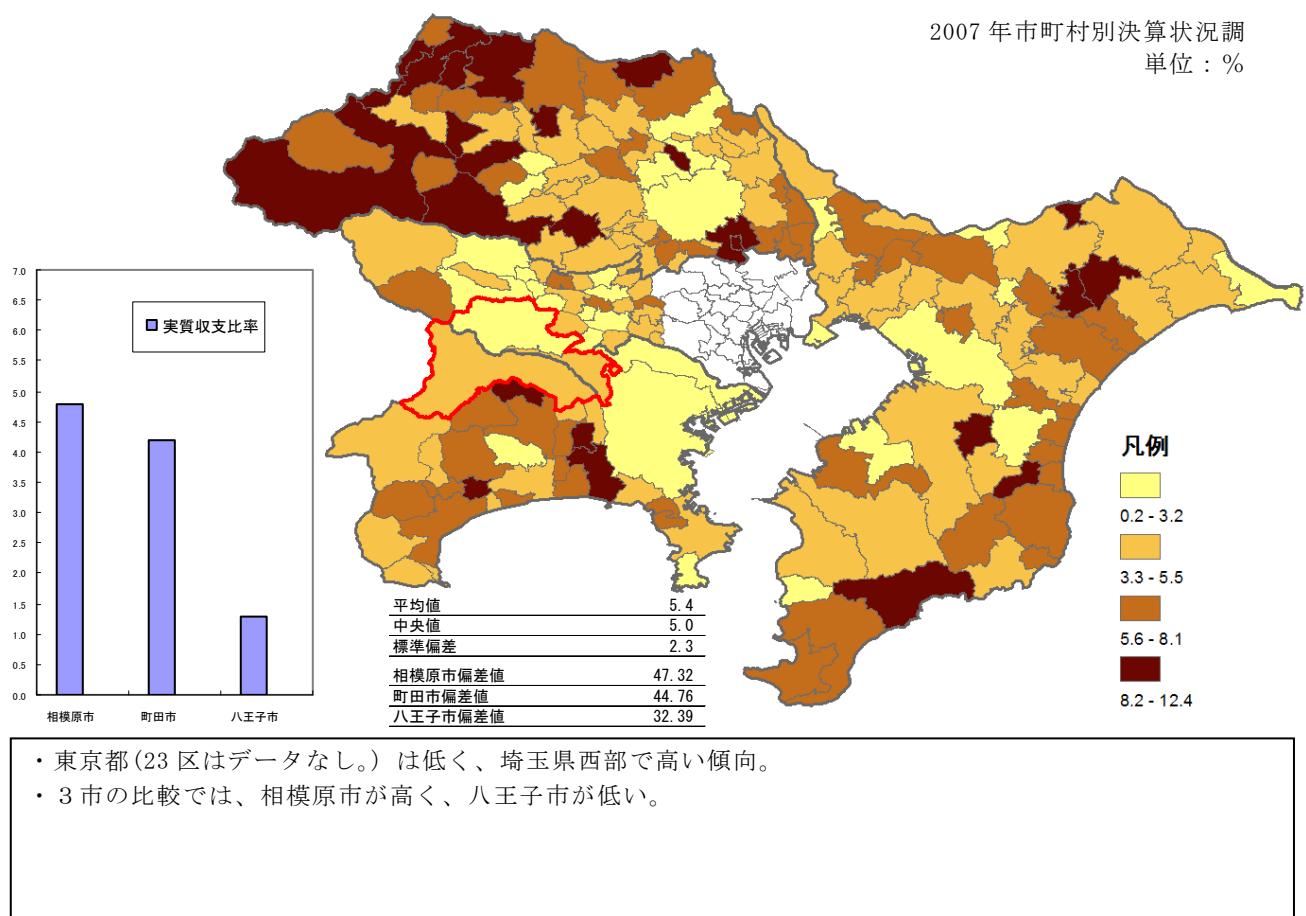
41 財政力指數

2007 年市町村別決算状況調



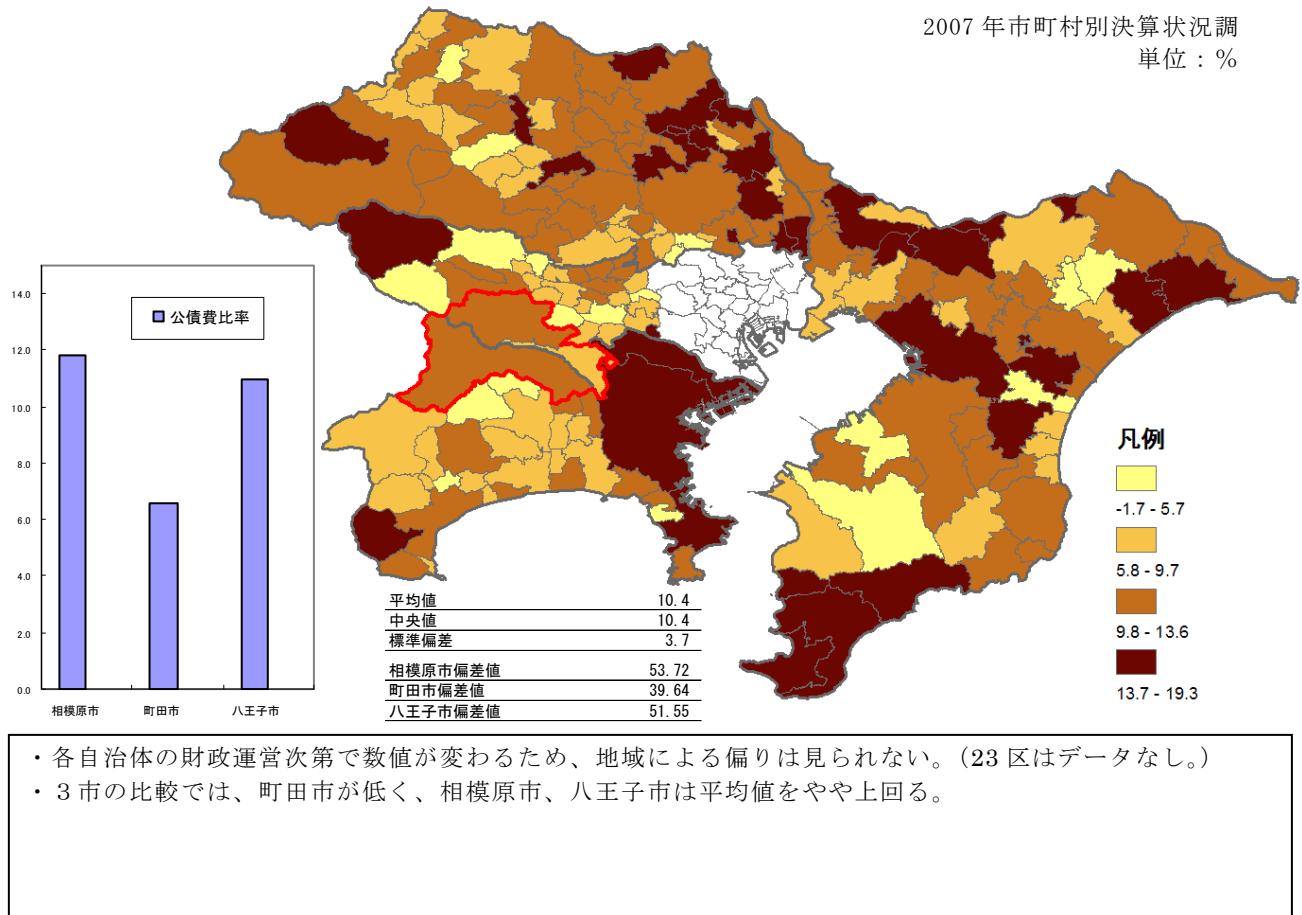
42 実質収支比率

2007 年市町村別決算状況調
単位 : %



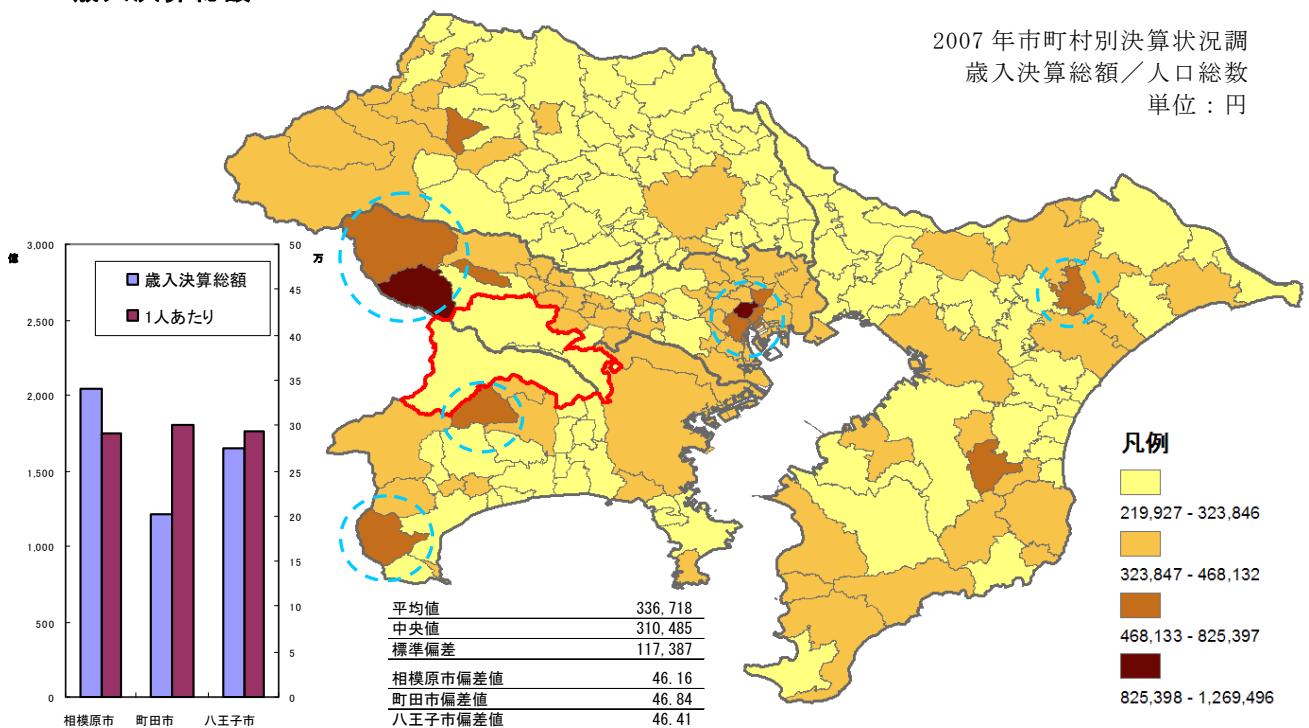
43 公債費比率

2007 年市町村別決算状況調
単位 : %



44 歳入決算総額

2007 年市町村別決算状況調
歳入決算総額／人口総数
単位 : 円

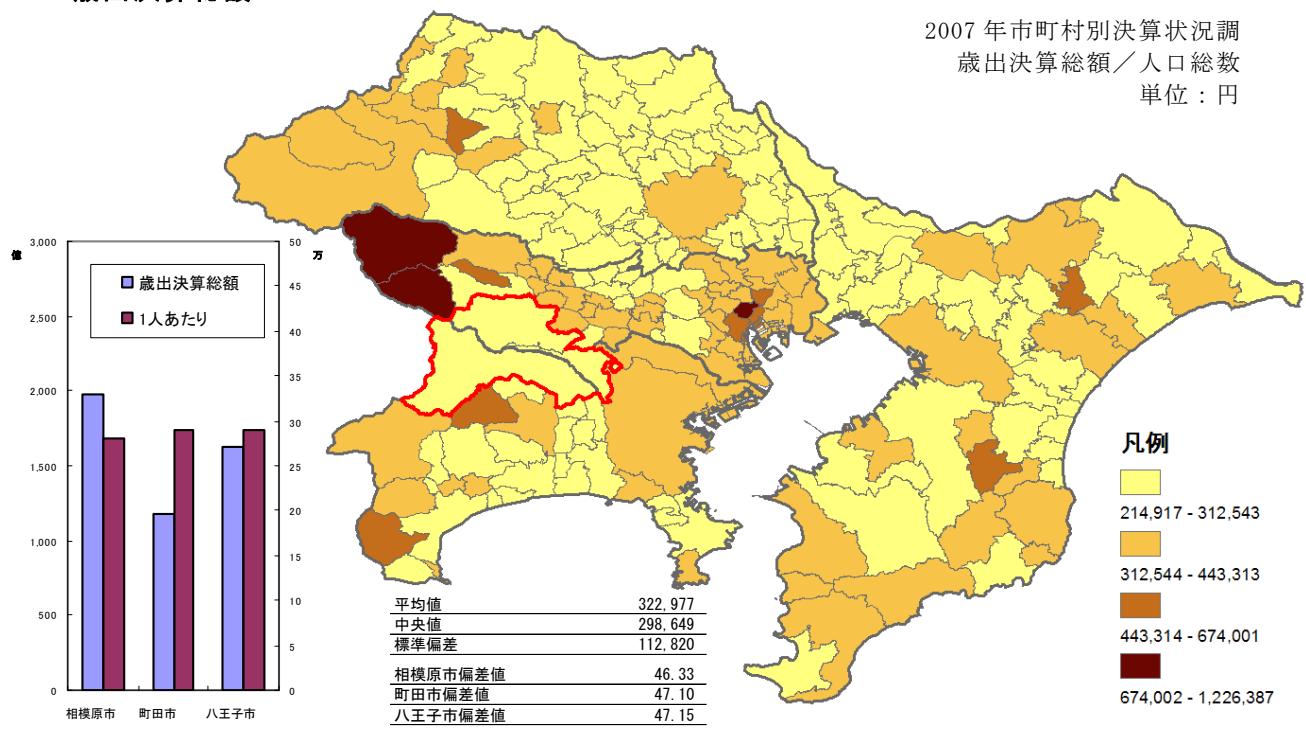


- 住民 1 人あたりの額で見ると、昼間人口の多い市区町村の額が高い。
(千代田区、中央区、港区、台東区、箱根町、芝山町等)
- 人口が少ない市町村では住民 1 人あたりの交付金等の額が多く、額が高い。(奥多摩町、檜原村、清川村等)
- 3 市の比較では、大差なく、いずれも平均値を下回る。

【参考データ : 11 昼間人口】

45 歳出決算総額

2007 年市町村別決算状況調
歳出決算総額／人口総数
単位：円

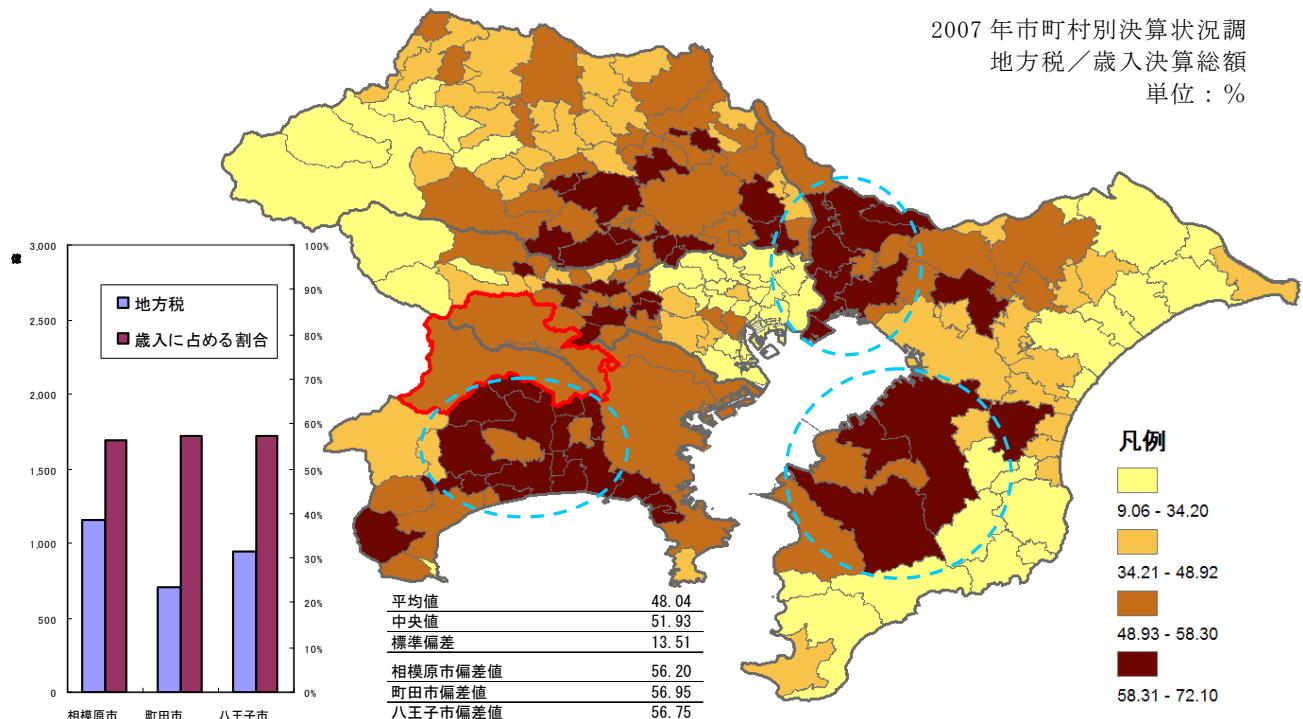


- 当然ながら、歳入決算総額と同様の傾向である。

【参考データ：42 実質収支比率、44 歳入決算総額】

46 地方税

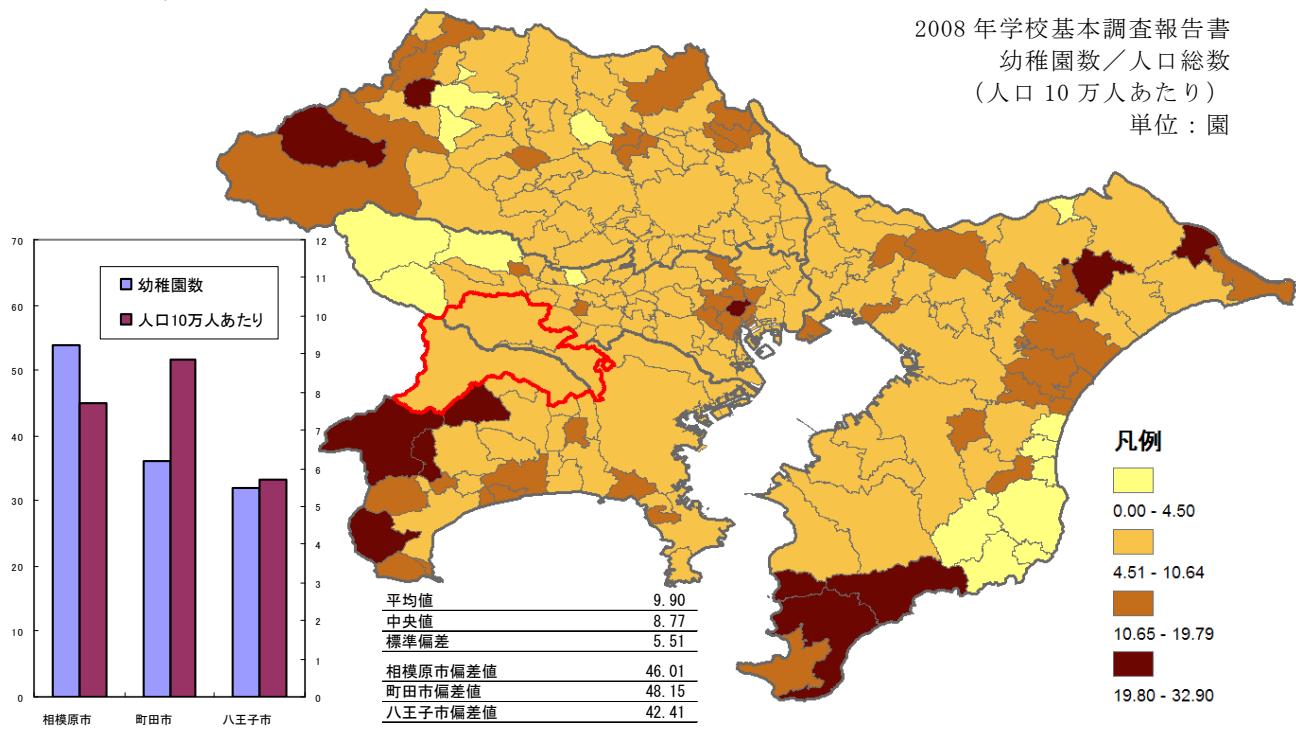
2007 年市町村別決算状況調
地方税／歳入決算総額
単位：%



- 23 区は、市町村民税法人分・固定資産税・特別土地保有税の 3 税を特別区交付金として扱うため、地方税の割合が低く算出される。
- 神奈川県の県央地区・湘南地区、千葉県西部、京葉工業地帯などの地域で割合が高い。
- 3 市の比較では、大差なく、いずれも平均値を上回る。

47 幼稚園数

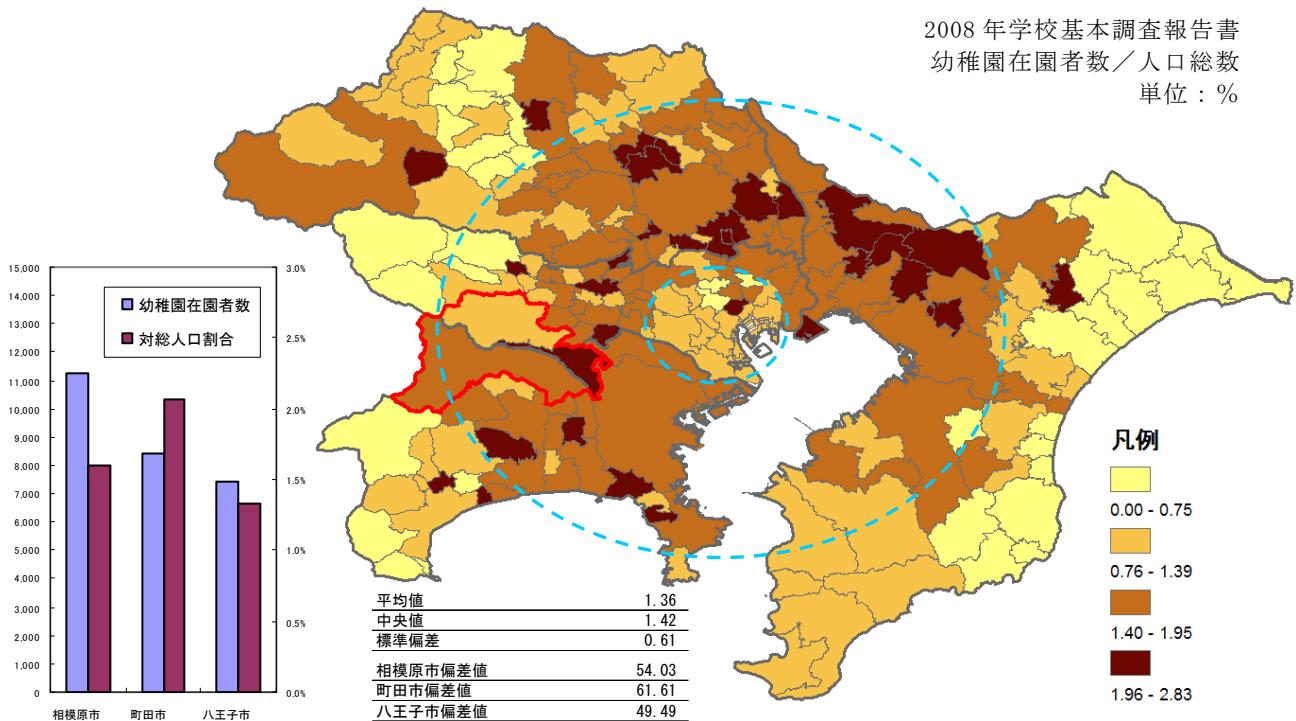
2008 年学校基本調査報告書
幼稚園数／人口総数
(人口 10 万人あたり)
単位：園



- 幼稚園は、都心の一部や人口密度の低い地域などを除き、分布に大きな偏りは見られない。
- 3市の比較では、八王子市が少ないが、いずれも平均値を下回る。

48 幼稚園在園者数

2008 年学校基本調査報告書
幼稚園在園者数／人口総数
単位：%

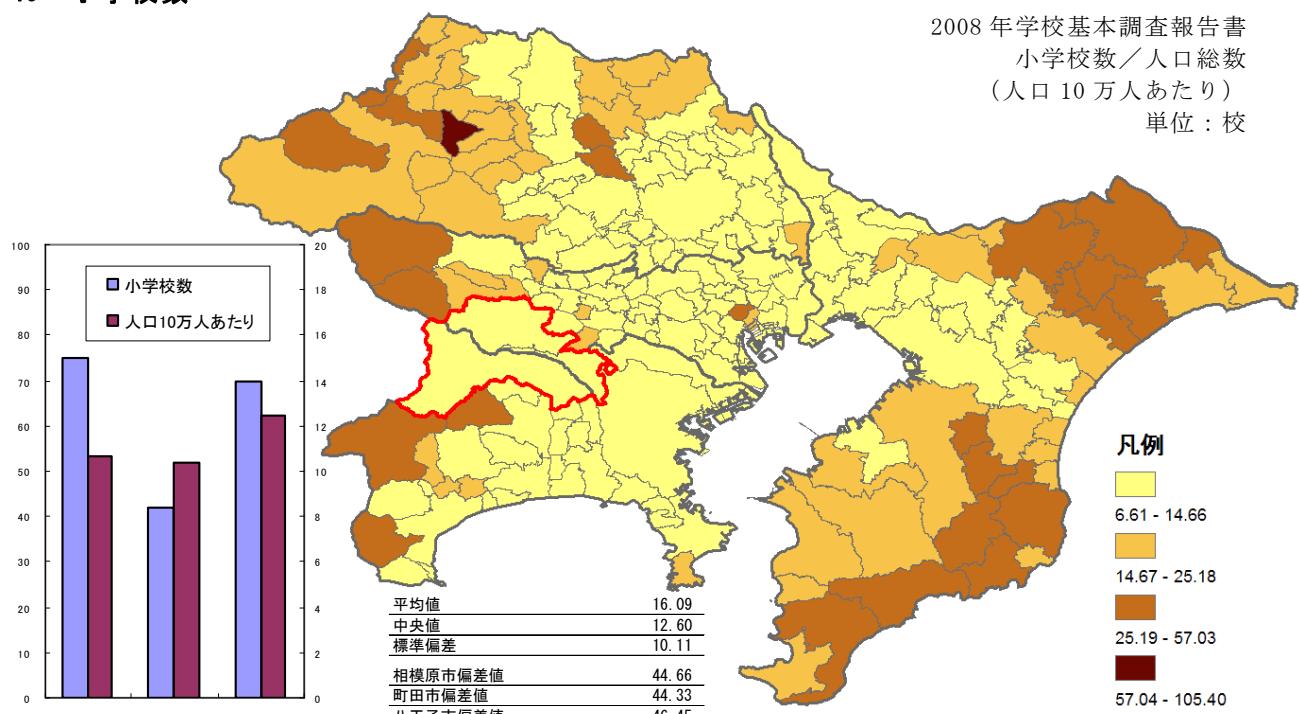


- 雇用者の割合が高い地域＝都心への通勤圏として高度経済成長期に人口が急増した地域では、幼稚園在園者の割合が高く、23 区では割合がやや低い。
- 3市の比較では、町田市の割合が高く、相模原市も平均値を上回る一方、八王子市が低く、平均値を下回る。

【参考データ：63 雇用者数、89 保育所在所児数】

49 小学校数

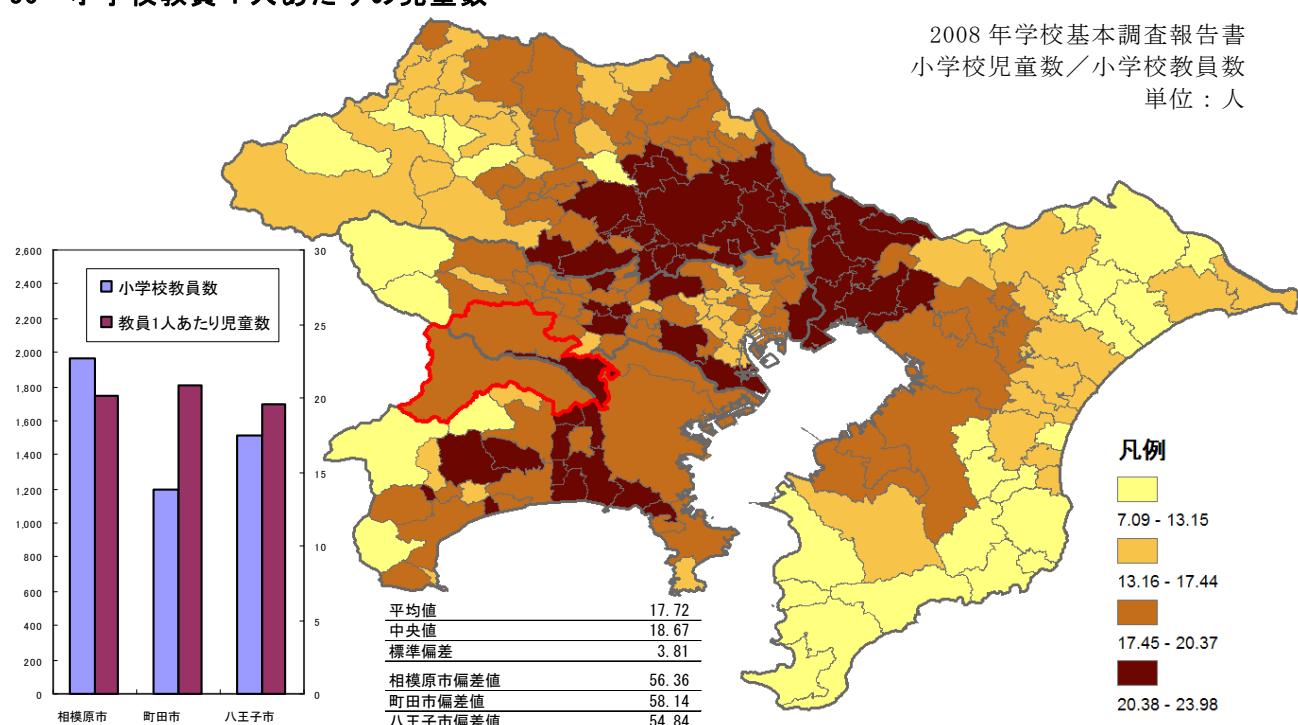
2008 年学校基本調査報告書
小学校数／人口総数
(人口 10 万人あたり)
単位：校



- ・小学校は、都心の一部や人口密度の低い地域などを除き、分布に大きな偏りは見られない。
- ・3市の比較では、八王子市が多いが、いずれも平均値を下回る。

50 小学校教員 1 人あたりの児童数

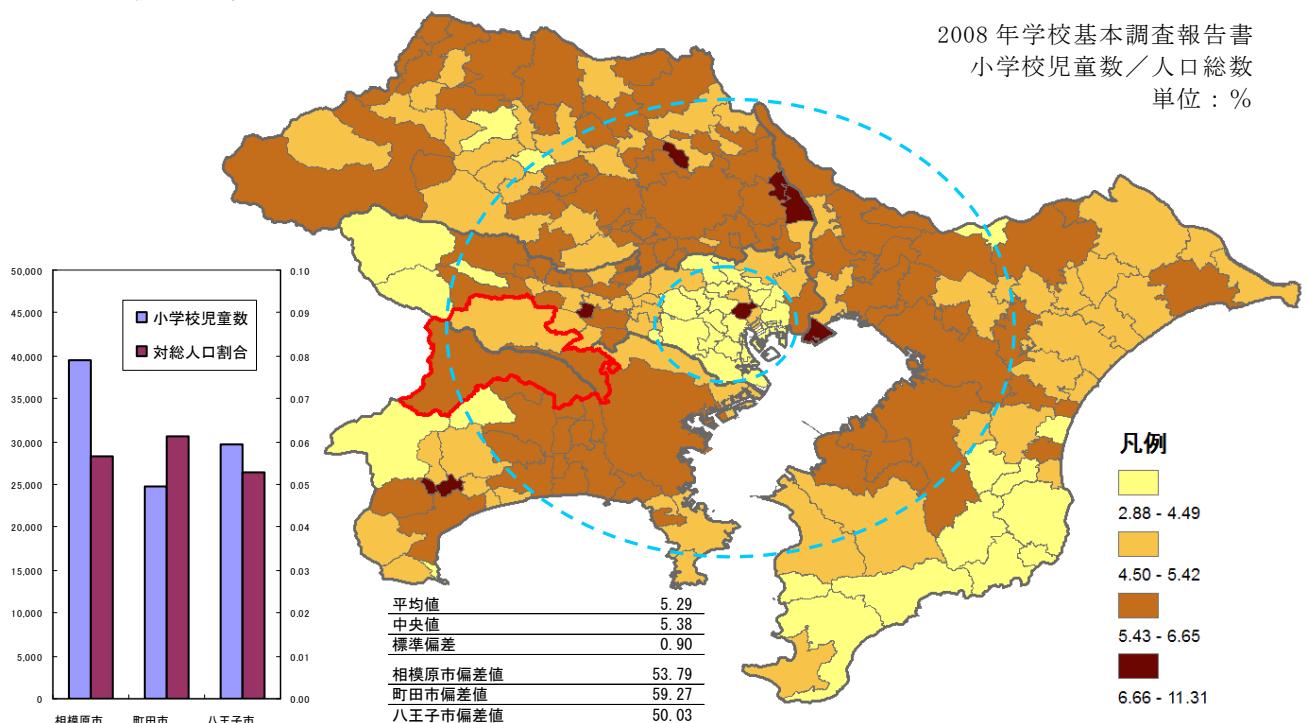
2008 年学校基本調査報告書
小学校児童数／小学校教員数
単位：人



- ・小学校教員 1 人あたりの児童数は、多い地域と少ない地域で 3 倍以上の差がある。
- ・3市の比較では、町田市がやや多いが、いずれも平均値を上回る。

51 小学校児童数

2008年学校基本調査報告書
小学校児童数／人口総数
単位：%

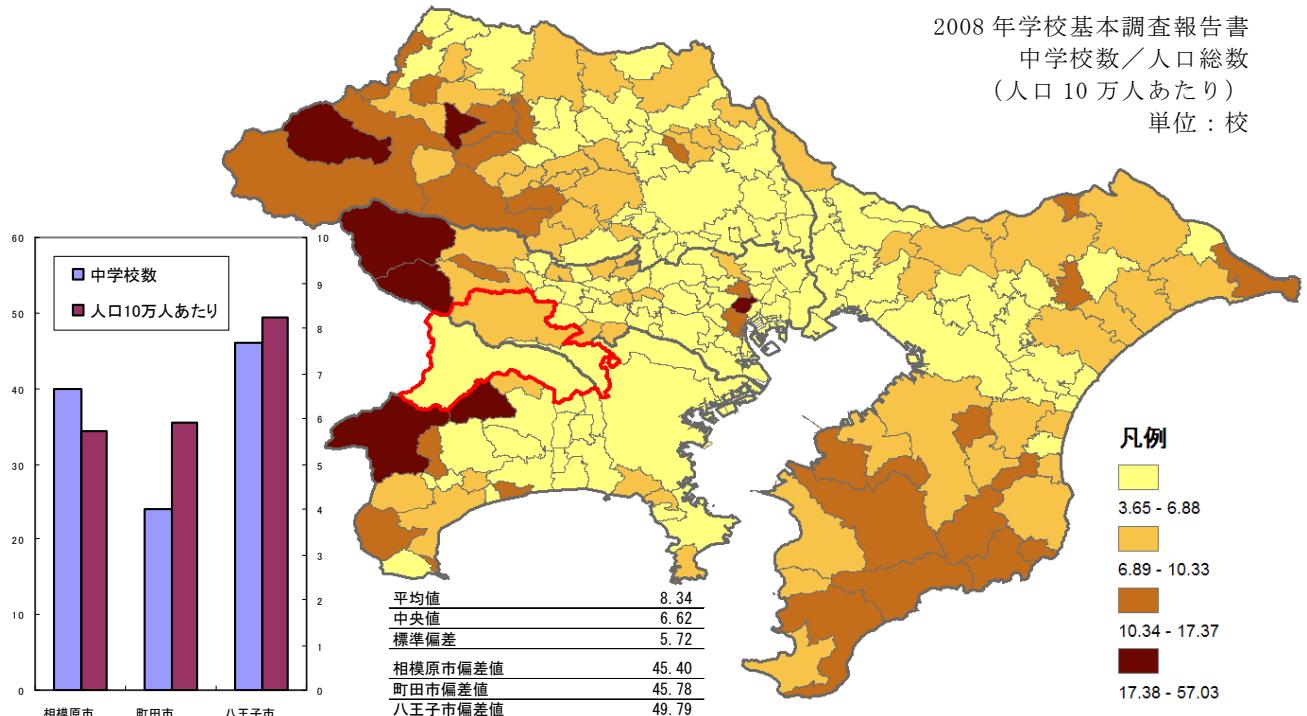


- 雇用者の割合が高い地域＝都心への通勤圏として高度経済成長期に人口が急増した地域では、小学校児童数の割合が高い傾向は幼稚園在園者数の分布と同様であるが、23区の割合の低さがより鮮明となり、割合の低いエリアも拡大している。
- 3市の比較では、町田市の割合が高く、八王子市が低いが、いずれも平均値を上回る。

【参考データ：48 幼稚園在園者数、63 雇用者数】

52 中学校数

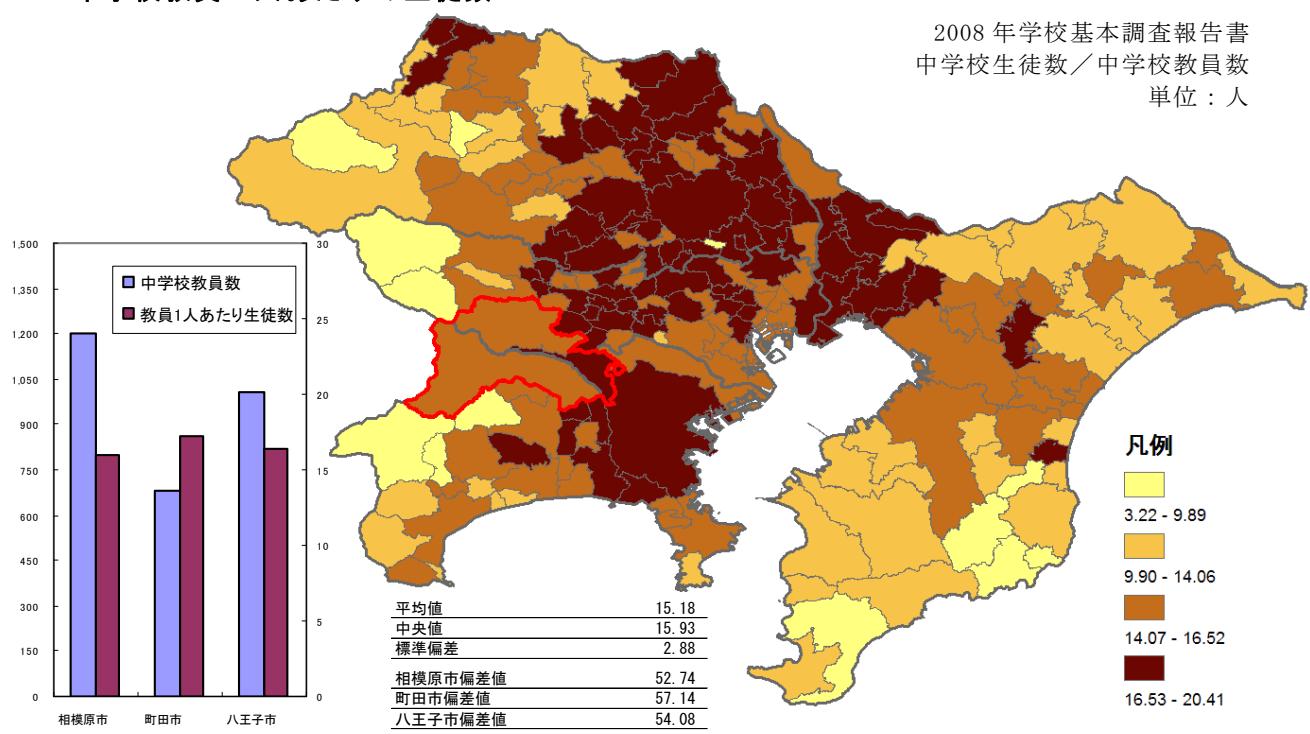
2008年学校基本調査報告書
中学校数／人口総数
(人口 10万人あたり)
単位：校



- 中学校は、都心の一部や人口密度の低い地域などを除き、分布に大きな偏りは見られない。
- 3市の比較では、八王子市が多いが、いずれも平均値を下回る。

53 中学校教員 1 人あたりの生徒数

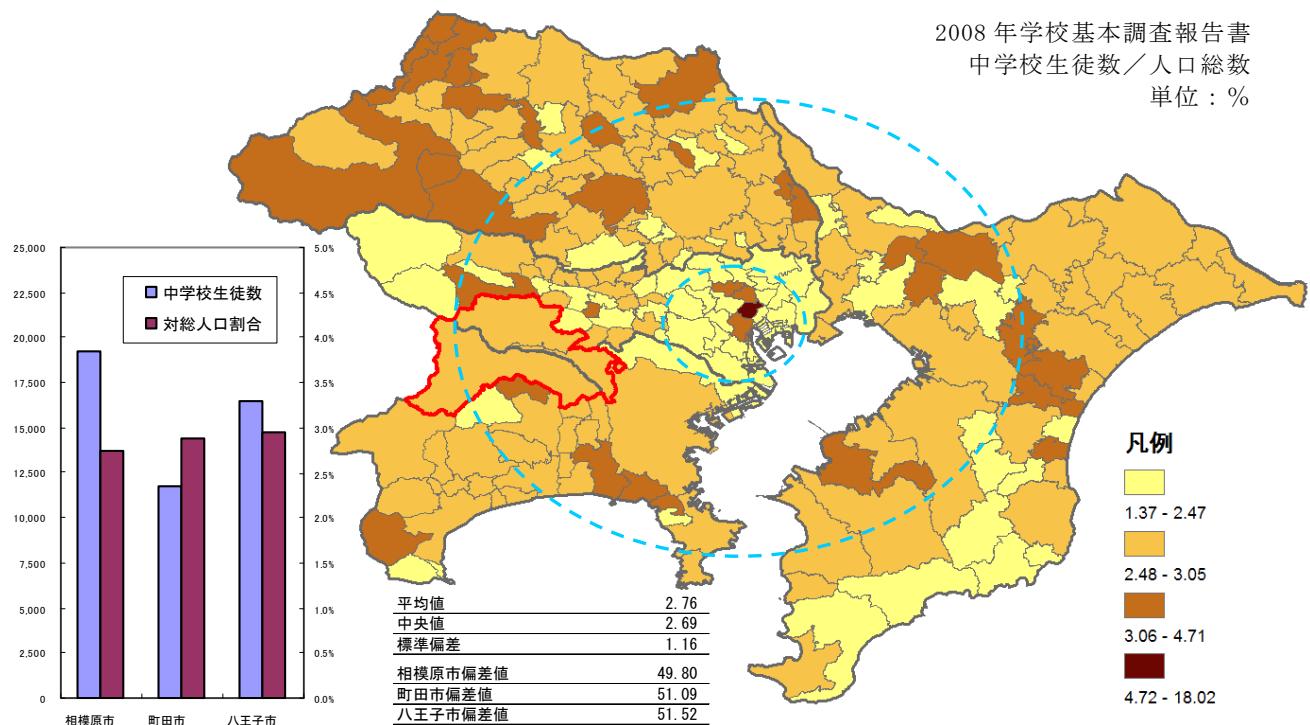
2008 年学校基本調査報告書
中学校生徒数／中学校教員数
単位：人



- ・中学校教員 1 人あたりの生徒数は、多い地域と少ない地域で 6 倍以上の差があるが、特に人口密度の低い地域以外では、大きな偏りはない。
- ・3 市の比較では、町田市が多いが、いずれも平均値を上回る。

54 中学校生徒数

2008 年学校基本調査報告書
中学校生徒数／人口総数
単位：%

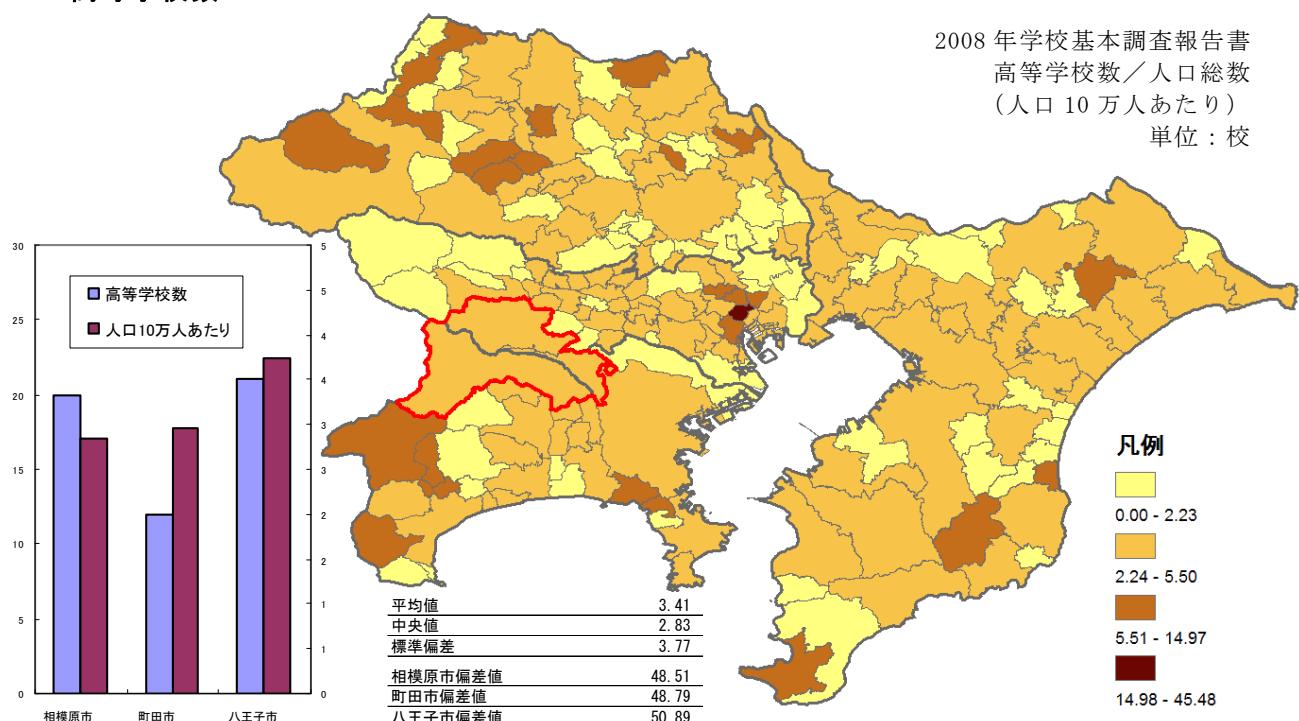


- ・小学校児童数に比べ、割合の低いエリアが拡大している。一方、都心の通勤圏の外との差は見られなくなっている。
- ・3 市の比較では、相模原市の割合が低く、平均値を下回る一方、町田市、八王子市は平均値を上回る。

【参考データ：48 幼稚園在園者数、51 小学校児童数】

55 高等学校数

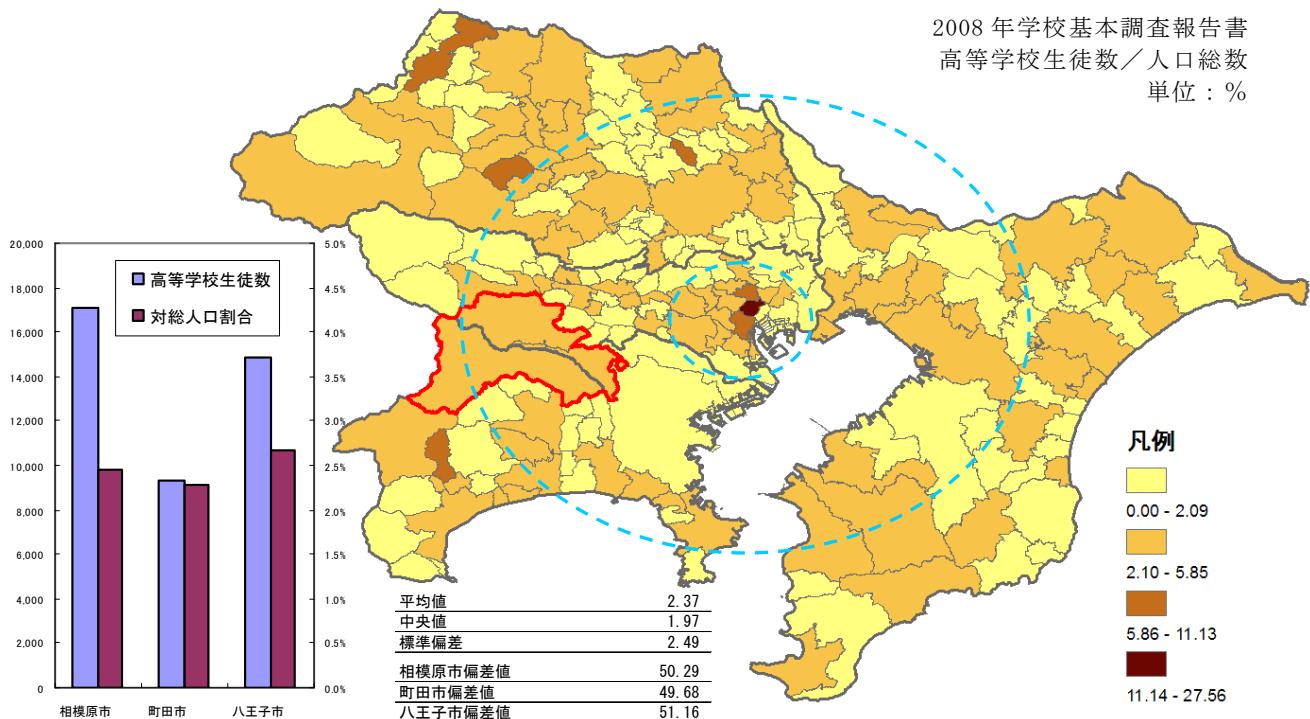
2008 年学校基本調査報告書
高等学校数／人口総数
(人口 10 万人あたり)
単位：校



- ・高等学校は都心に偏る傾向である。
- ・3市の比較では、八王子市が多く、平均値を上回る一方、相模原市、町田市は平均値を下回る。

56 高等学校生徒数

2008 年学校基本調査報告書
高等学校生徒数／人口総数
単位：%

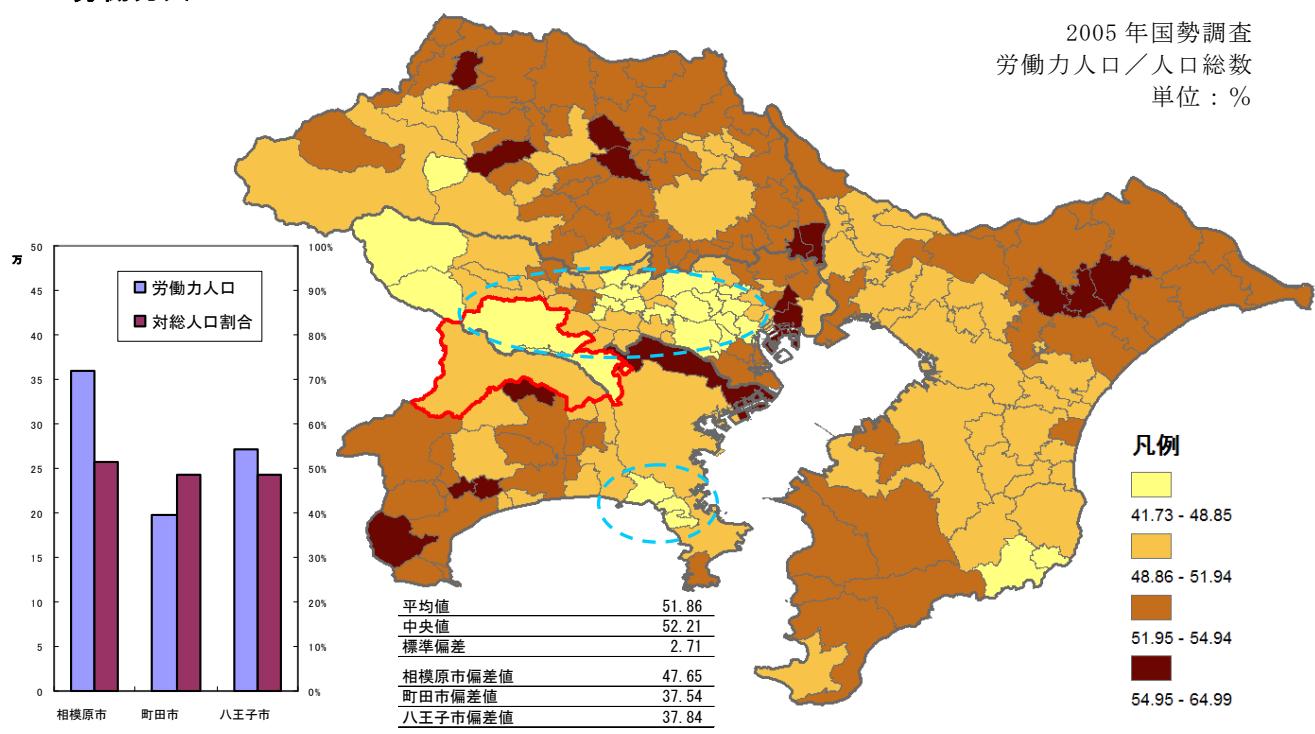


- ・幼稚園在園者数、小学校児童数、中学校生徒数に見られた都心周辺の割合の低さはなくなり、逆に割合の高いエリアとなっている。その他の地域では、分布に大きな偏りはない。
- ・3市の比較では、八王子市の割合がやや高く、平均値を上回る一方、相模原市はほぼ平均値、町田市は平均値をやや下回る。

【参考データ：48 幼稚園在園者数、51 小学校児童数、54 中学校生徒数】

57 労働力人口

2005 年国勢調査
労働力人口／人口総数
単位 : %

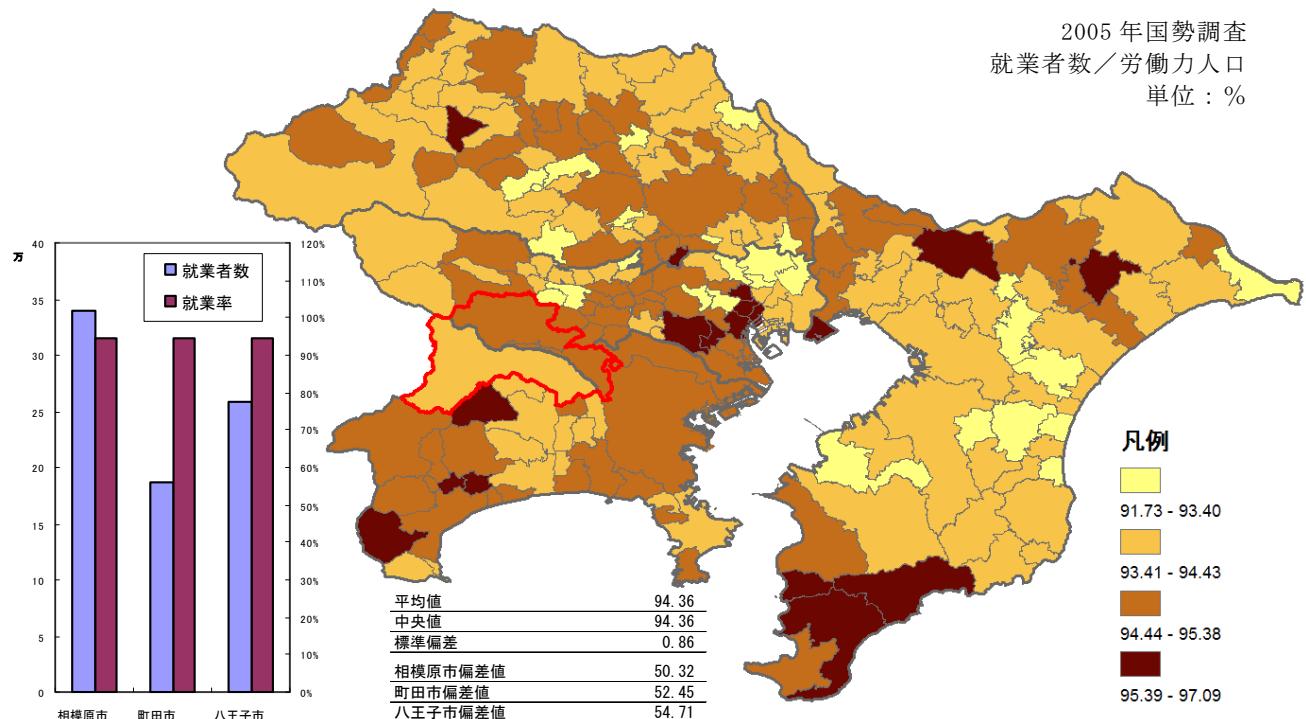


- 東京都では、労働力人口の割合が低い。鎌倉市、逗子市、葉山町も同様の傾向がある。
- 外房では老人人口が多いにも関わらず、労働力人口の割合に目立った低下は見られない。
- 3市の比較では、相模原市の割合が高いが、いずれも平均値を下回る。

【参考データ : 4 65 歳以上人口、17 単独世帯数、25 課税対象所得】

58 就業者数

2005 年国勢調査
就業者数／労働力人口
単位 : %

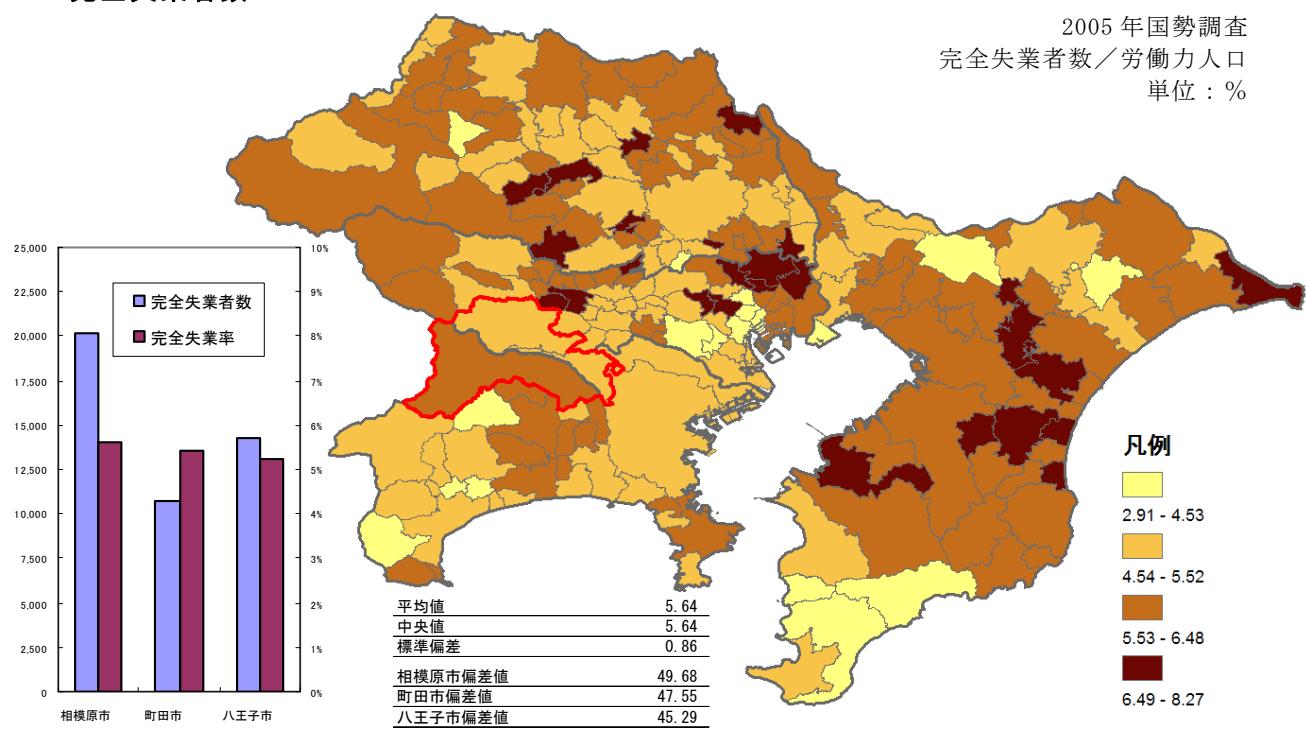


- 就業率はまだら模様であり地域による目立った偏りは見られず、完全失業率と表裏一体の関係である。
- 3市の比較では、八王子市がやや高いが、いずれも平均値を上回る。

【参考データ : 59 完全失業者数】

59 完全失業者数

2005年国勢調査
完全失業者数／労働力人口
単位：%

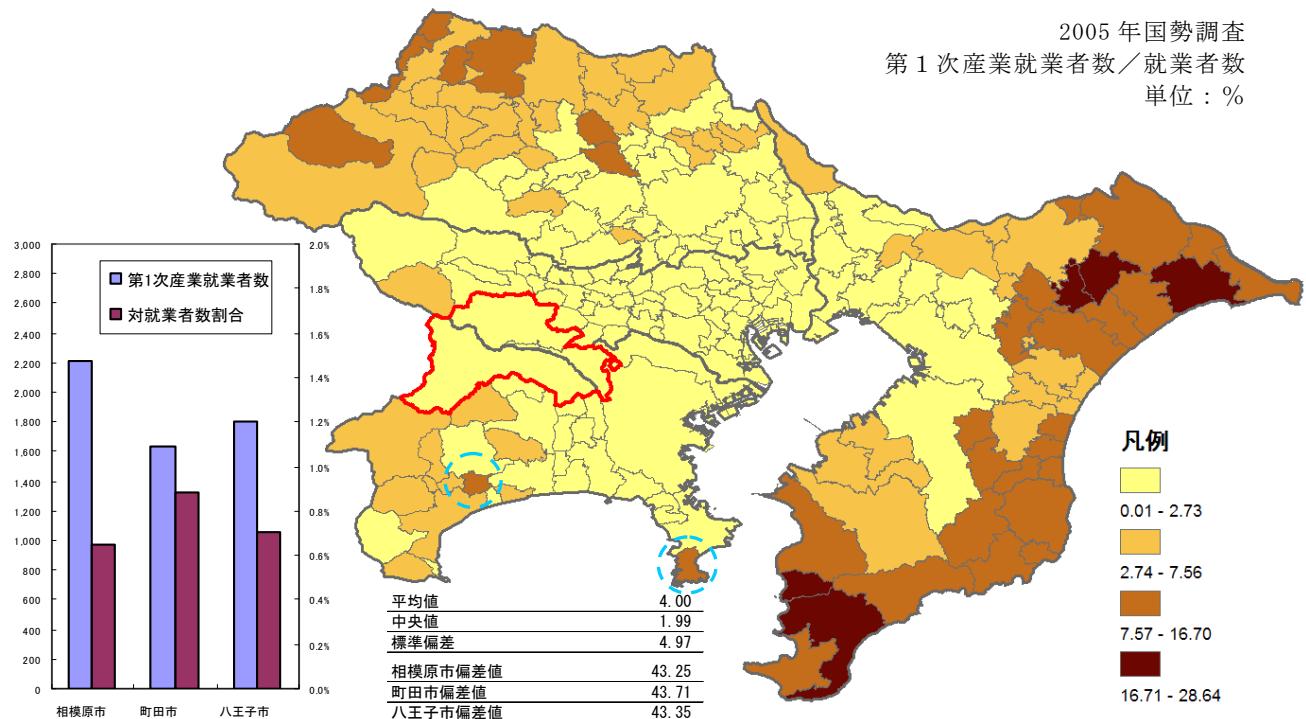


- 完全失業率は、まだら模様であり地域による目立った偏りは見られず、就業者数と表裏一体の関係である。
- 3市の比較では、相模原市がやや高いが、いずれも平均値を下回る。

【参考データ：58 就業者数】

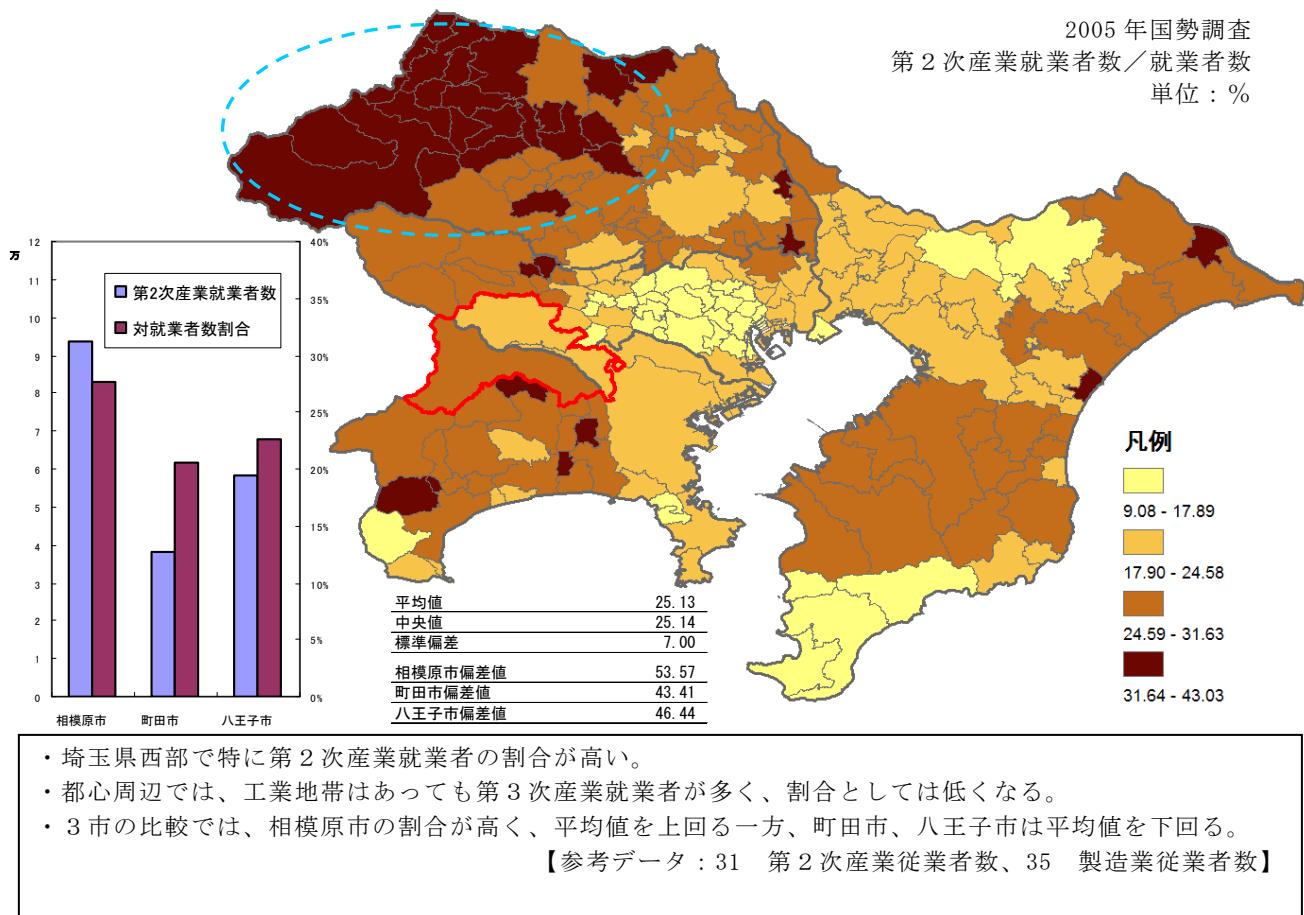
60 第1次産業就業者数

2005年国勢調査
第1次産業就業者数／就業者数
単位：%

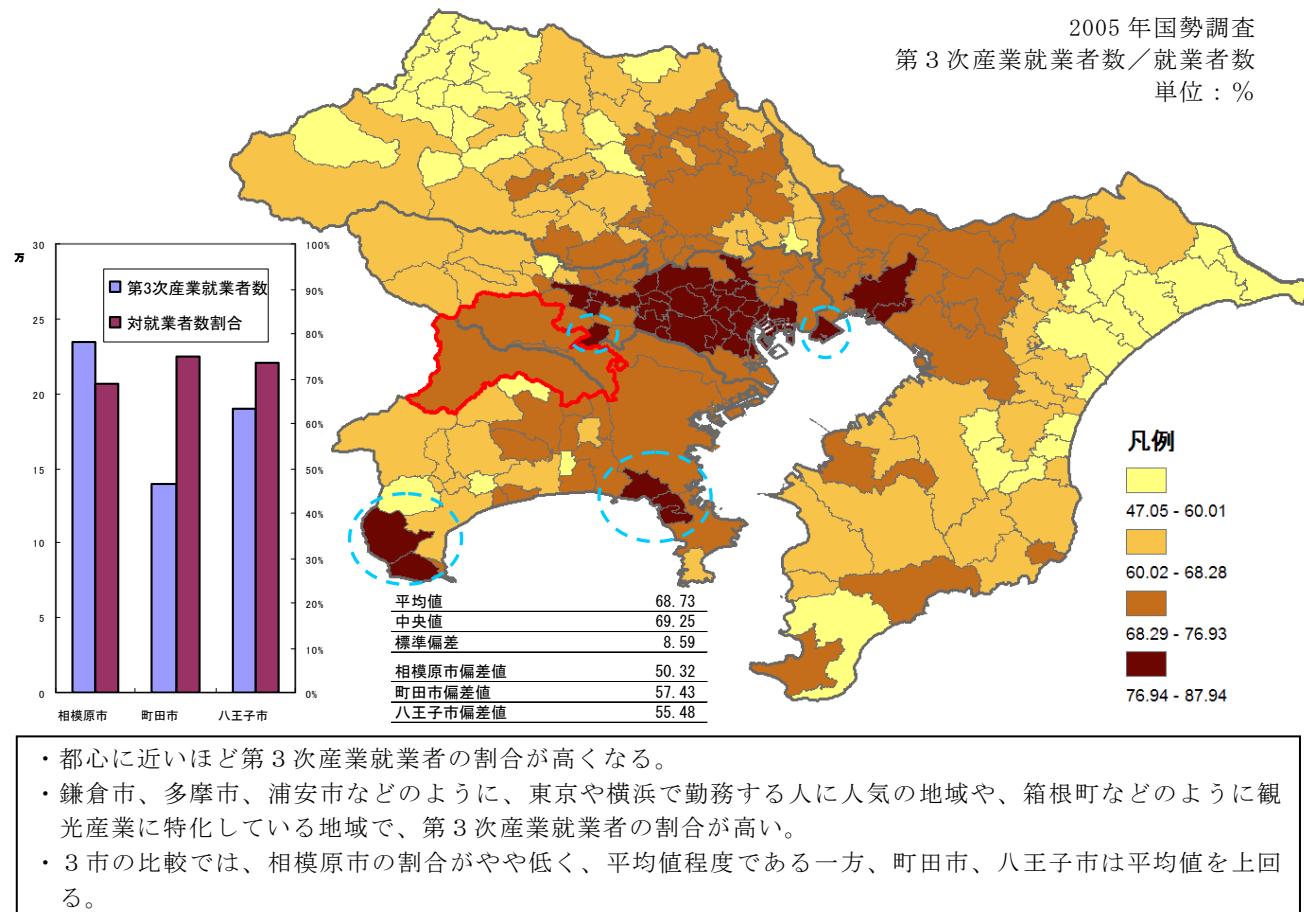


- 埼玉県北部と房総半島以外の地域では、第1次産業就業者の割合はきわめて低い。
- 神奈川県では、三浦市と中井町で割合が高い。
- 3市の比較では、大差なく、いずれも平均値を下回り、1%未満である。

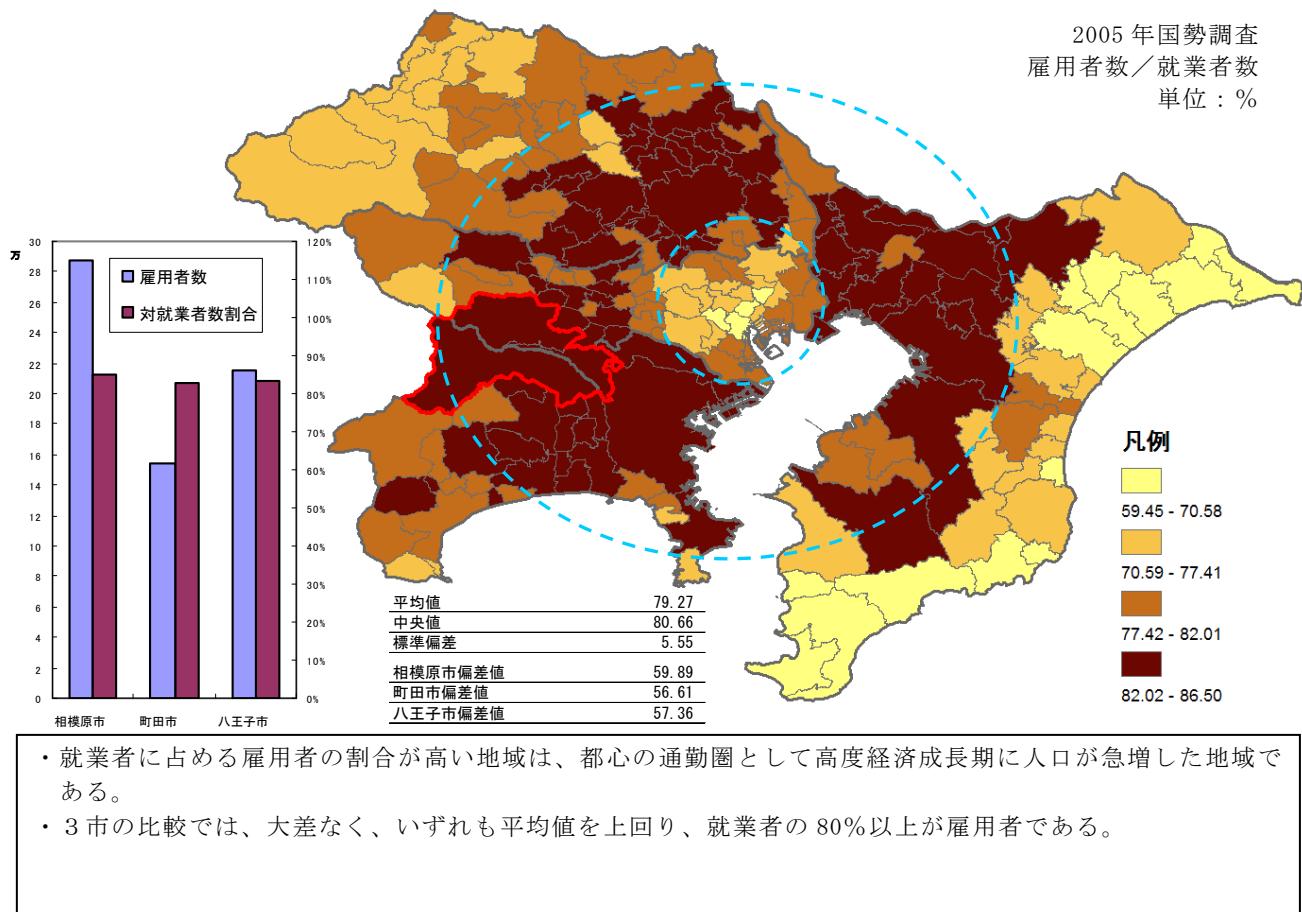
61 第2次産業就業者数



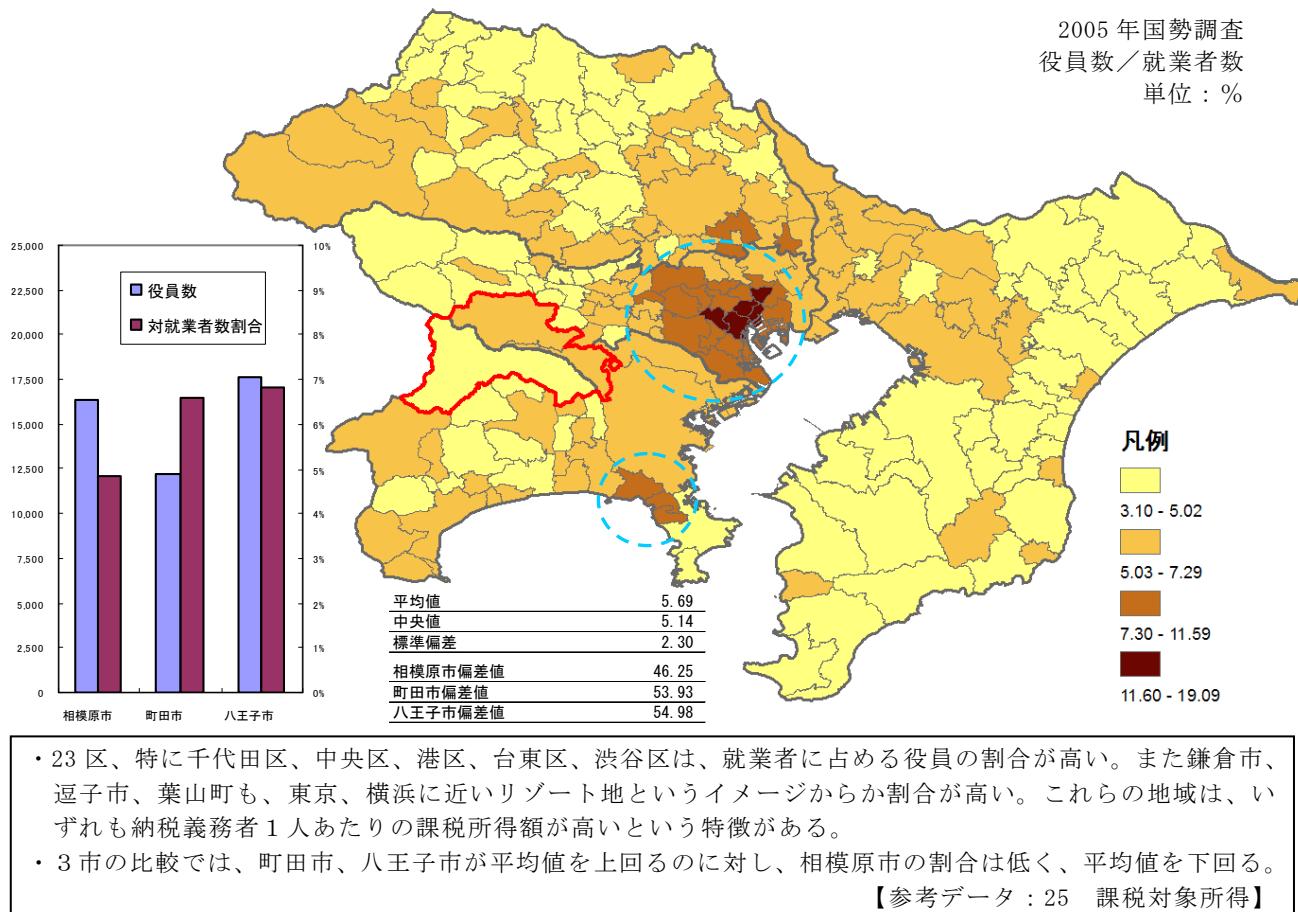
62 第3次産業就業者数



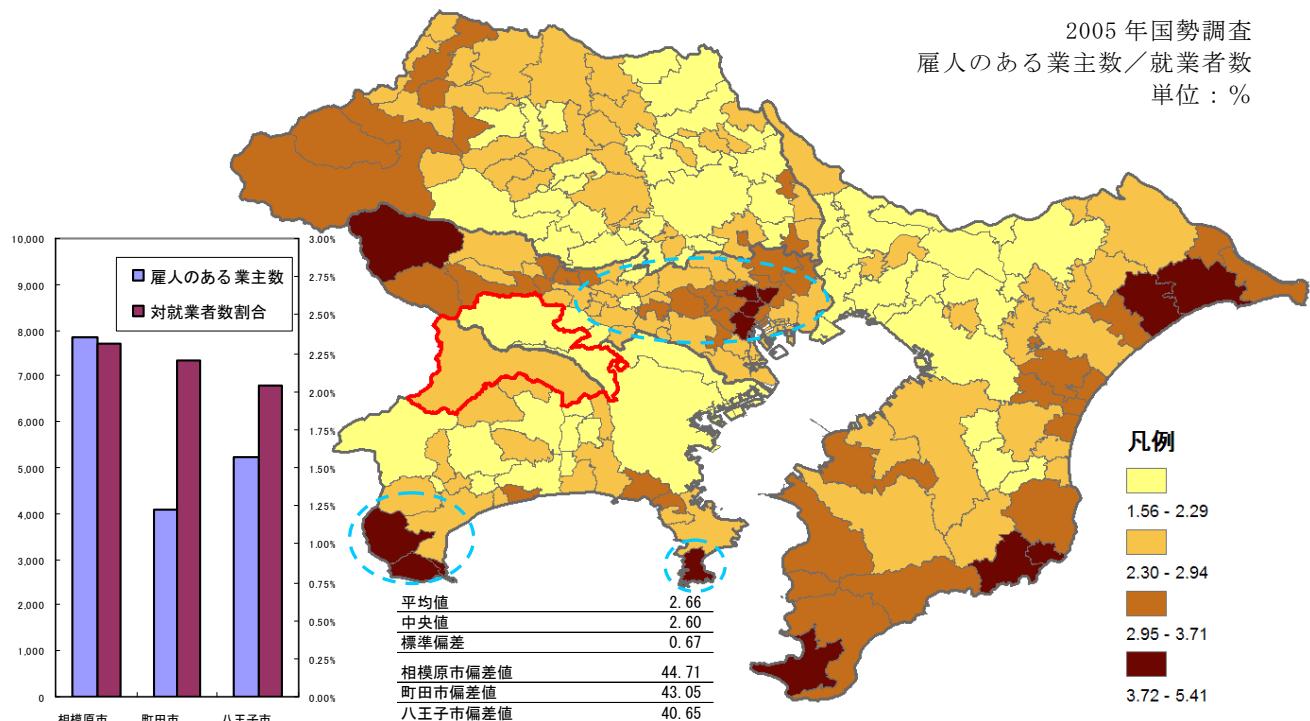
63 雇用者数



64 役員数



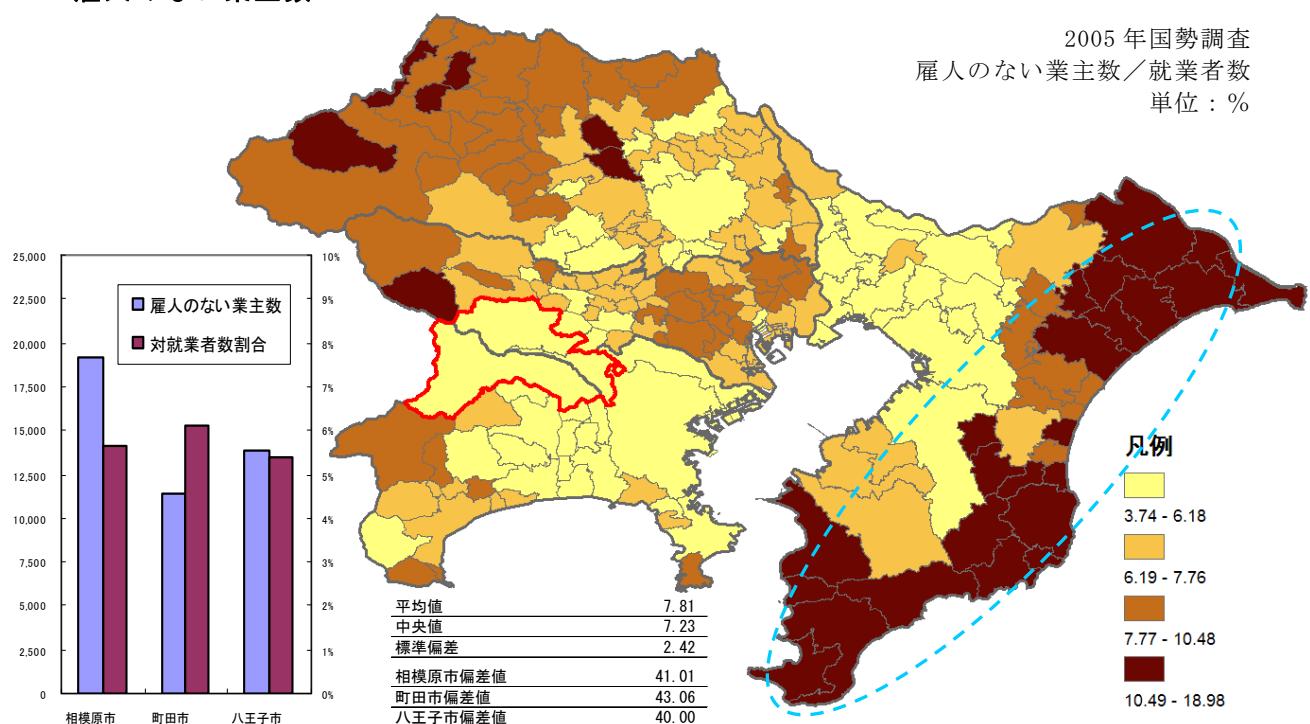
65 雇人のある業主数



- ・都心及び東京都内において雇人のある業主の割合が高く、雇用者の割合が高い都心の通勤圏では、割合が低い。
- ・神奈川県では、農業、漁業、観光業の盛んな三浦市、箱根町、湯河原町、真鶴町などの割合が高い。
- ・3市の比較では、相模原市がやや割合が高いが、いずれも平均値を下回る。

【参考データ：63 雇用者数】

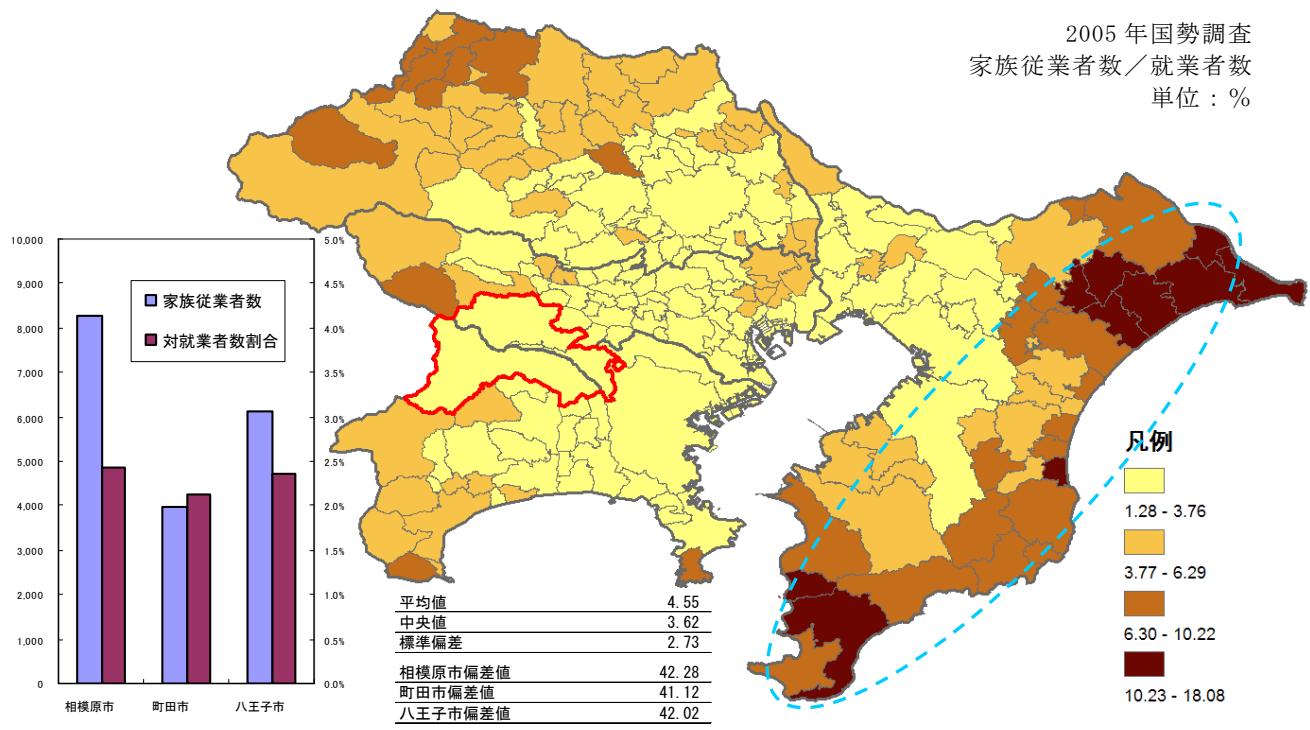
66 雇人のない業主数



- ・雇用者の割合が低い外房では業主の割合が高く、特に雇人のない業主の割合が高くなっている。
- ・3市の比較では、大差なく、いずれも平均値を下回る。

【参考データ：63 雇用者数、65 雇人のある業主数】

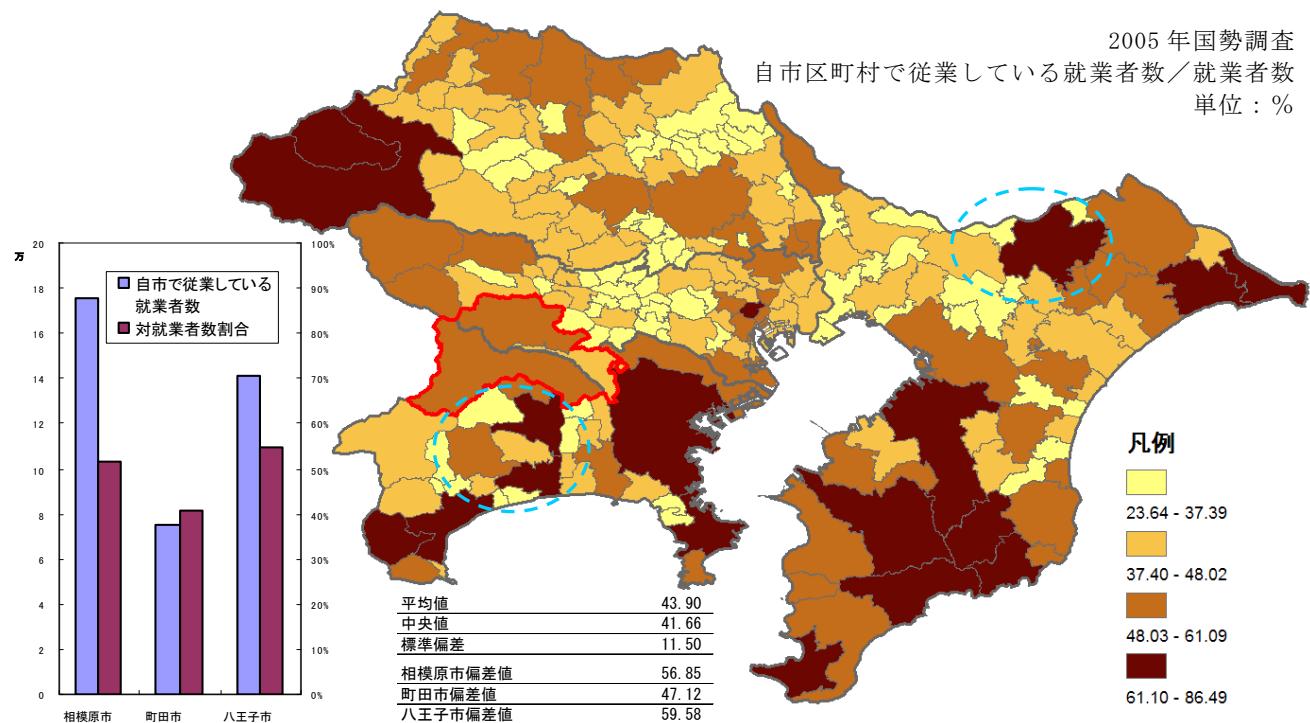
67 家族従業者数



- 雇人のない業主数の割合の高い地域で家族従業者の割合も高いが、都心では割合が低い。これは、家族従業者には第1次産業就業者が多いためである。
- 3市の比較では、大差なく、いずれも平均値を下回る。

【参考データ：60 第1次産業就業者数、66 雇人のない業主数】

68 自市区町村で従業している就業者数



- 都心への通勤圏では自市区町村で従業している就業者の割合が低い傾向にあるが、雇用者の分布ほど明確な差はみられない。むしろ、事業所数や従業者数の多い自治体とその周辺の自治体の間で、「勤務地－居住地」という、いわゆるベッドタウンの関係がみられる。（厚木市、平塚市、成田市などとその周辺の関係）
- 3市の比較では、町田市の割合が低く平均値を下回る一方、相模原市、八王子市は平均値を上回る。

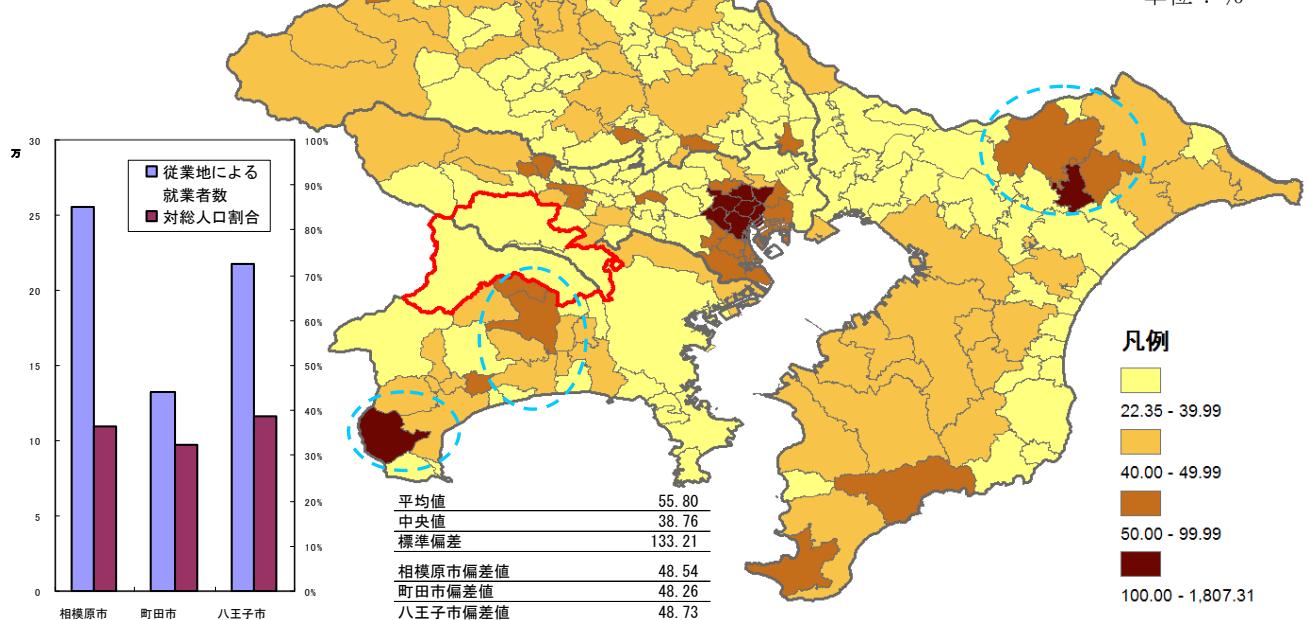
【参考データ：27 事業所数、30 従業者数、63 雇用者数】

69 従業地による就業者数

2005年国勢調査

従業地による就業者数／人口総数

単位：%



- 都心の通勤圏内では全体的に割合が低い一方で、都心から一定の距離があり工業や観光など独自の産業が盛んな自治体で割合が高いなど、昼夜間人口比率の分布と近似するが、学生数、主婦数、高齢者数などに影響を受けず、人口に対する雇用の量を表している。
- 3市の比較では、大差なく、いずれも平均値をやや下回る。

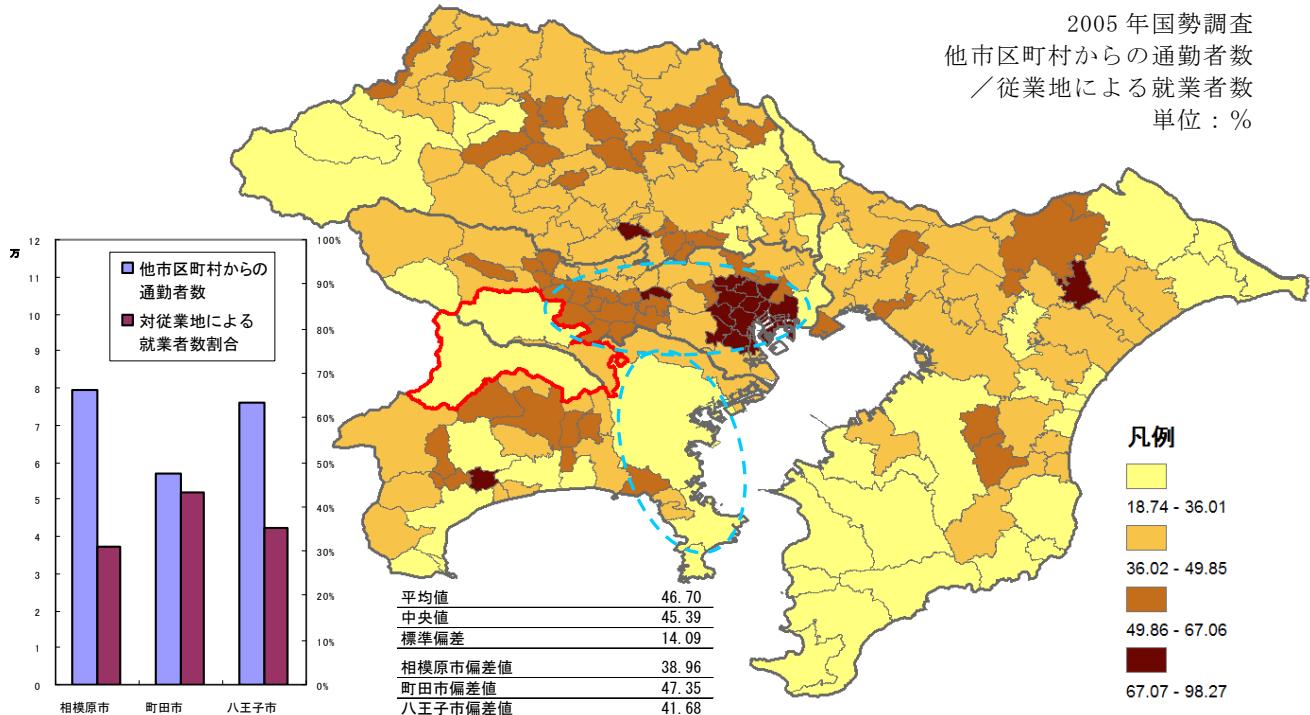
【参考データ：12 昼夜間人口比率、68 自市区町村で従業している就業者数】

70 他市区町村からの通勤者数

2005年国勢調査

他市区町村からの通勤者数／従業地による就業者数

単位：%

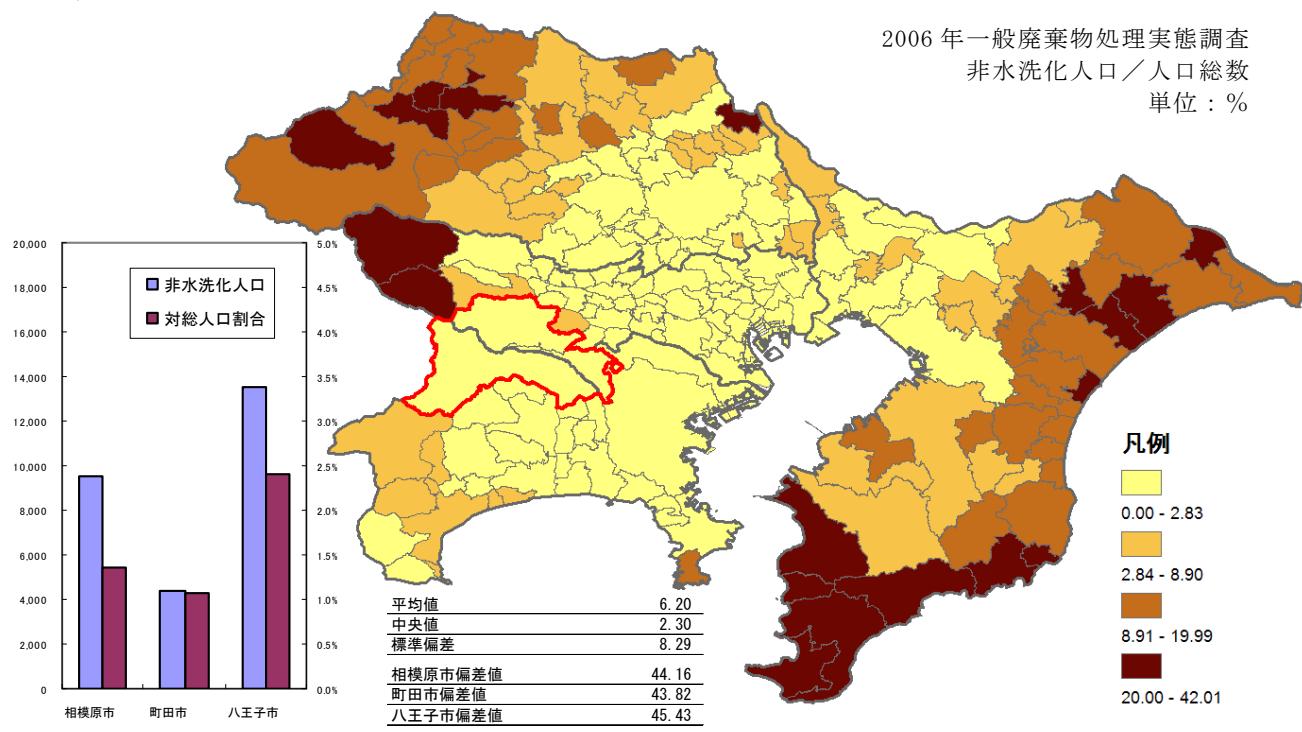


- 23区を中心に、東京都で割合が高い。また、埼玉県でも割合が高い地域が多い。
- 神奈川県では、横浜市、相模原市、横須賀市などで割合が低く、自市区町村内で労働力をまかなっている傾向が強い。
- 3市の比較では、町田市の割合が高いが、いずれも平均値を下回る。

【参考データ：68 自市区町村で従業している就業者数】

71 非水洗化人口

2006年一般廃棄物処理実態調査
非水洗化人口／人口総数
単位：%

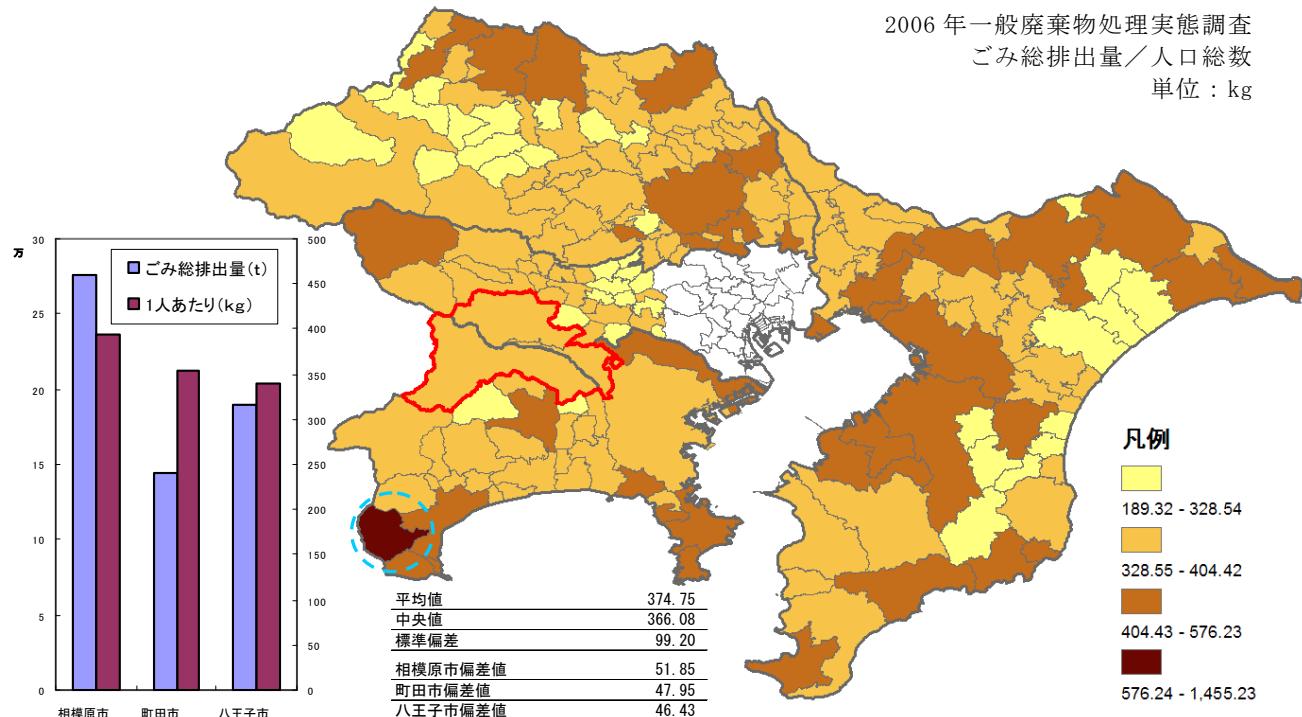


- 人口密度の高い市街地では、ほぼ水洗化が完了している。
- 3市の比較では、八王子市の割合が高いが、いずれも平均値を下回る。

【参考データ：24 可住地人口密度】

72 ごみ総排出量（総量）

2006年一般廃棄物処理実態調査
ごみ総排出量／人口総数
単位：kg

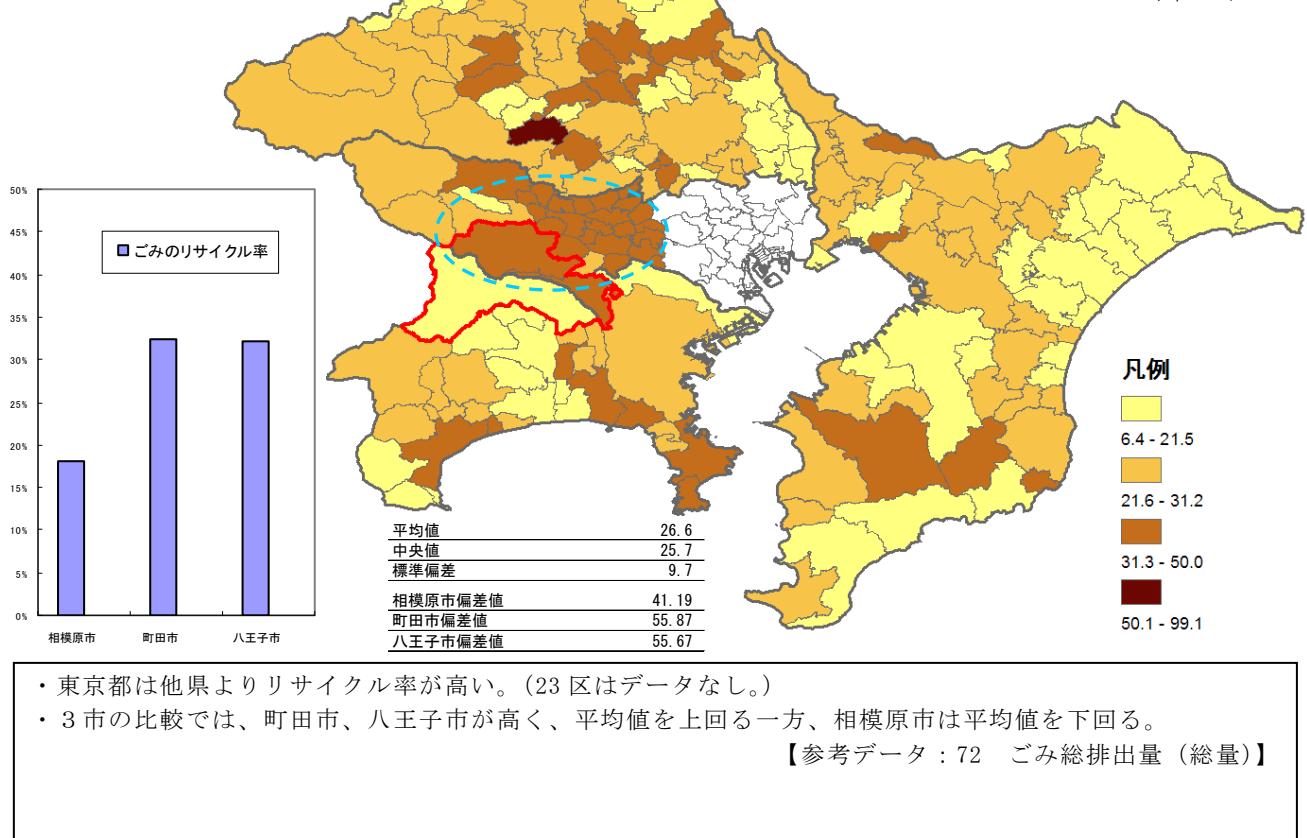


- 1人あたりのごみ排出量は、分布に目立った偏りは見られないが、昼夜間人口比率の高い地域で多くの傾向がある。（特に多いのは箱根町。23区は多いと予測されるがデータなし。）
- 3市の比較では、町田市、八王子市が少なく、平均値を下回る一方、相模原市は平均値を上回る。

【参考データ：12 昼夜間人口比率】

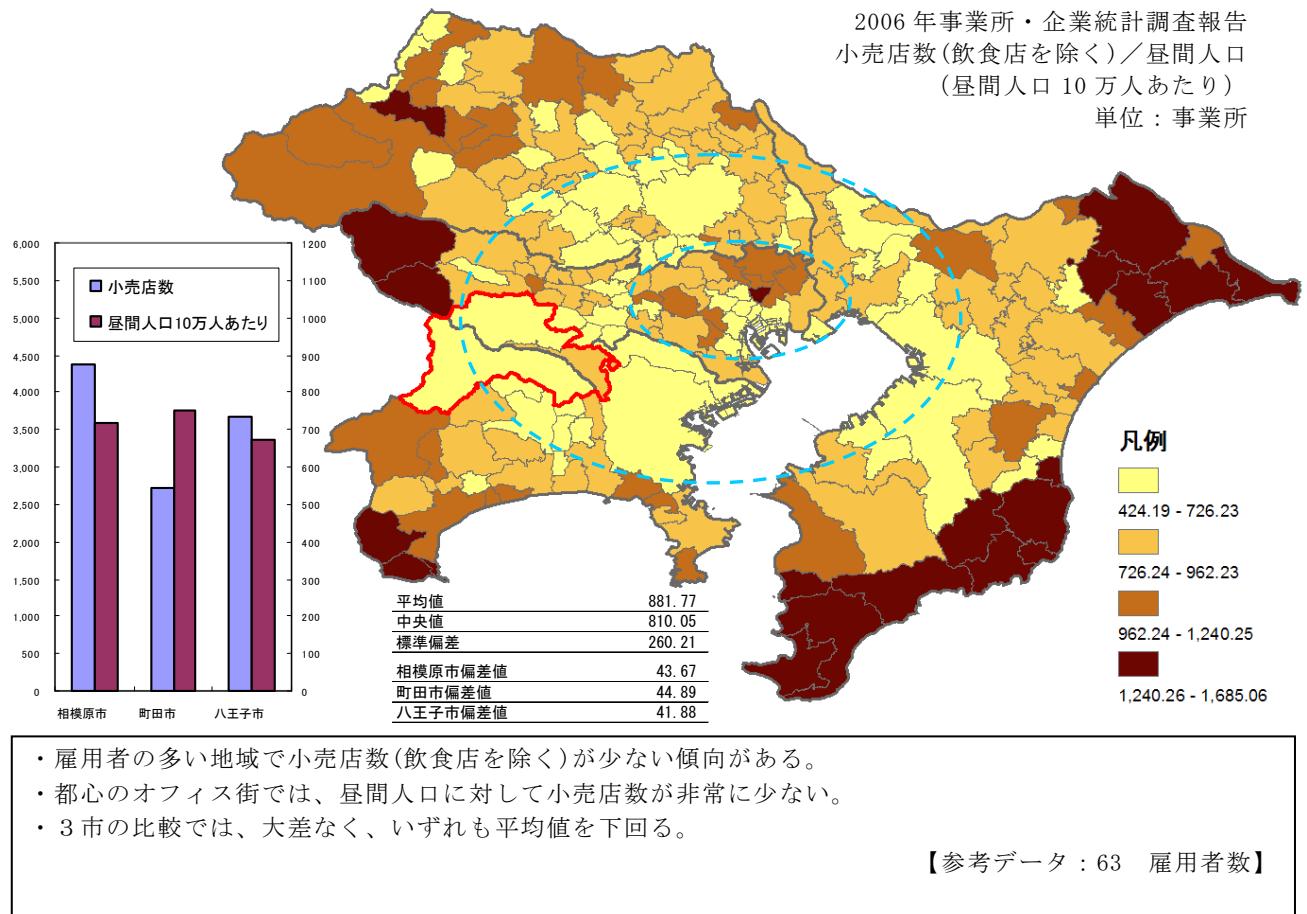
73 ごみのリサイクル率

2006年一般廃棄物処理実態調査
単位：%



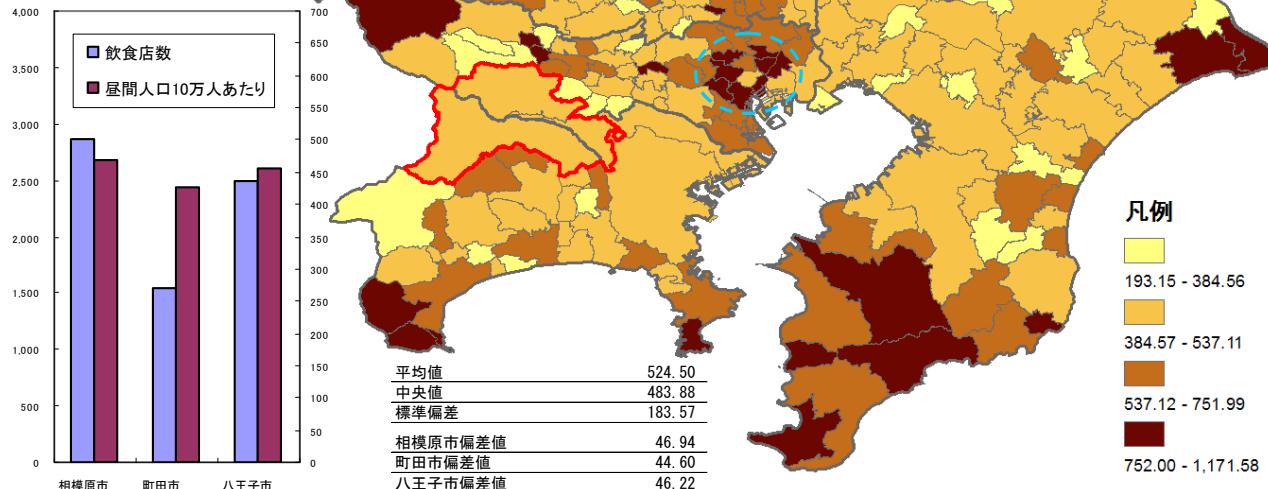
74 小売店数（飲食店を除く）

2006年事業所・企業統計調査報告
小売店数(飲食店を除く)／昼間人口
(昼間人口 10万人あたり)
単位：事業所



75 飲食店数

2006 年事業所・企業統計調査報告
飲食店数／昼間人口
(昼間人口 10 万人あたり)
単位：事業所

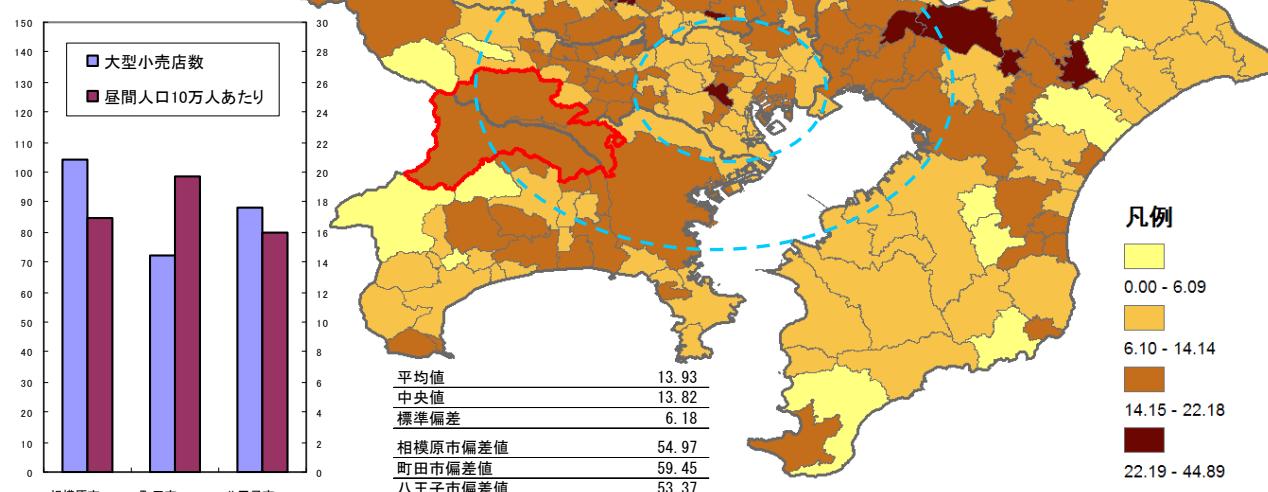


- ・小売店数に比べ、飲食店数は昼間人口に対して偏りが小さく、満遍なく分布している。
- ・都心のオフィス街でも飲食店数は多い。
- ・3市の比較では、大差なく、いずれも平均値を下回る。

【参考データ：74 小売店数(飲食店を除く)】

76 大型小売店数

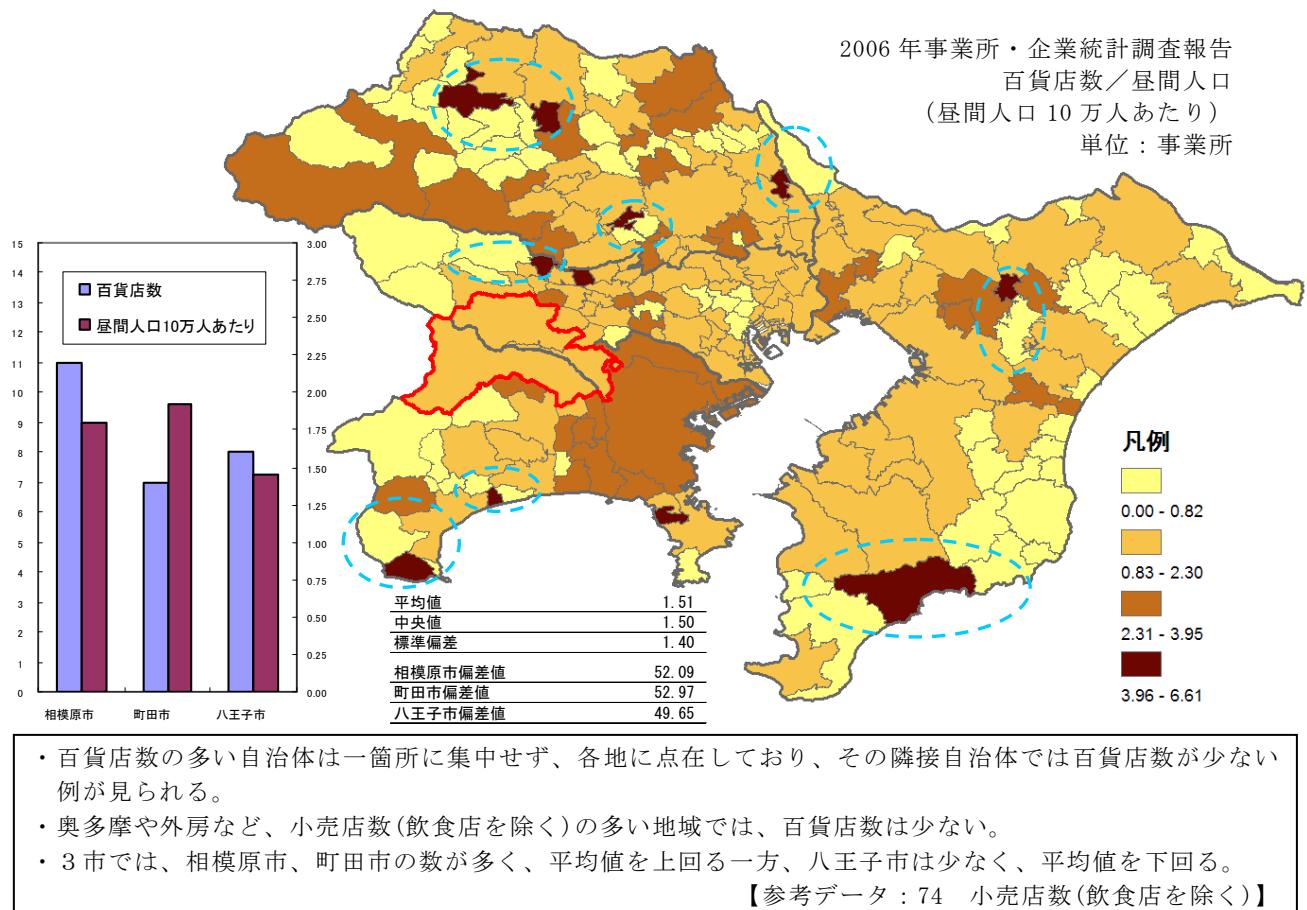
2006 年事業所・企業統計調査報告
大型小売店数／昼間人口
(昼間人口 10 万人あたり)
単位：事業所



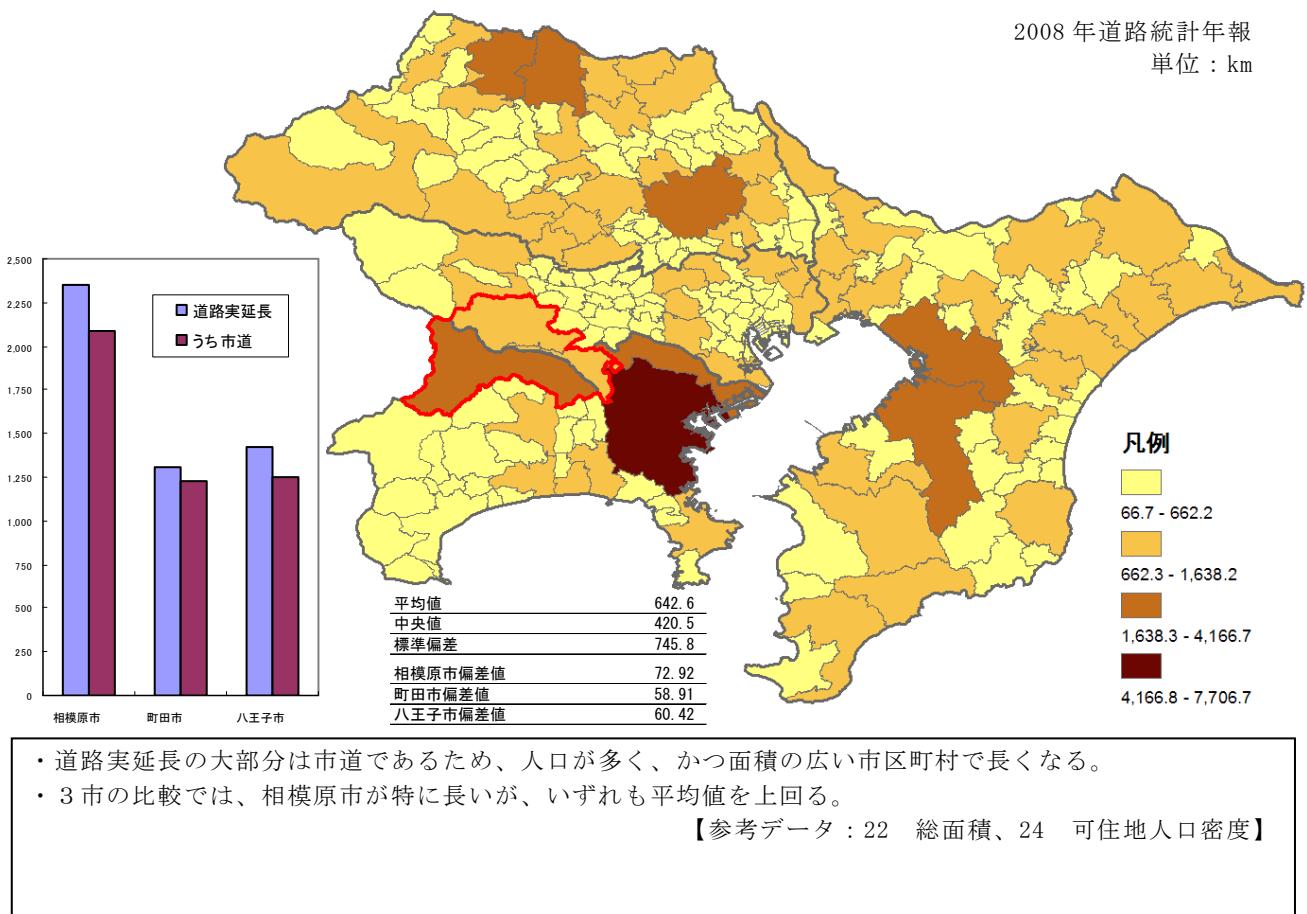
- ・小売店数(飲食店を除く)が少ない地域で大型小売店数が多い傾向があるが、小売店数(飲食店を除く)、大型小売店数どちらも多い又は少ない地域もある。
- ・3市の比較では、町田市がやや多いが、いずれも平均値を上回る。

【参考データ：74 小売店数(飲食店を除く)】

77 百貨店数

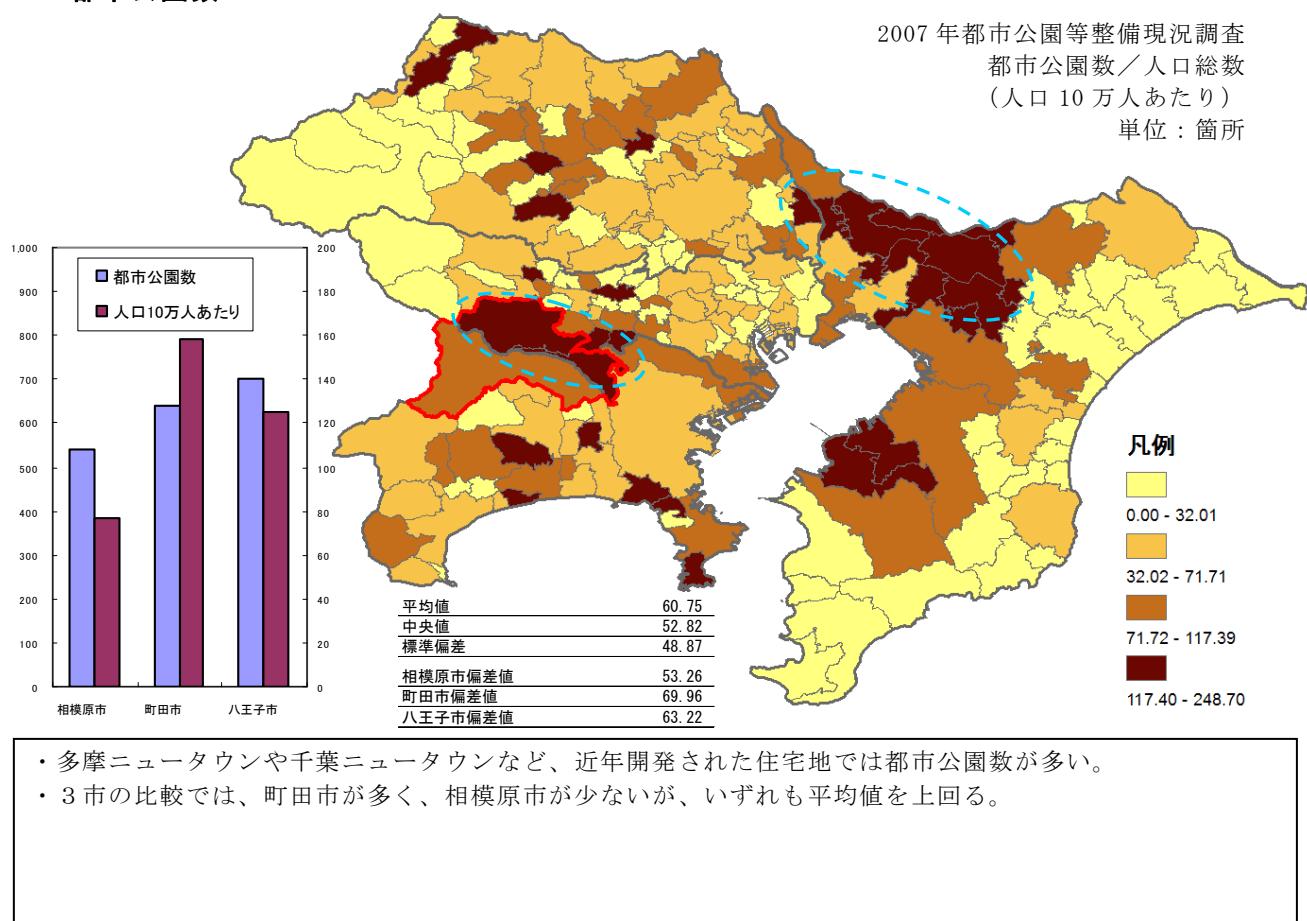


78 道路実延長



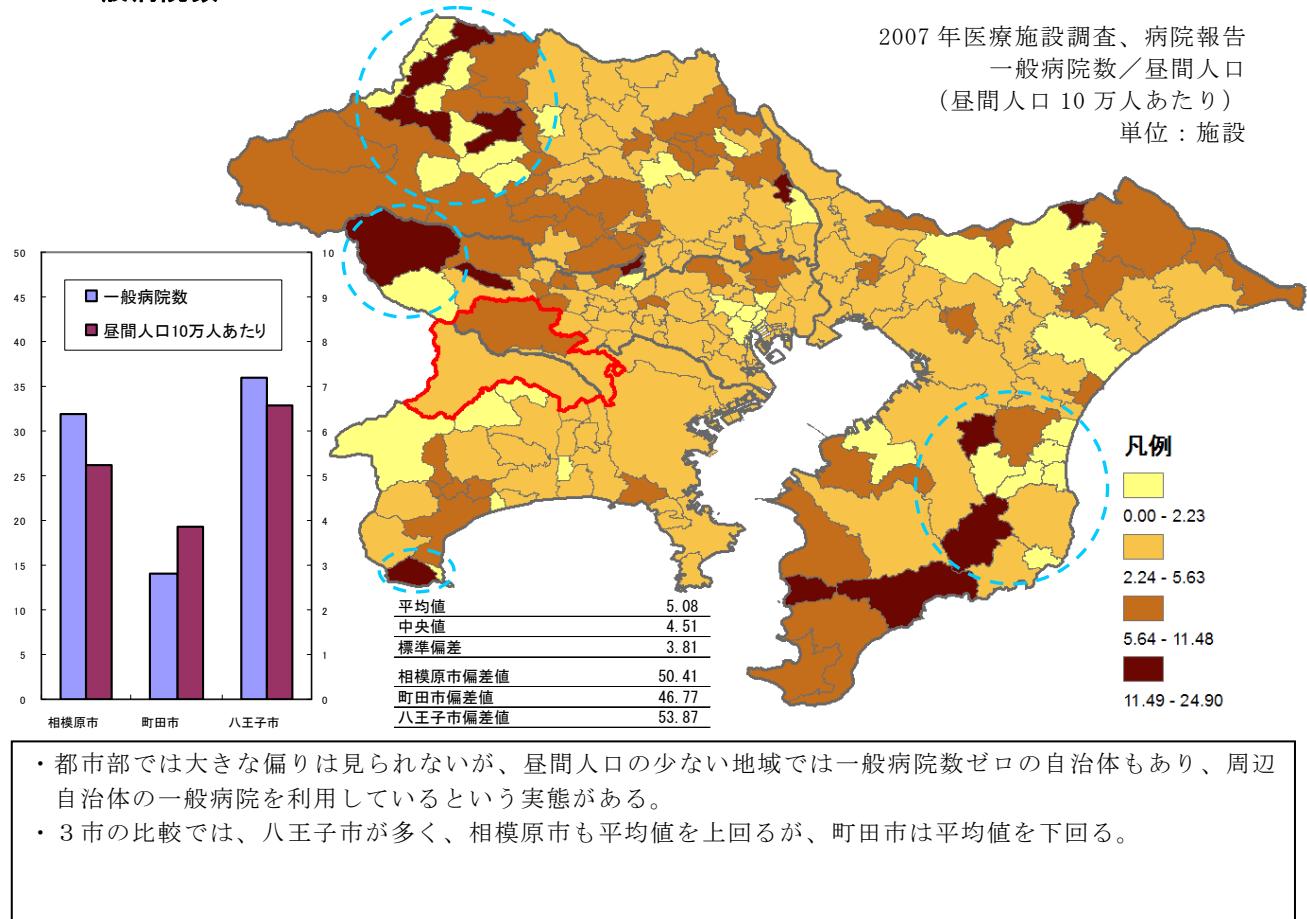
79 都市公園数

2007 年都市公園等整備現況調査
都市公園数／人口総数
(人口 10 万人あたり)
単位：箇所

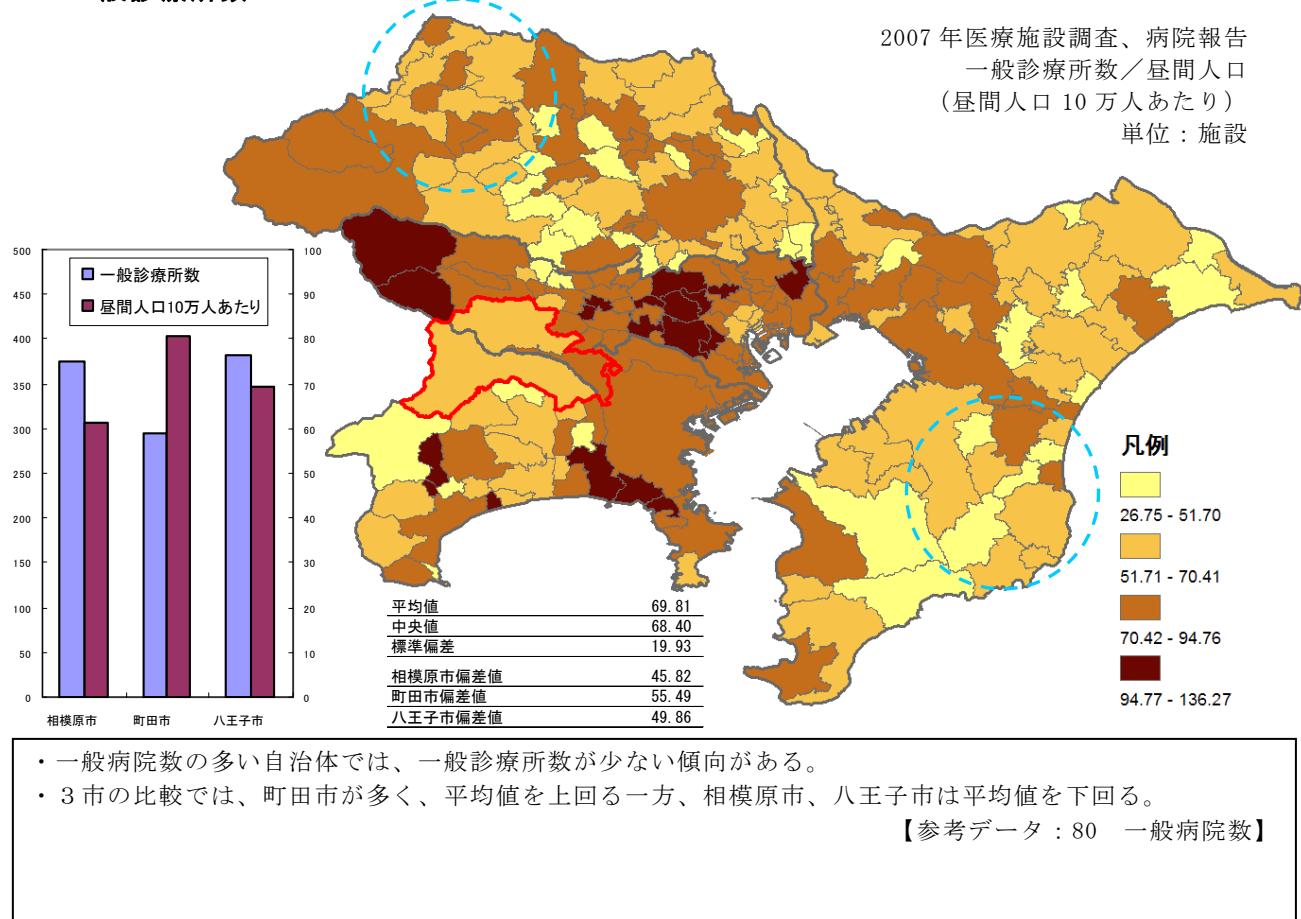


80 一般病院数

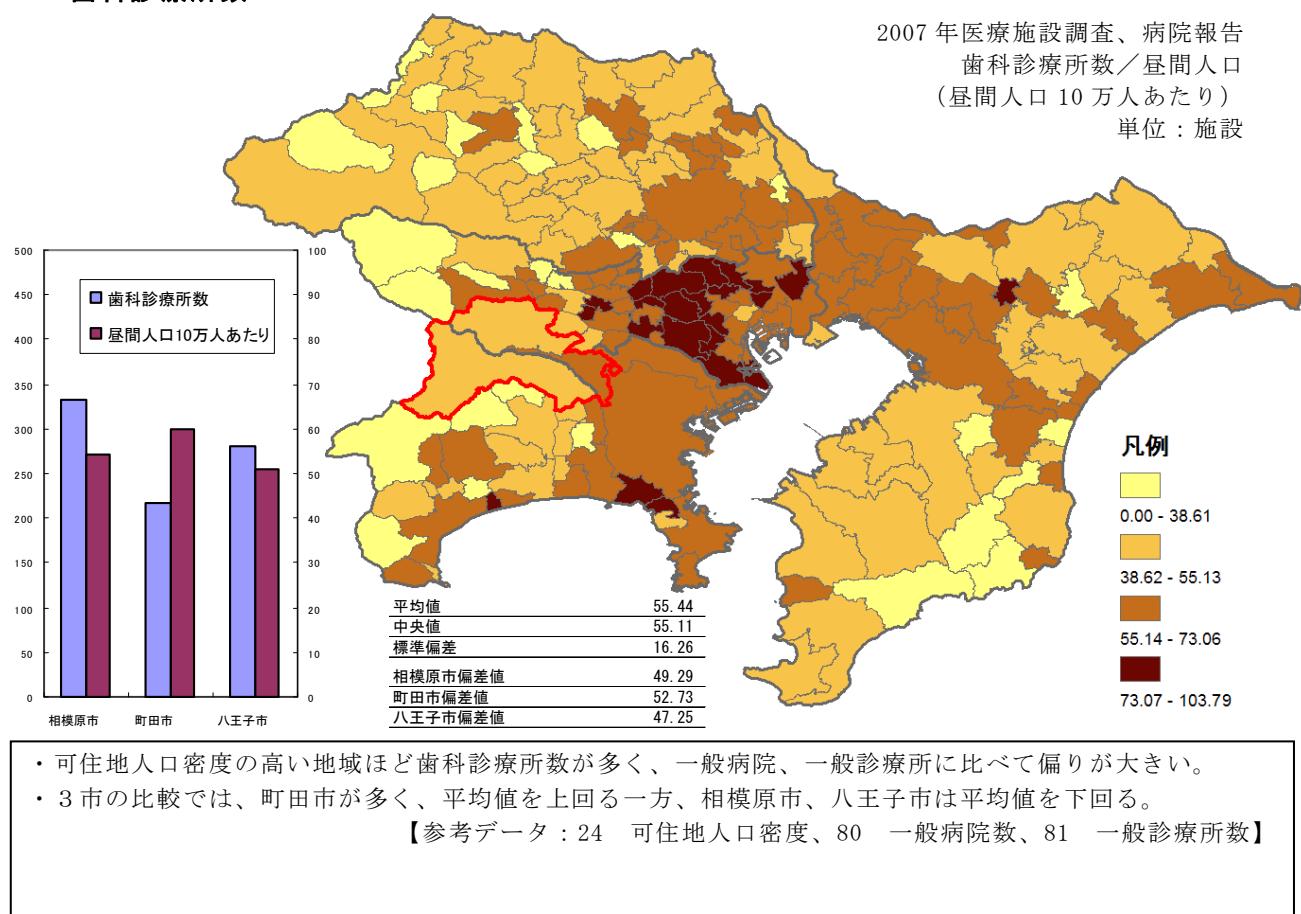
2007 年医療施設調査、病院報告
一般病院数／昼間人口
(昼間人口 10 万人あたり)
単位：施設



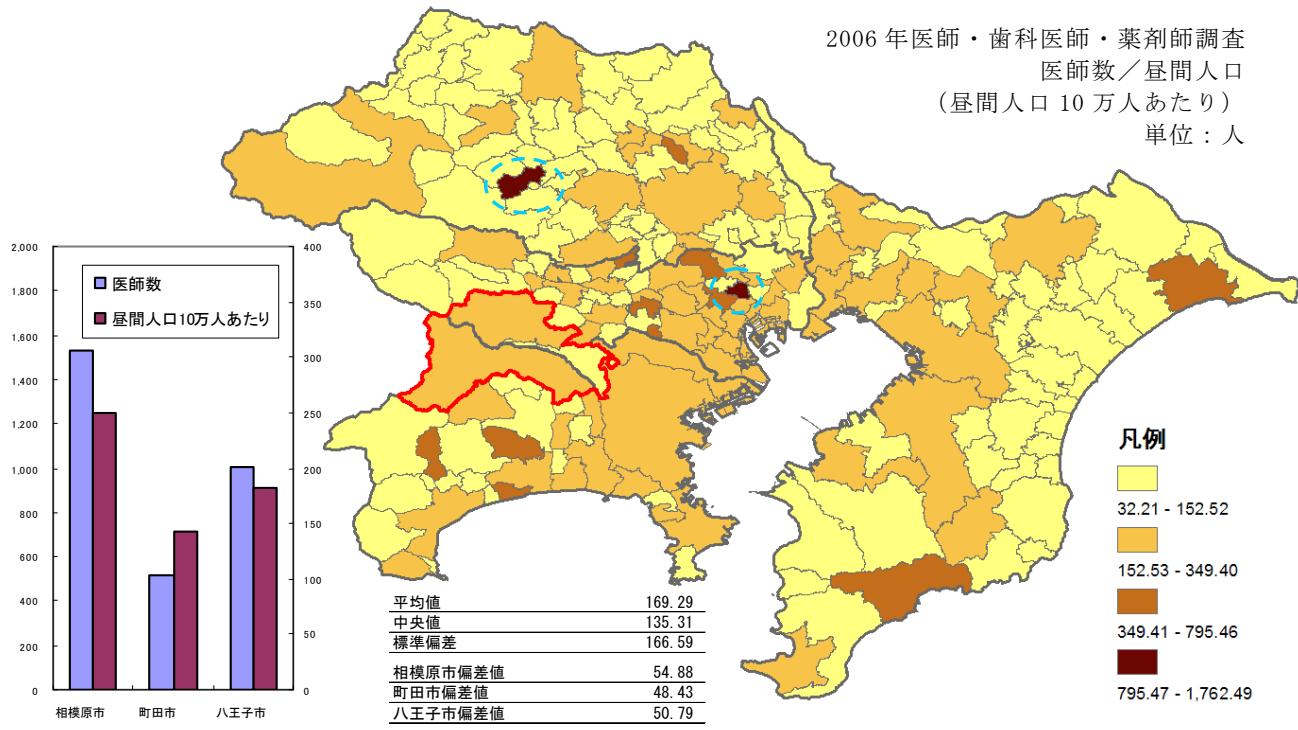
81 一般診療所数



82 歯科診療所数



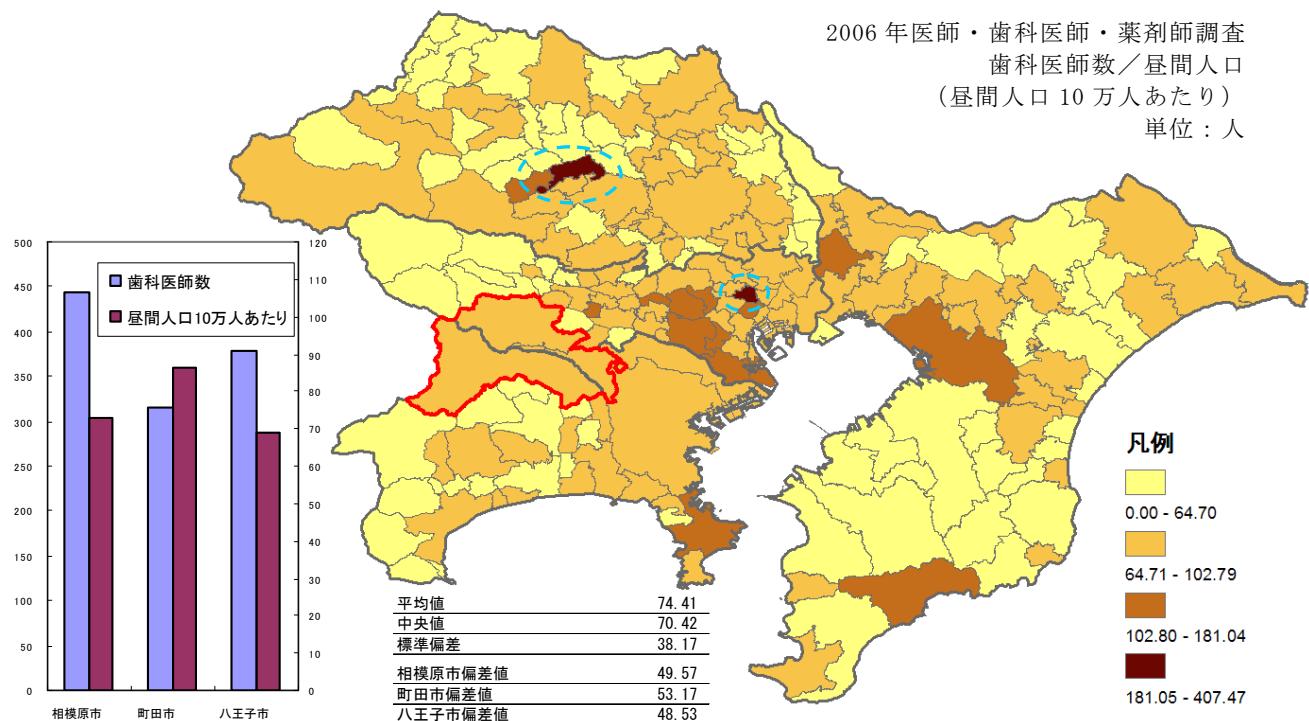
83 医師数



- ・医大や大病院のある自治体は医師数が多い。(文京区には東大病院、日本医大病院等があり、毛呂山町には埼玉医大病院、埼玉医科大学国際医療センターがある。)
- ・人口の少ない地域では、医師数も少ない。
- ・3市の比較では、北里大学病院などがある相模原市が多い一方、町田市は平均値を下回る。

【参考データ：80 一般病院数、81 一般診療所数】

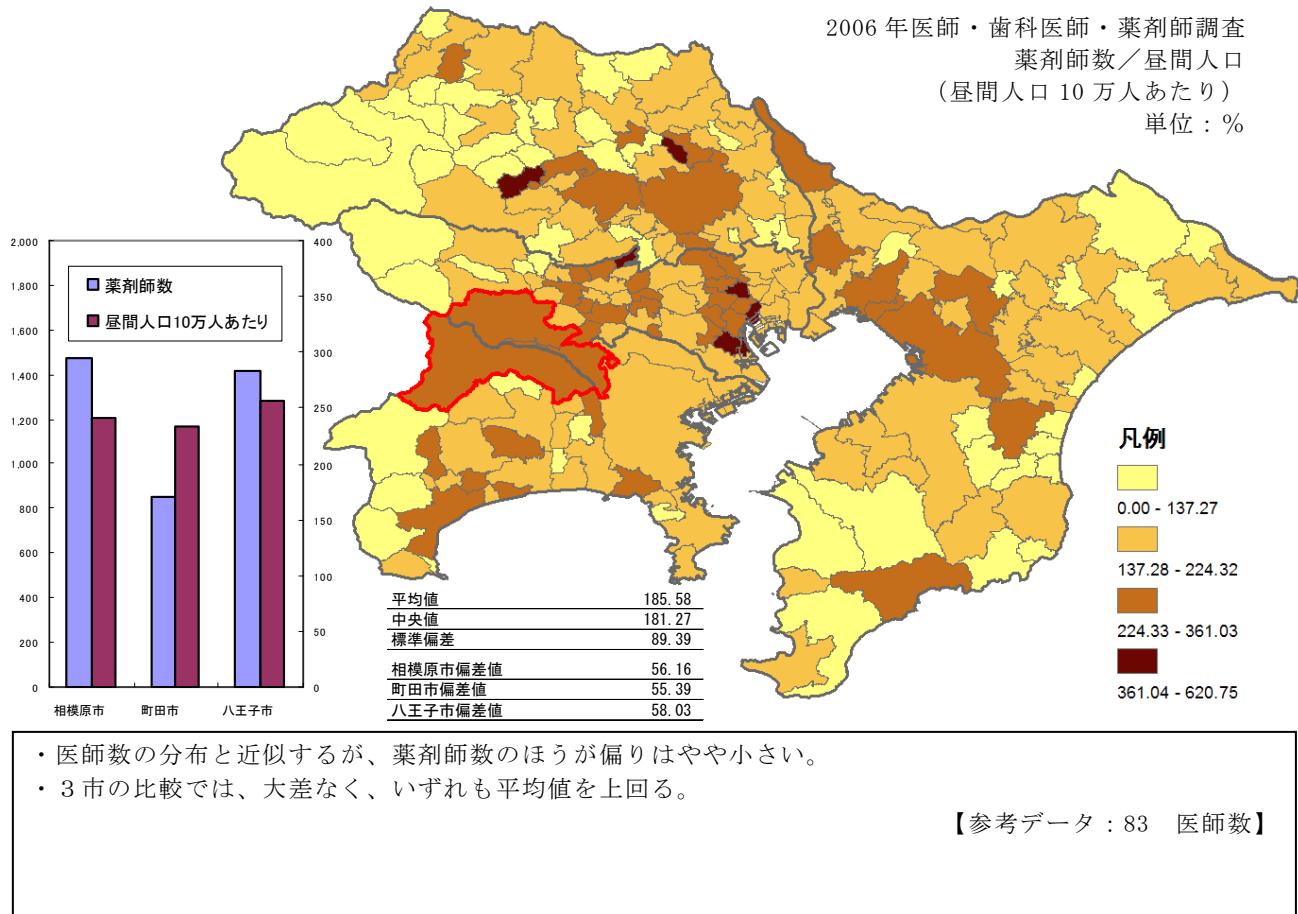
84 歯科医師数



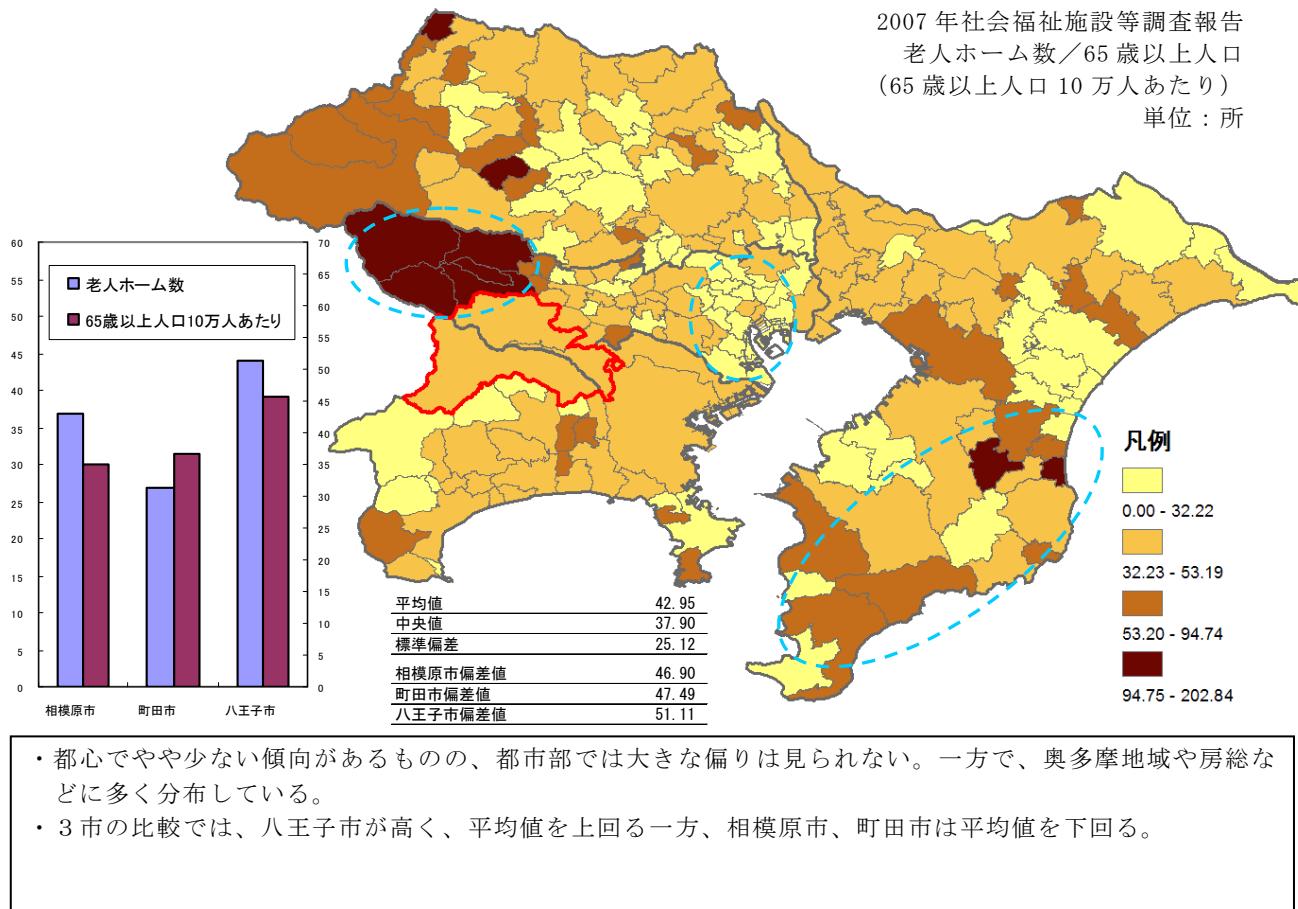
- ・医師数と同様、医大歯学部のある自治体は歯科医師数が多い。(坂戸市には明海大歯学部付属病院がある。)
- ・人口の少ない地域では、歯科診療所数が少なく、歯科医師数も少ない。
- ・3市の比較では、町田市が多く、平均値を上回る一方、相模原市、八王子市では平均値を下回る。

【参考データ：82 歯科診療所数】

85 薬剤師数

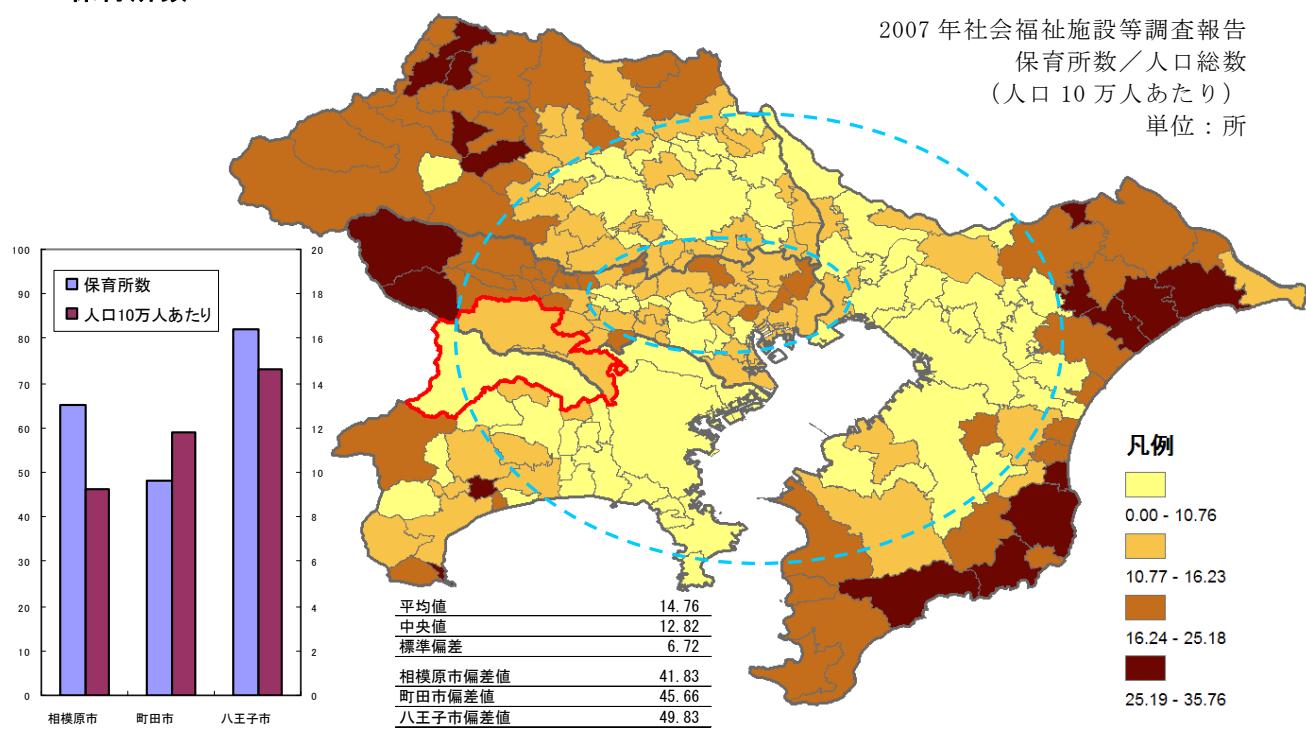


86 老人ホーム数



87 保育所数

2007年社会福祉施設等調査報告
保育所数／人口総数
(人口10万人あたり)
単位：所

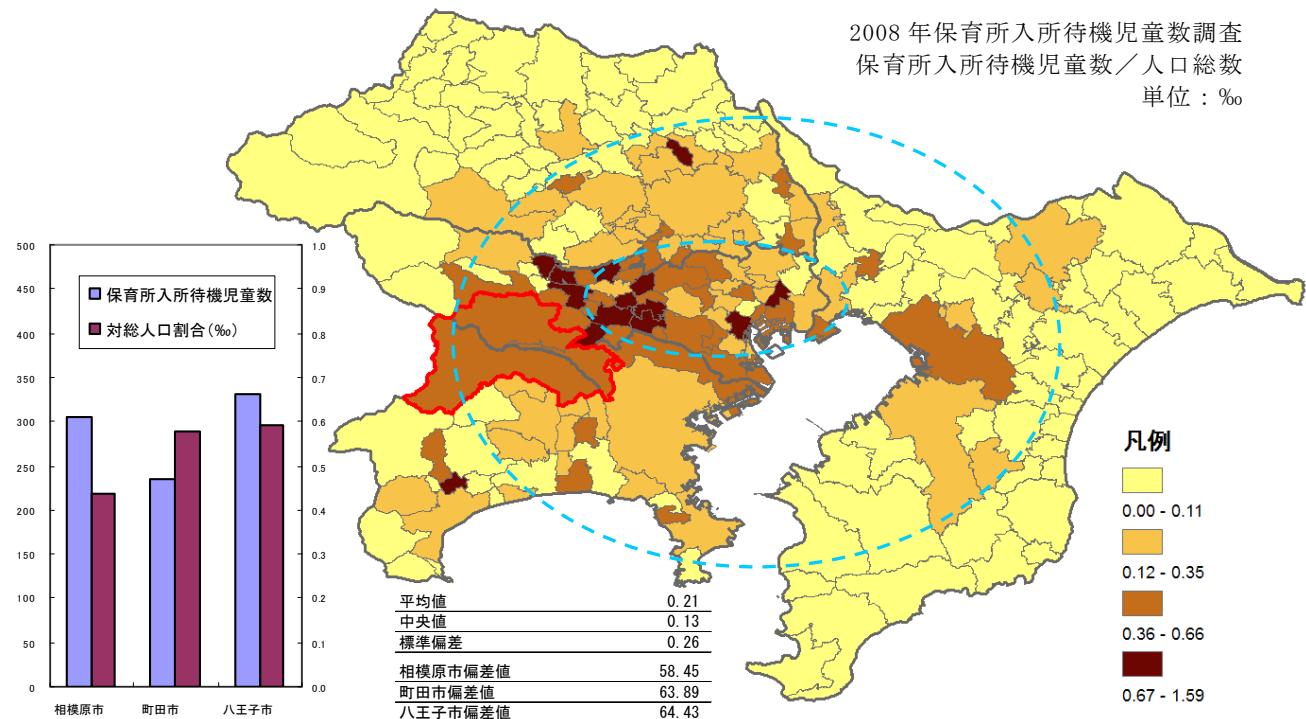


- 雇用者数の多い地域＝都心への通勤圏では、出生数が多く、核家族世帯の割合が高いにも関わらず、保育所数が少ないが、東京都は他県に比べて保育所数が多い。
- 3市の比較では、八王子市が多く、相模原市が少ないが、いずれも平均値を下回る。

【参考データ：6 出生数、16 核家族世帯数、63 雇用者数、89 保育所在所児数】

88 保育所入所待機児童数

2008年保育所入所待機児童数調査
保育所入所待機児童数／人口総数
単位：%

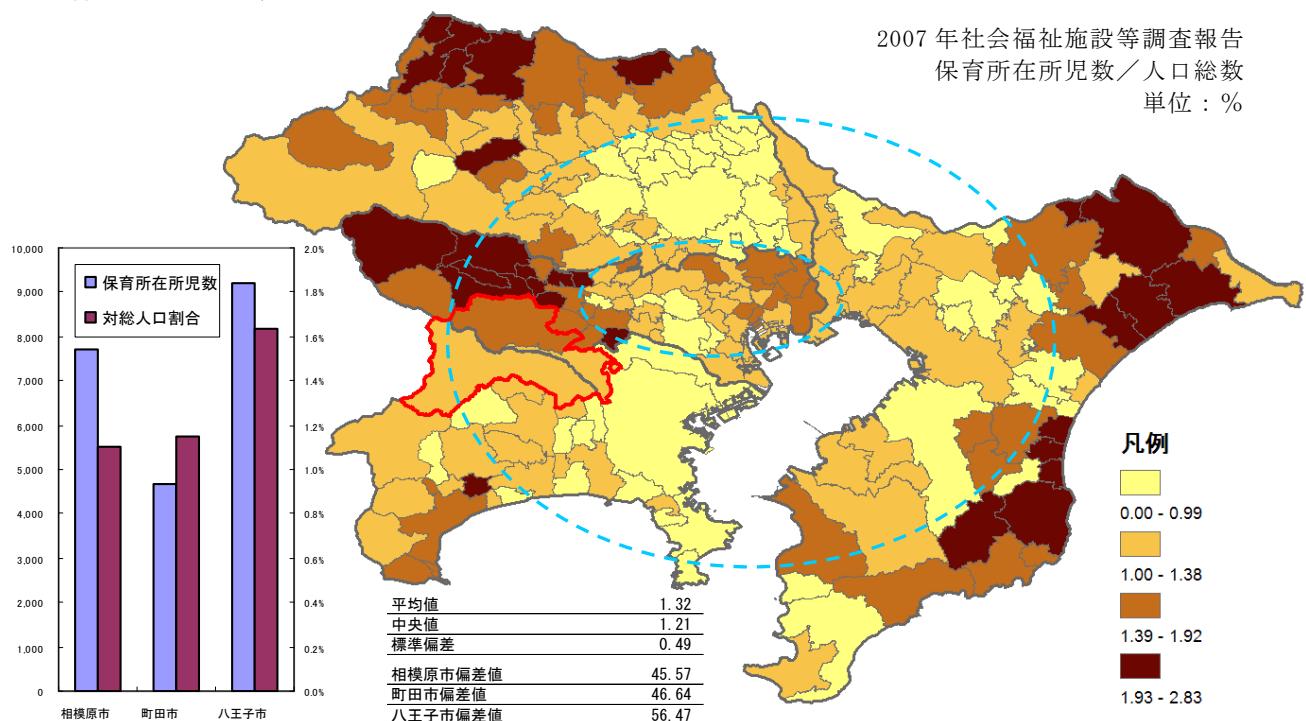


- 東京都は、保育所数が多いにも関わらず、保育所入所待機児童数の割合も高い。
- 埼玉県、千葉県、神奈川県では、保育所数が少ない地域で保育所入所待機児童数の割合も高くなる。
- 3市の比較では、町田市、八王子市の割合が高いが、相模原市を含め、いずれも平均値を上回る。

【参考データ：87 保育所数】

89 保育所在所児数

2007年社会福祉施設等調査報告
保育所在所児数／人口総数
単位：%

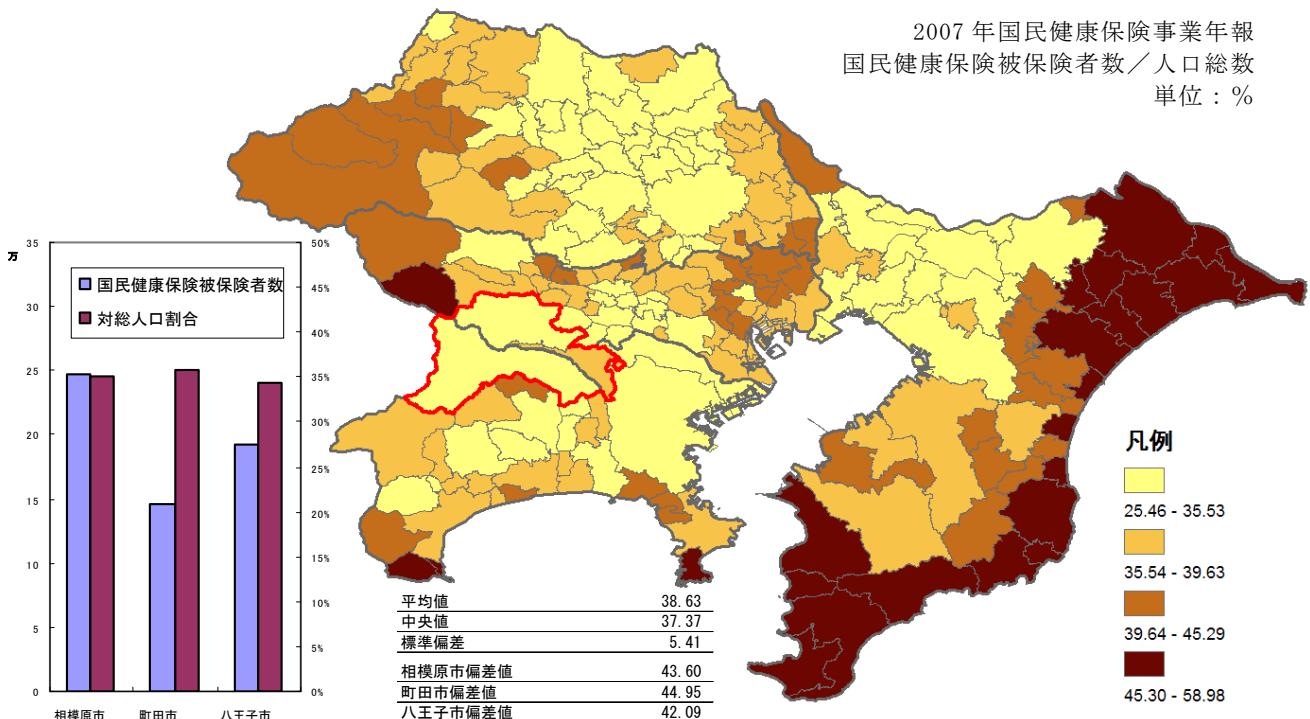


- ・保育所数の分布との比較では、ややバラツキが小さくなるが、雇用者数の多い地域＝都心の通勤圏として人口急増した地域では、保育所在所児数の割合も低く、分布の傾向としては幼稚園在園者数と逆である。
- ・3市の比較では、八王子市の割合が高く、平均値を上回る一方、相模原市と町田市は平均値を下回る。

【参考データ：48 幼稚園在園者数、87 保育所数】

90 国民健康保険被保険者数

2007年国民健康保険事業年報
国民健康保険被保険者数／人口総数
単位：%



- ・業主の多い都心、外房などで国民健康保険被保険者の割合が高い。
- ・3市の比較では、大差なく、いずれも平均値を下回る。

【参考データ：63 雇用者数、65 雇人のある業主数、66 雇人のない業主数】

第2章

3市エリアの500mメッシュ

(平成17年国勢調査、平成18年事業所・企業統計)の分析

■留意事項

◆使用しているデータ

本研究では、総務省統計局が編成した「平成 17 年国勢調査に関する地域メッシュ統計」「平成 18 年事業所・企業統計調査に関する地域メッシュ統計」の中から、3 市のエリア内の人囗や事業活動の特性を把握できるデータを使用している。

なお、本研究で使用している地域メッシュ統計は、約 500m 四方の網の目（メッシュ）の区域に分けて、それぞれの区域に関する統計データを編成したものであるため、3 市に隣接する市のエリアを含む場合がある。

◆メッシュの表示方法

各地域の特徴を視覚的に表すため、自然分類（データ値の変化量が大きい所を境界に分割）で数値を 5 段階で分類し、表示している。そのため、それぞれのグループのデータの数やデータの間隔が一定ではない。

◆上位（下位）5 位のメッシュ

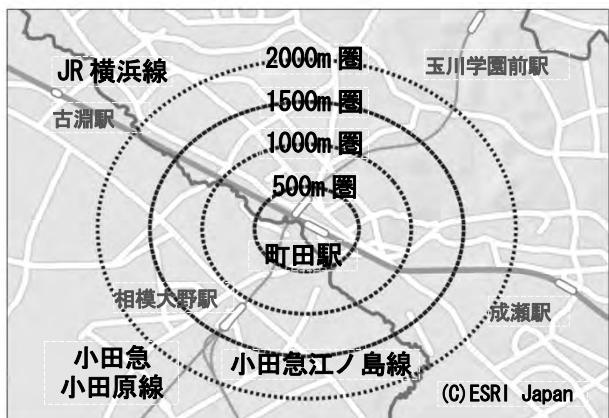
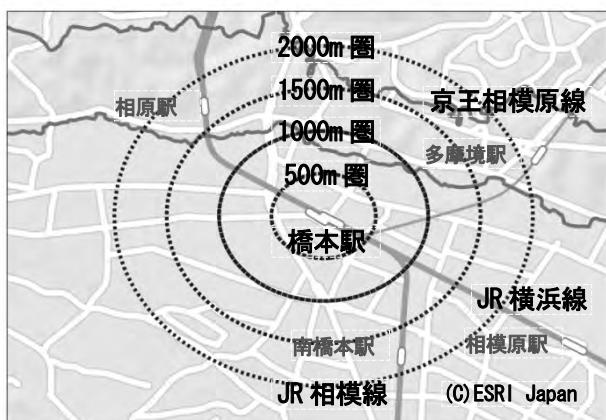
各項目の上位（下位）5 位のメッシュについて、緑色の枠を表示し、住所（平成 17 年国勢調査時点の町名）及びデータを一覧にして掲載している。

なお、上位（下位）5 位までに入らない市がある場合には、その市の最上位（下位）のメッシュを掲載している。その場合、順位にかえて、市の頭文字（相模原市⇒相、町田市⇒町、八王子市⇒八）を付している。

◆主要駅の距離別データ

3 市の JR の駅のうち、それぞれ乗車人員が最も多い駅（八王子駅、橋本駅、町田駅）を主要駅とした。

主要駅を中心とする半径 2000m の円内に含まれる地域を、主要駅 2000m 圏とした。さらに、それぞれの圏内を、幅 500m ごとに 0 m 超～500m 以下、500m 超～1000m 以下、1000m 超～1500m 以下、1500m 超～2000m 以下の同心円状の距離帯に区分し、各距離帯に係る統計データを集計している。

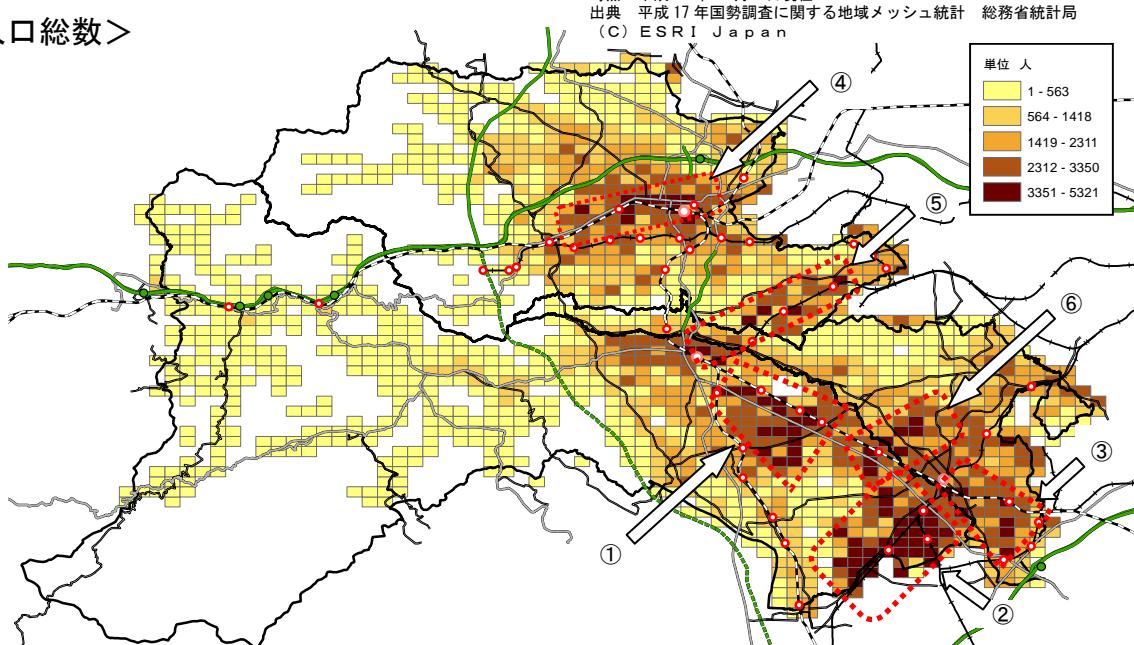


◆比率・構成比の出し方

小数点以下第二位を四捨五入している。そのため、構成比の合計が 100.0% にならない場合がある。

1. 人口

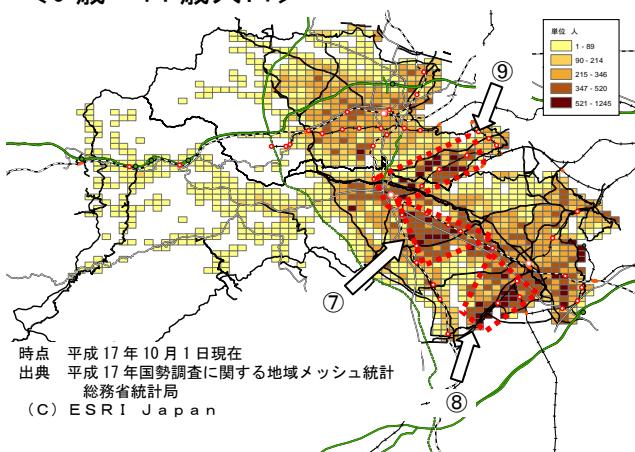
<人口総数>



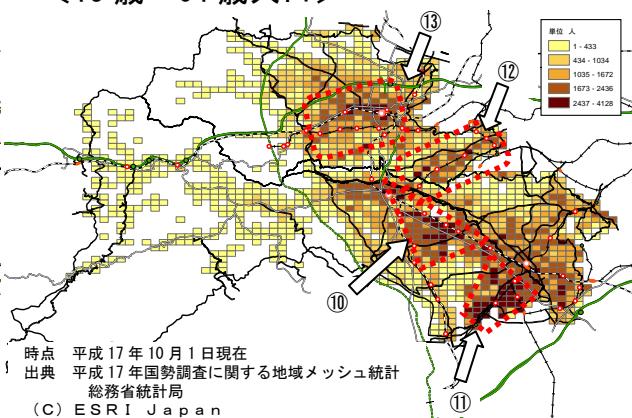
鉄道沿線など利便性の高い地域で人口が多い。

- ・相模原市のJR横浜線沿線、JR相模線沿線①
- ・相模原市の小田急小田原線沿線、小田急江ノ島線沿線②
- ・町田市のJR横浜線沿線、東急田園都市線沿線③
- ・八王子市のJR中央線沿線④
- ・3市を通る京王相模原線沿線⑤
- ・相模原市の古淵駅周辺、町田市の団地が所在する地域⑥

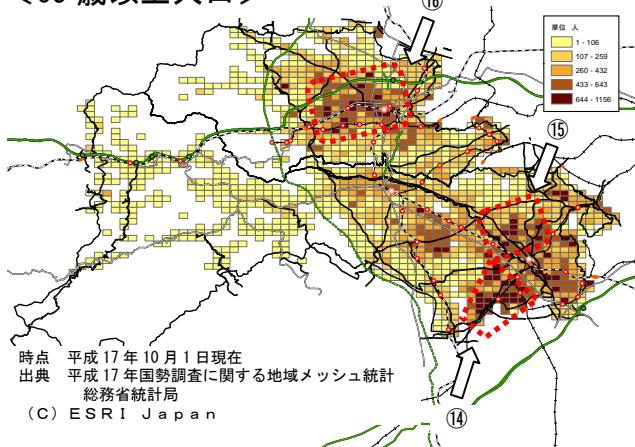
<0歳～14歳人口>



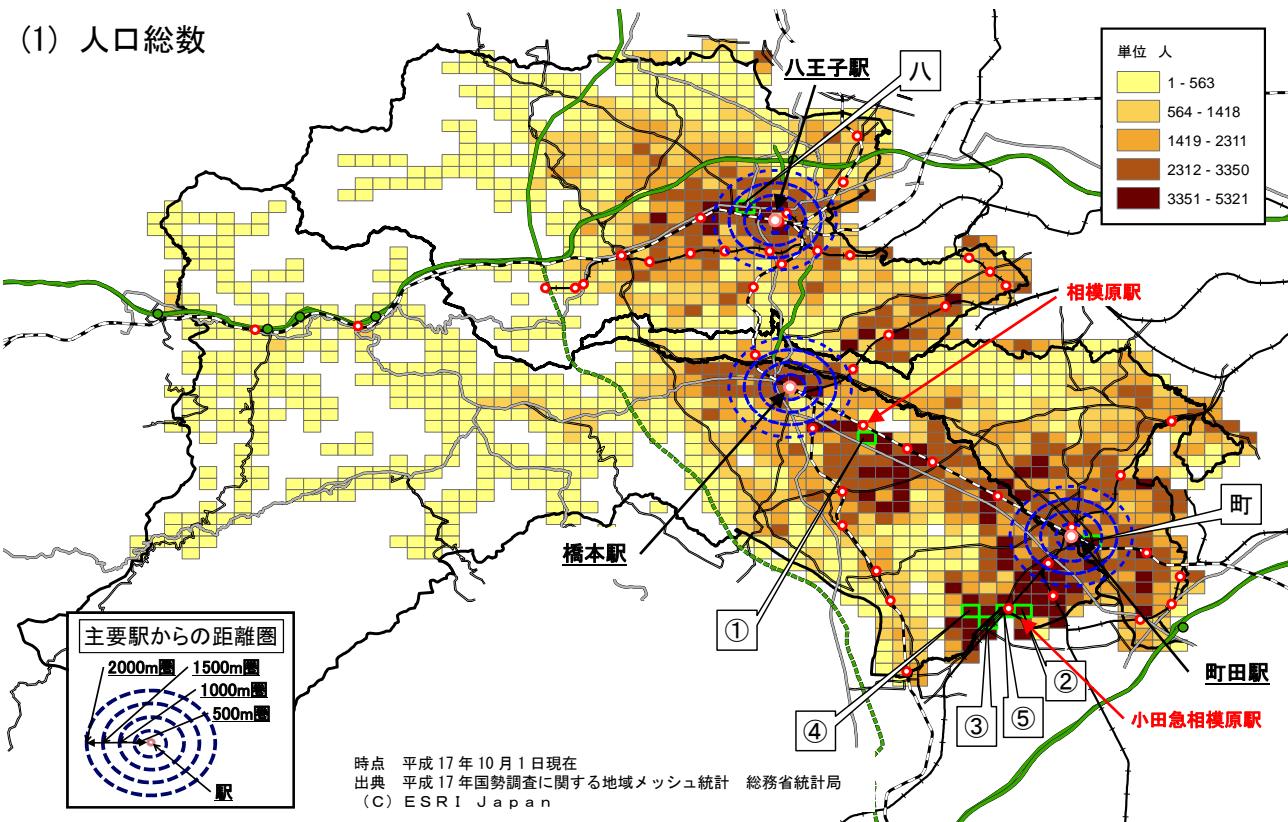
<15歳～64歳人口>



<65歳以上人口>



- ・3市の人口分布の状況を年齢区分別にみると、小田急小田原線沿線、小田急江ノ島線沿線(⑧、⑪、⑭)は、各年齢区分に共通して人口が多い。
- ・0歳～14歳人口は、相模原市のJR横浜線沿線、JR相模線沿線⑦、八王子市の京王相模原線沿線⑨で多い。
- ・65歳以上人口は、八王子市のJR中央線沿線⑯、町田市の団地が所在する地域⑮で多い。
- ・15歳～64歳人口は、人口総数と同じような分布(⑩、⑪、⑫、⑬)となっている。



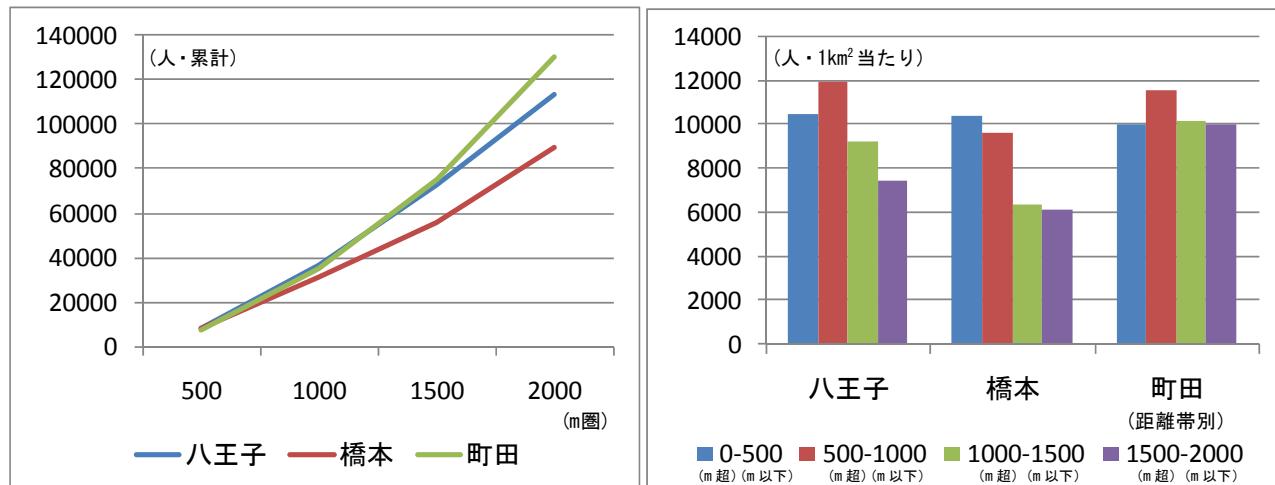
- ・上位 5 位のメッシュは、小田急相模原駅周辺が多い。
- ・主要駅の距離別人口総数は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多い、1km²当たりは、町田駅のすべての距離帯で 10000 人を超えていている。

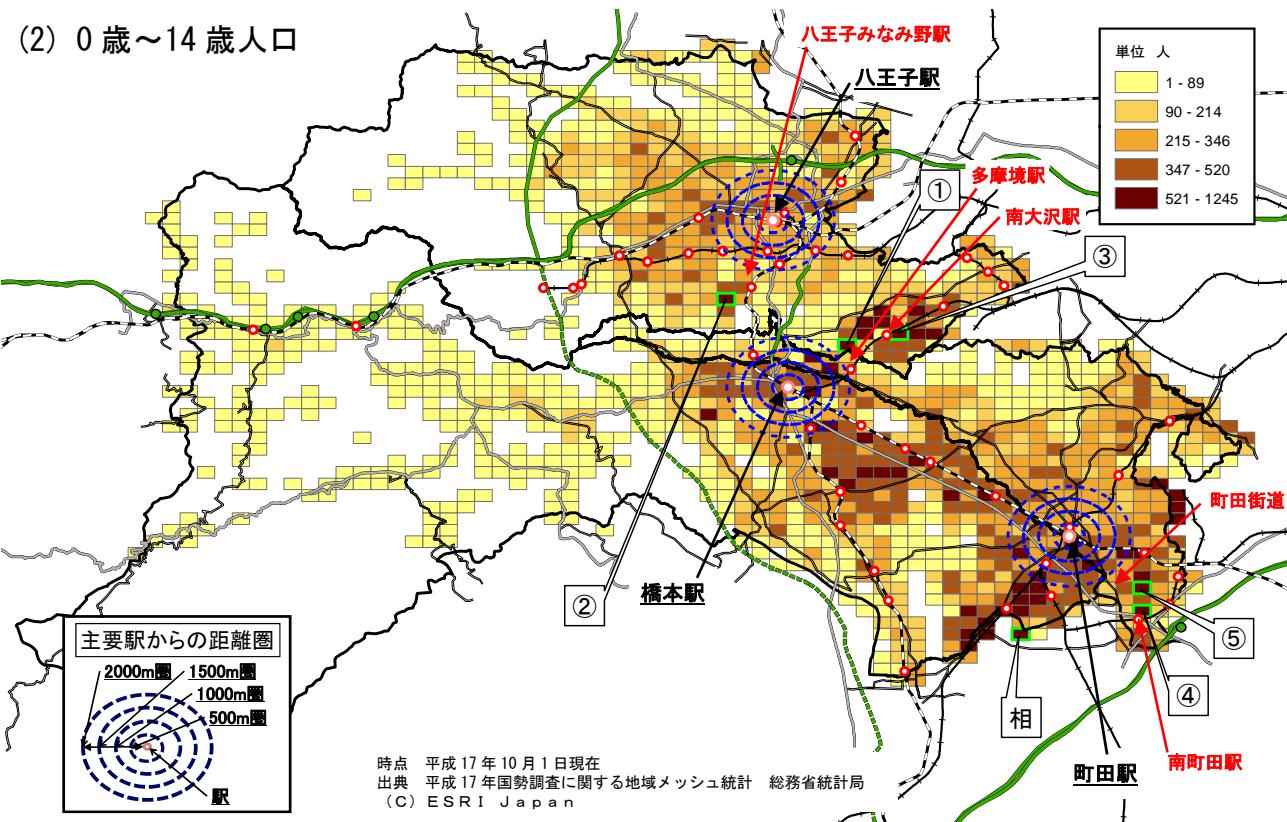
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	人
①	(相模原市)相模原、中央	5321
②	(相模原市)相南、松が枝町	5221
③	(相模原市)相模台、相武台、相武台団地	4961
④	(相模原市)新磯野、相模台、相武台団地	4877
⑤	(相模原市)相模台、南台、相南、松が枝町	4820
八	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	4667
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	4544

①は相模原駅周辺
②～⑤は小田急相模原駅周辺

■主要駅の距離別人口総数





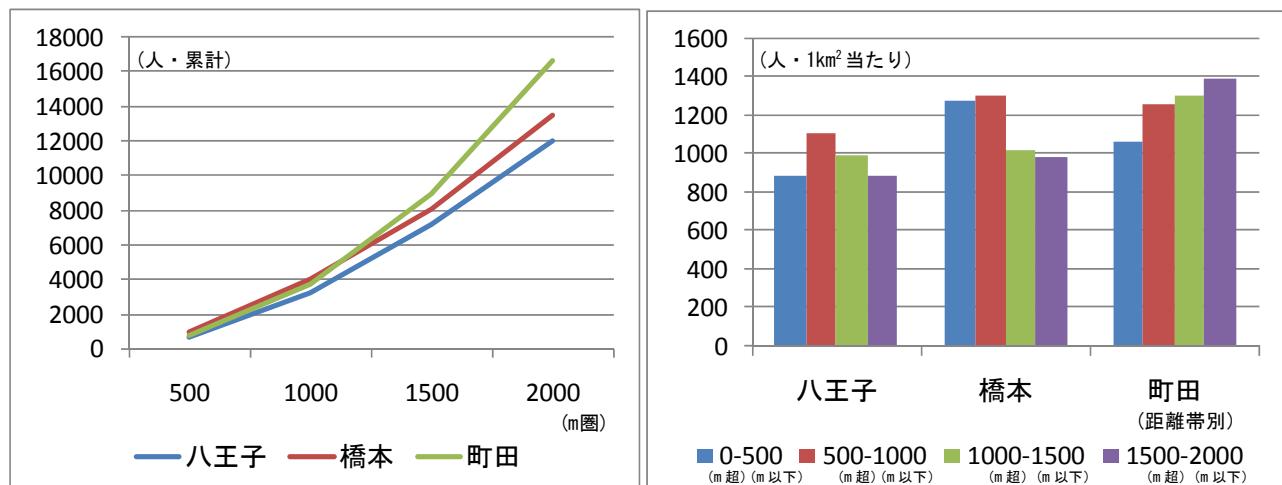
- 上位 5 位のメッシュは、駅周辺や新興の住宅地域である。
- 主要駅の距離別 0 歳～14 歳人口は、1000m 圏の累計では橋本駅が多いが、2000m 圏の累計になると町田駅が最も多く、1km²当たりは、町田駅が駅から離れるにつれて多くなる。

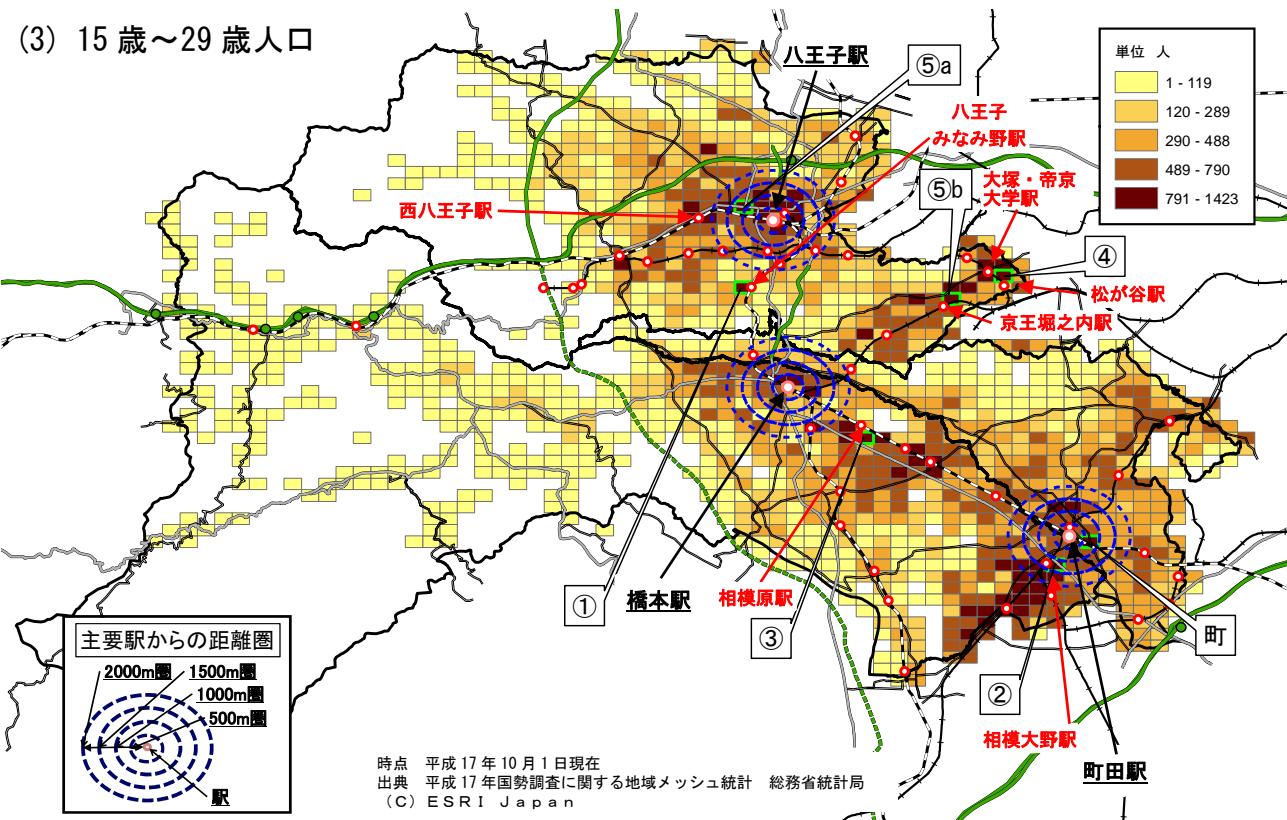
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	人
①	(町田市)小山ヶ丘、(八王子市)鎌水、南大沢	1245
②	(八王子市)宇津貫町、みなみ野、七国	913
③	(八王子市)南大沢、別所	820
④	(町田市)小川、鶴間、南つくし野	794
⑤	(町田市)小川、鶴間、南つくし野	765
相	(相模原市)相南	749

①は多摩境駅周辺
②は八王子みなみ野駅周辺
③は南大沢駅周辺
④は南町田駅周辺
⑤は町田街道沿い

■主要駅の距離別 0 歳～14 歳人口





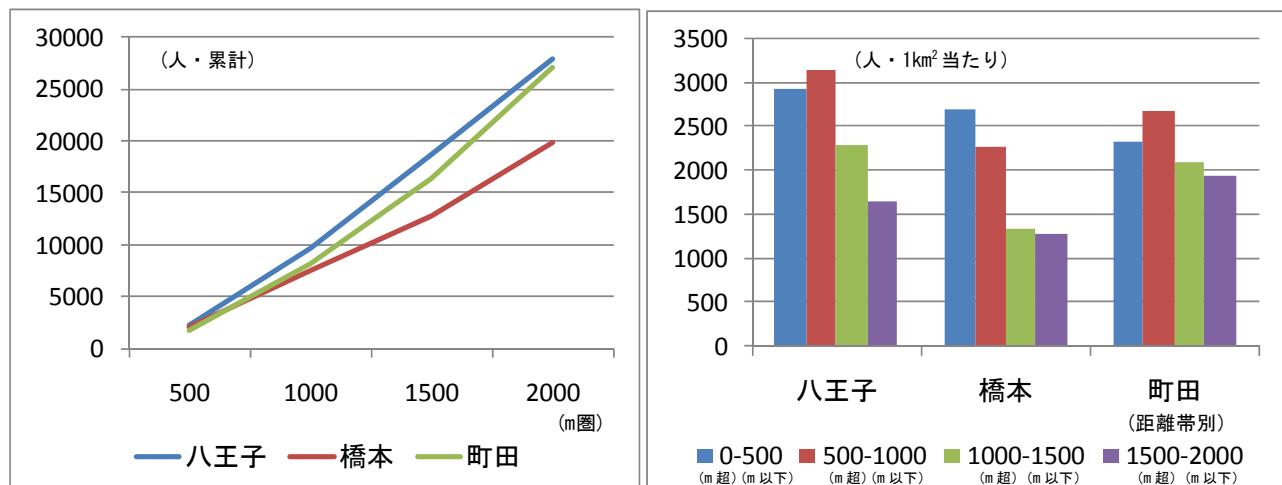
- 上位5位のメッシュは、大学周辺で学生会館等が所在する地域が多い。
- 主要駅の距離別15歳～29歳人口は、2000m圏の累計では八王子駅が多く、1km²当たりは、1500m超-2000m以下では町田駅が最も多いが、その他の距離帯では八王子駅が最も多い。

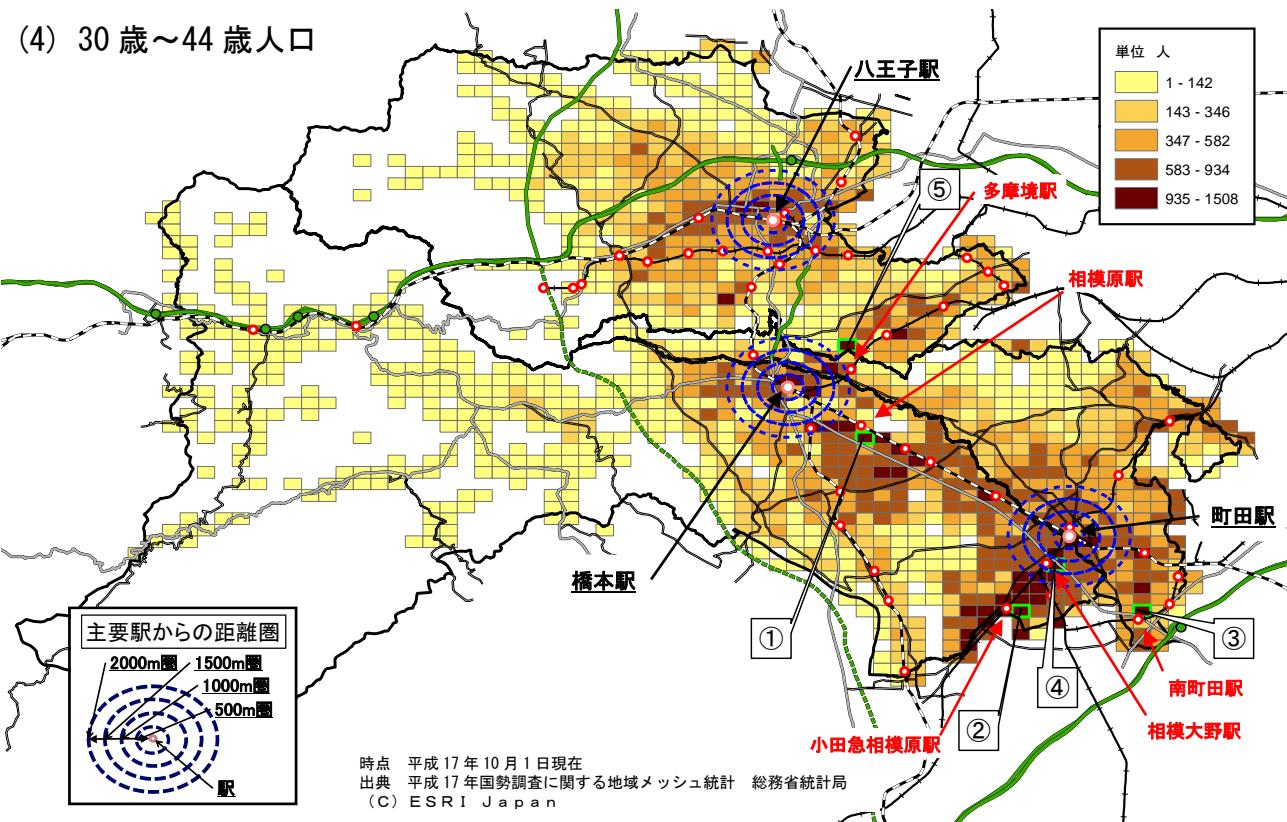
■上位5位のメッシュ

NO	住所	人
①	(八王子市)みなみ野、西片倉、兵衛	1423
②	(相模原市)上鶴間、相模大野、上鶴間本町	1357
③	(相模原市)相模原、中央	1318
④	(八王子市)大塚、鹿島、松が谷	1262
⑤a	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	1211
⑤b	(八王子市)別所、堀之内	1211
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	1197

- ①は八王子みなみ野駅周辺で学生会館が所在する地域
- ②は相模大野駅周辺
- ③は相模原駅周辺
- ④は松が谷駅、大塚・帝京大学駅間の多摩モノレール沿線
- ⑤aは八王子駅、西八王子駅間のJR中央線沿線で学生会館が所在する地域
- ⑤bは京王堀之内駅周辺

■主要駅の距離別15歳～29歳人口





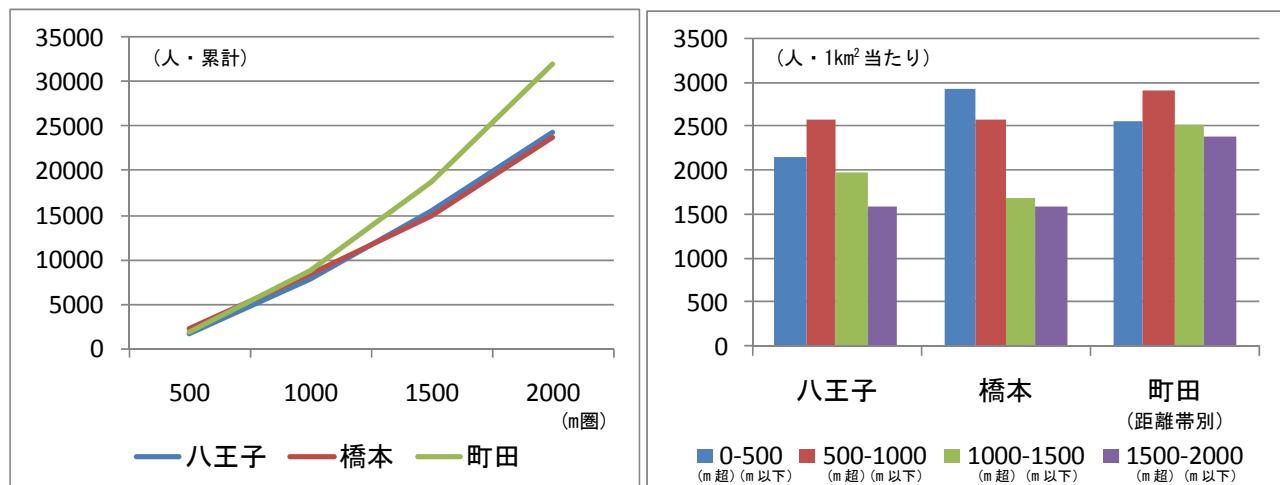
- 上位 5 位のメッシュは、駅周辺や新興の住宅地域である。
- 主要駅の距離別 30 歳～44 歳人口は、2000m 圏の累計では町田駅が多く、1km²当たりは、0m 超～500m 以下では橋本駅が最も多いが、その他の距離帯では町田駅が最も多い。

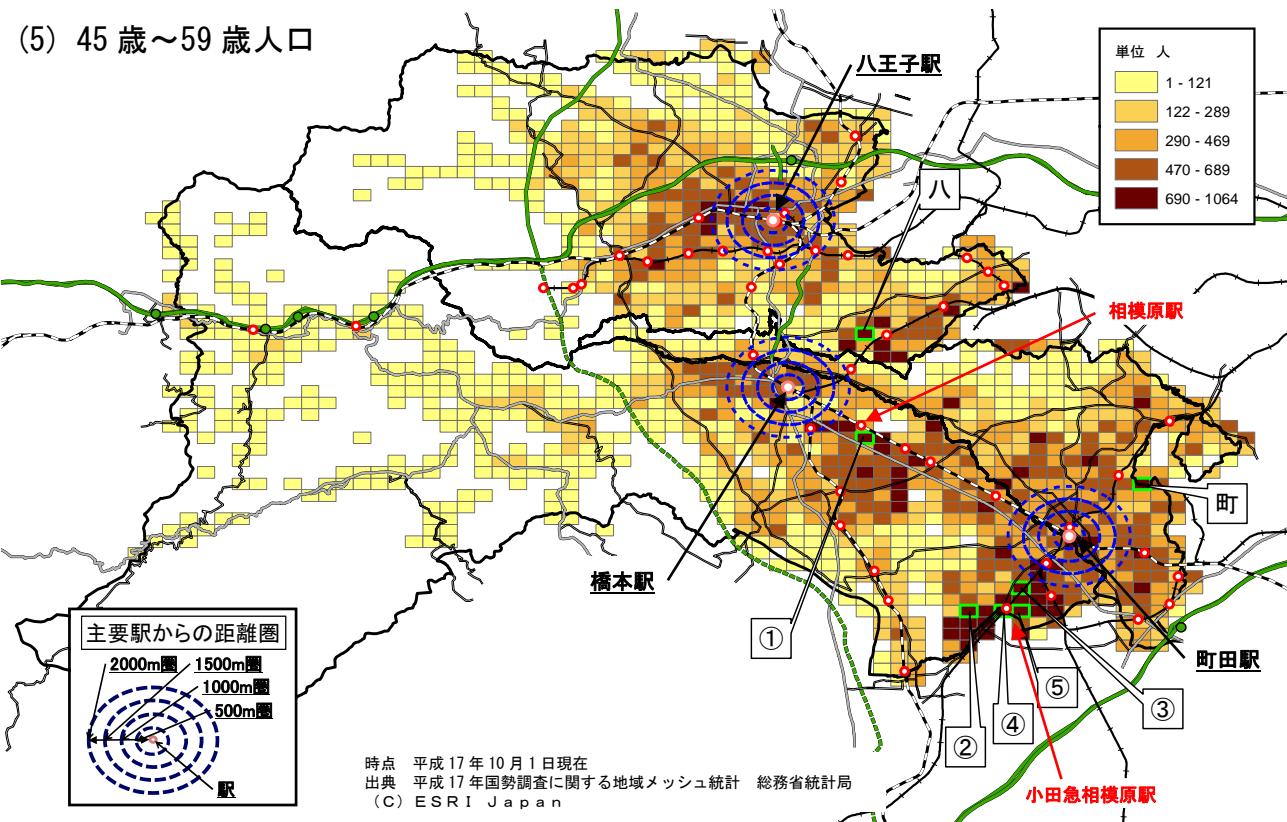
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	人
①	(相模原市)相模原、中央	1508
②	(相模原市)相南、松が枝町	1423
③	(町田市)小川、鶴間、南つくし野	1400
④	(相模原市)上鶴間、相模大野、上鶴間本町	1398
⑤	(町田市)小山ヶ丘、(八王子市)鎌水、南大沢	1396

①は相模原駅周辺
②は小田急相模原駅周辺
③は南町田駅周辺
④は相模大野駅周辺
⑤は多摩境駅周辺

■主要駅の距離別 30 歳～44 歳人口





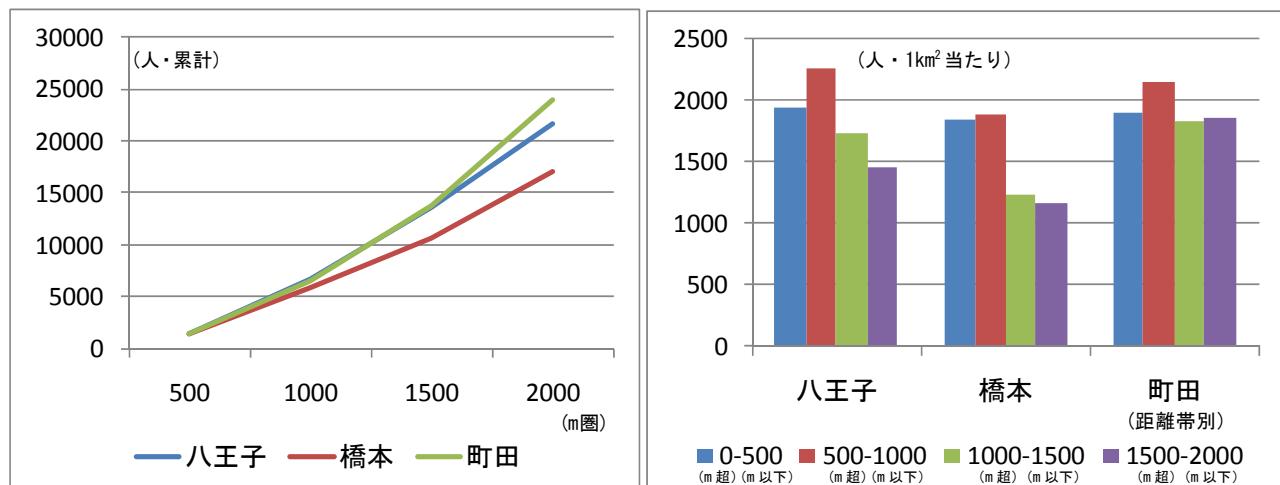
- 上位 5 位のメッシュは、小田急相模原駅周辺が多い。
- 主要駅の距離別 45 歳～59 歳人口は、2000m 圏の累計では町田駅が多く、1km²当たりは、1000m 超-1500m 以下、1500m 超-2000m 以下では町田駅が最も多い。

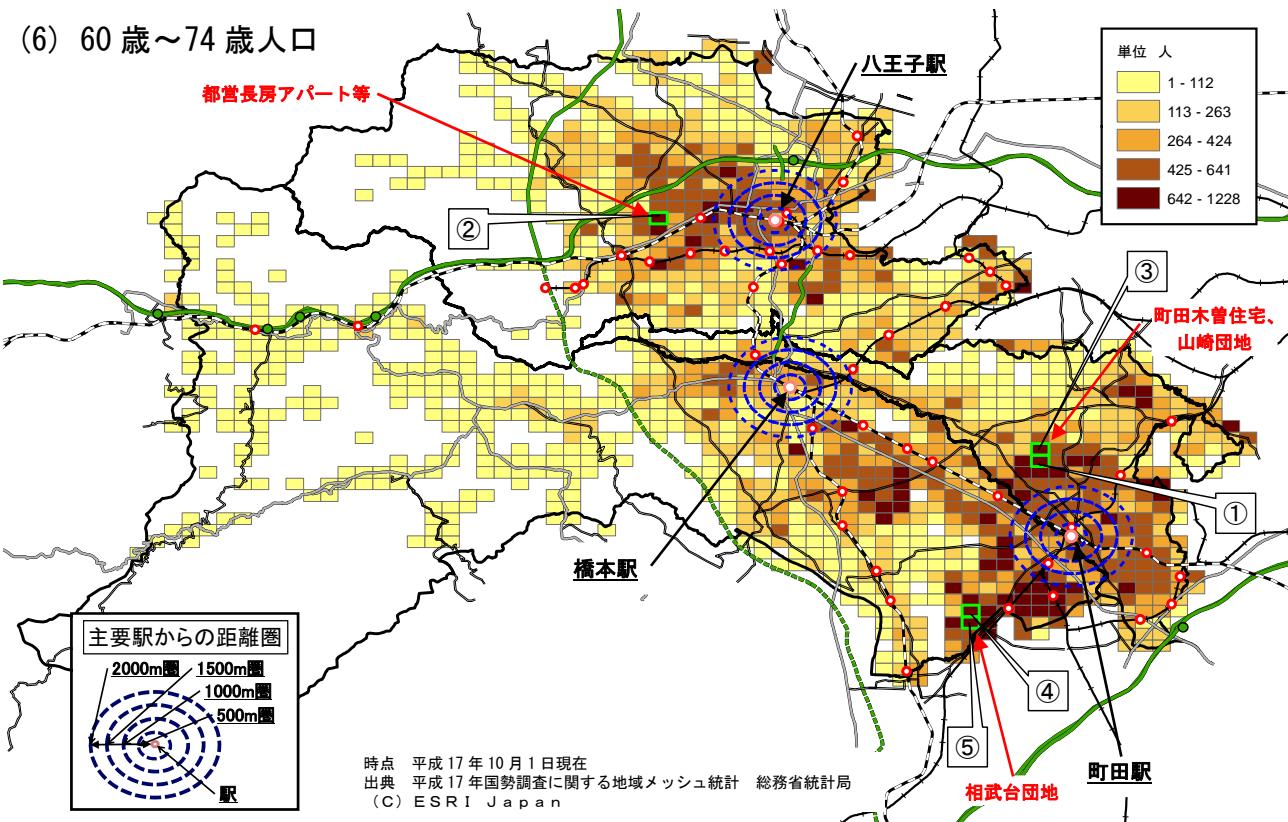
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	人
①	(相模原市)相模原、中央	1064
②	(相模原市)新磯野、相模台、相武台団地	1024
③	(相模原市)旭町、上鶴間、南台、東林間	1008
④	(相模原市)相模台、南台、相南、松が枝町	1002
⑤	(相模原市)相南、松が枝町	997
八	(八王子市)上柚木、南大沢	951
町	(町田市)玉川学園、成瀬台、東玉川学園	934

①は相模原駅周辺
②～⑤は小田急相模原駅周辺

■主要駅の距離別 45 歳～59 歳人口





- 上位 5 位のメッシュは、昭和 40 年代に建設された団地が所在する地域である。
- 主要駅の距離別 60 歳～74 歳人口は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多く、1km²当たりは、町田駅が駅から離れるにつれて多くなる傾向がある。

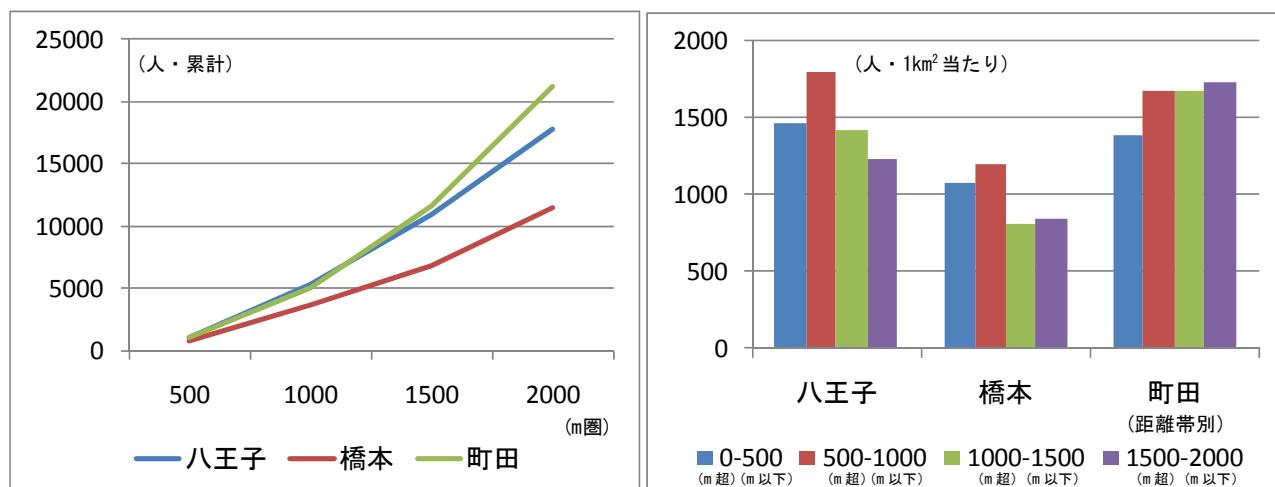
■上位 5 位のメッシュ

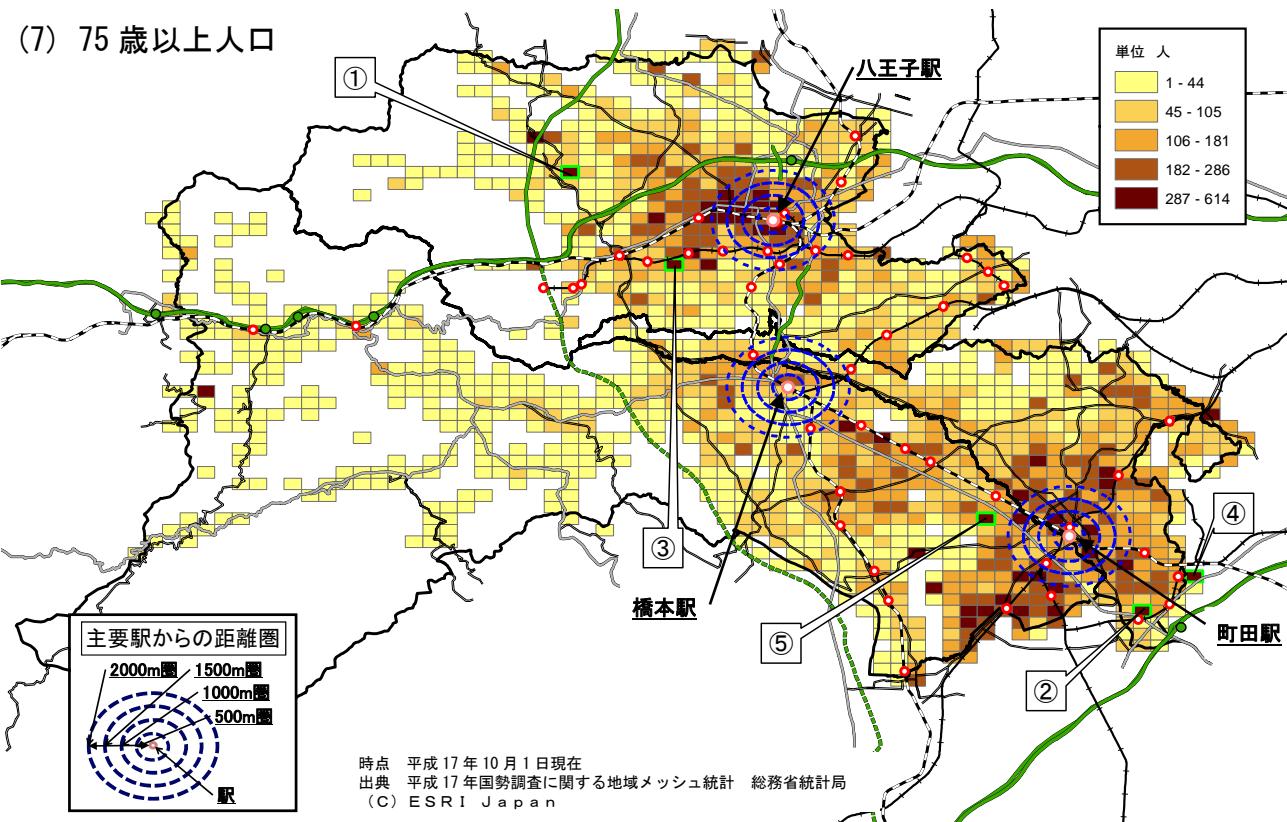
NO	住所	人
①	(町田市)木曾町、本町田、山崎町	1228
②	(八王子市)長房町	1158
③	(町田市)山崎町	1130
④	(相模原市)新磯野、相模台、相武台団地	1091
⑤	(相模原市)新磯野、相模台、相武台、相武台団地	1041

上位 5 位のメッシュは、次の団地が所在する地域
 ①は町田木曾住宅（都公社）、山崎団地（UR）
 ②は都営長房アパート等
 ③は山崎団地（UR）
 ④、⑤は相武台団地（県公社）

◆UR は、独立行政法人都市再生機構、都公社は、東京都住宅供給公社、県公社は、神奈川県住宅供給公社のことをいう。

■主要駅の距離別 60 歳～74 歳人口





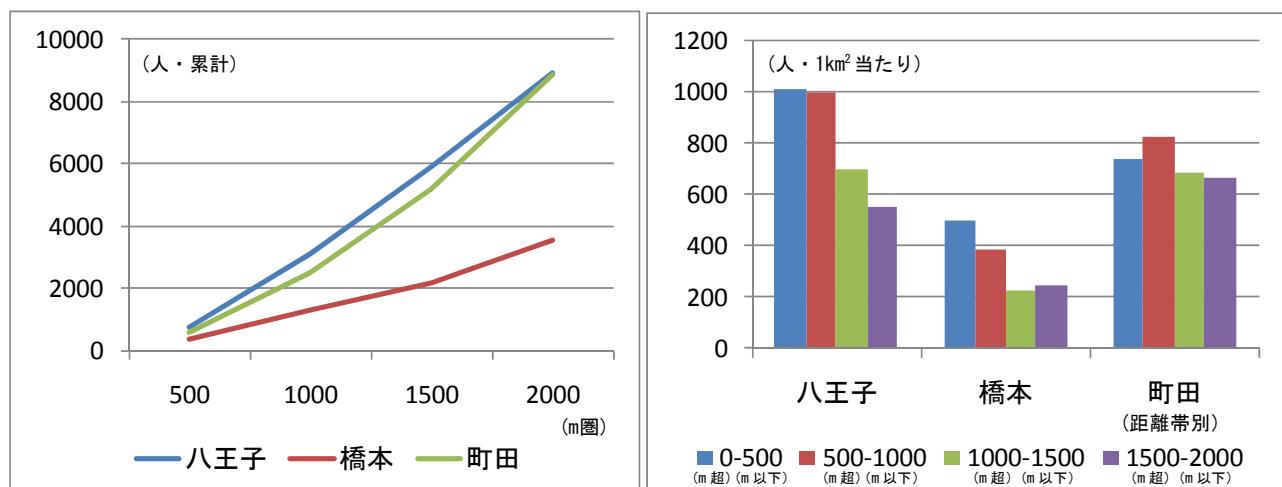
- ・上位 5 位のメッシュは、老人施設、病院等が所在する地域である。
- ・主要駅の距離別 75 歳以上人口は、2000m 圏の累計では橋本駅が他の駅の 4 割程度で、1km² 当たりは、八王子駅の 0m 超-500m 以下、500m 超-1000m 以下では 1000 人を超えている。

■上位 5 位のメッシュ

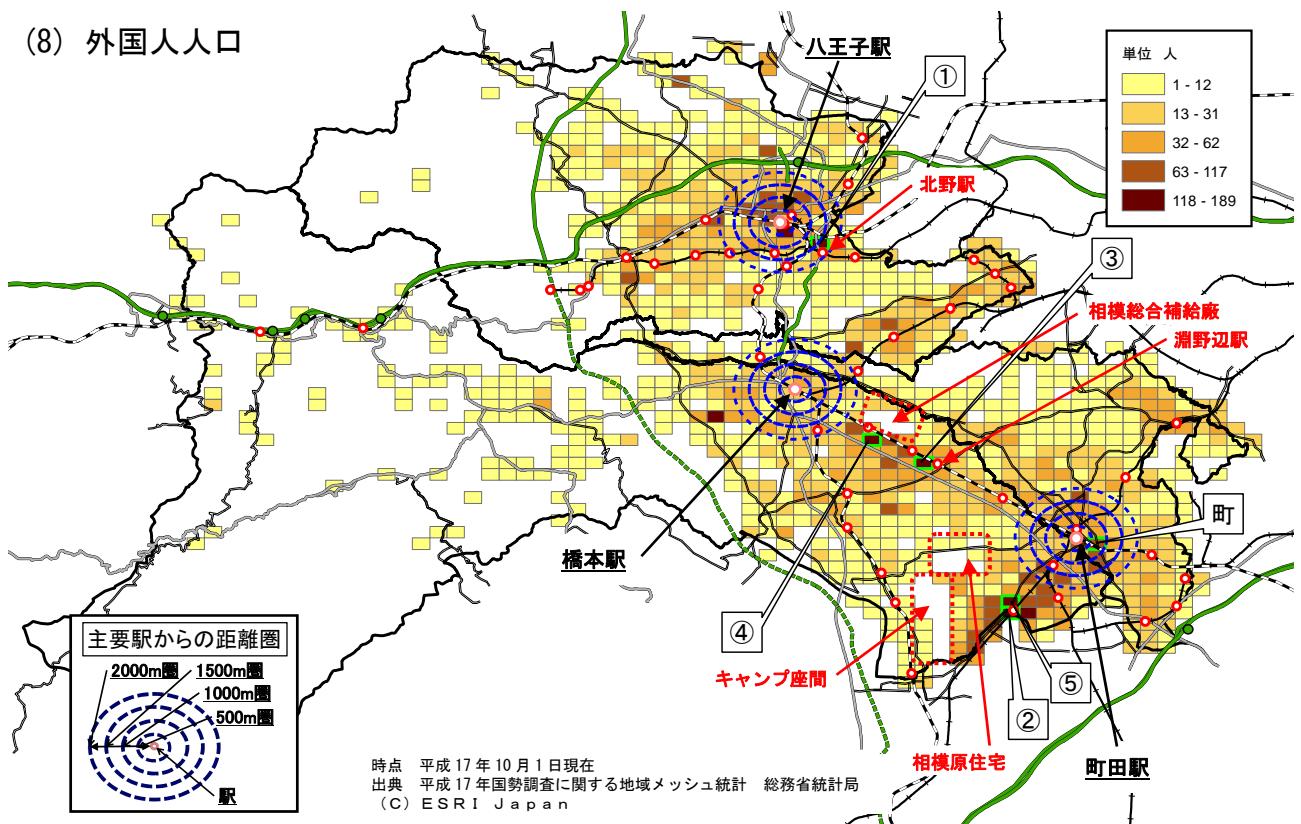
NO	住所	人
①	(八王子市)川町、下恩方町、西寺方町	614
②	(町田市)小川、鶴間、南つくし野	560
③	(八王子市)東浅川町、めじろ台、鴨田町	510
④	(町田市)つくし野	491
⑤	(相模原市)大野台、西大沼、東大沼	460

①～⑤は老人施設、病院等が所在する地域

■主要駅の距離別 75 歳以上人口



(8) 外国人人口



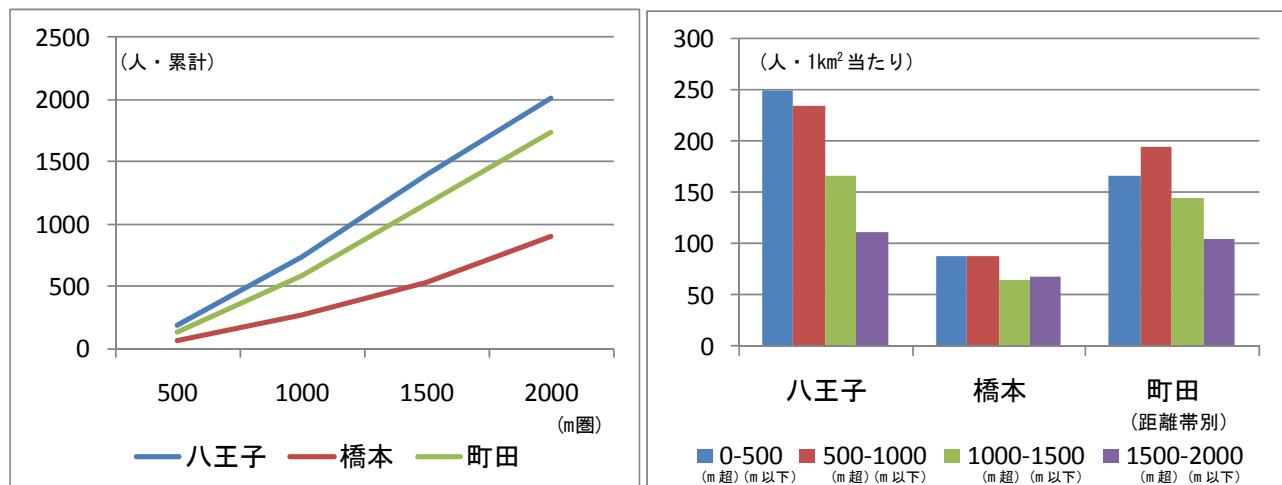
- 上位 5 位のメッシュは工業団地がある北野駅、学生会館がある淵野辺駅など駅周辺に多い。
- 主要駅の距離別外国人人口は、2000m 圏の累計では八王子駅が最も人口が多く、1km²当たりは、八王子駅がすべての距離帯で最も多い。

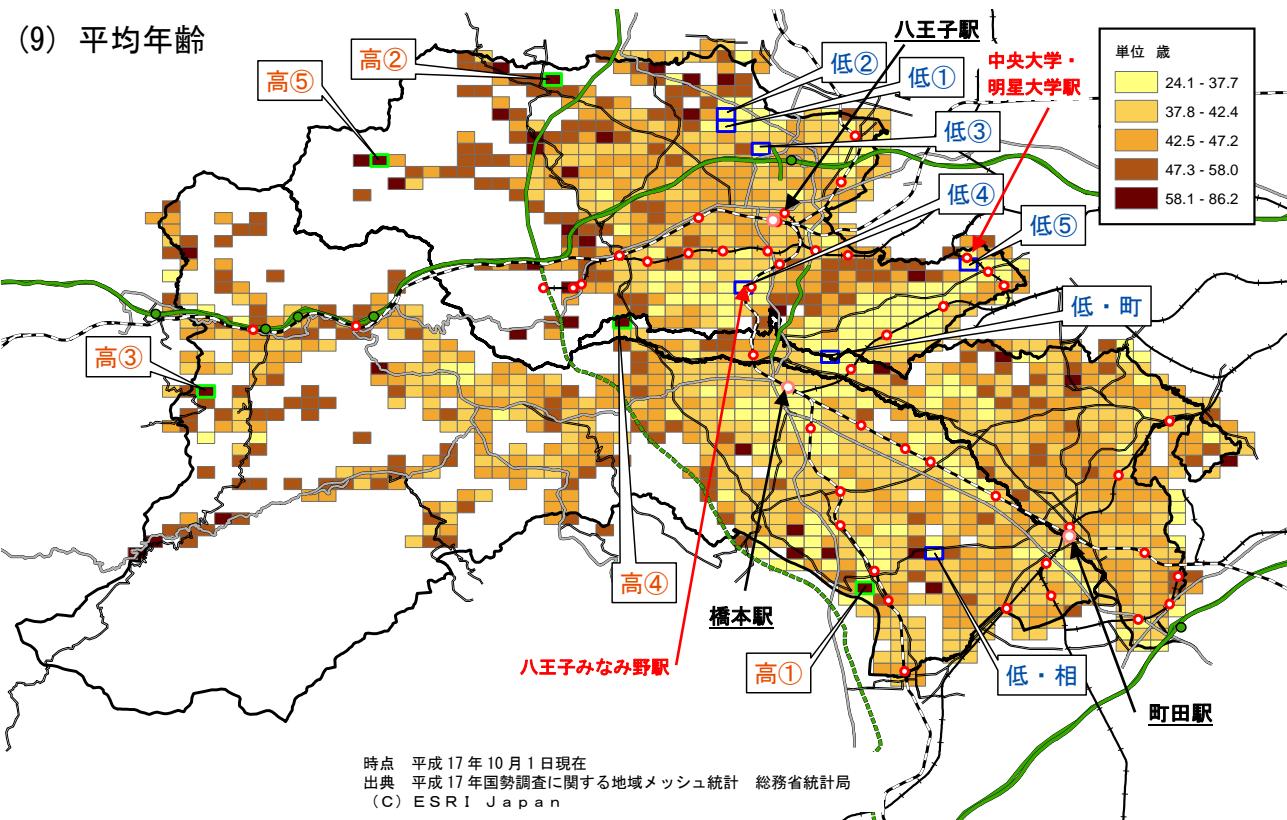
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	人
①	(八王子市)北野町、打越町	189
②	(相模原市)相模台、南台、相南、松が枝町	187
③	(相模原市)矢部、鹿沼台、淵野辺	166
④	(相模原市)相模原、中央	154
⑤	(相模原市)上鶴間、南台、松が枝町	142
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	117

①北野駅周辺で工業団地が所在する地域
③は淵野辺駅周辺で留学生の学生会館が所在する地域

■主要駅の距離別外国人人口





- 上位 5 位（平均年齢が高い年齢）のメッシュは、老人施設等が所在する地域である。
- 下位 5 位（平均年齢が低い年齢）のメッシュは、大学周辺で学生寮等が所在する地域である。

■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	歳
高①	(相模原市)当麻	86.2
高②	(八王子市)上川町	78.9
高③	(相模原市)名倉、牧野	77.4
高④	(町田市)相原町、(八王子市)館町	75.5
高⑤	(八王子市)上恩方町	75.1

高①～高④は老人施設等が所在する地域
高⑤は陣馬街道沿い

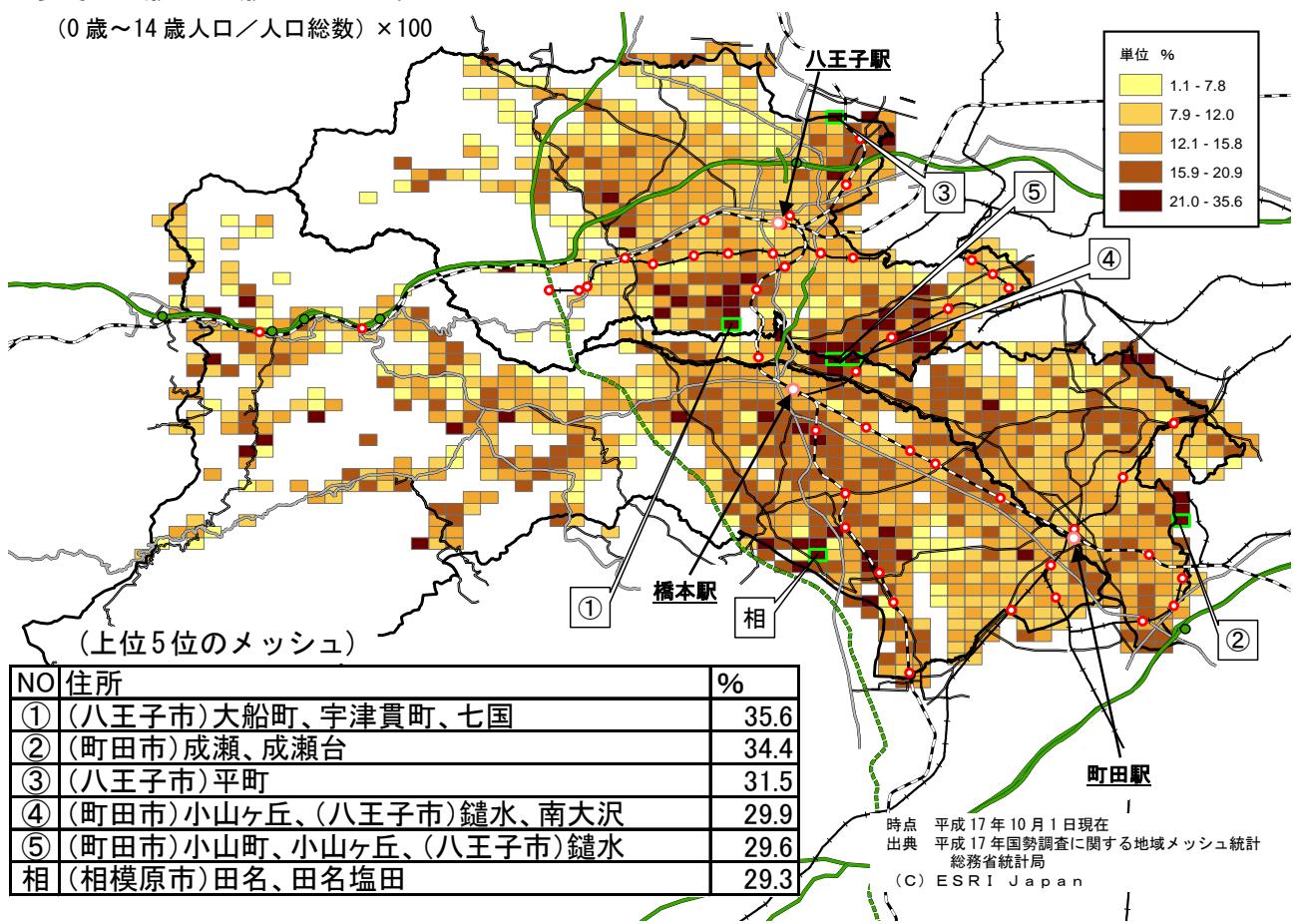
■下位 5 位のメッシュ

NO	住所	歳
低①	(八王子市)谷野町、丹木町、加住町	24.1
低②	(八王子市)谷野町、丹木町、加住町	24.6
低③	(八王子市)左入町、滝山町、梅坪町、谷野町	27.7
低④	(八王子市)みなみ野、西片倉、兵衛	28.9
低⑤	(八王子市)東中野	29.6
低・相	(相模原市)麻溝台、北里	30.1
低・町	(町田市)小山町、小山ヶ丘、(八王子市)鎌水	30.2

低①～低③は創価大学、工学院大学の学生寮等が所在する地域
低④は八王子みなみ野駅前で学生会館が所在する地域
低⑤は中央大学・明星大学駅周辺

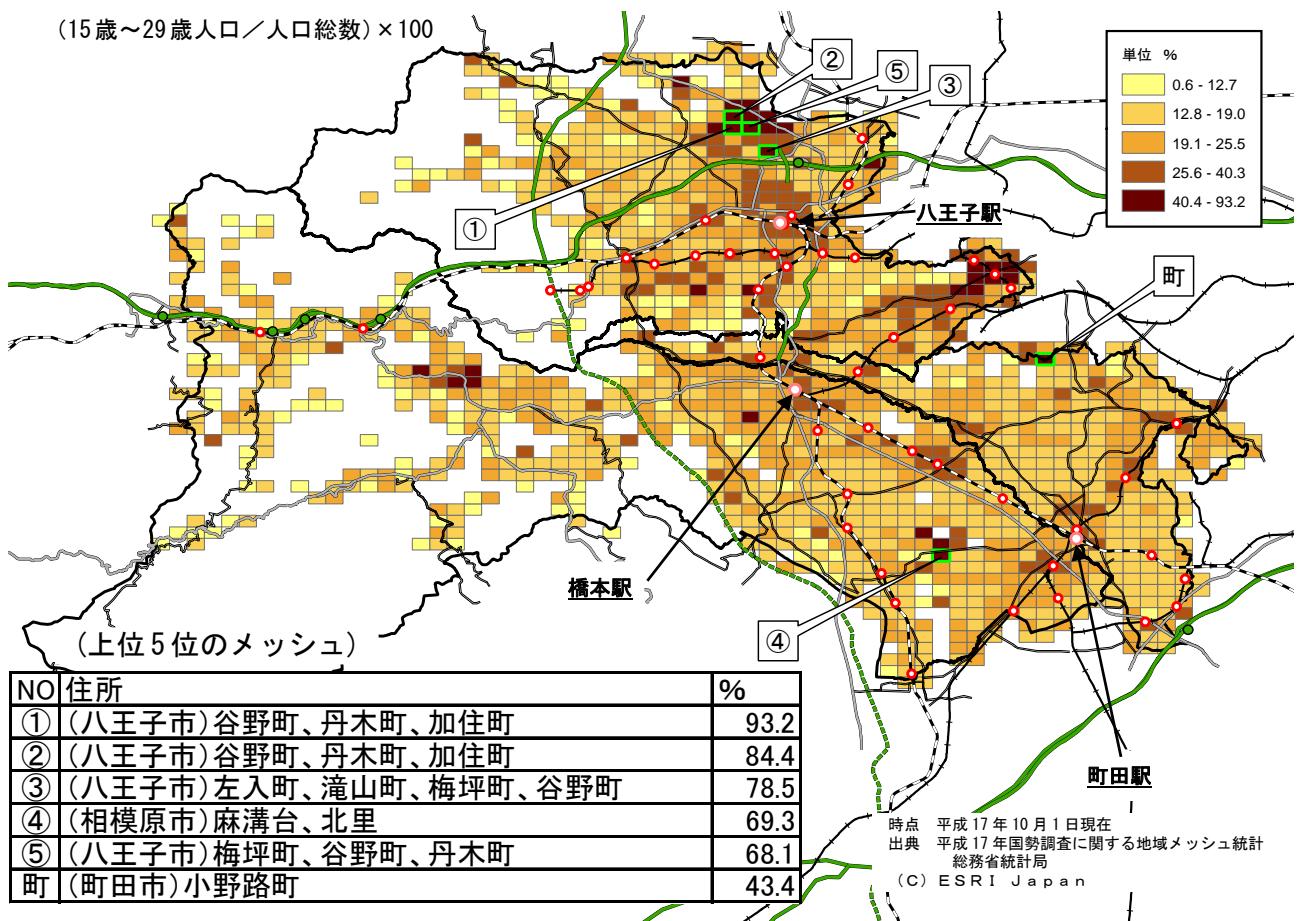
■参考 0歳～14歳人口の比率

(0歳～14歳人口／人口総数) × 100

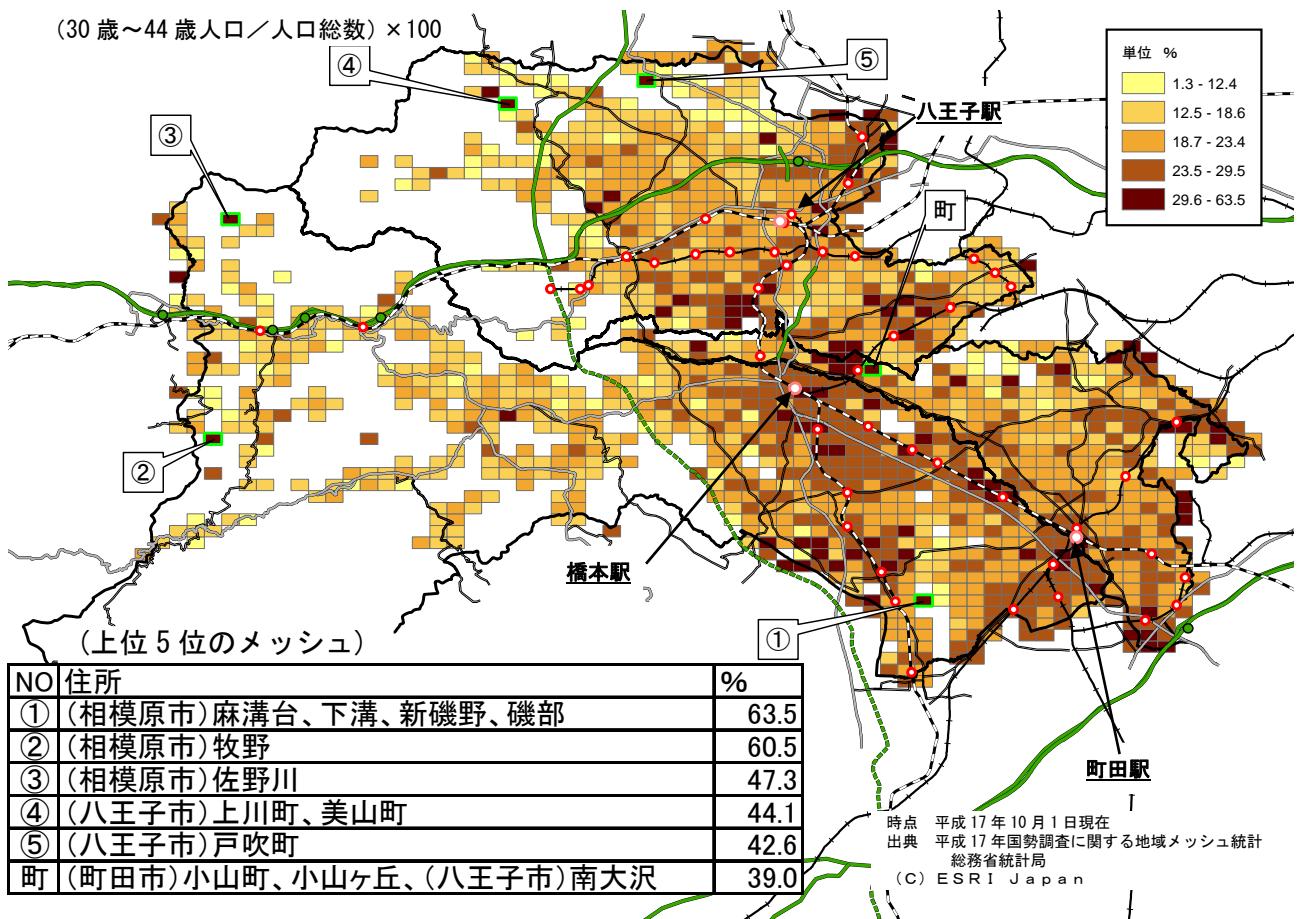


■参考 15歳～29歳人口の比率

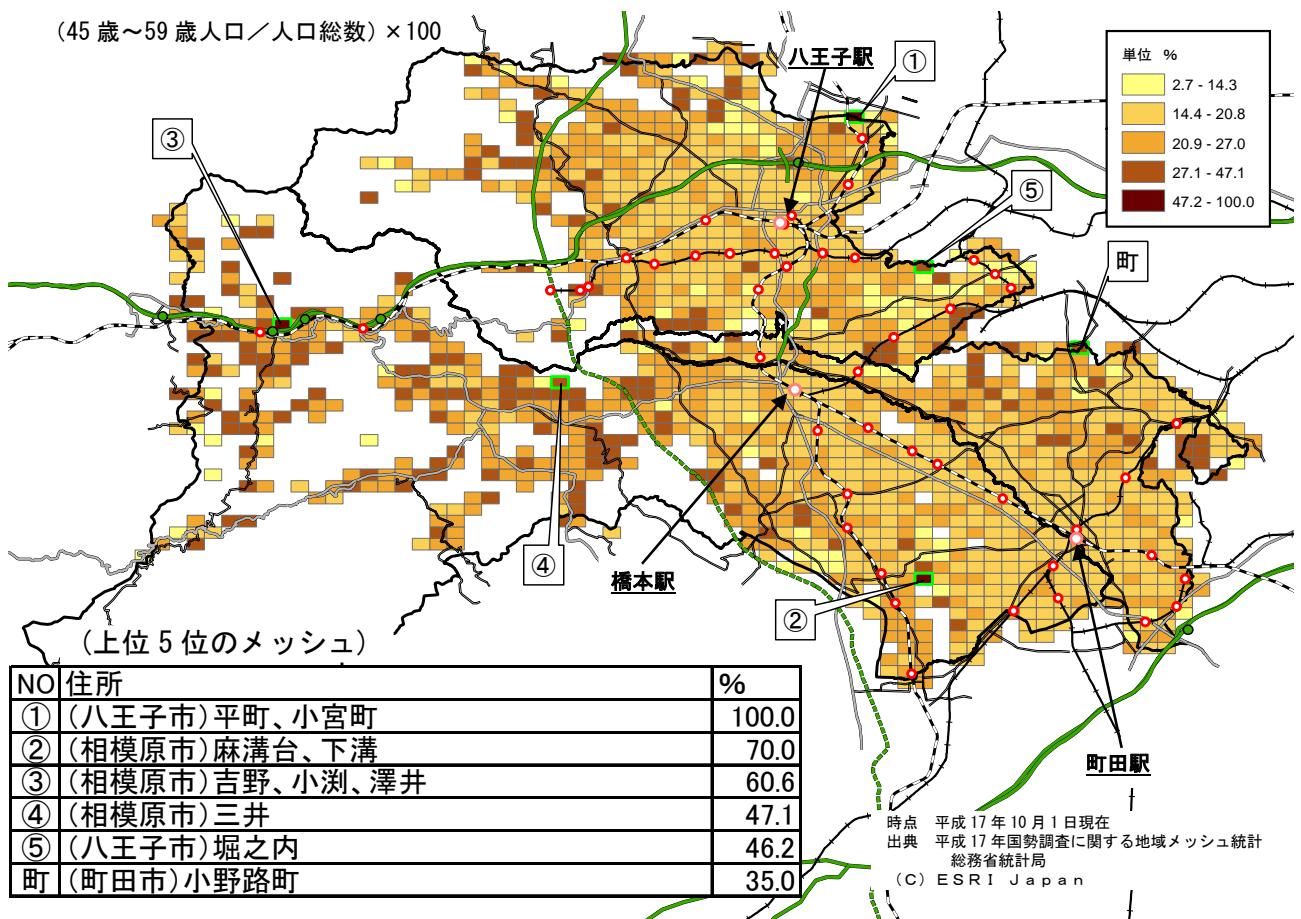
(15歳～29歳人口／人口総数) × 100



■参考 30歳～44歳人口の比率

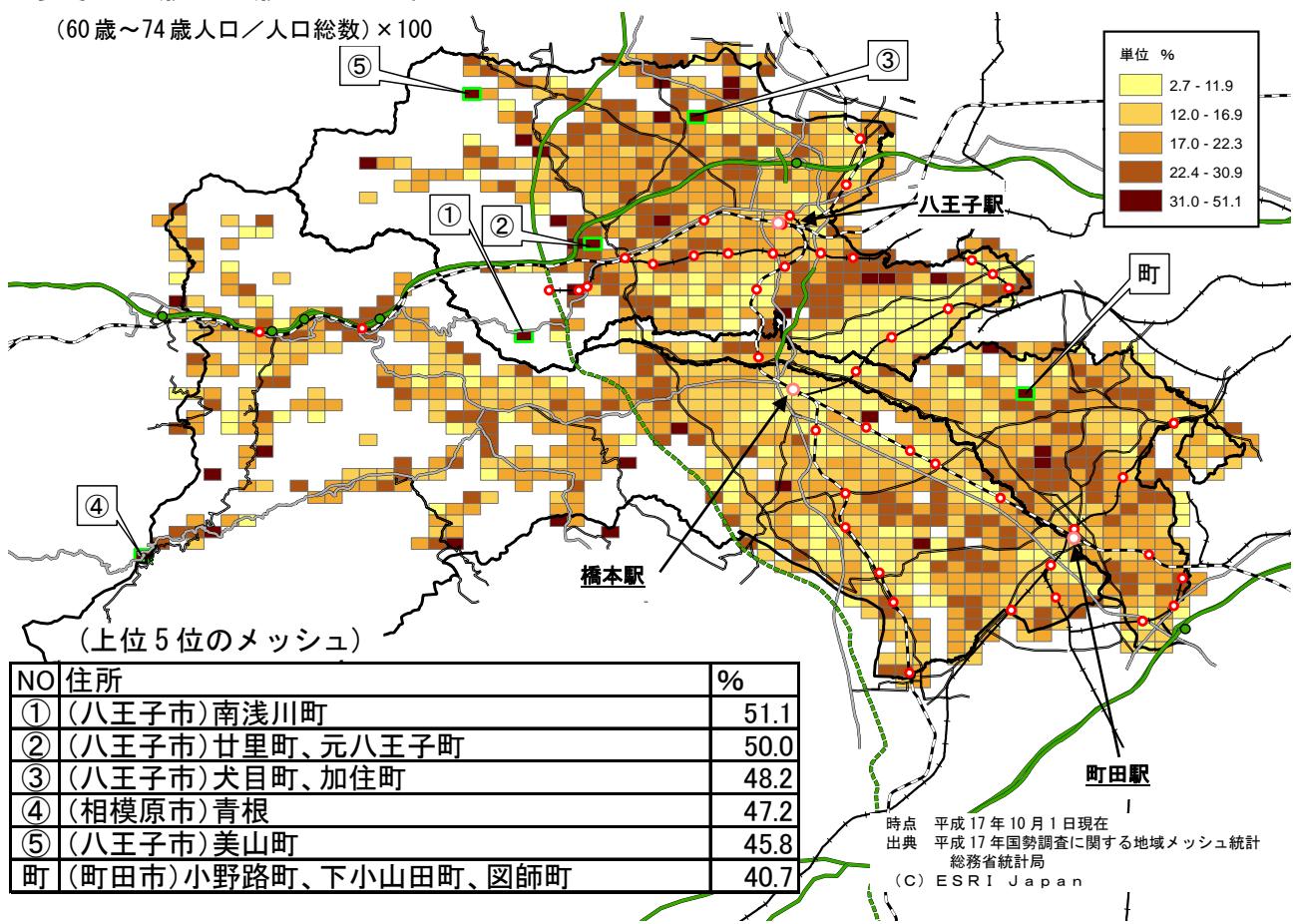


■参考 45歳～59歳人口の比率



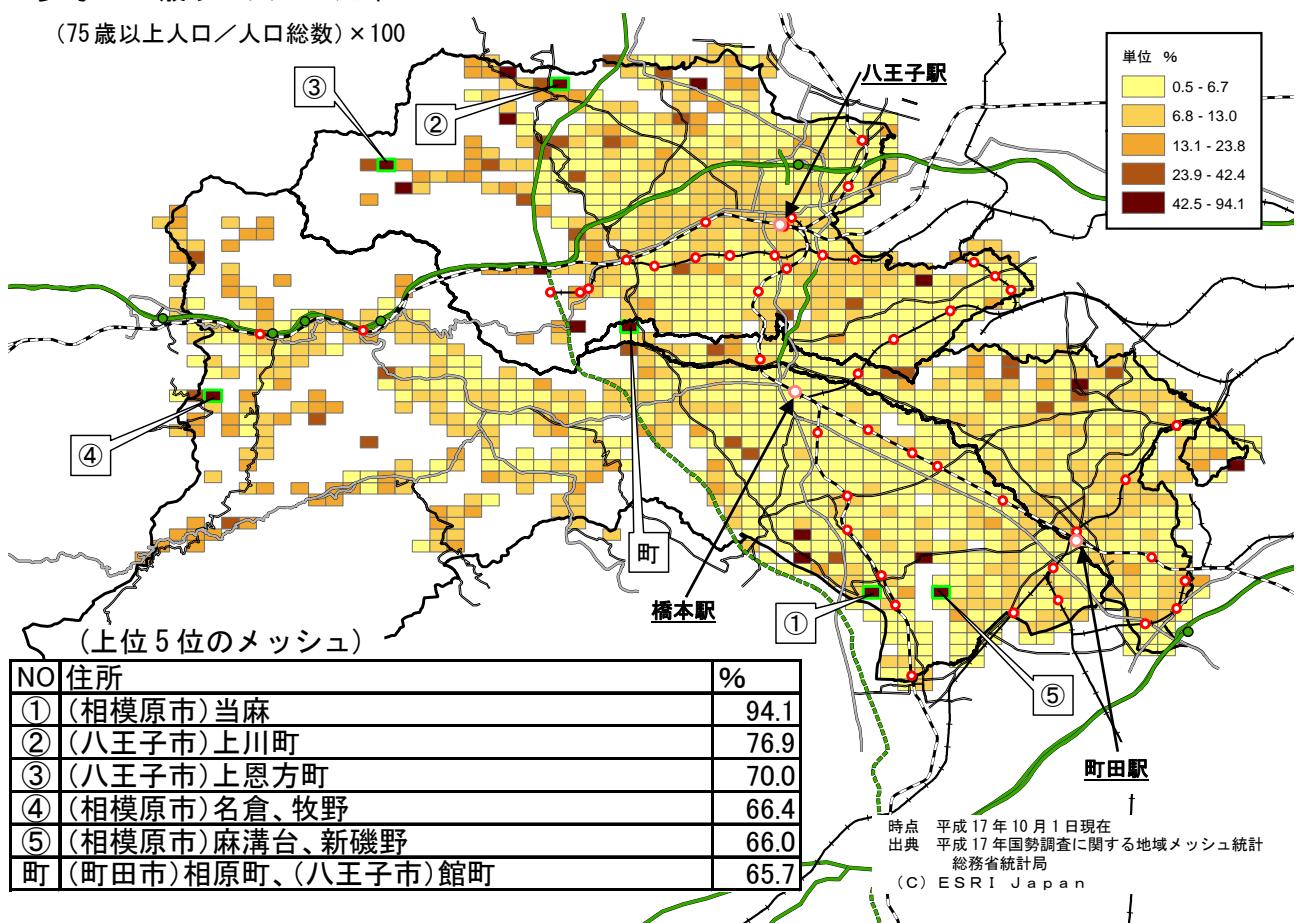
■参考 60歳～74歳人口の比率

(60歳～74歳人口／人口総数) × 100



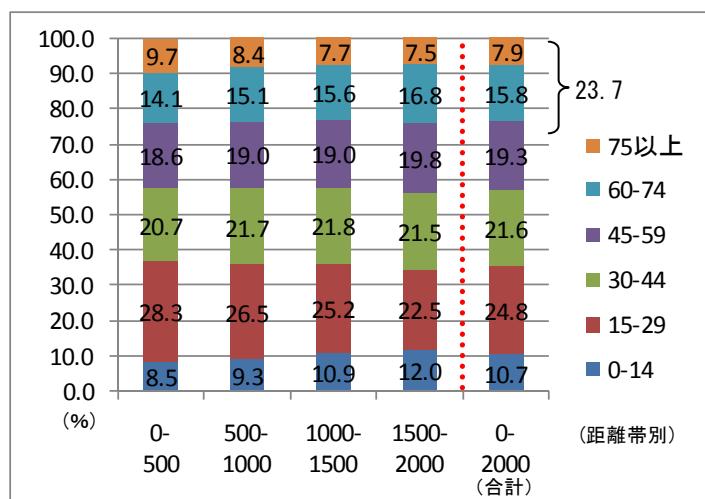
■参考 75歳以上人口の比率

(75歳以上人口／人口総数) × 100



<主要駅の距離別人口構成（年齢別）>

■八王子駅



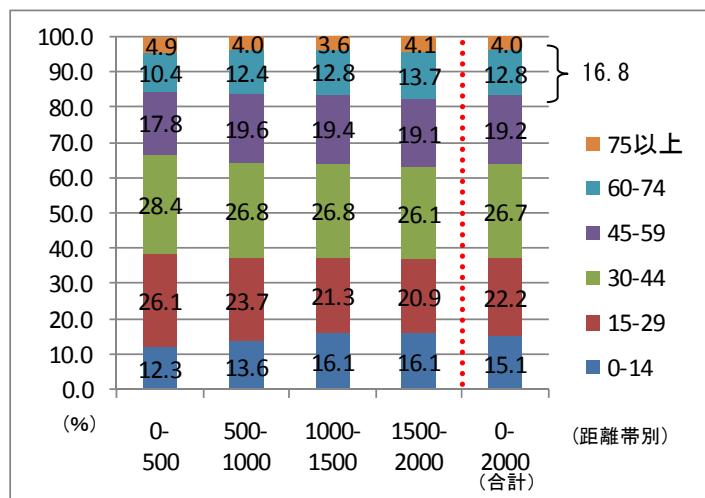
・0m超～2000m以下では、15歳～29歳人口、45歳～59歳人口の構成比が主要駅の中で最も高い。

・15歳～29歳人口の構成比が駅から離れるにつれて低くなる。

・0m超～2000m以下では、60歳～74歳人口に75歳以上人口を加えた60歳以上人口の構成比が主要駅の中で最も高い。

時点 平成17年10月1日現在
出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

■橋本駅



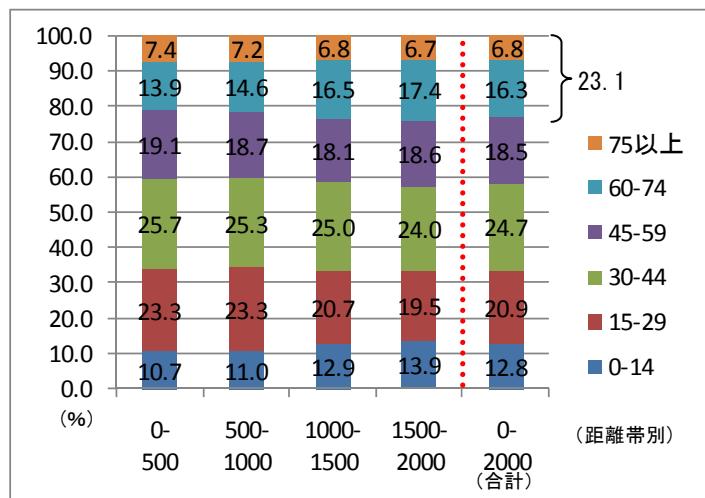
・0m超～2000m以下では、30歳～44歳人口の構成比は4分の1を超えて主要駅の中で最も高い。

・0m超～2000m以下では、0歳～14歳人口の構成比が主要駅の中で最も高い。

・0歳～14歳人口の構成比について、500m超～1000m以下の距離帯と1000m超～1500m以下の距離帯を比較すると2.5ポイント高くなる。

時点 平成17年10月1日現在
出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

■町田駅



・0m超～2000m以下では、60歳～74歳人口の構成比が主要駅の中で最も高い。

時点 平成17年10月1日現在
出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

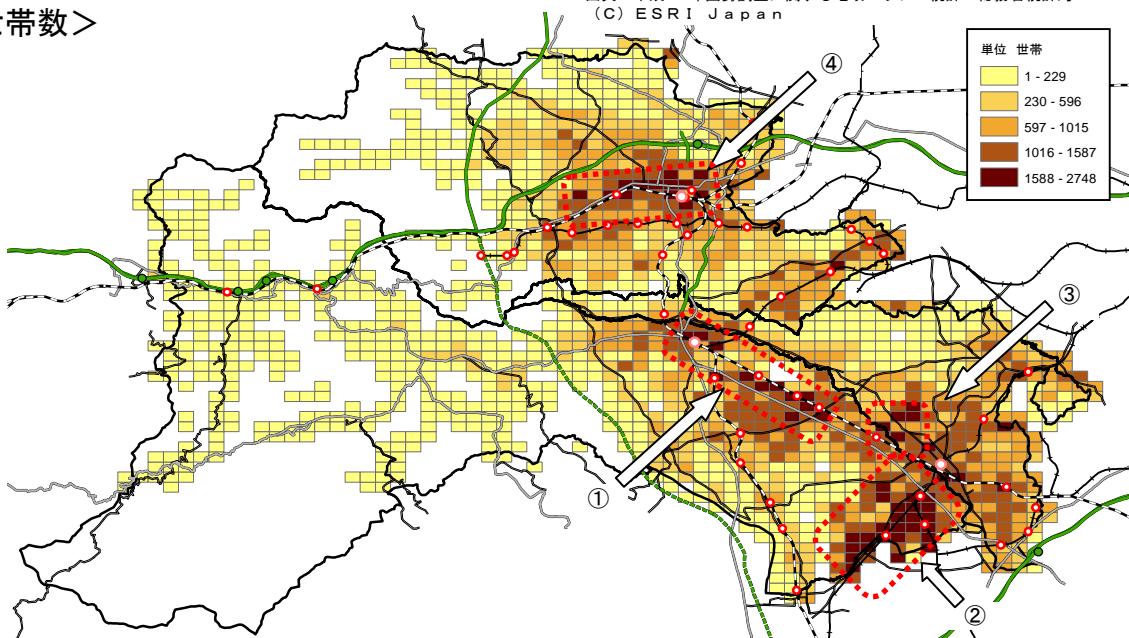
(凡例)

●距離帯区分 0-500…0m超～500m以下、500-1000…500m超～1000m以下、1000-1500…1000m超～1500m以下、1500-2000…1500m超～2000m以下、0-2000…0m超～2000m以下

●年齢区分 0-14…0歳～14歳人口、15-29…15歳～29歳人口、30-44…30歳～44歳人口、45-59…45歳～59歳人口、60-74…60歳～74歳人口、75以上…75歳以上人口

2. 世帯

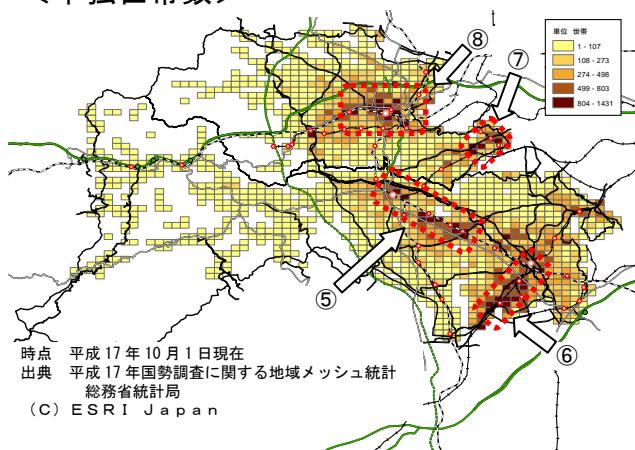
<世帯数>



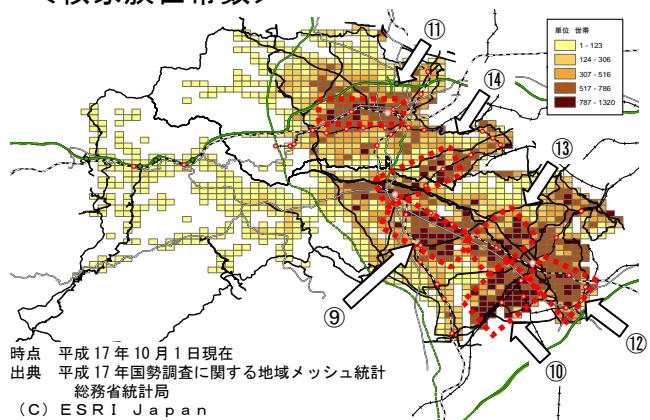
鉄道沿線など利便性の高い地域で世帯が多い。

- ・相模原市のJR横浜線沿線①
- ・相模原市の小田急小田原線沿線、小田急江ノ島線沿線②
- ・町田市の団地が所在する地域③
- ・八王子市のJR中央線沿線④

<単独世帯数>



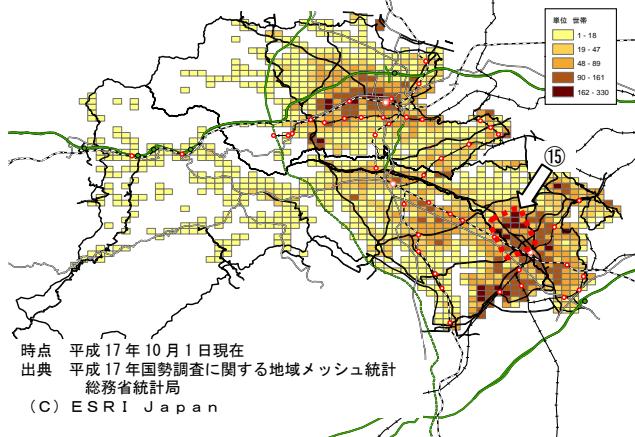
<核家族世帯数>

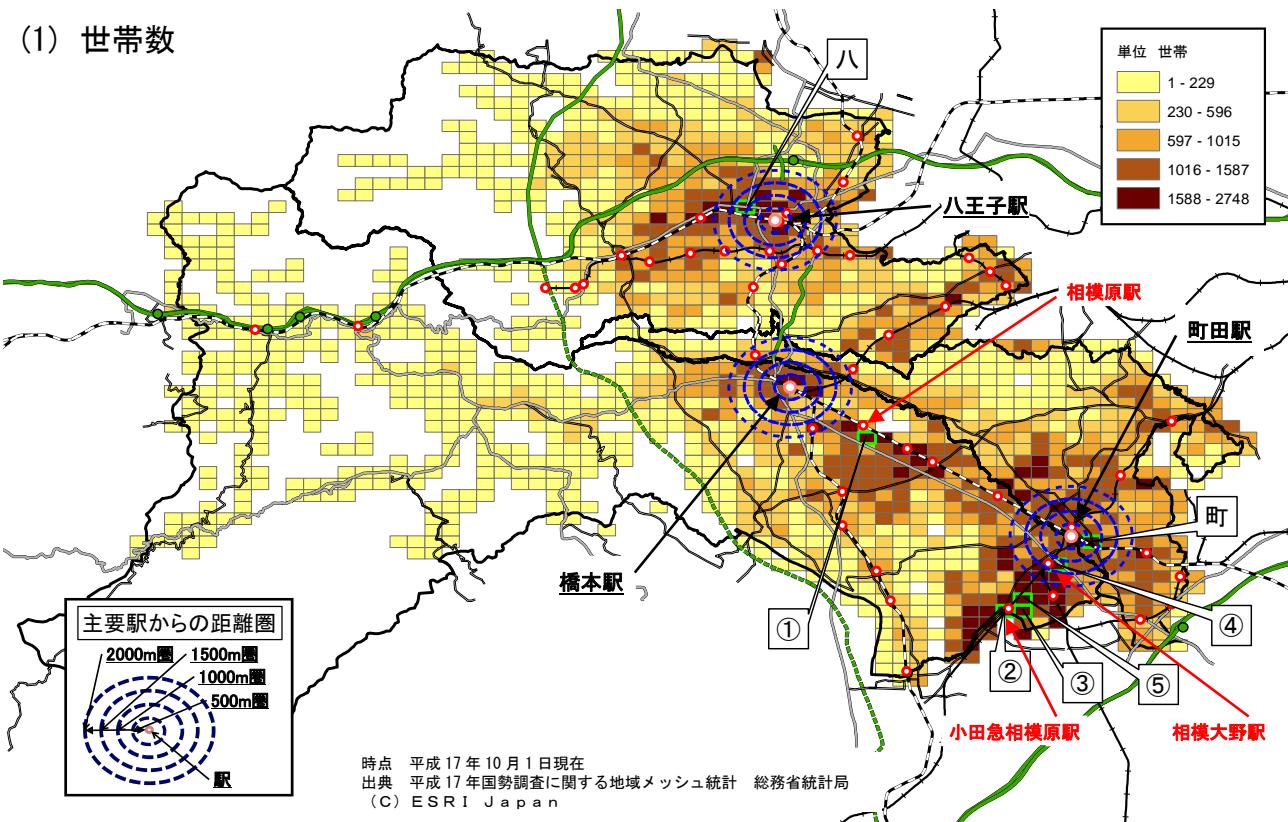


- ・単独世帯は、相模原市のJR横浜線沿線⑤、小田急小田原線沿線、小田急江ノ島線沿線⑥、八王子市の京王相模原線沿線⑦、JR中央線沿線⑧で多い。

- ・核家族世帯は、単独世帯が多い地域（⑨、⑩、⑪）の外に、町田市のJR横浜線沿線等⑫、相模原市の古淵駅周辺、町田市の団地が所在する地域⑬、3市を通る京王相模原線沿線⑭で多い。
- ・高齢単身世帯は、町田市の昭和40年代に建設された団地が所在する地域⑮で多い。

<高齢単身世帯数>





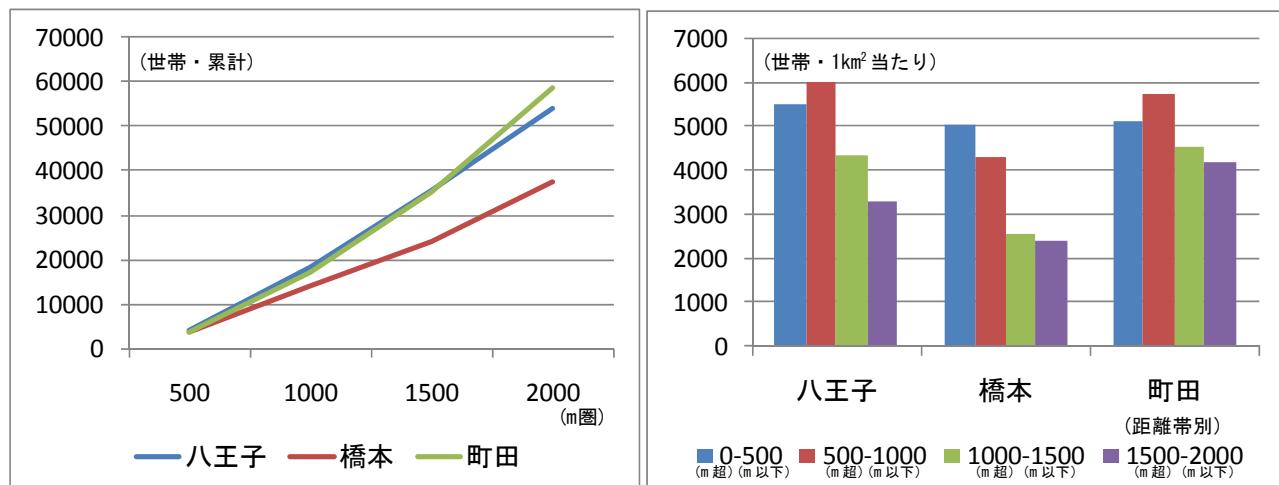
- 上位 5 位のメッシュは、小田急相模原駅周辺が多い。
- 主要駅の距離別世帯数は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多く、橋本駅の約 1.5 倍となっている。

■上位 5 位のメッシュ

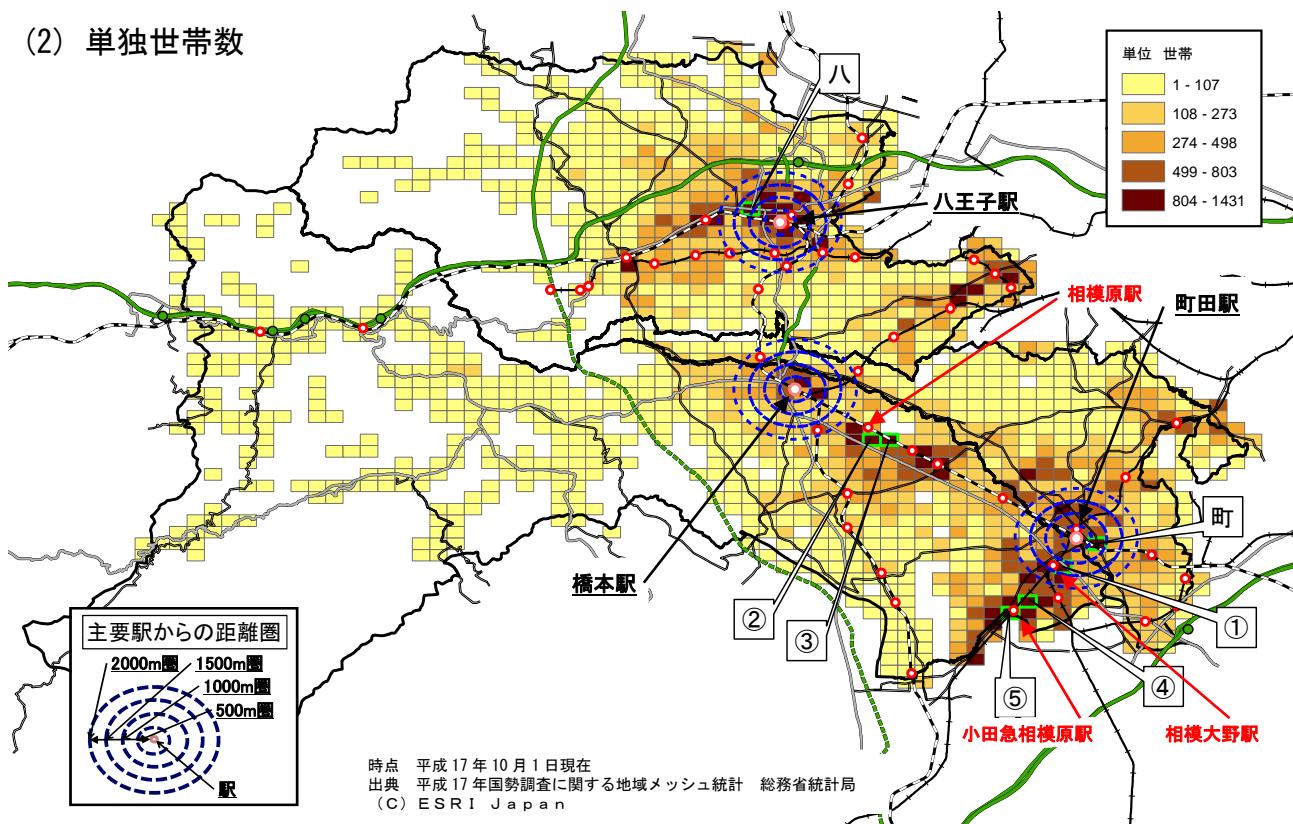
NO	住所	世帯
①	(相模原市)相模原、中央	2748
②	(相模原市)相模台、南台、相南、松が枝町	2512
③	(相模原市)相南、松が枝町	2506
④	(相模原市)上鶴間、相模大野、上鶴間本町	2504
⑤	(相模原市)南台、相南、東林間、松が枝町	2441
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	2410
八	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	2373

①は相模原駅周辺
②、③、⑤は小田急相模原駅周辺
④は相模大野駅周辺

■主要駅の距離別世帯数



(2) 単独世帯数



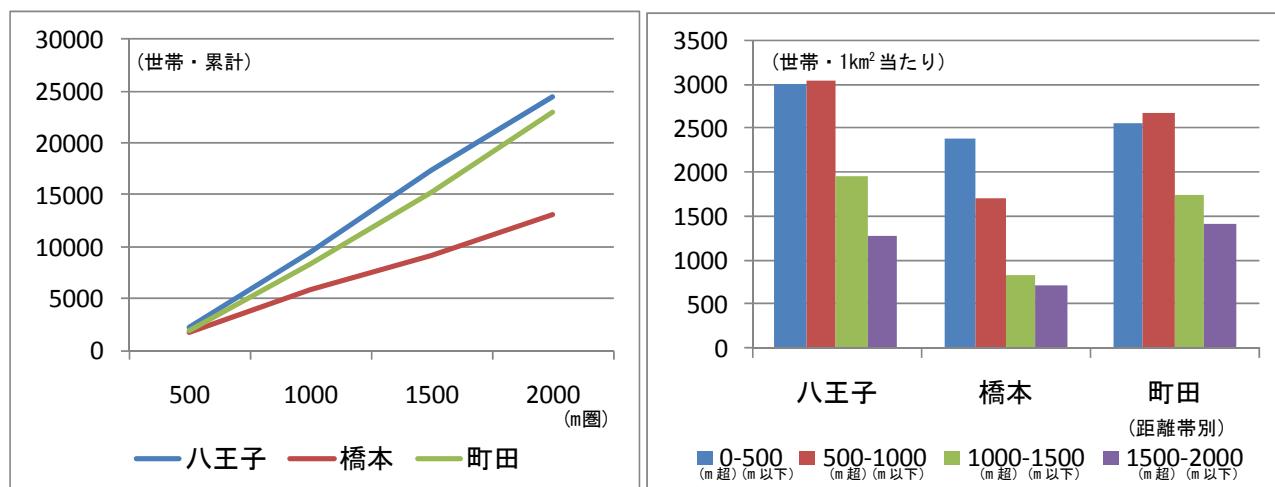
- 上位 5 位のメッシュは、相模原市の駅周辺である。
- 主要駅の距離別単独世帯数は、2000m 圏の累計では八王子駅が最も多く、橋本駅の約 2 倍で、 1km^2 当たりは、八王子駅の 0m 超-500m 以下、500m 超-1000m 以下では 3000 世帯を超えていている。

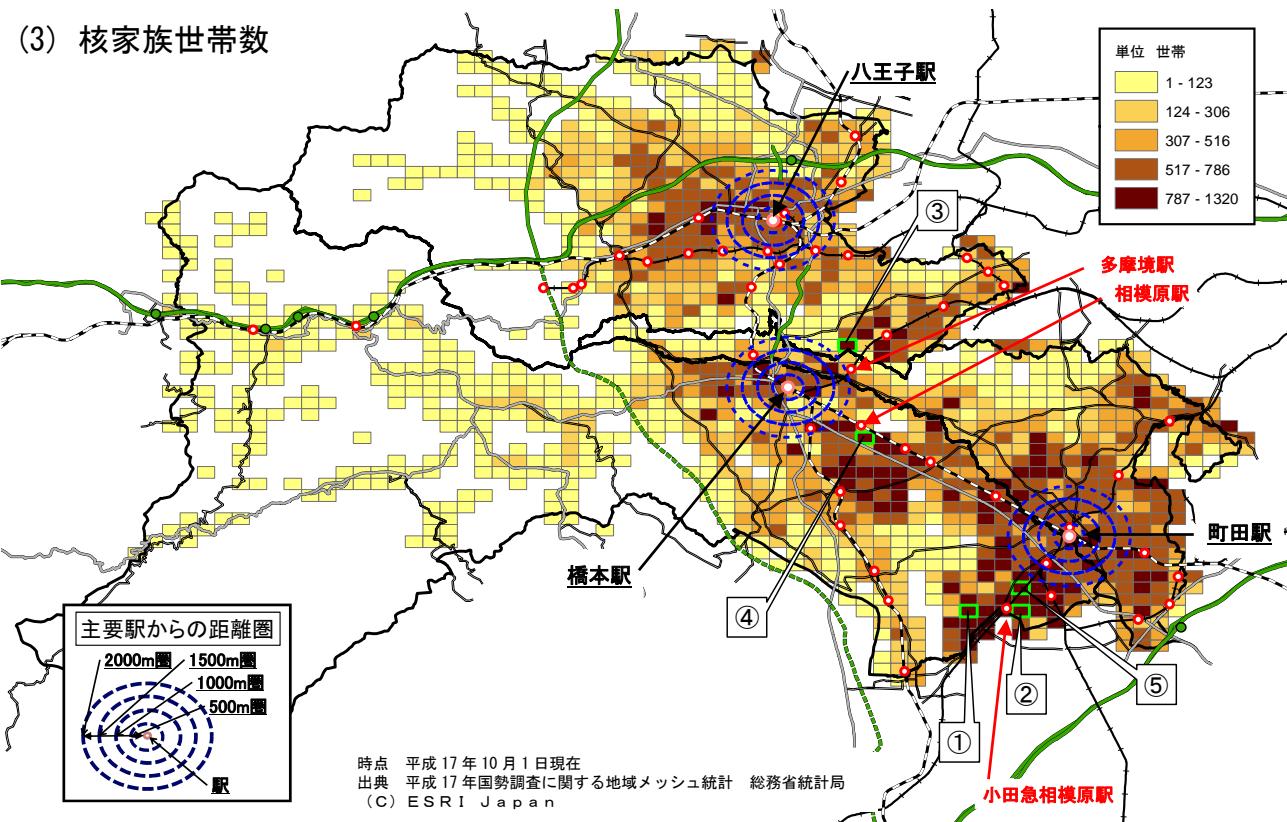
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	世帯
①	(相模原市)上鶴間、相模大野、上鶴間本町	1431
②	(相模原市)相模原、中央	1390
③	(相模原市)小山、相模原、矢部、矢部新田	1356
④	(相模原市)南台、相南、東林間、松が枝町	1258
⑤	(相模原市)相模台、南台、相南、松が枝町	1243
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	1233
八	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	1181

①は相模大野駅周辺
②、③は相模原駅周辺
④、⑤は小田急相模原駅周辺

■主要駅の距離別単独世帯数





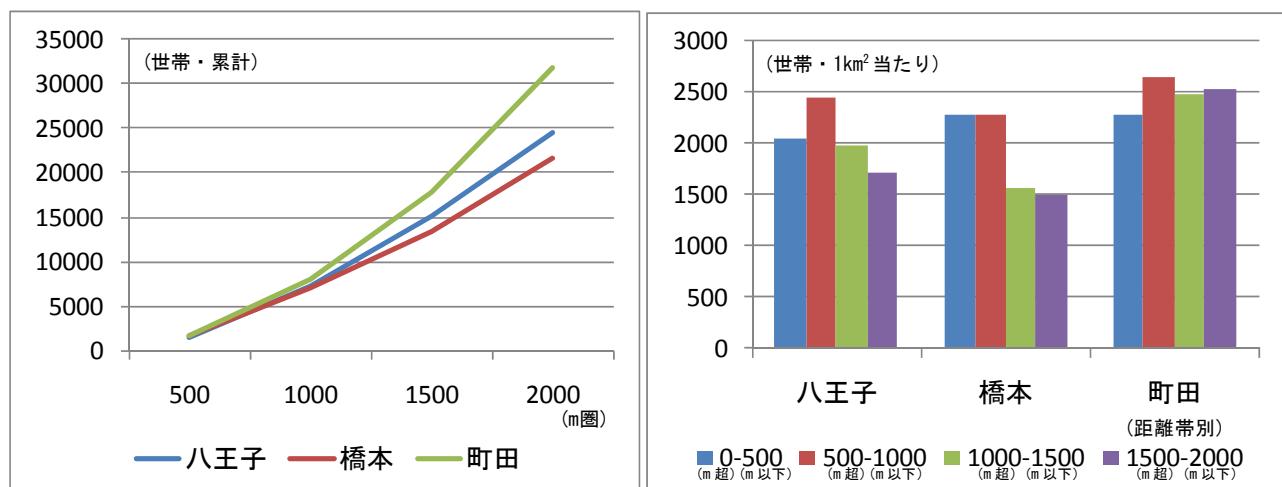
- 上位 5 位のメッシュは、小田急相模原駅周辺が多い。
- 主要駅の距離別核家族世帯数は、2000m 圏では町田駅が最も多く、1km²当たりは、町田駅が駅から離れるにつれて多くなる傾向がある。

■上位 5 位のメッシュ

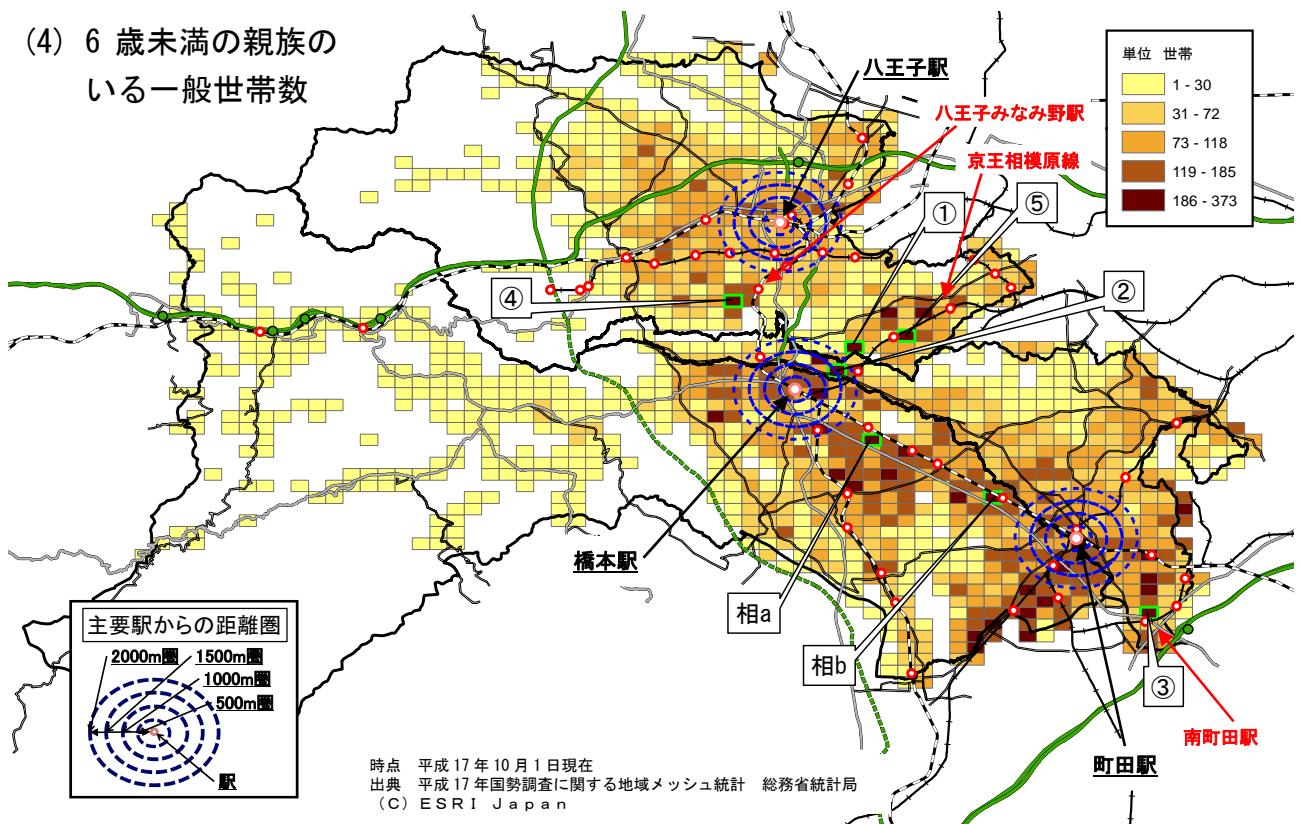
NO	住所	世帯
①	(相模原市)新磯野、相模台、相武台団地	1320
②	(相模原市)相南、松が枝町	1282
③	(町田市)小山ヶ丘、(八王子市)鎌水、南大沢	1231
④	(相模原市)相模原、中央	1208
⑤	(相模原市)旭町、上鶴間、南台、東林間	1194

①、②、⑤は小田急相模原駅周辺
③は多摩境駅周辺
④は相模原駅周辺

■主要駅の距離別核家族世帯数



(4) 6歳未満の親族のいる一般世帯数



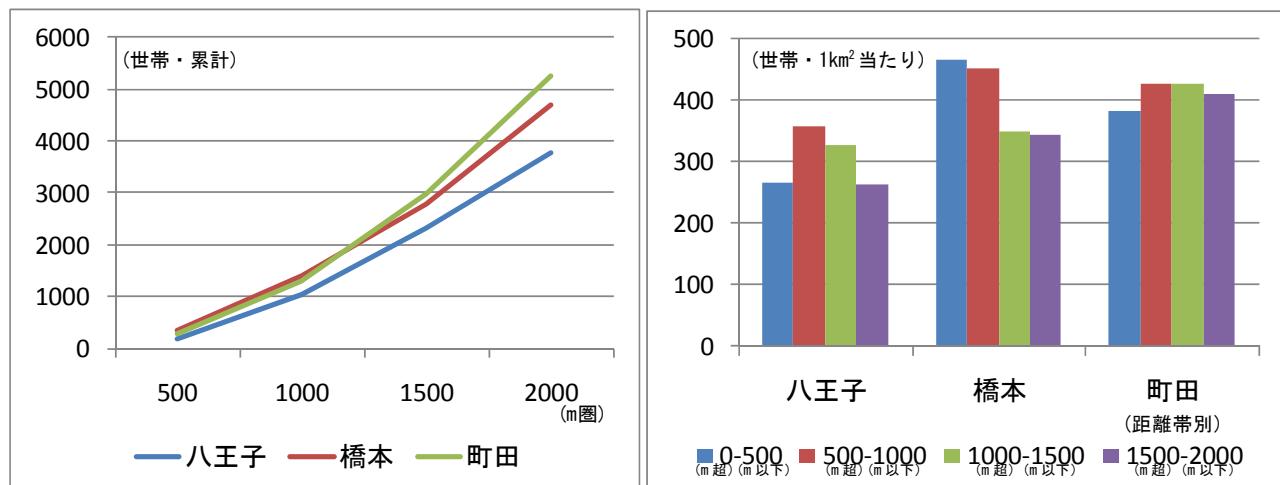
- 上位 5 位のメッシュは、京王相模原線沿線が多い。
- 主要駅の距離別 6 歳未満の親族のいる一般世帯数は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多く、1km²当たりは、500m 超-1000m 以下での距離帯までは橋本駅が最も多い。

■上位 5 位のメッシュ

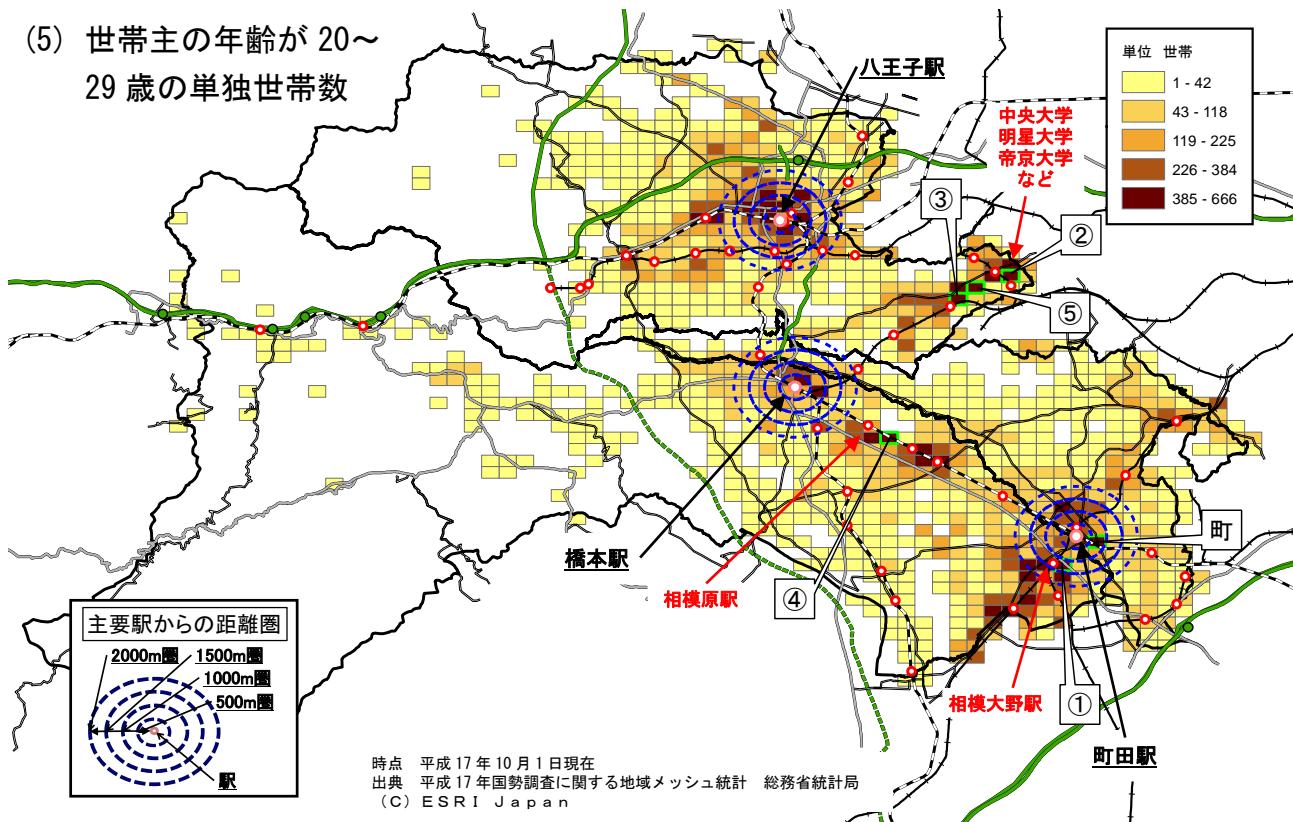
NO	住所	世帯
①	(町田市)小山ヶ丘、(八王子市)鎌水、南大沢	373
②	(町田市)小山町、小山ヶ丘	318
③	(町田市)小川、鶴間、南つくし野	312
④	(八王子市)宇津貫町、みなみ野、七国	283
⑤	(八王子市)南大沢、別所	271
相a	(相模原市)大野台、東淵野辺、古淵	249
相b	(相模原市)相模原、中央	249

①、②、⑤は京王相模原線沿線
③は南町田駅周辺
④は八王子みなみ野駅周辺

■主要駅の距離別 6 歳未満の親族のいる一般世帯数



(5) 世帯主の年齢が 20~29 歳の単独世帯数



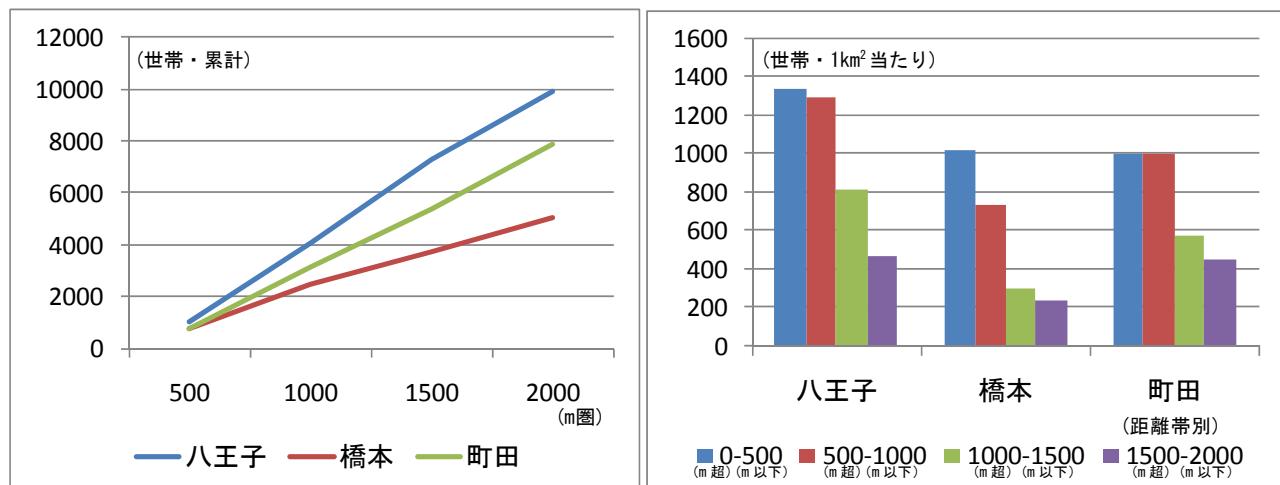
・主要駅の距離別世帯主の年齢が 20~29 歳の単独世帯数は、2000m 圏の累計では八王子駅が最も多く、橋本駅の約 2 倍で、1km²当たりは、八王子駅の 0m 超-500m 以下、500m 超-1000m 以下では 1200 世帯を超えていている。

■上位 5 位のメッシュ

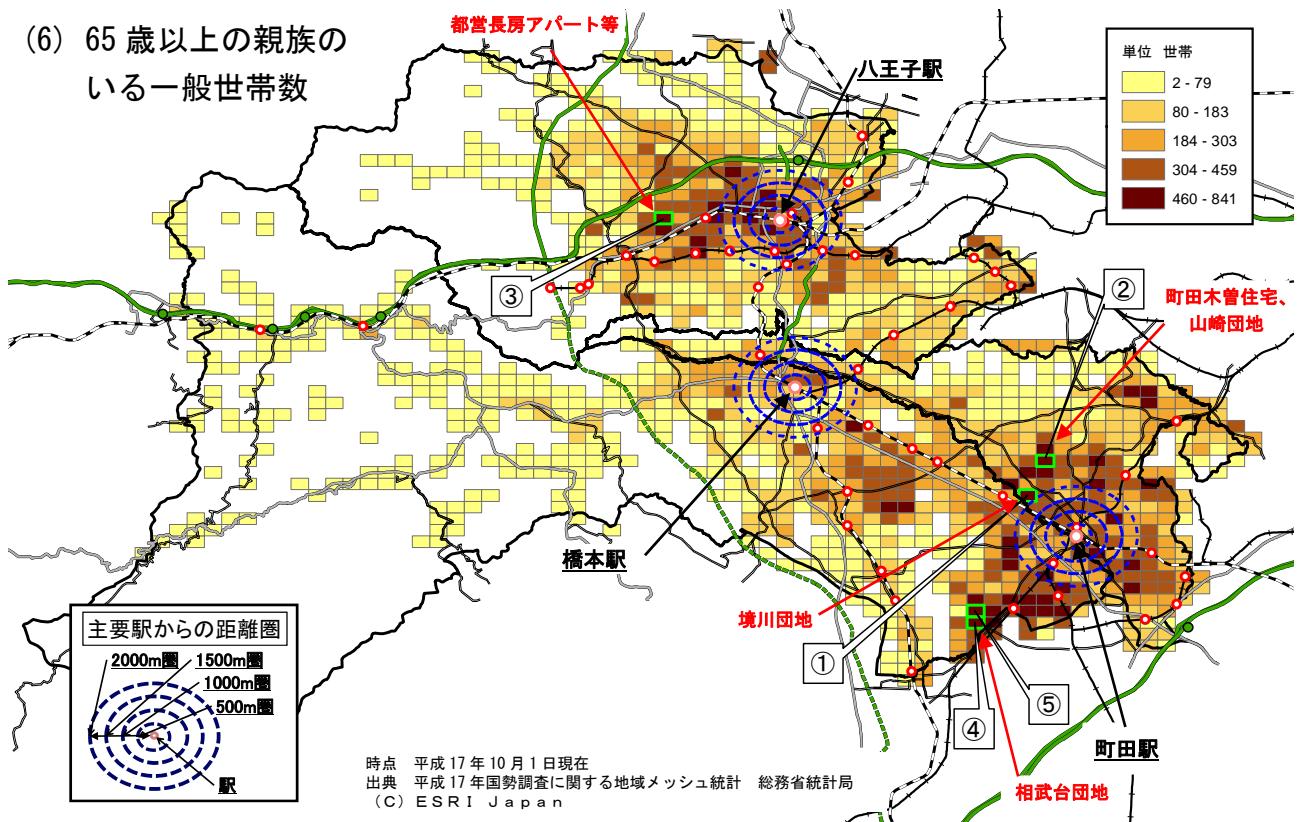
NO	住所	世帯
①	(相模原市)上鶴間、相模大野、上鶴間本町	666
②	(八王子市)大塚、鹿島、松が谷	657
③	(八王子市)別所、堀之内	624
④	(相模原市)小山、相模原、矢部、矢部新田	600
⑤	(八王子市)堀之内、東中野、松が谷	582
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	524

①は相模大野駅周辺
②、③、⑤は中央大学、明星大学、帝京大学などの大学が所在する地域
④は相模原駅周辺

■主要駅の距離別世帯主の年齢が 20~29 歳の単独世帯数



(6) 65歳以上の親族のいる一般世帯数



- 上位5位のメッシュは、昭和40年代に建設された団地が所在する地域である。
- 主要駅の距離別 65歳以上の親族のいる一般世帯数は、2000m圏の累計では町田駅が最も多い、橋本駅の約2.2倍で、1km²当たりは、八王子駅が500m超-1000m以下で1400世帯を超えてる。

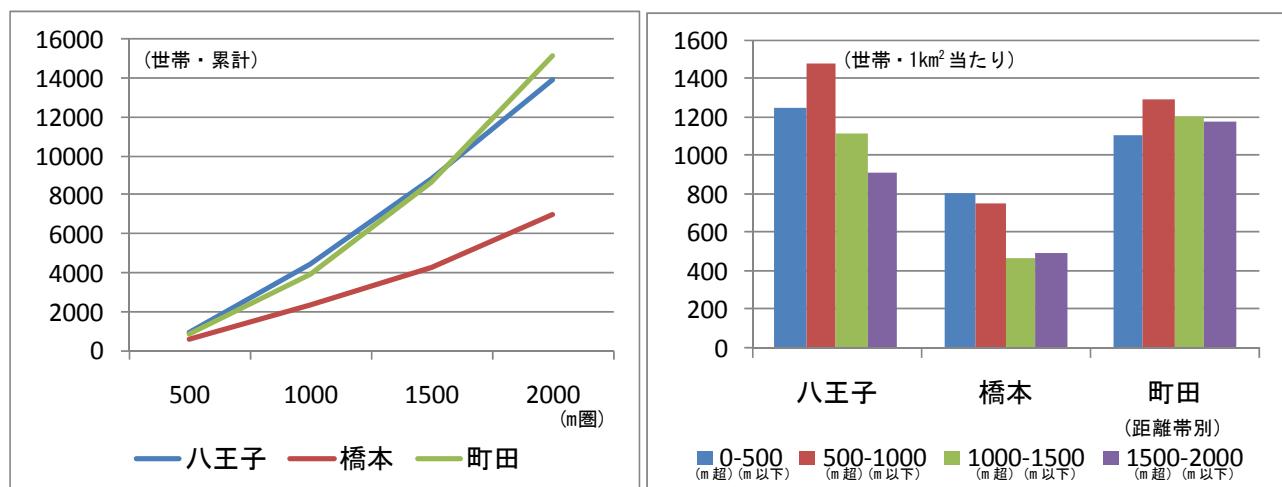
■上位5位のメッシュ

NO	住所	世帯
①	(町田市)木曽町、森野、(相模原市)古淵	841
②	(町田市)木曽町、本町田、山崎町	831
③	(八王子市)長房町	794
④	(相模原市)新磯野、相模台、相武台、相武台団地	714
⑤	(相模原市)新磯野、相模台、相武台団地	710

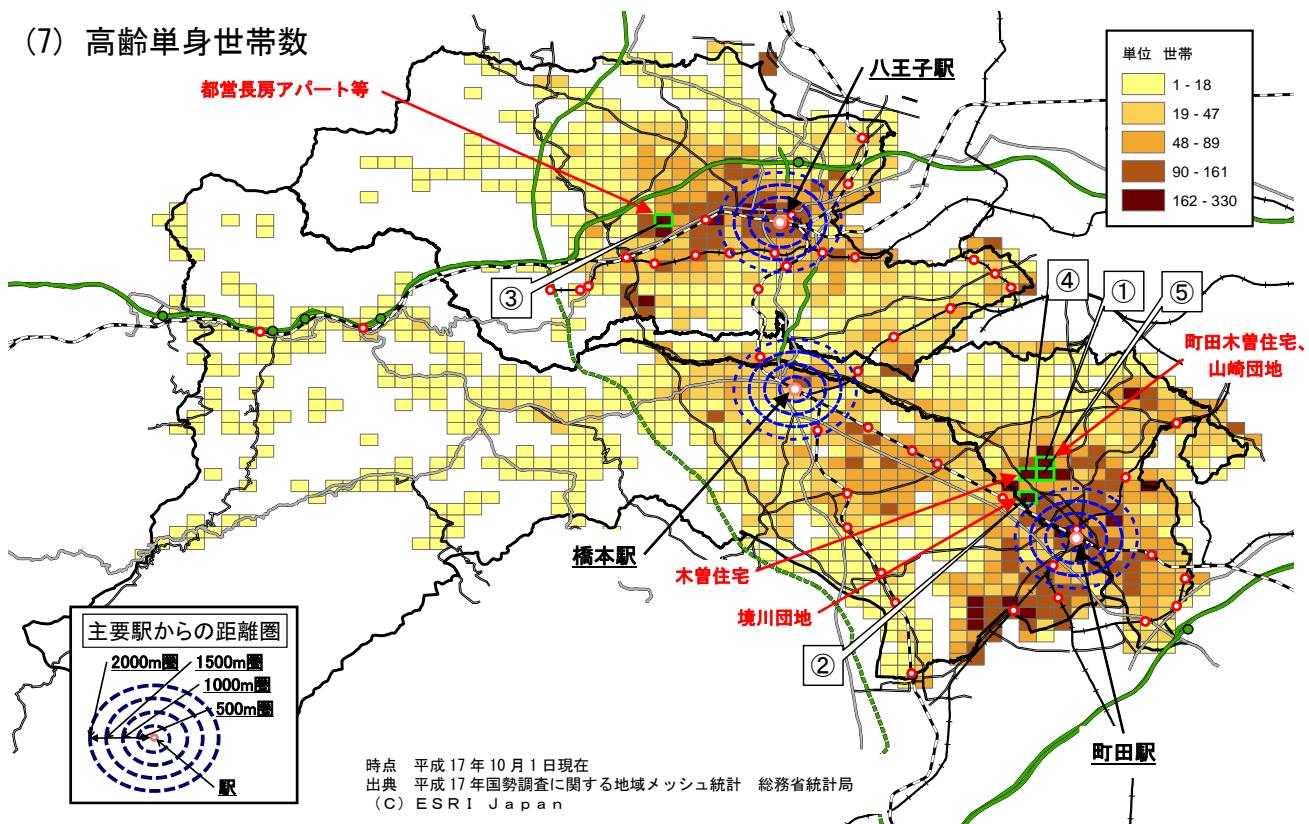
上位5位のメッシュは、次の団地が所在する地域
 ①は境川団地（都公社）
 ②は町田木曽住宅（都公社）、山崎団地（UR）
 ③は都営長房アパート等
 ④、⑤は相武台団地（県公社）

◆URは、独立行政法人都市再生機構、都公社は、東京都住宅供給公社、県公社は、神奈川県住宅供給公社のことをいう（以下、この項目において同じ）。

■主要駅の距離別 65歳以上の親族のいる一般世帯数



(7) 高齢単身世帯数



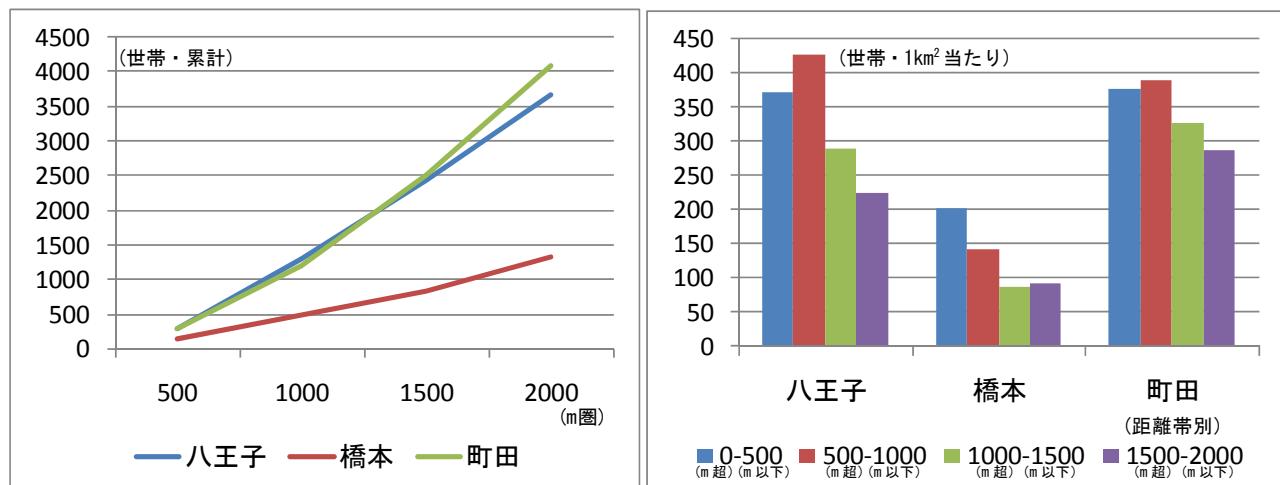
- 上位 5 位のメッシュは町田市忠生地区の昭和 40 年代に建設された団地が所在する地域が多い。
- 主要駅の距離別高齢単身世帯数は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多く、橋本駅の約 3 倍で、 1km^2 当たりは、すべての駅で駅から離れるにつれて少なくなる傾向がある。

■上位 5 位のメッシュ

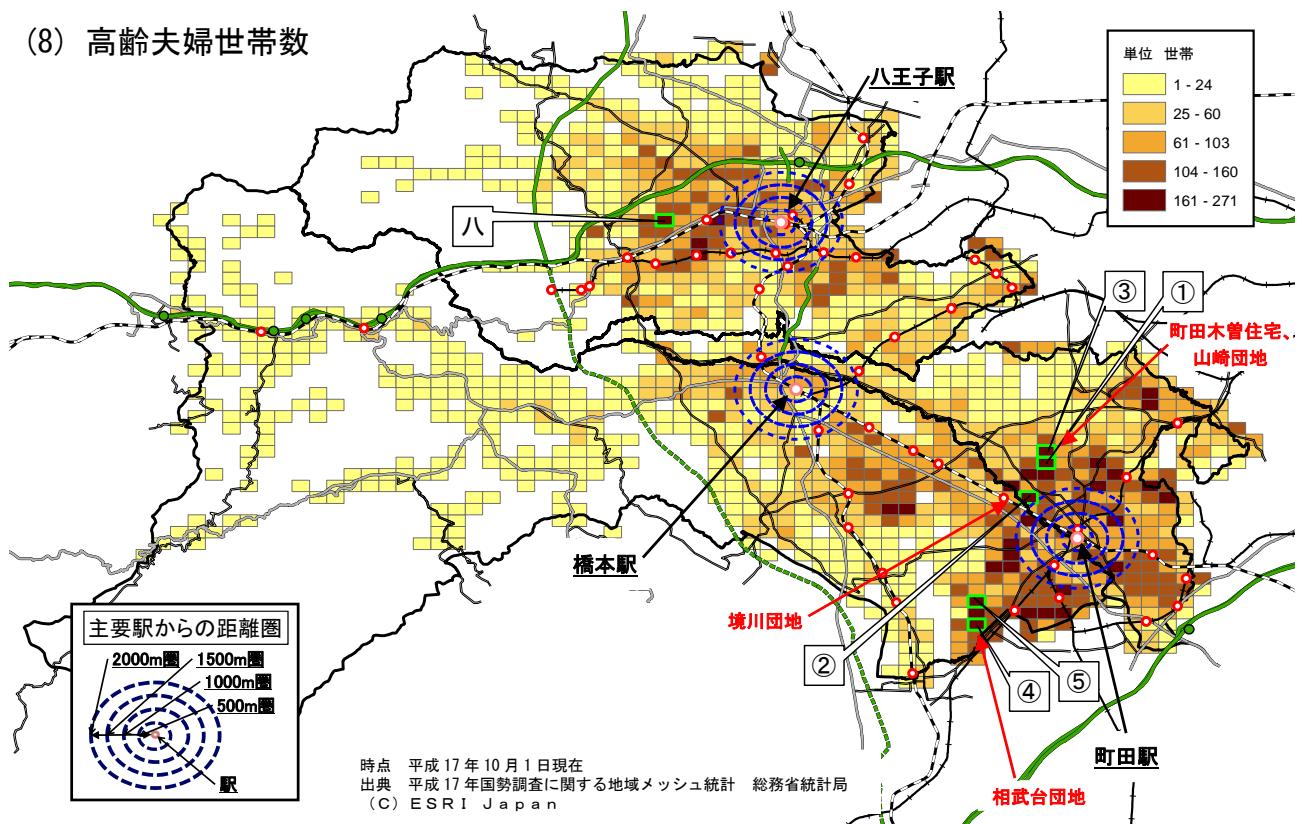
NO	住所	世帯
①	(町田市)木曾町、本町田、山崎町	330
②	(町田市)木曾町、森野、(相模原市)古淵	300
③	(八王子市)長房町	297
④	(町田市)木曾町、本町田	282
⑤	(町田市)木曾町、本町田	261

上位 5 位のメッシュは、次の団地が所在する地域
 ①、⑤は町田木曾住宅（都公社）、山崎団地（UR）
 ②は境川団地（都公社）
 ③は都営長房アパート等
 ④は木曾住宅（都公社）

■主要駅の距離別高齢単身世帯数



(8) 高齢夫婦世帯数



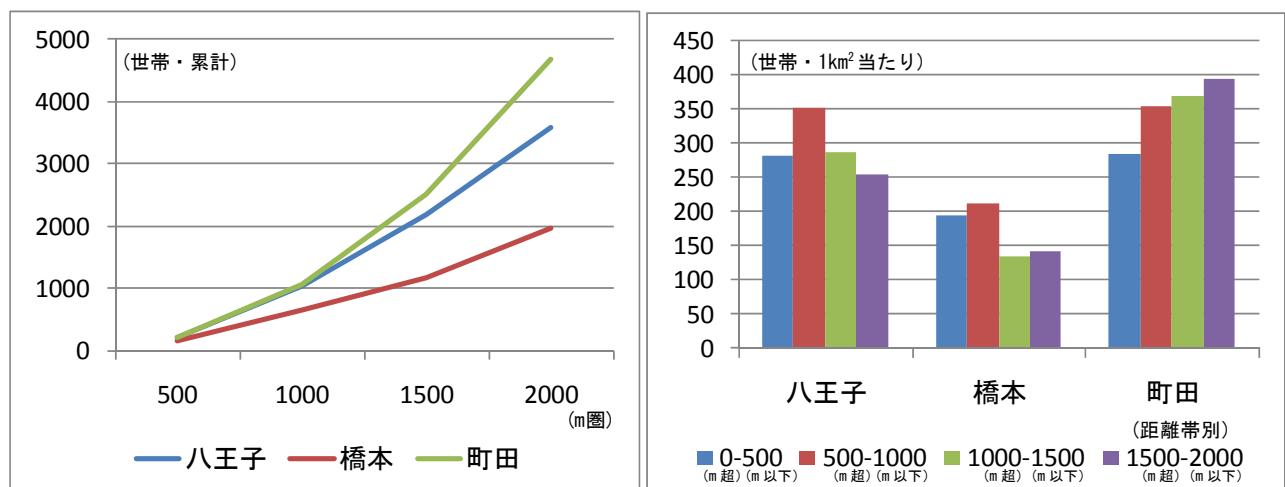
- 上位 5 位のメッシュは、昭和 40 年代に建設された団地が所在する地域である。
- 主要駅の距離別高齢夫婦世帯数は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多く、橋本駅の約 2.4 倍で、1km²当たりは、町田駅が駅から離れるにつれて多くなる。

■上位 5 位のメッシュ

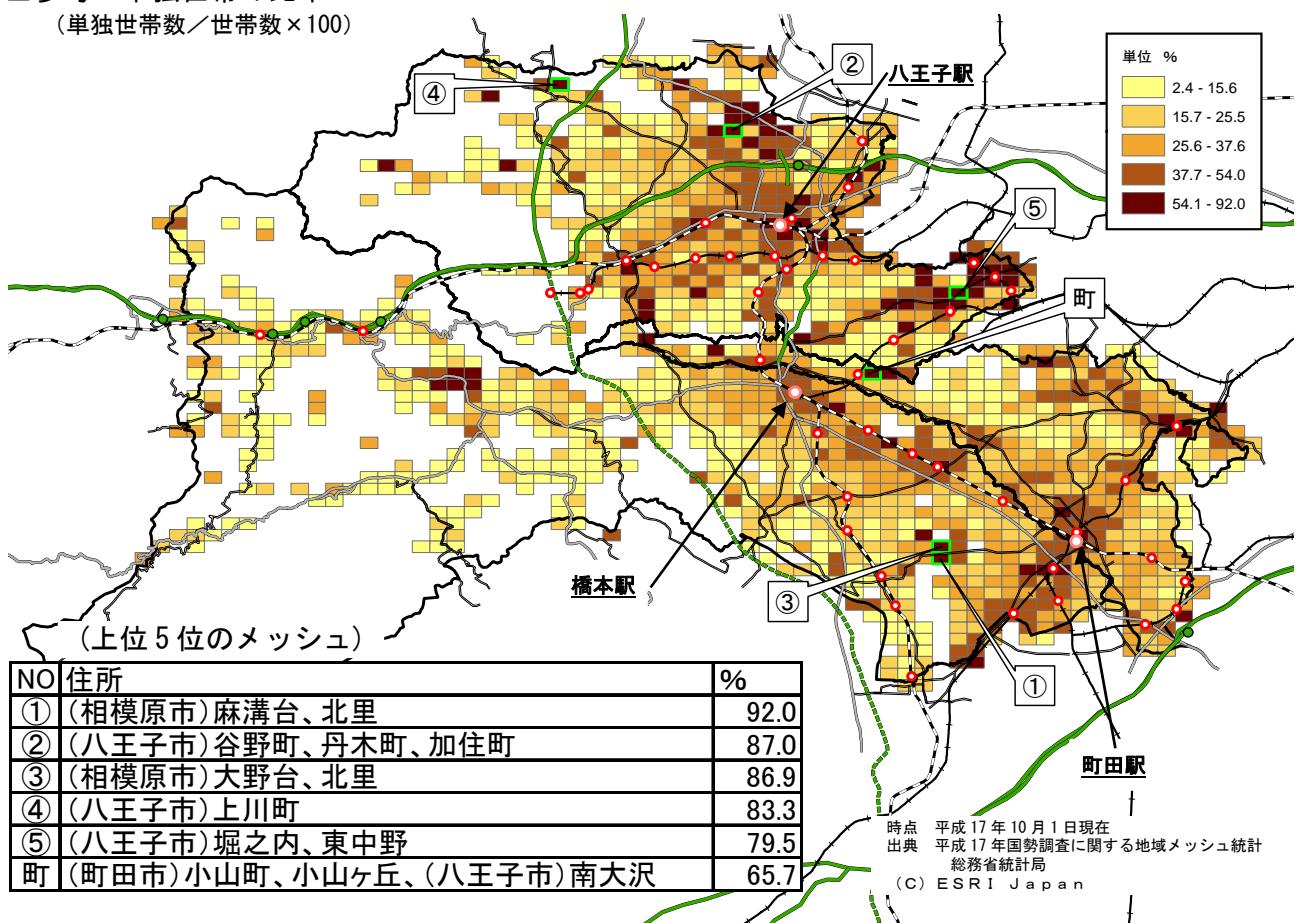
NO	住所	世帯
①	(町田市)木曾町、本町田、山崎町	271
②	(町田市)木曾町、森野、(相模原市)古淵	267
③	(町田市)山崎町	263
④	(相模原市)新磯野、相模台、相武台、相武台団地	250
⑤	(相模原市)相模台、相模台団地、桜台	249
八	(八王子市)長房町	223

上位 5 位のメッシュは、次の団地が所在する地域
 ①は町田木曾住宅（都公社）、山崎団地（UR）
 ②は境川団地（都公社）
 ③は山崎団地（UR）
 ④、⑤は相武台団地（県公社）

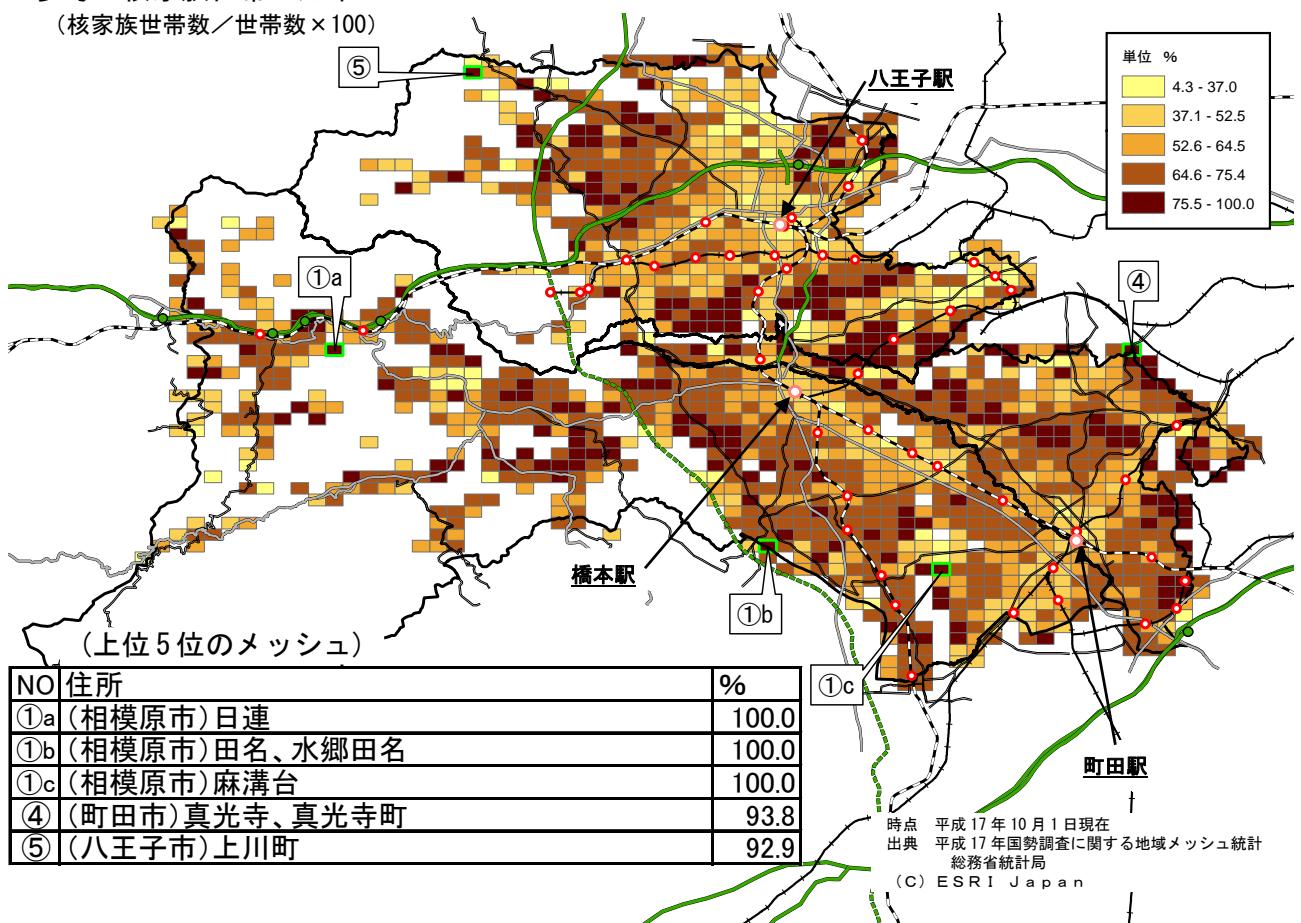
■主要駅の距離別高齢夫婦世帯数



■参考 単独世帯の比率
(単独世帯数／世帯数 × 100)

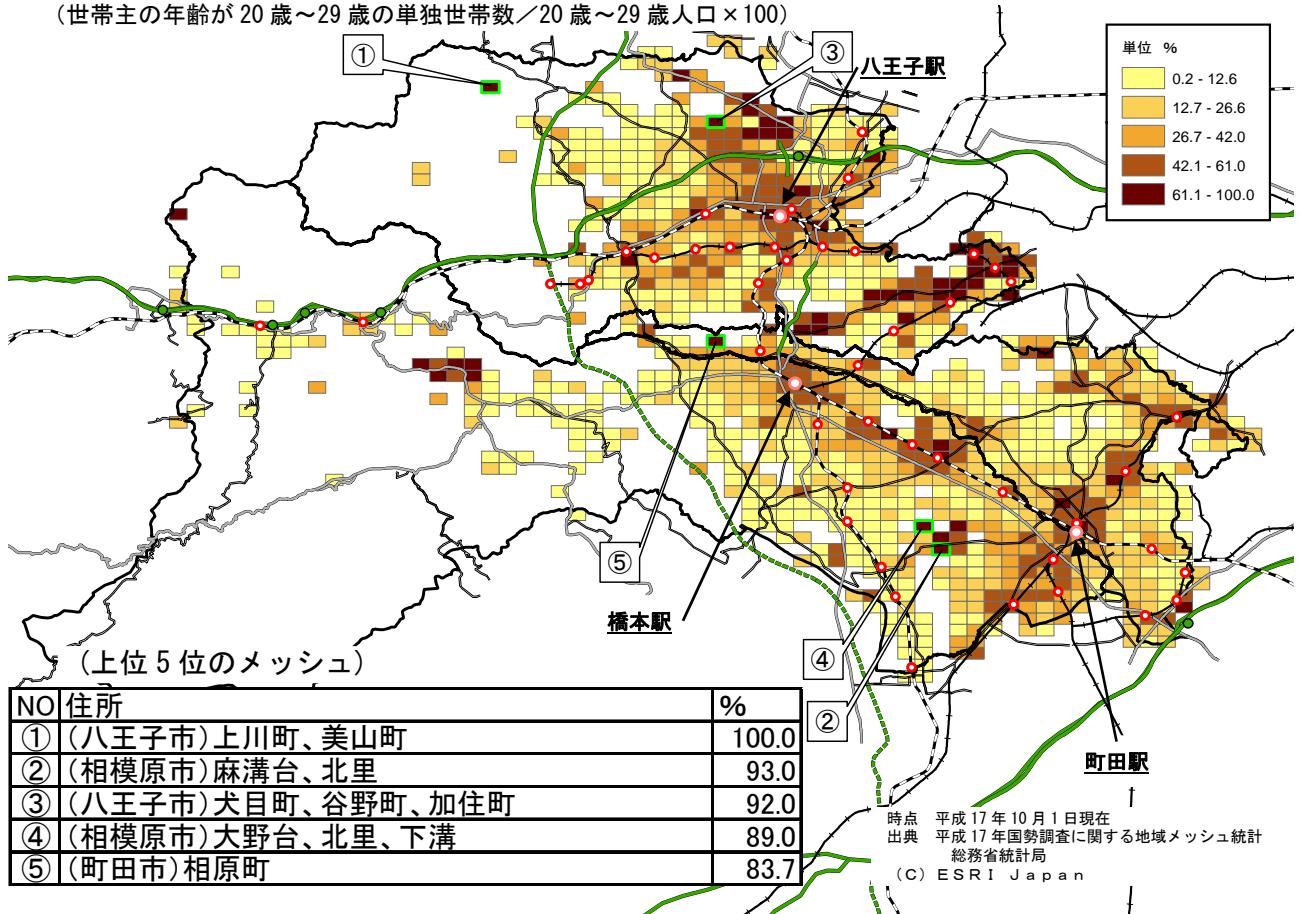


■参考 核家族世帯の比率
(核家族世帯数／世帯数 × 100)



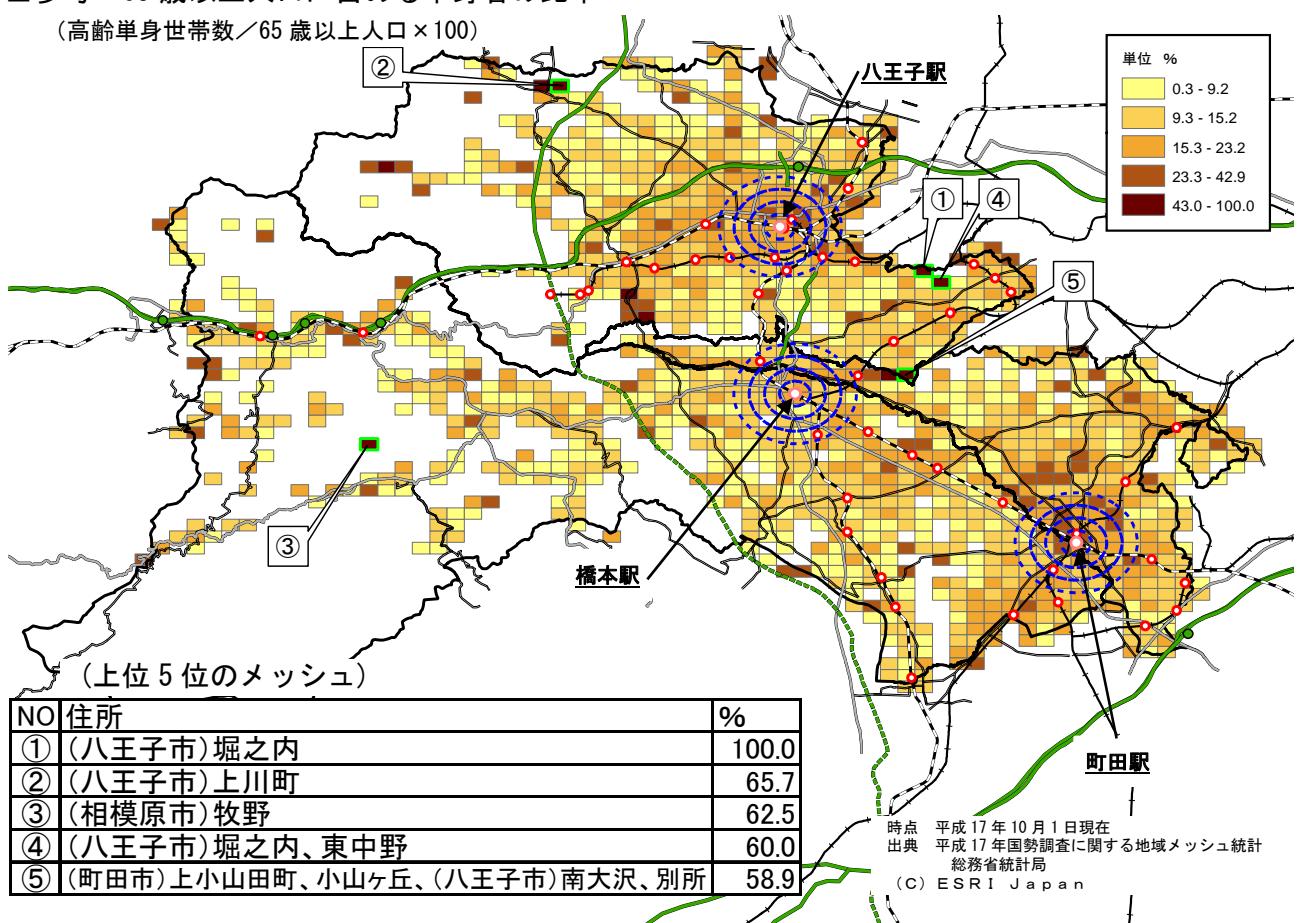
■参考 20歳～29歳人口に占める単身者の比率

(世帯主の年齢が20歳～29歳の単独世帯数／20歳～29歳人口×100)



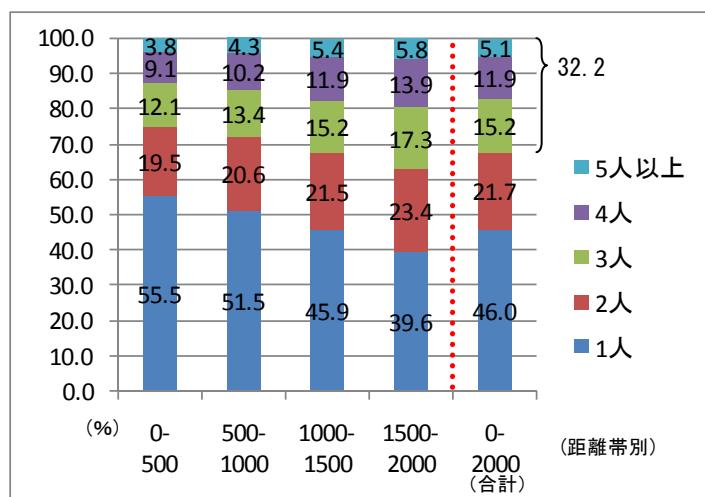
■参考 65歳以上人口に占める単身者の比率

(高齢単身世帯数／65歳以上人口×100)



<主要駅の距離別一般世帯構成（世帯人員別）>

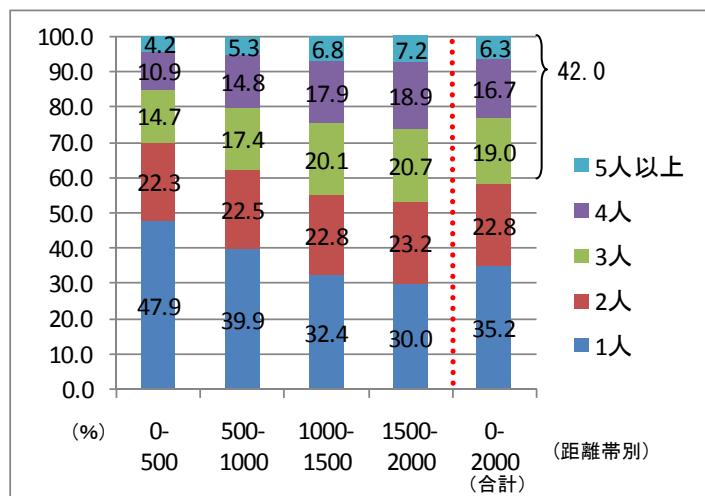
■八王子駅



・0m超～2000m以下では、1人世帯の構成比が最も高く、約5割となっている

時点 平成17年10月1日現在
出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

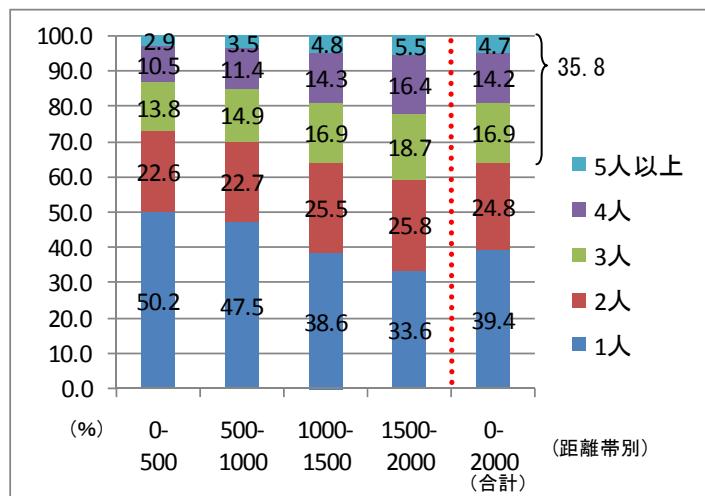
■橋本駅



・0m超～2000m以下では、3人世帯、4人世帯、5人以上世帯を合計した構成比が主要駅の中で最も高い。

時点 平成17年10月1日現在
出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

■町田駅



・0m超～2000m以下では、2人世帯の構成比が主要駅の中で最も高い。

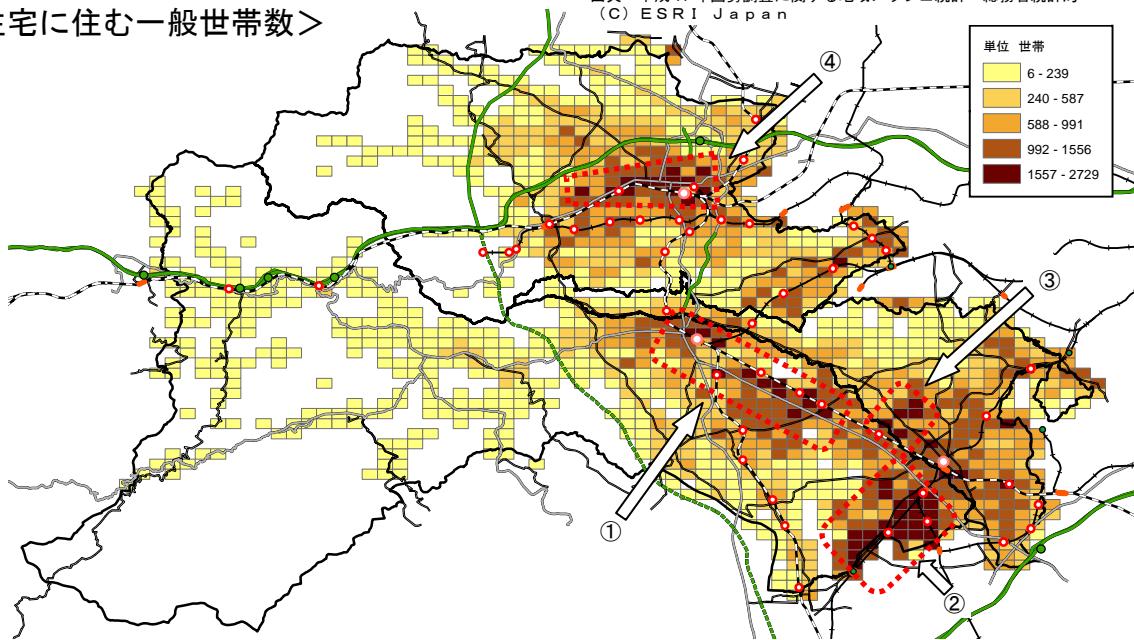
時点 平成17年10月1日現在
出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

(凡例)

- 距離帯区分 0-500…0m超～500m以下、500-1000…500m超～1000m以下、1000-1500…1000m超～1500m以下、1500-2000…1500m超～2000m以下、0-2000…0m超～2000m以下
- 一般世帯（世帯人員別）区分 1人…1人世帯、2人…2人世帯、3人…3人世帯、4人…4人世帯、5人以上…5人以上世帯

3. 住居

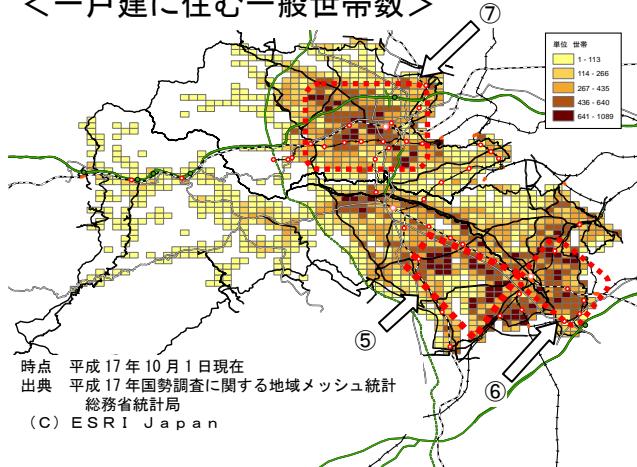
<住宅に住む一般世帯数>



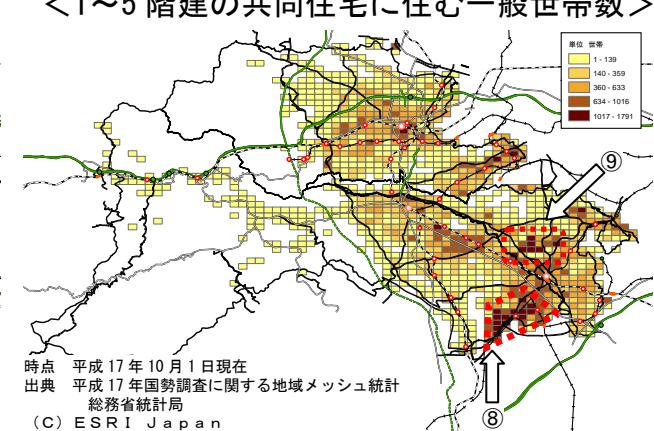
鉄道沿線など利便性の高い地域で住宅に住む一般世帯が多い。

- ・相模原市の JR 横浜線沿線①
- ・相模原市の小田急小田原線沿線、小田急江ノ島線沿線②
- ・町田市の団地が所在する地域③
- ・八王子市の JR 中央線沿線④

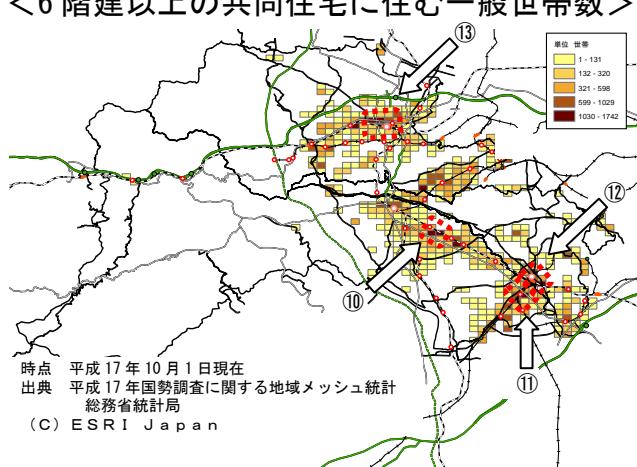
<一戸建に住む一般世帯数>



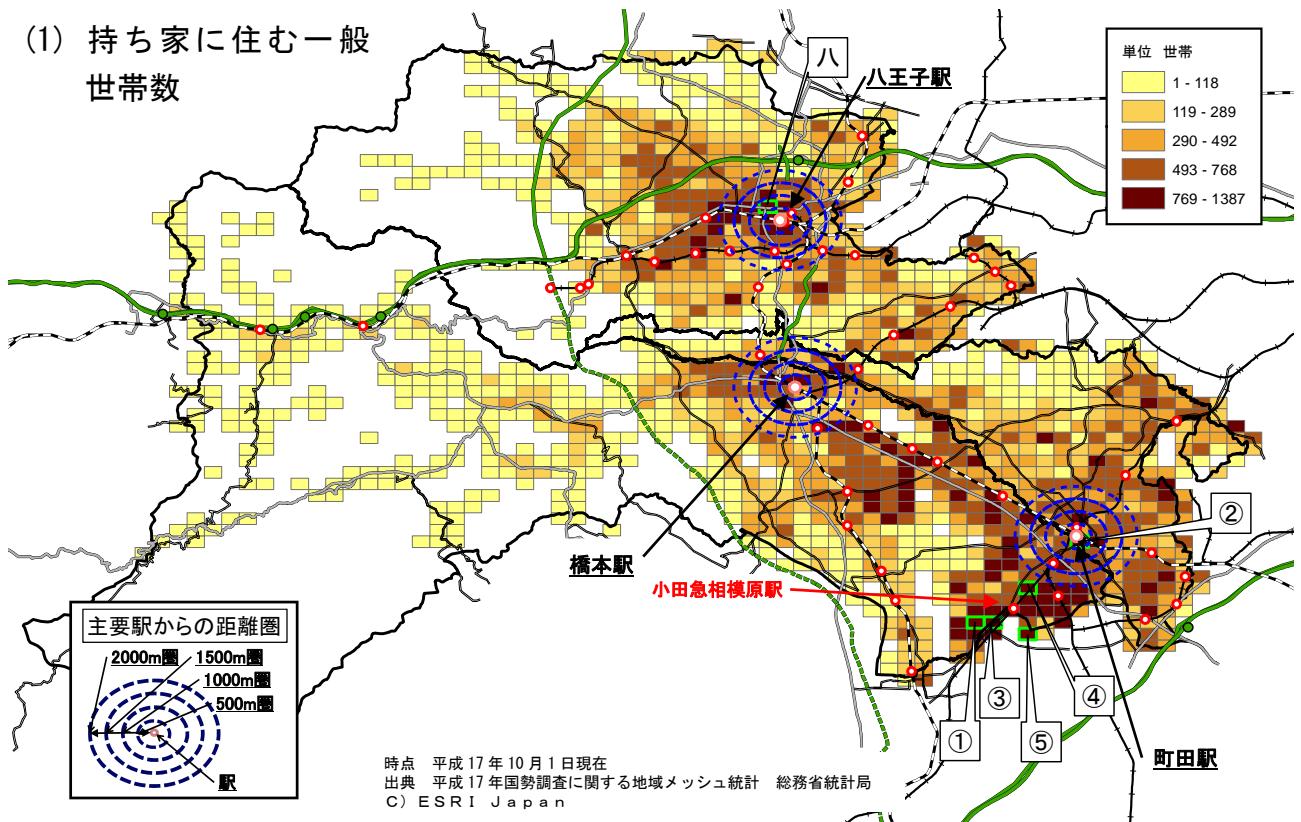
<1~5 階建の共同住宅に住む一般世帯数>



<6 階建以上の共同住宅に住む一般世帯数>



- ・一戸建に住む一般世帯は、相模原市の JR 横浜線沿線、JR 相模線沿線等⑤、町田市の小田急小田原線、JR 横浜線沿線等⑥、八王子市の JR 中央線沿線、中央自動車道沿い等⑦に多い。
- ・1~5 階建の共同住宅に住む一般世帯は、昭和 40 年代に建設された団地が所在する地域⑧、⑨に多い。
- ・6 階建以上の共同住宅に住む一般世帯は、相模原駅周辺⑩、相模大野駅周辺⑪、町田駅周辺⑫、八王子駅周辺⑬等の駅前に多い。



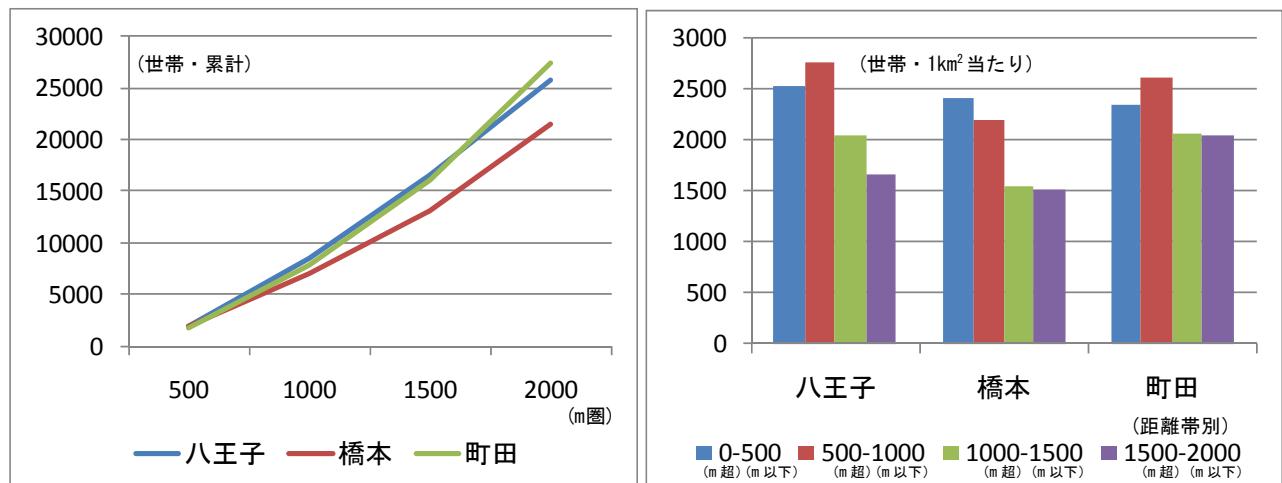
- ・上位 5 位のメッシュは、小田急相模原駅周辺が多い。
- ・主要駅の距離別持ち家に住む一般世帯数は、2000m 圏の累計では町田駅が多く、1km²当たりは、町田駅がすべての距離帯が 2000 世帯を超えている。

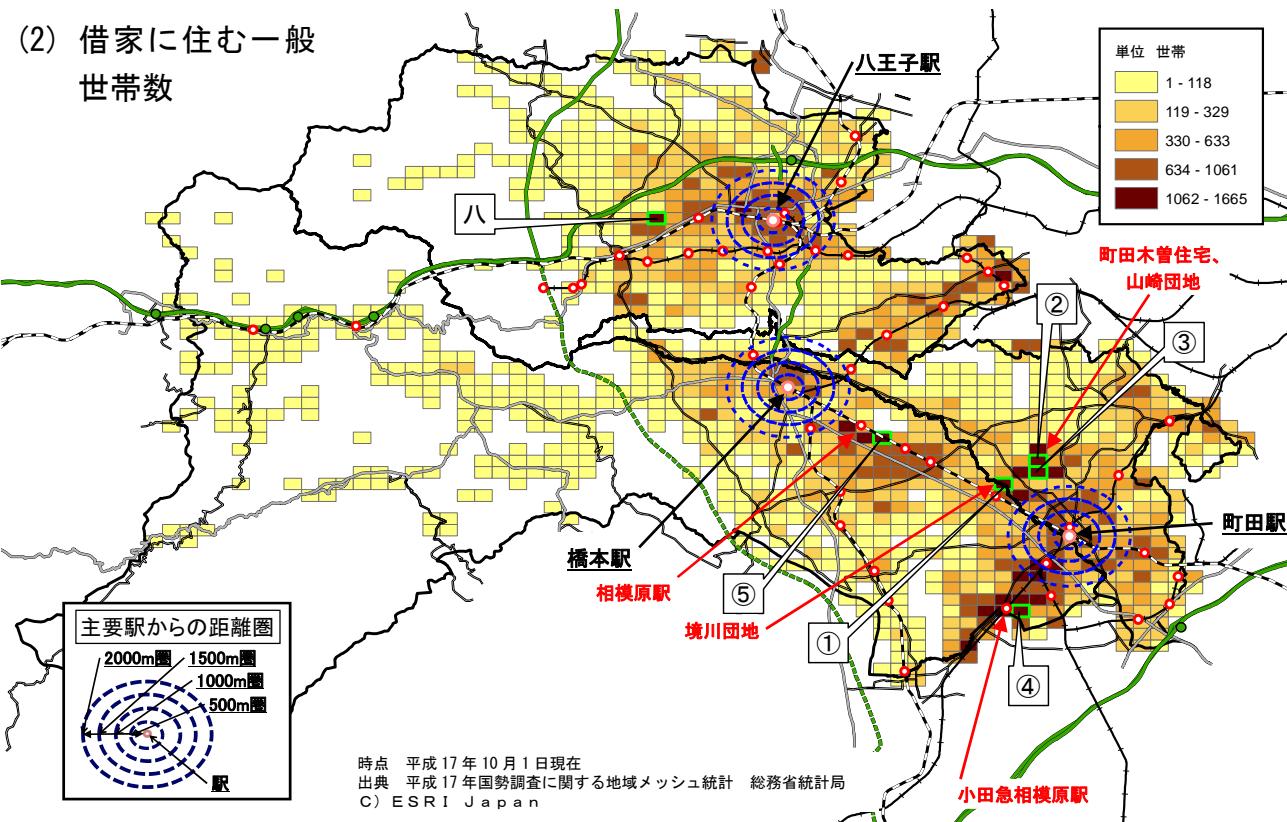
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	世帯
①	(相模原市)新磯野、相模台、相武台、相武台団地	1387
②	(町田市)原町田、(相模原市)上鶴間本町	1293
③	(相模原市)相模台、相武台、相武台団地	1238
④	(相模原市)旭町、上鶴間、南台、東林間	1230
⑤	(相模原市)相南	1225
八	(八王子市)横山町、八日町、本町、元横山町	1053

①、③～⑤は小田急相模原駅周辺
②は町田駅周辺

■主要駅の距離別持ち家に住む一般世帯数





- ・上位 5 位のメッシュは、団地が所在する地域で多い。
- ・主要駅の距離別借家に住む一般世帯数は、2000m 圏の累計では町田駅が多く、橋本駅の約 2.1 倍となっている。

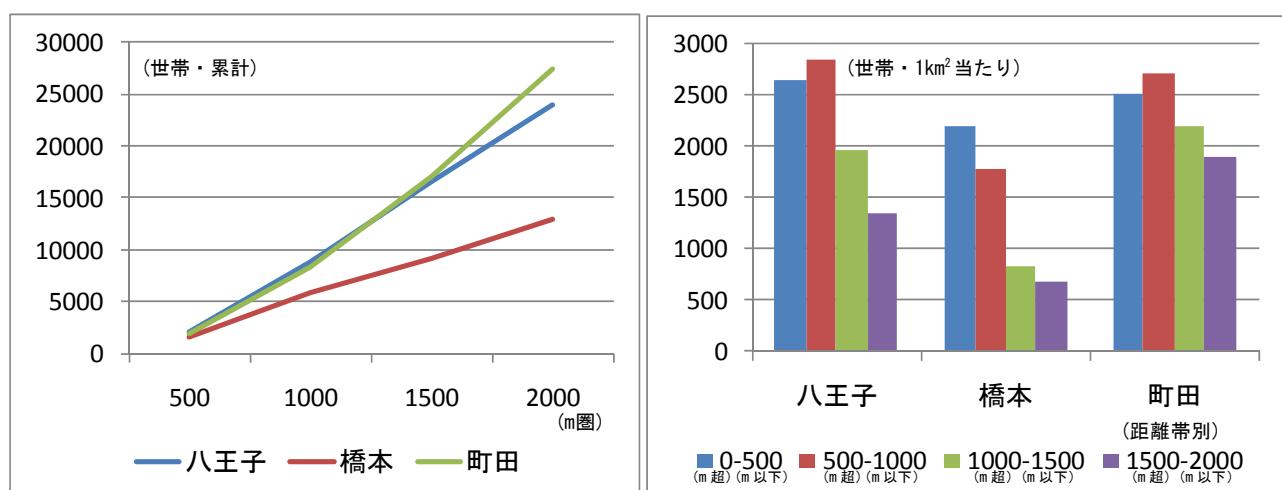
■上位 5 位のメッシュ

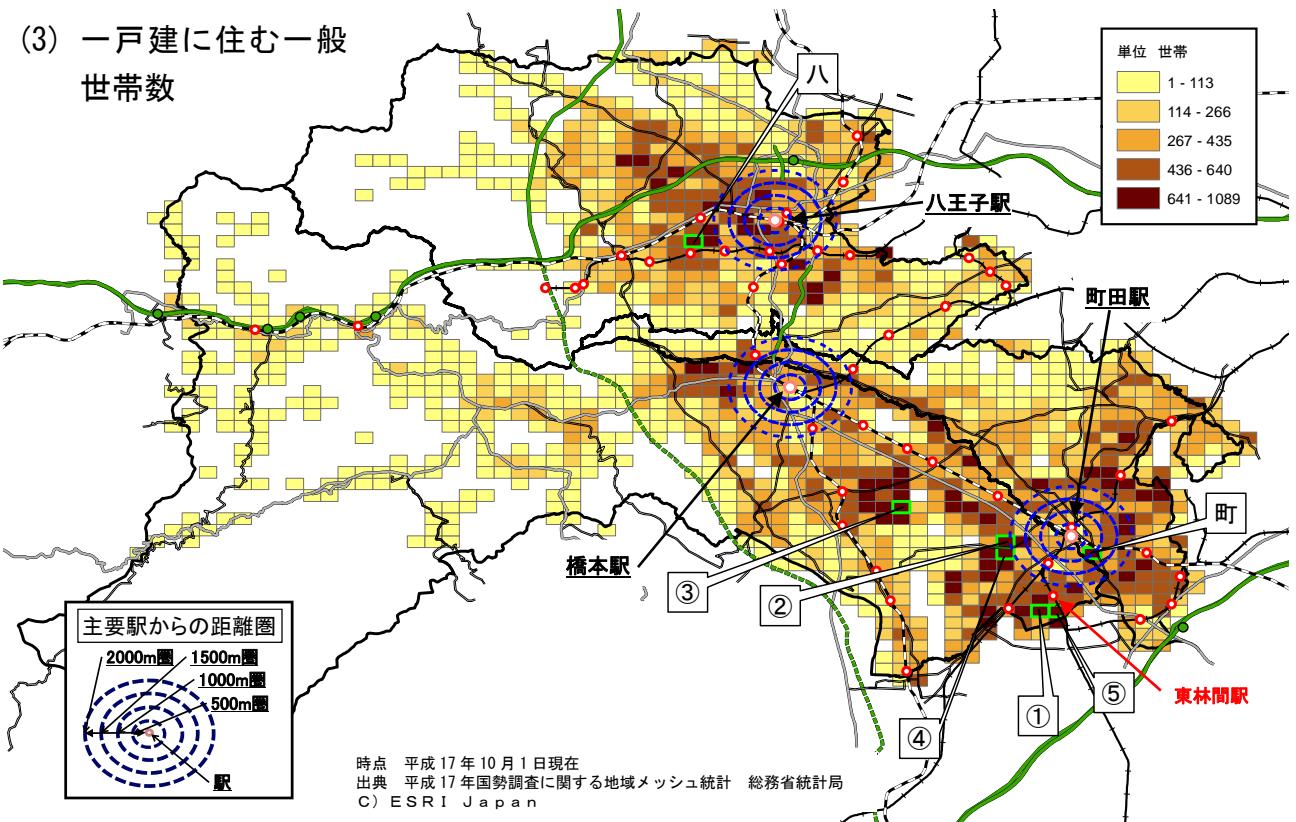
NO	住所	世帯
①	(町田市)木曾町、(相模原市)古淵	1665
②	(町田市)木曾町、本町田、山崎町	1643
③	(町田市)木曾町、本町田	1607
④	(相模原市)相南、松が枝町	1590
⑤	(相模原市)小山、相模原、矢部、矢部新田	1583
八	(八王子市)長房町	1406

①～③は次の団地が所在する地域
 ①は境川団地（都公社）
 ②、③は町田木曾住宅（都公社）、山崎団地（UR）
 ④は小田急相模原駅周辺
 ⑤は相模原駅周辺

◆UR は、独立行政法人都市再生機構、都公社は、東京都住宅供給公社、県公社は、神奈川県住宅供給公社のことをいう（以下、この項目において同じ）。

■主要駅の距離別借家に住む一般世帯数





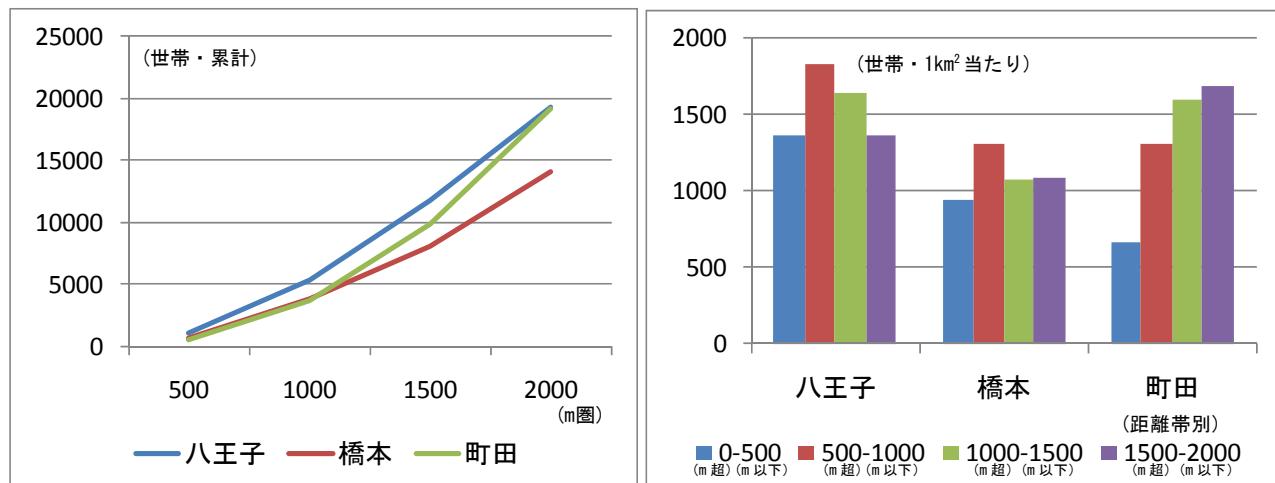
- ・上位 5 位のメッシュは、駅から離れた住宅地で多い。
- ・主要駅の距離別一戸建に住む一般世帯数は、2000m 圏の累計では八王子駅が多く、1km² 当たりは、町田駅が駅から離れるにつれて多くなる。

■上位 5 位のメッシュ

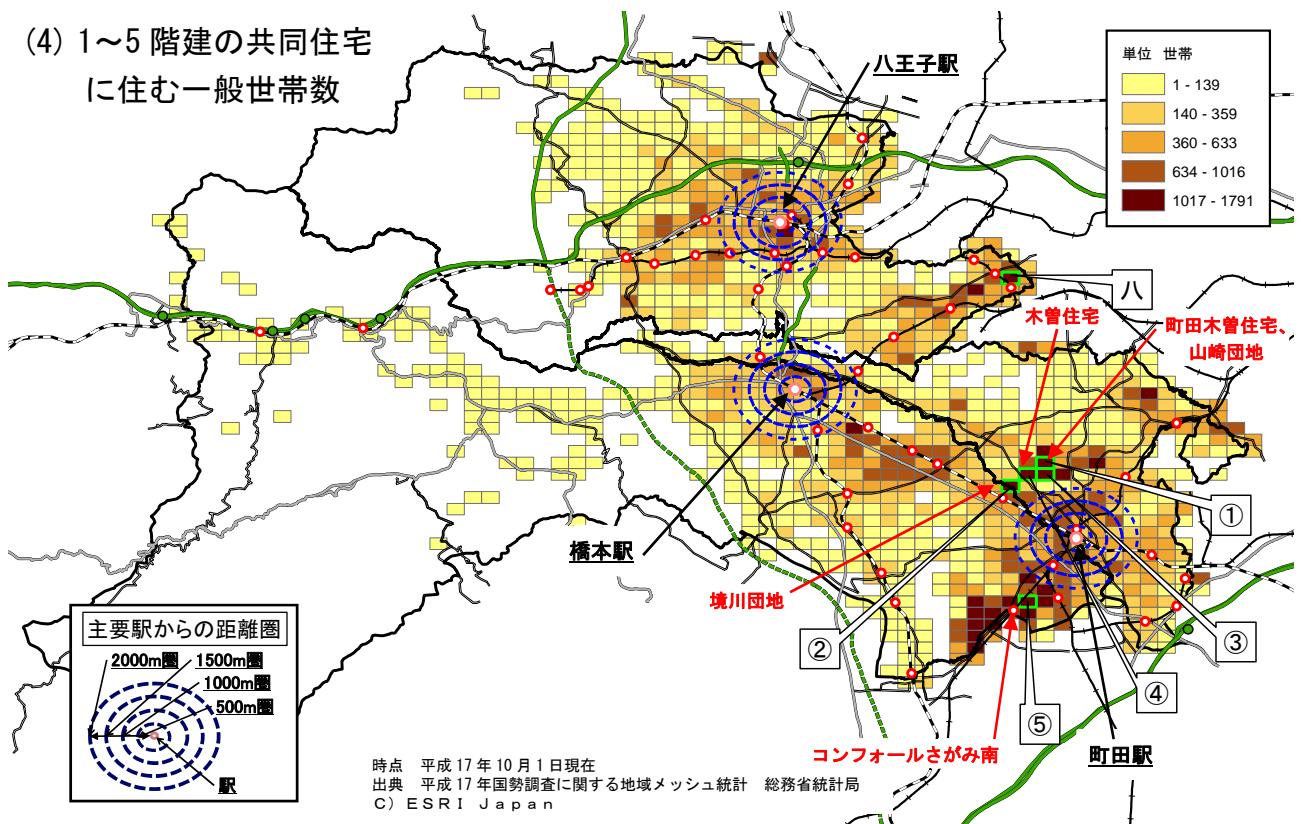
NO	住所	世帯
①	(相模原市)相南、東林間	1089
②	(相模原市)東大沼、若松	1078
③	(相模原市)青葉、並木、光が丘、緑が丘	1057
④	(相模原市)東大沼、若松、文京	995
⑤	(相模原市)上鶴間、相南、東林間	943
八	(八王子市)散田町、山田町、めじろ台	887
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	800

①、⑤は東林間駅周辺
②～④は駅から離れた住宅地

■主要駅の距離別一戸建に住む一般世帯数



(4) 1~5階建の共同住宅に住む一般世帯数



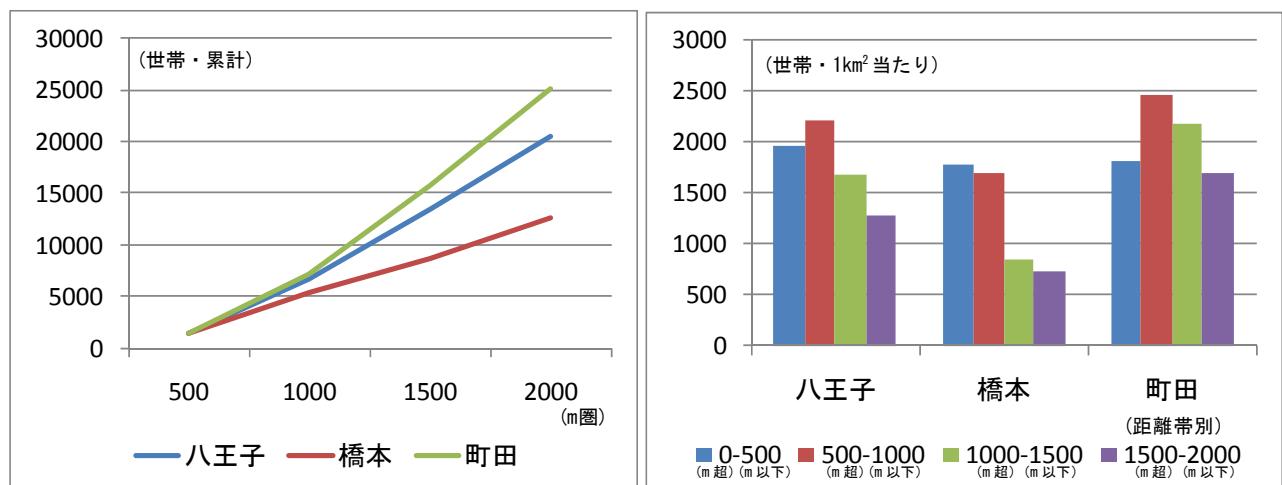
- 上位 5 位のメッシュは、昭和 40 年代に建設された団地が所在する地域が多い。
- 主要駅の 1~5 階建の共同住宅に住む一般世帯数は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多く、橋本駅の約 2 倍となっている。

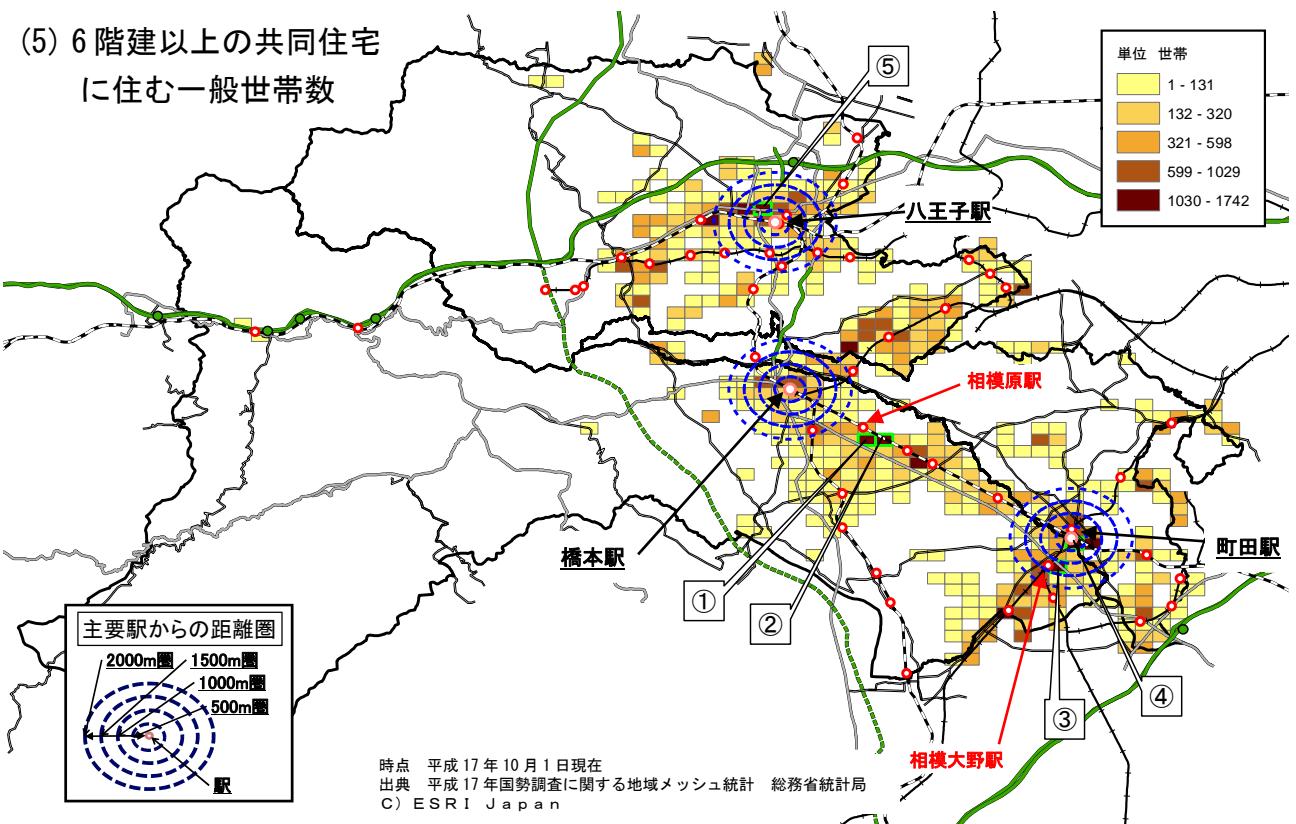
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	世帯
①	(町田市)木曾町、本町田、山崎町	1791
②	(町田市)木曾町、(相模原市)古淵	1666
③	(町田市)木曾町、本町田	1655
④	(町田市)木曾町、本町田	1583
⑤	(相模原市)南台、相南、東林間、松が枝町	1566
八	(八王子市)大塚、鹿島、松が谷	1277

上位 5 位のメッシュは、次の団地が所在する地域
 ①、③は町田木曾住宅（都公社）、山崎団地（UR）
 ②は境川団地（都公社）
 ④は木曾住宅（都公社）
 ⑤はコンフォールさがみ南（UR）

■主要駅の距離別 1~5 階建の共同住宅に住む一般世帯数





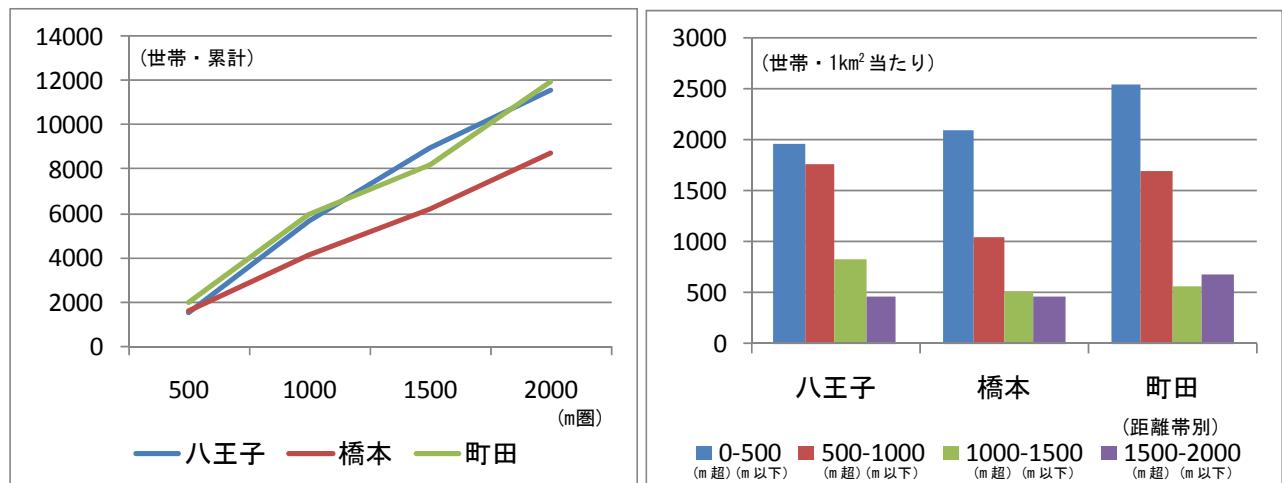
- ・上位 5 位のメッシュは、鉄道駅の駅前である。
- ・主要駅の距離別 6 階建以上の共同住宅に住む一般世帯数は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多く、1km²当たりは、町田駅が 0m 超-500m 以下で 2500 世帯を超えている。

■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	世帯
①	(相模原市)相模原、中央	1742
②	(相模原市)小山、相模原、矢部、矢部新田	1627
③	(相模原市)上鶴間、相模大野、上鶴間本町	1559
④	(町田市)原町田、(相模原市)上鶴間本町	1452
⑤	(八王子市)横山町、八日町、本町、元横山町	1262

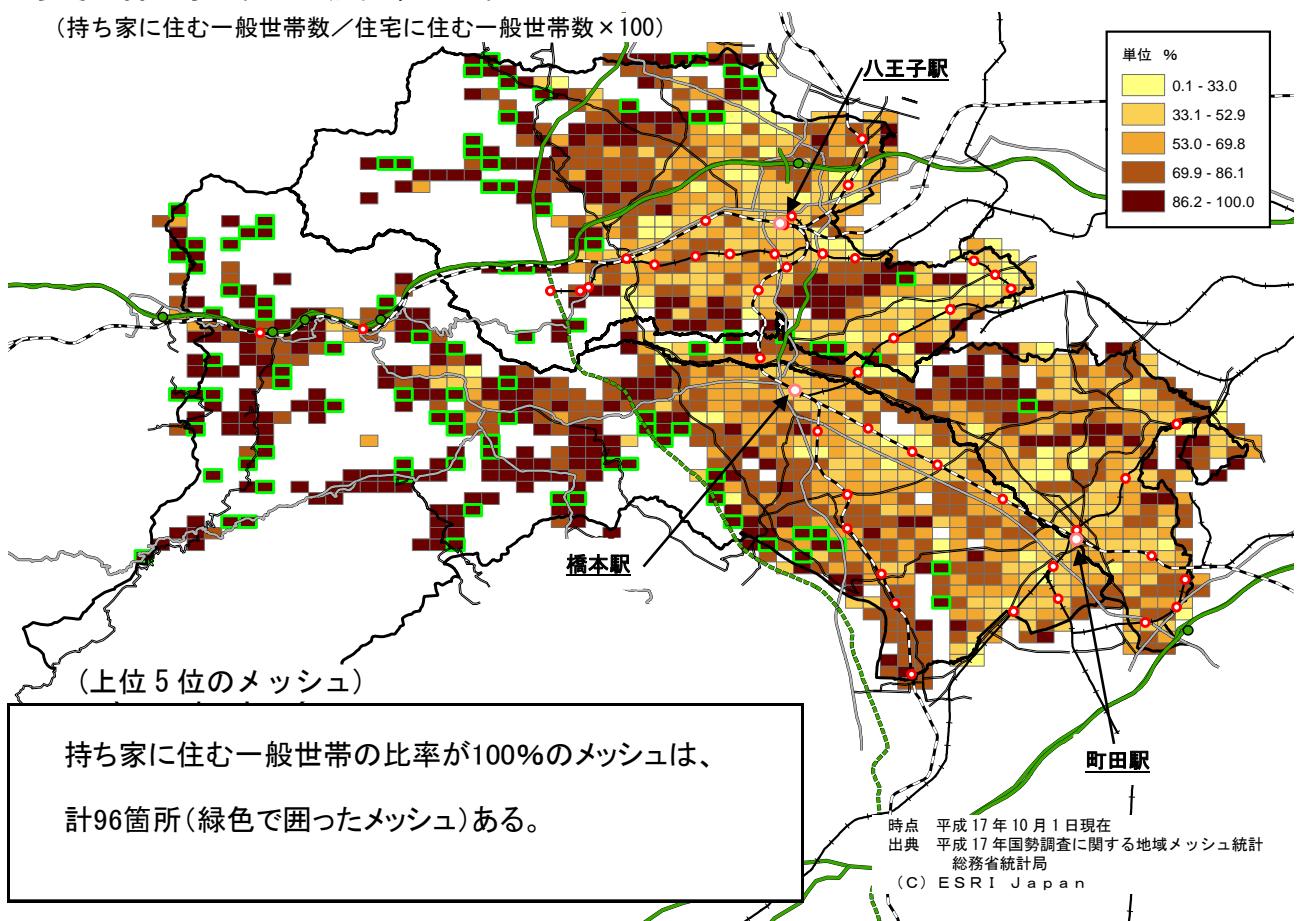
①、②は相模原駅周辺
③は相模大野駅周辺
④は町田駅周辺
⑤は八王子駅周辺

■主要駅の距離別 6 階建以上の共同住宅に住む一般世帯数



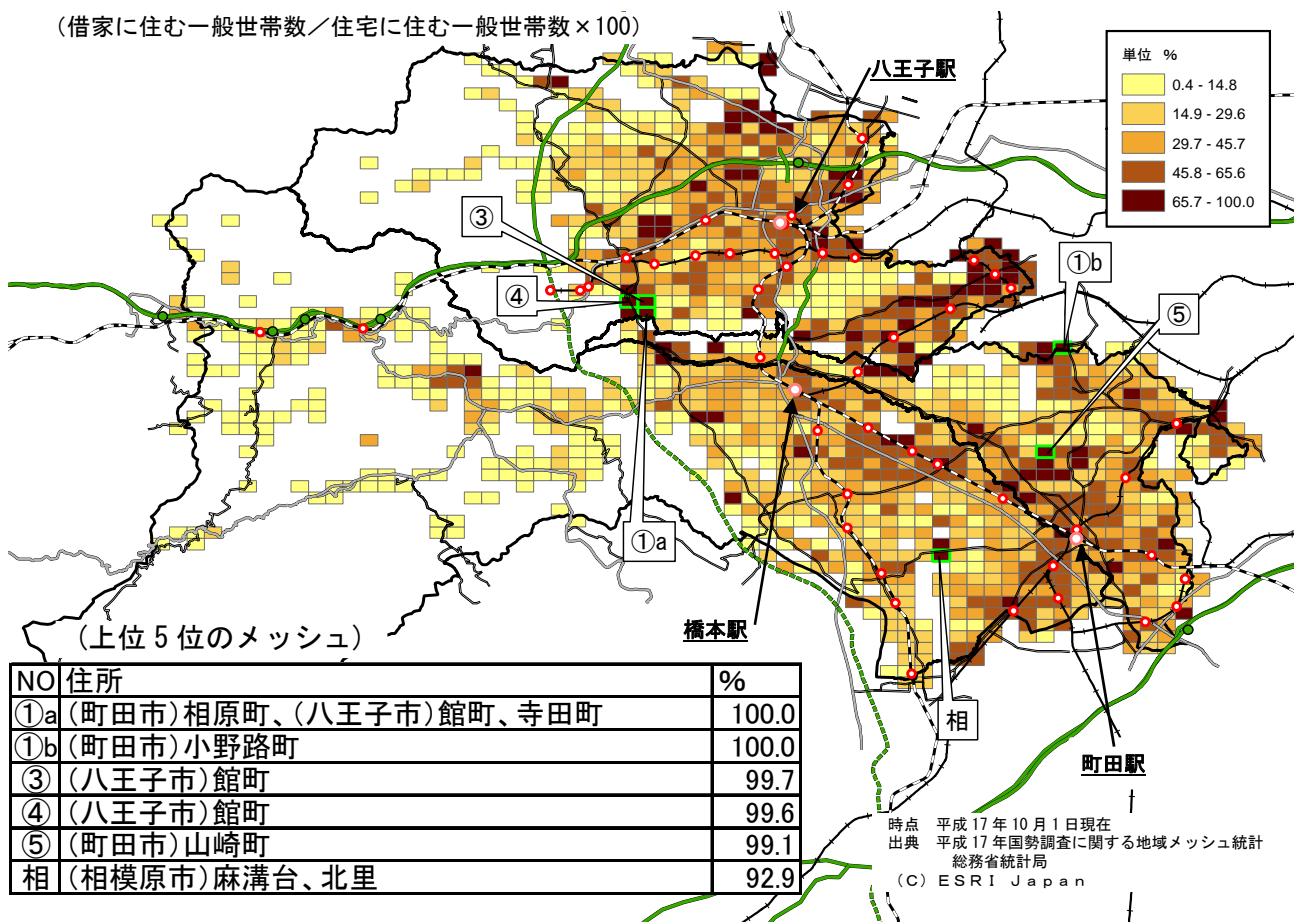
■参考 持ち家に住む一般世帯の比率

(持ち家に住む一般世帯数／住宅に住む一般世帯数×100)



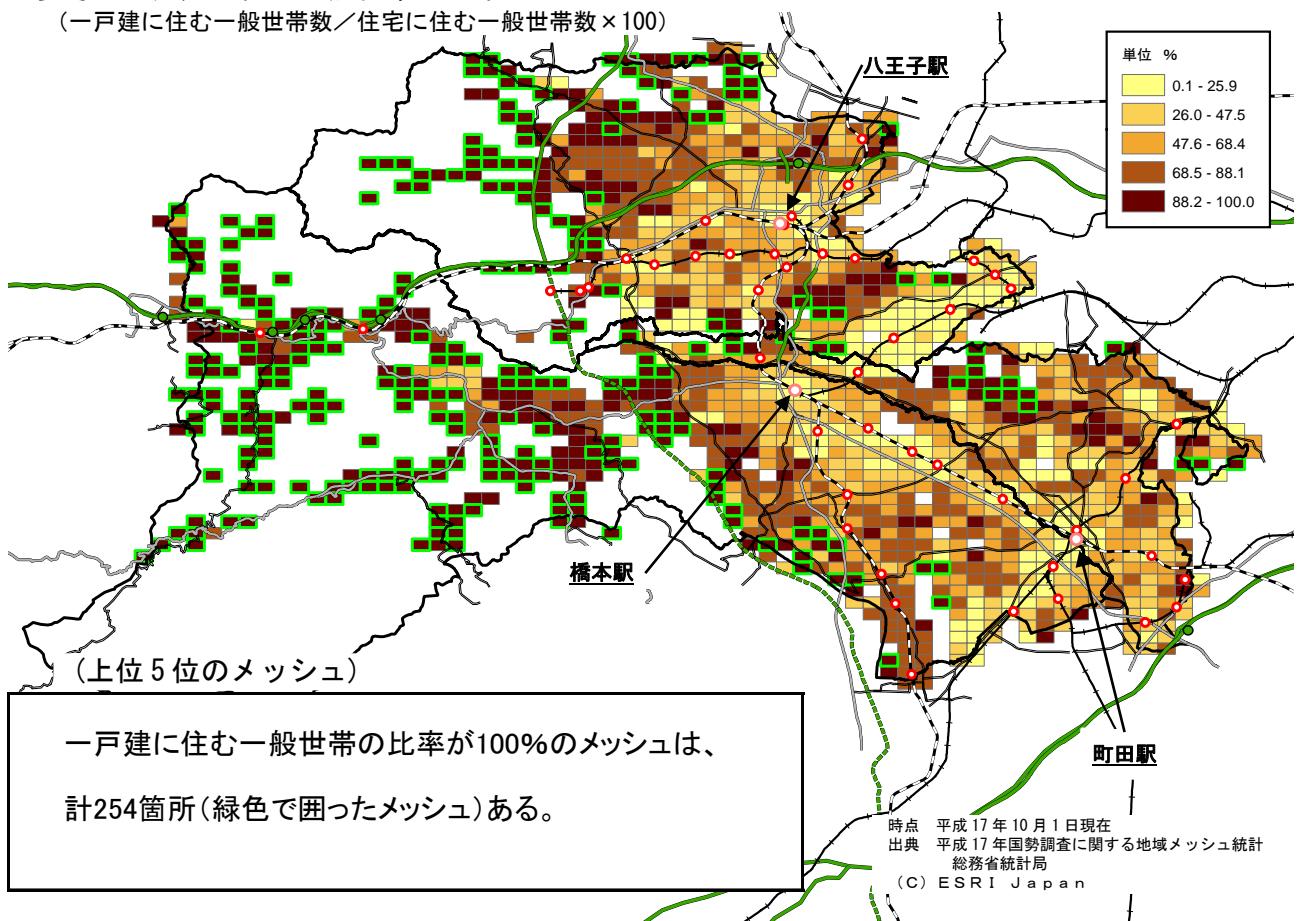
■参考 借家に住む一般世帯の比率

(借家に住む一般世帯数／住宅に住む一般世帯数×100)



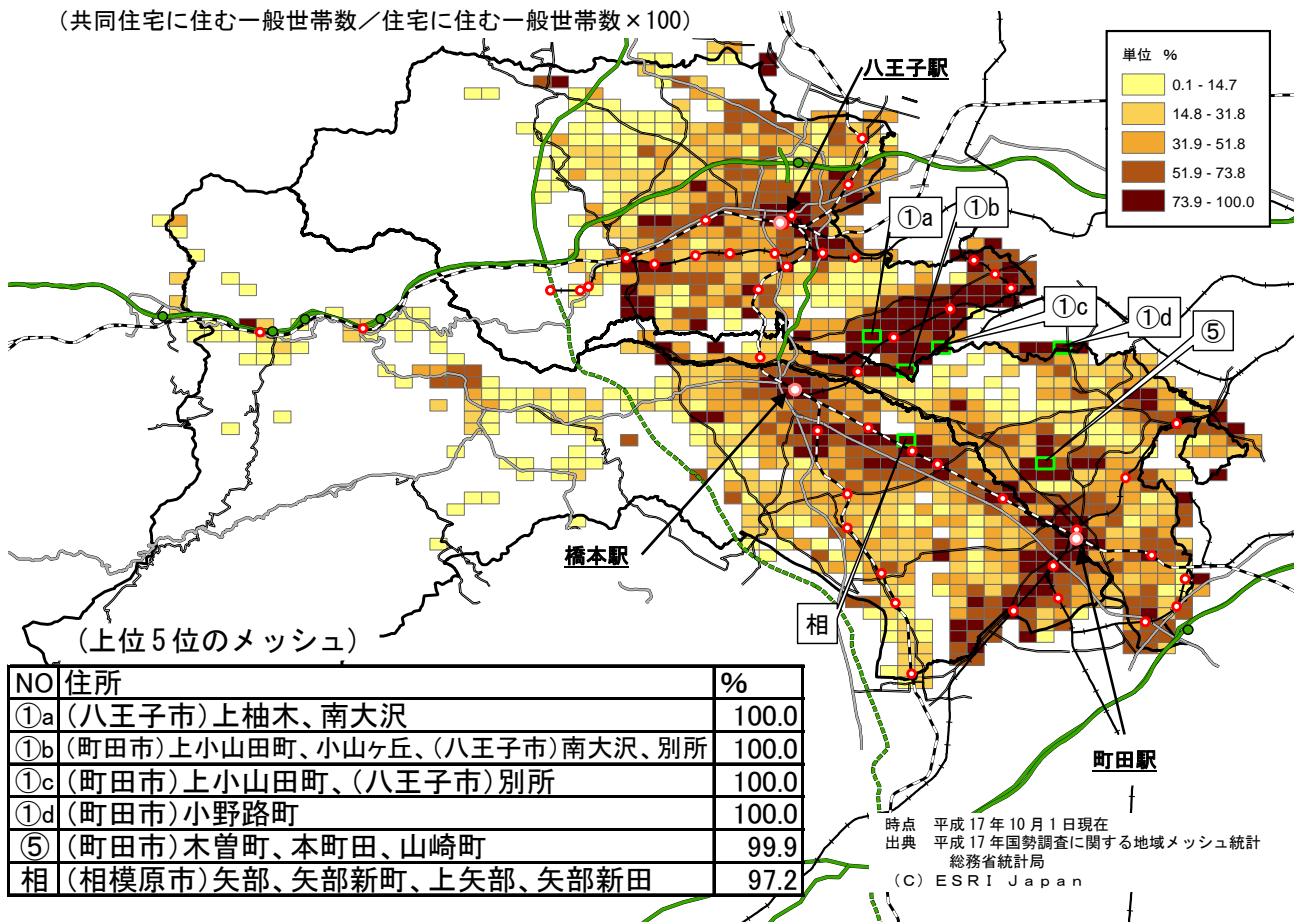
■参考 一戸建に住む一般世帯の比率

(一戸建に住む一般世帯数／住宅に住む一般世帯数×100)

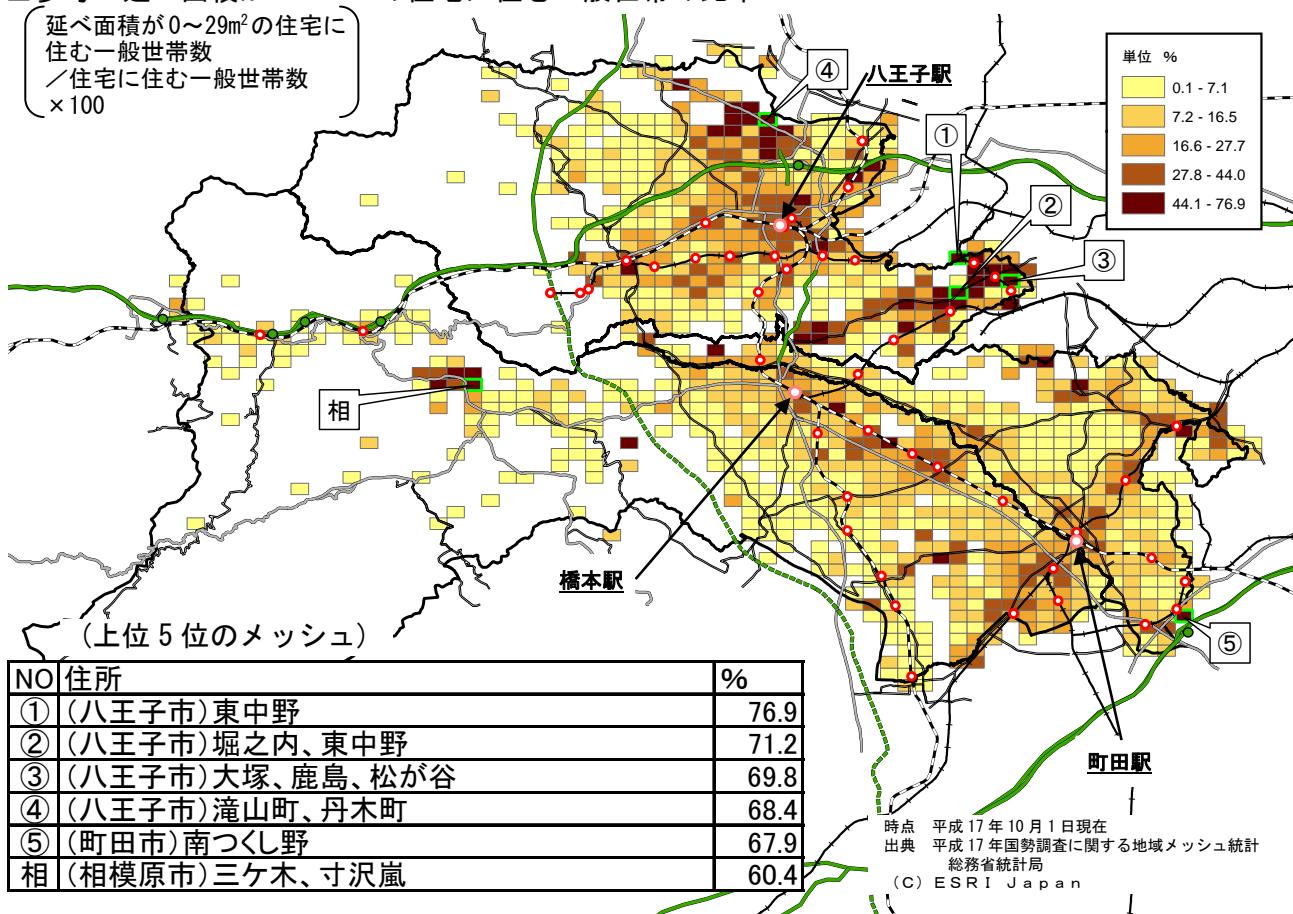


■参考 共同住宅に住む一般世帯の比率

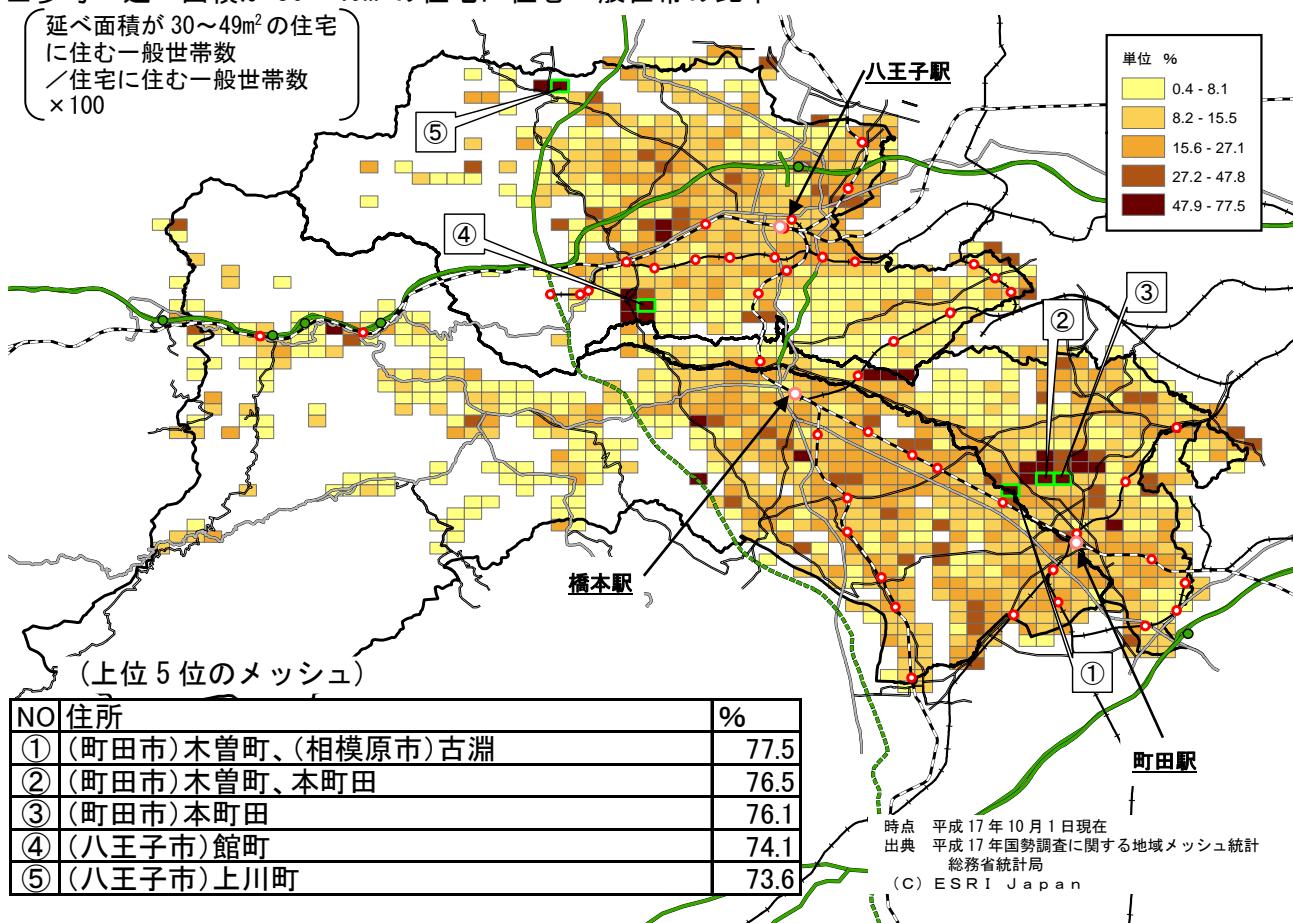
(共同住宅に住む一般世帯数／住宅に住む一般世帯数×100)



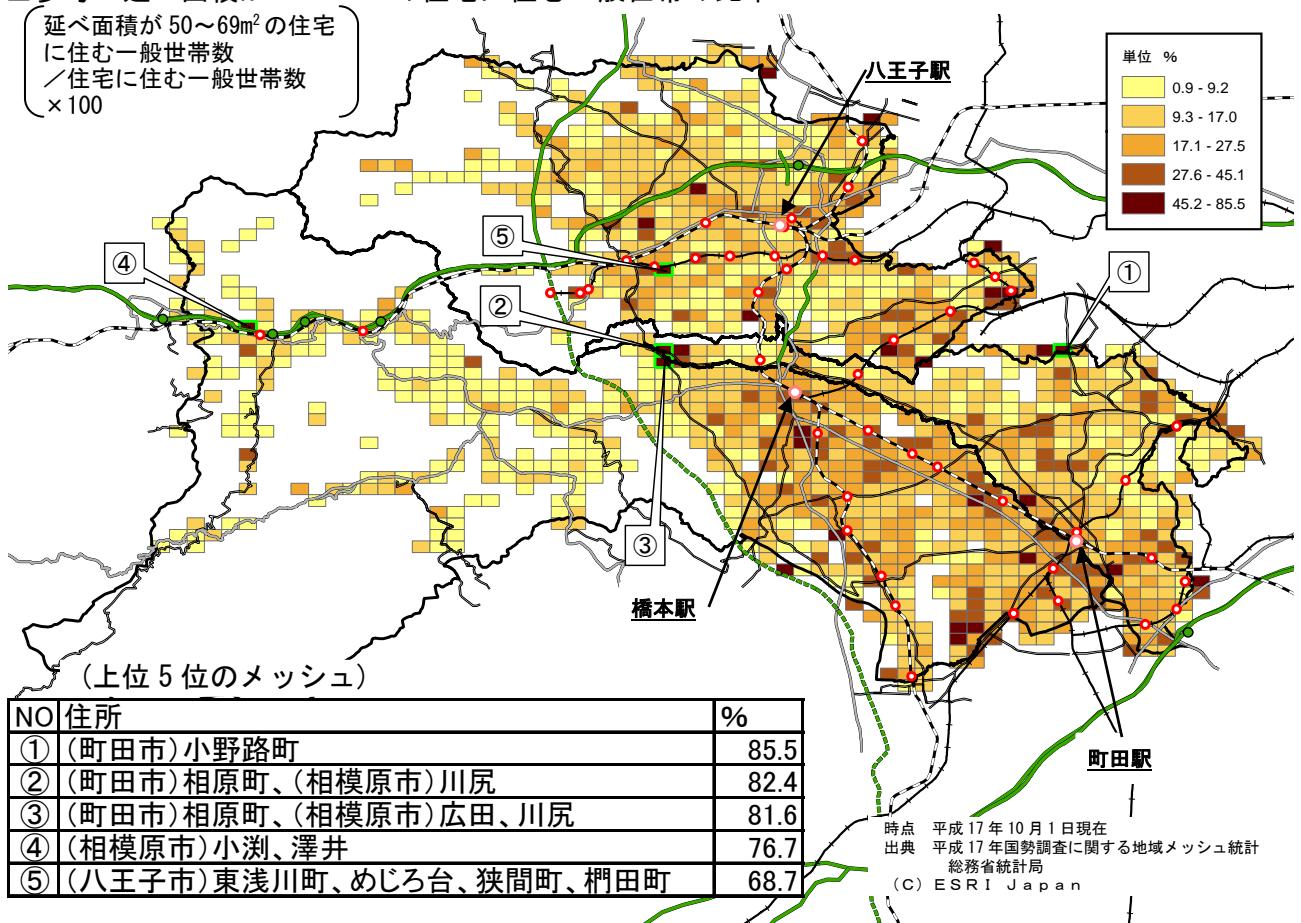
■参考 延べ面積が0~29m²の住宅に住む一般世帯の比率



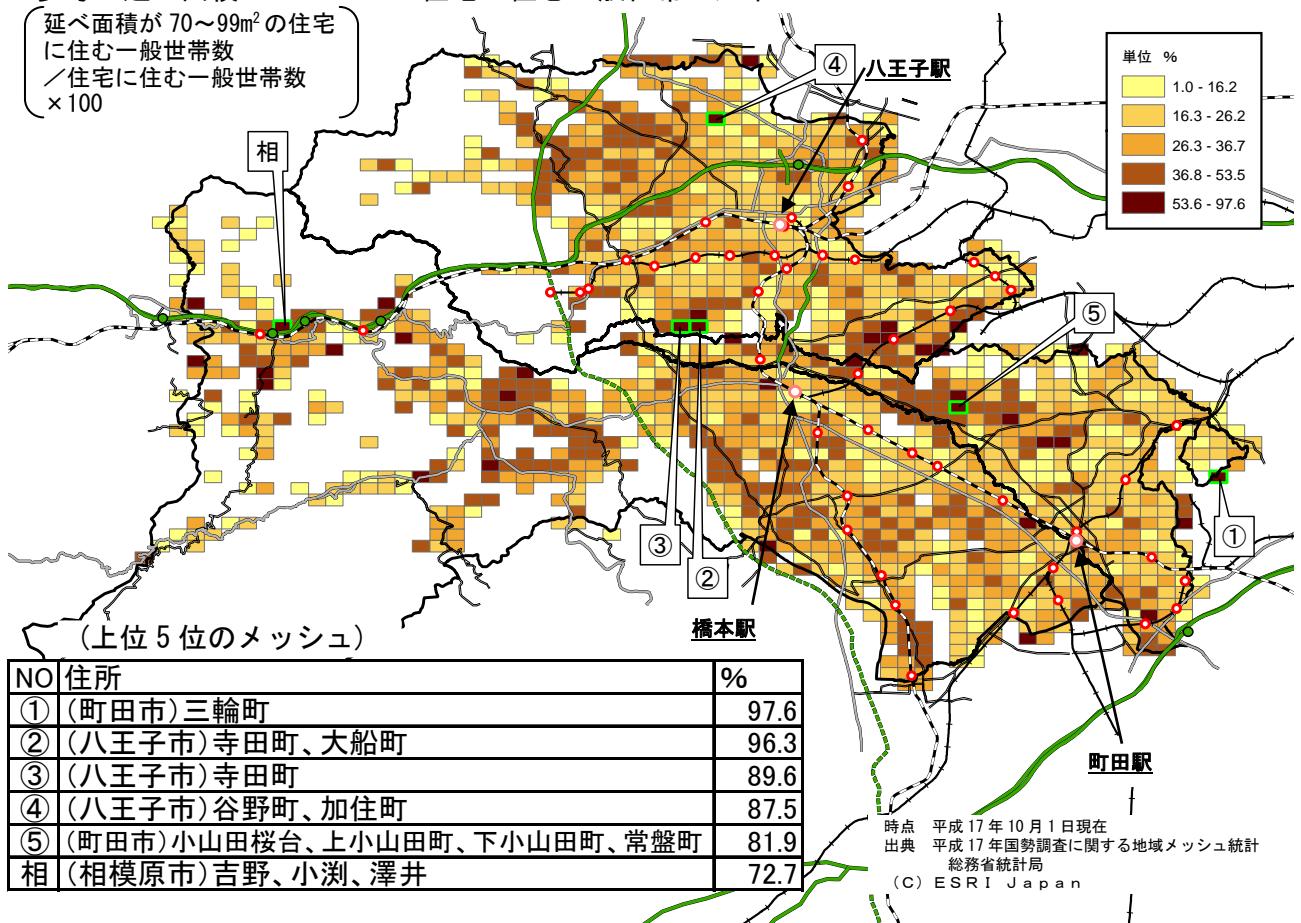
■参考 延べ面積が30~49m²の住宅に住む一般世帯の比率



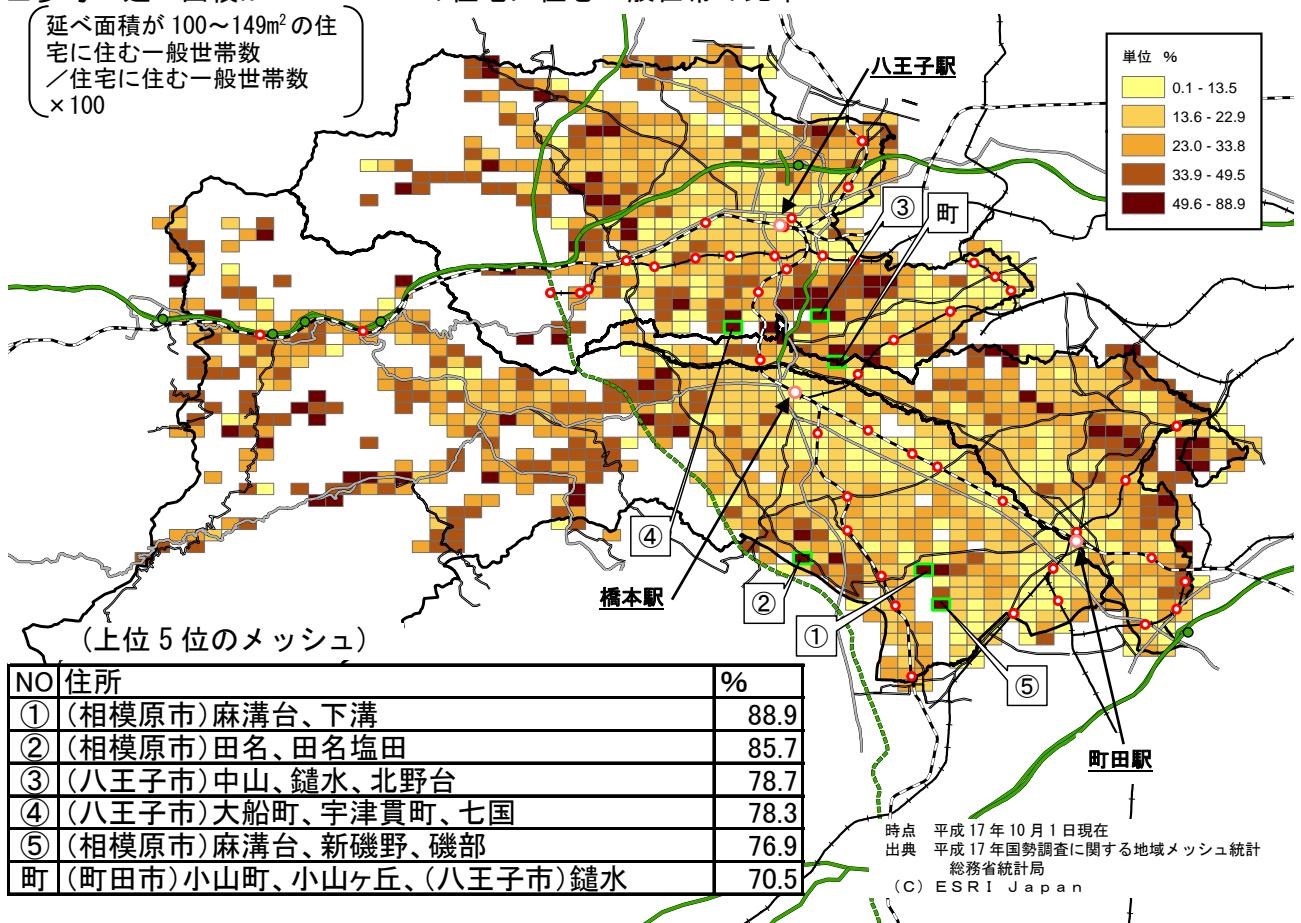
■参考 延べ面積が50~69m²の住宅に住む一般世帯の比率



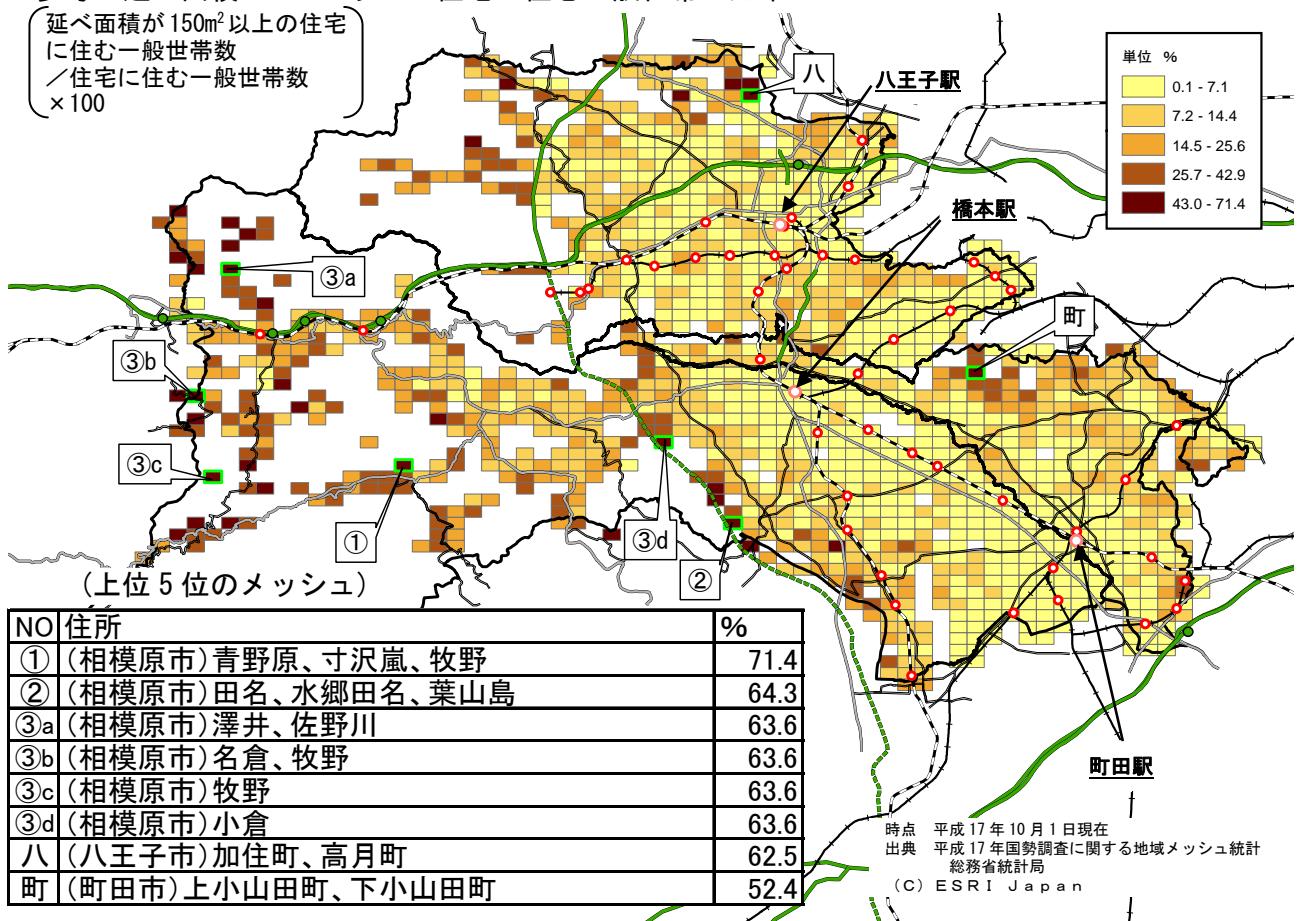
■参考 延べ面積が70~99m²の住宅に住む一般世帯の比率



■参考 延べ面積が100~149m²の住宅に住む一般世帯の比率

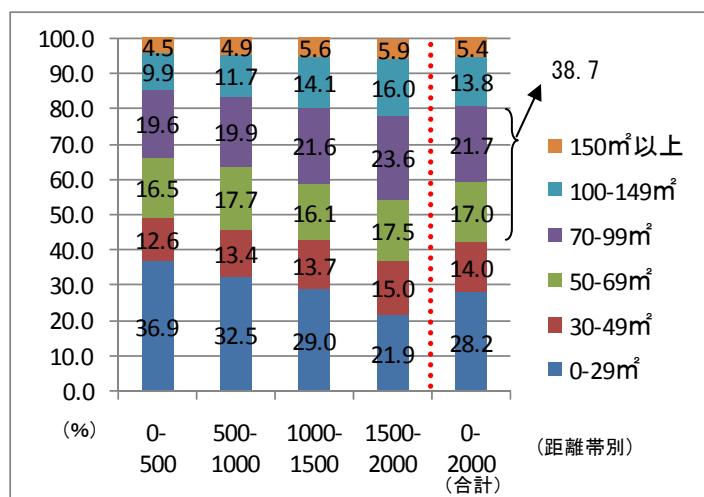


■参考 延べ面積が150m²以上の住宅に住む一般世帯の比率



<主要駅の距離別一般世帯構成（住宅の延べ面積階級別）>

■八王子駅

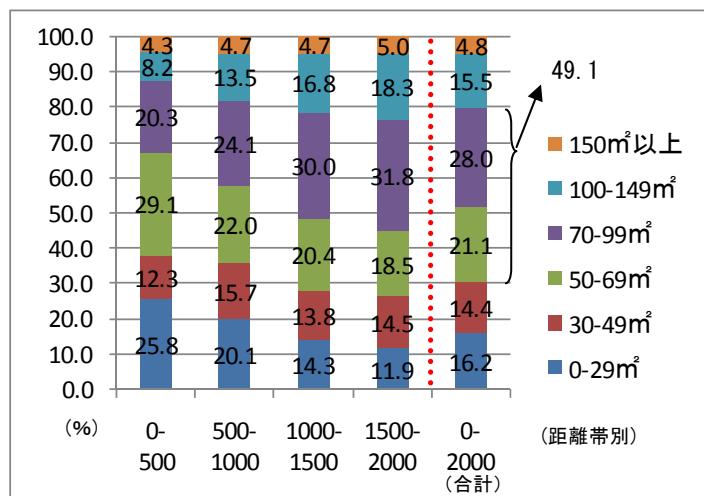


・0m 超～2000m 以下では、0～29m²の住宅に住む一般世帯の構成比が最も高い。

・0～29m² の住宅に住む一般世帯の構成比は、1500m 超～2000m 以下を除く、すべての距離帯で最も高く、駅から離れるにつれて構成比が低くなる。

時点 平成 17 年 10 月 1 日現在
出典 平成 17 年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

■橋本駅



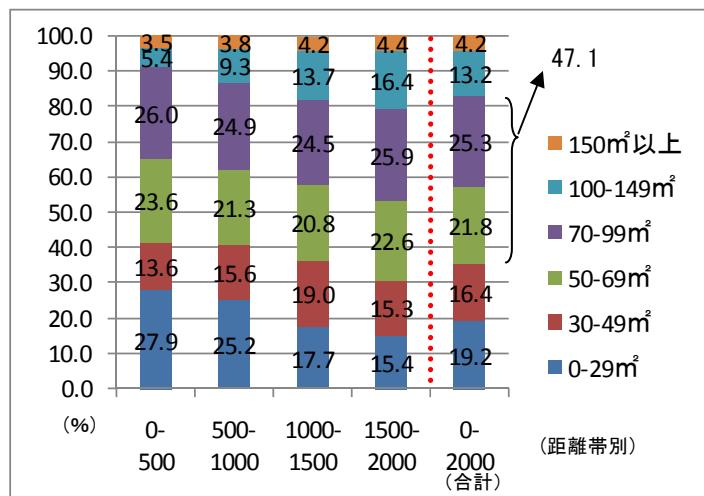
・0m 超～2000m 以下では、70～99m²の住宅に住む一般世帯の構成比が最も高い。

50～69m² の住宅に住む一般世帯と 70～99m² の住宅に住む一般世帯を合計した構成比が約 50% となる。

・50～69m² の住宅に住む一般世帯の構成比は、0m 超～500m 以下で最も高く、駅から離れるにつれて低くなる。

時点 平成 17 年 10 月 1 日現在
出典 平成 17 年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

■町田駅



・0m 超～2000m 以下では、70～99m²の住宅に住む一般世帯の構成比が最も高い。

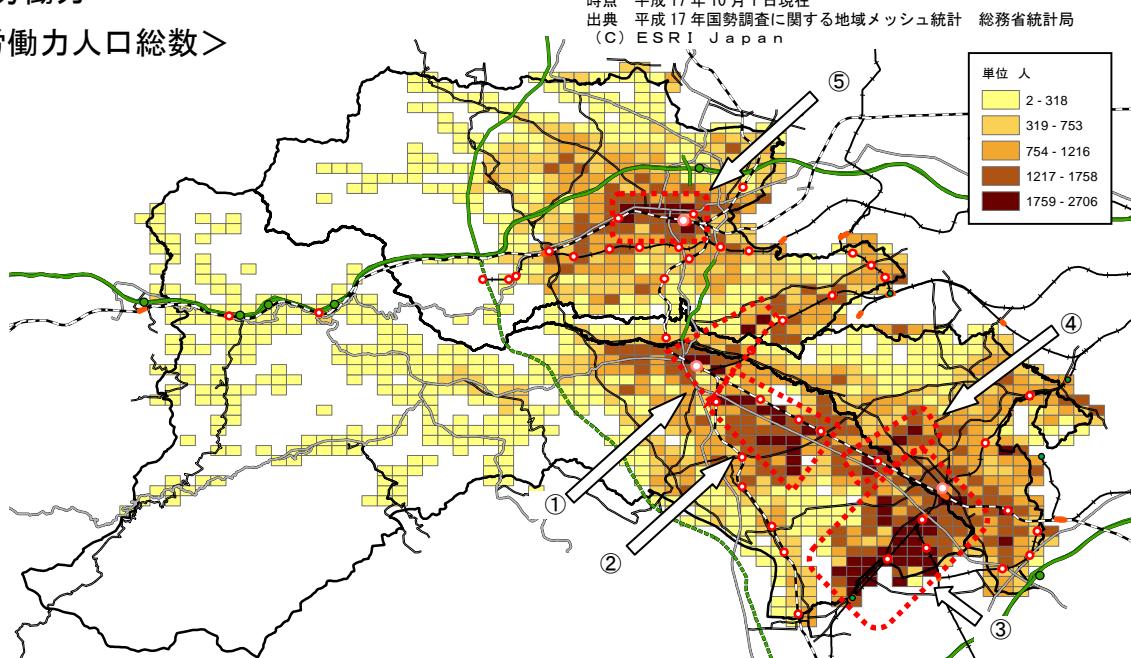
時点 平成 17 年 10 月 1 日現在
出典 平成 17 年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

(凡例)

- 距離帯区分 0-500…0m 超～500m 以下、500-1000…500m 超～1000m 以下、1000-1500…1000m 超～1500m 以下、1500-2000…1500m 超～2000m 以下、0-2000…0m 超～2000m 以下
- 一般世帯（住宅の延べ面積階級別）区分 0-29m²…0～29 m² の住宅に住む一般世帯、30-49 m²…30～49 m² の住宅に住む一般世帯、50-69 m²…50～69 m² の住宅に住む一般世帯、70-99 m²…70～99 m² の住宅に住む一般世帯、100-149 m²…100～149 m² の住宅に住む一般世帯、150 m² 以上…150 m² 以上の住宅に住む一般世帯

4. 労働力

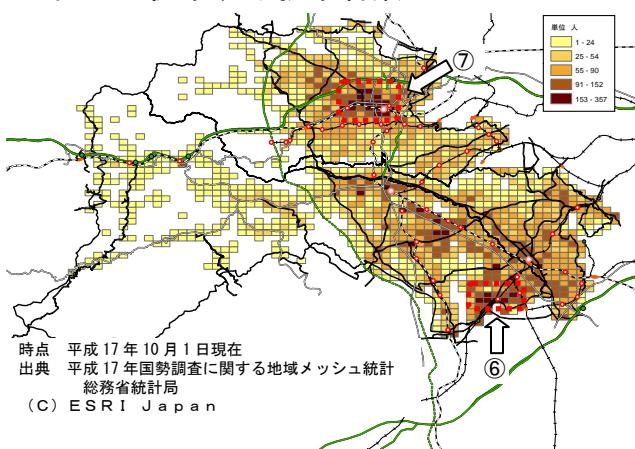
<労働力人口総数>



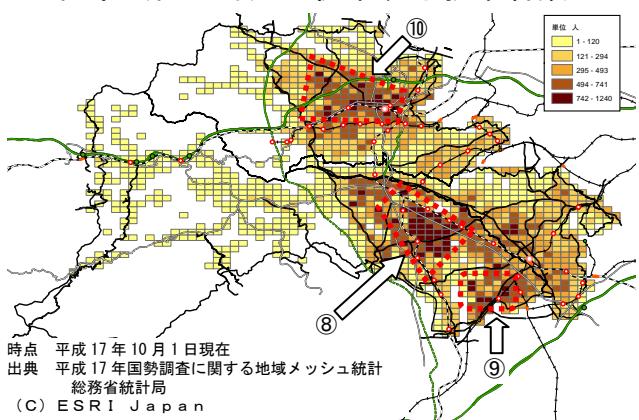
鉄道沿線など利便性の高い地域で労働力人口が多い。

- ・3市を通る京王相模原線沿線①
- ・相模原市のJR横浜線沿線②
- ・相模原市、町田市を通る小田急小田原線沿線、小田急江ノ島線沿線③
- ・相模原市の古淵駅周辺、町田市の団地が所在する地域④
- ・八王子市のJR中央線沿線⑤

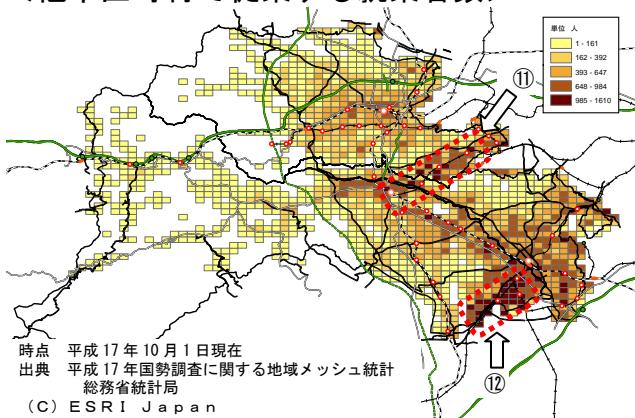
<自宅で従業する就業者数>



<自市（自宅外）で従業する就業者数>

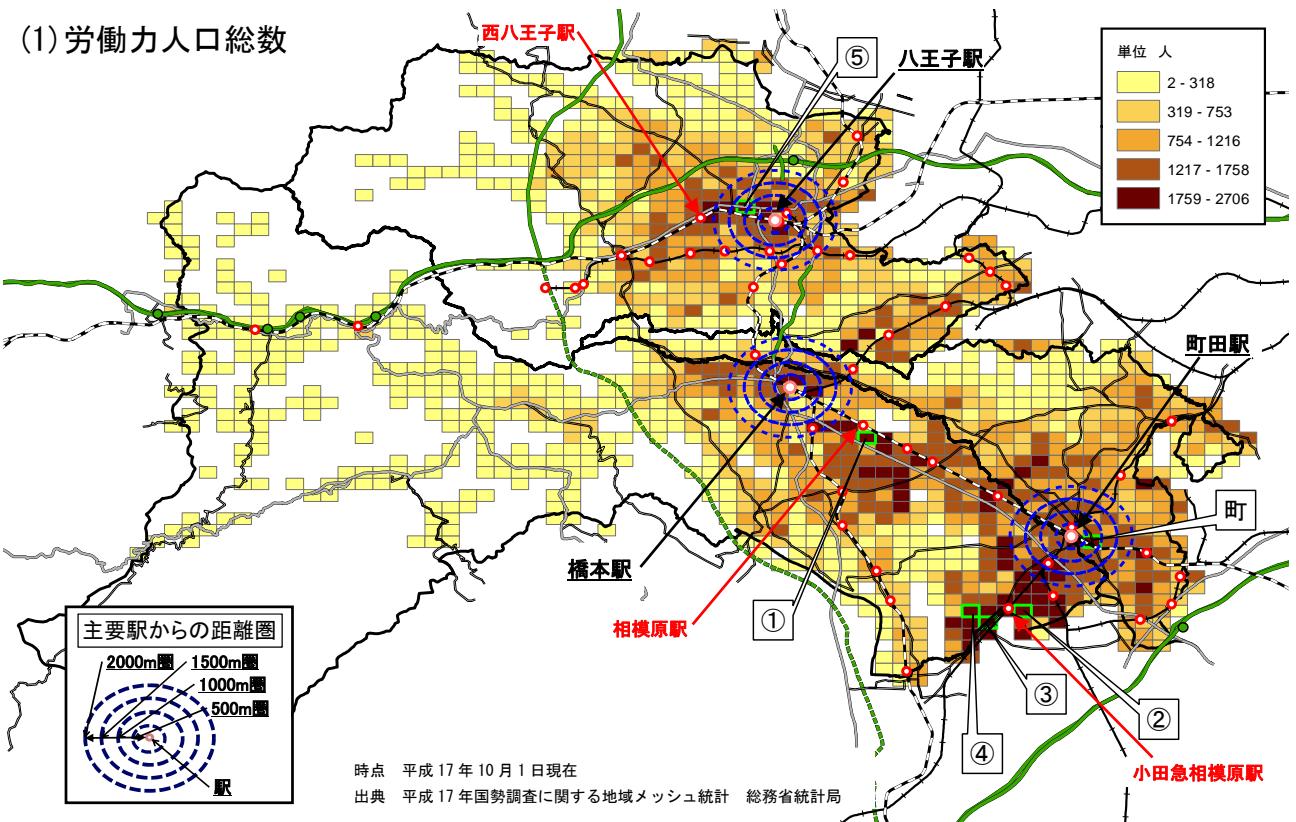


<他市区町村で従業する就業者数>



- ・自宅で従業する就業者は、相模原市の小田急小田原線沿線⑥、八王子市のJR中央線沿線⑦で多い。
- ・自市（自宅外）で従業する就業者は、相模原市のJR横浜線沿線、JR相模線沿線⑧、小田急小田原線沿線、小田急江ノ島線沿線⑨、八王子市のJR中央線沿線等⑩で多い。
- ・他市区町村で従業する就業者は、3市を通る京王相模原線沿線⑪、相模原市の小田急小田原線沿線、小田急江ノ島線沿線⑫で多い。

◆就業者とは、賃金、給料、諸手当、営業収益など収入になる仕事を少しでもした人（ここでは、3市に常住している就業者に限る）をいう。なお、平成 17 年の国勢調査を利用しているため、「他市区町村で従業する就業者数」の集計では、合併前の相模原市及び旧津久井郡 4 町の区域をそれぞれ別の市町としている（以下、この項目において同じ）。



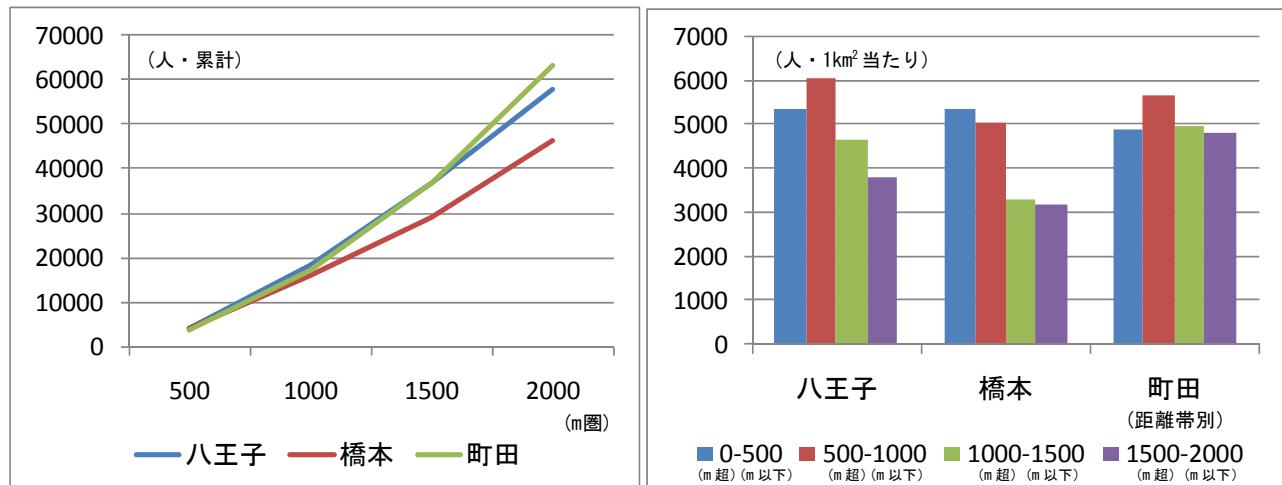
- ・上位 5 位のメッシュは、小田急相模原駅周辺が多い。
- ・主要駅の距離別労働力人口総数は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多く、1km²当たりは、0m 超-500m 以下では橋本駅、500m 超-1000m 以下では八王子駅が最も多い。

■ 上位 5 位のメッシュ

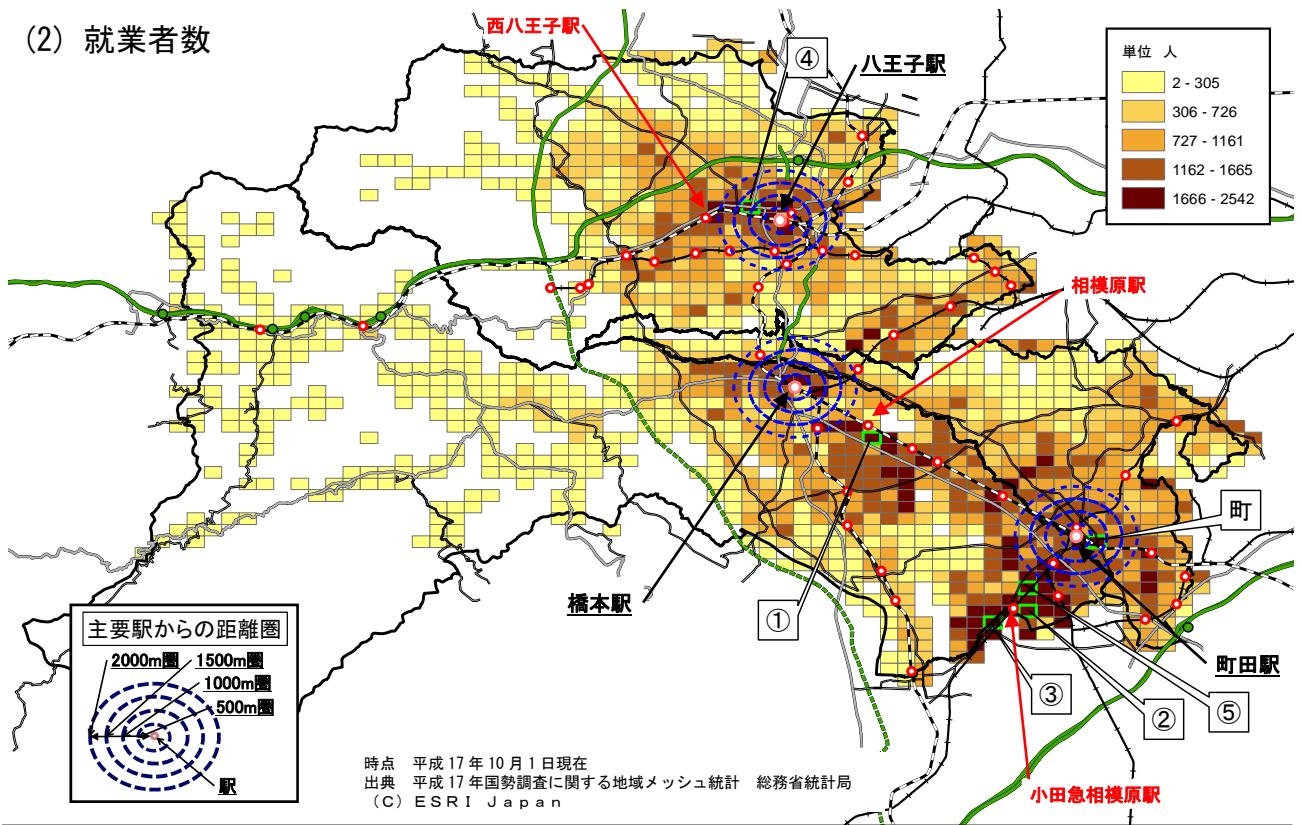
NO	住所	人
①	(相模原市)相模原、中央	2706
②	(相模原市)相南、松が枝町	2664
③	(相模原市)相模台、相武台、相武台団地	2548
④	(相模原市)新磯野、相模台、相武台団地	2503
⑤	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	2494
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	2324

①は相模原駅周辺
②～④は小田急相模原駅周辺
⑤は八王子駅、西八王子駅間の JR 中央線沿線

■ 主要駅の距離別労働力人口総数



(2) 就業者数



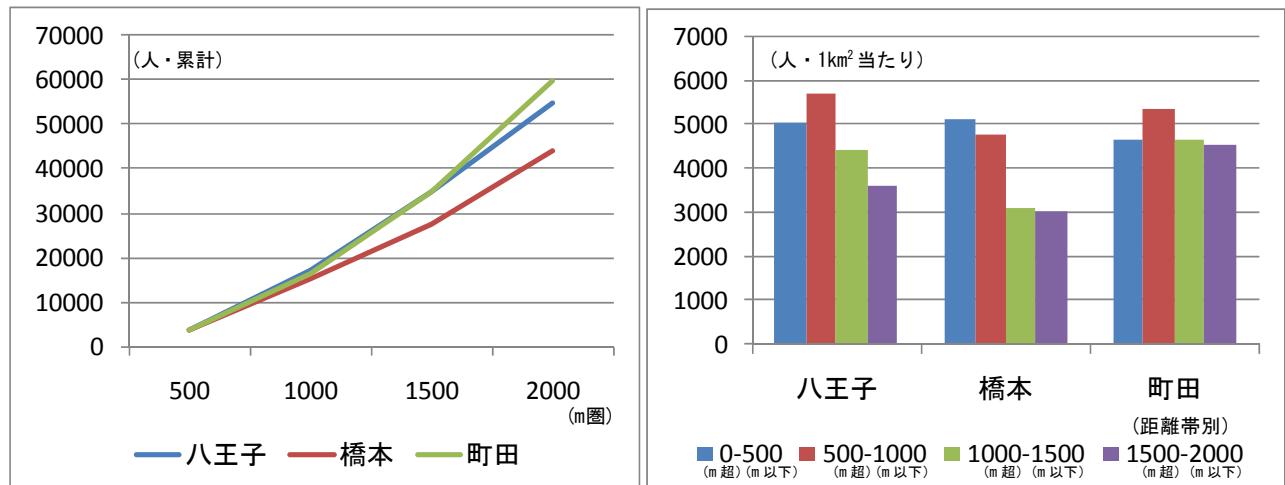
- 上位5位のメッシュは、小田急相模原駅周辺が多い。
- 主要駅の距離別就業者数は、2000m圏の累計では町田駅が最も多く、1km²当たりは、町田駅のすべての距離帯で4500人を超えている。

■上位5位のメッシュ

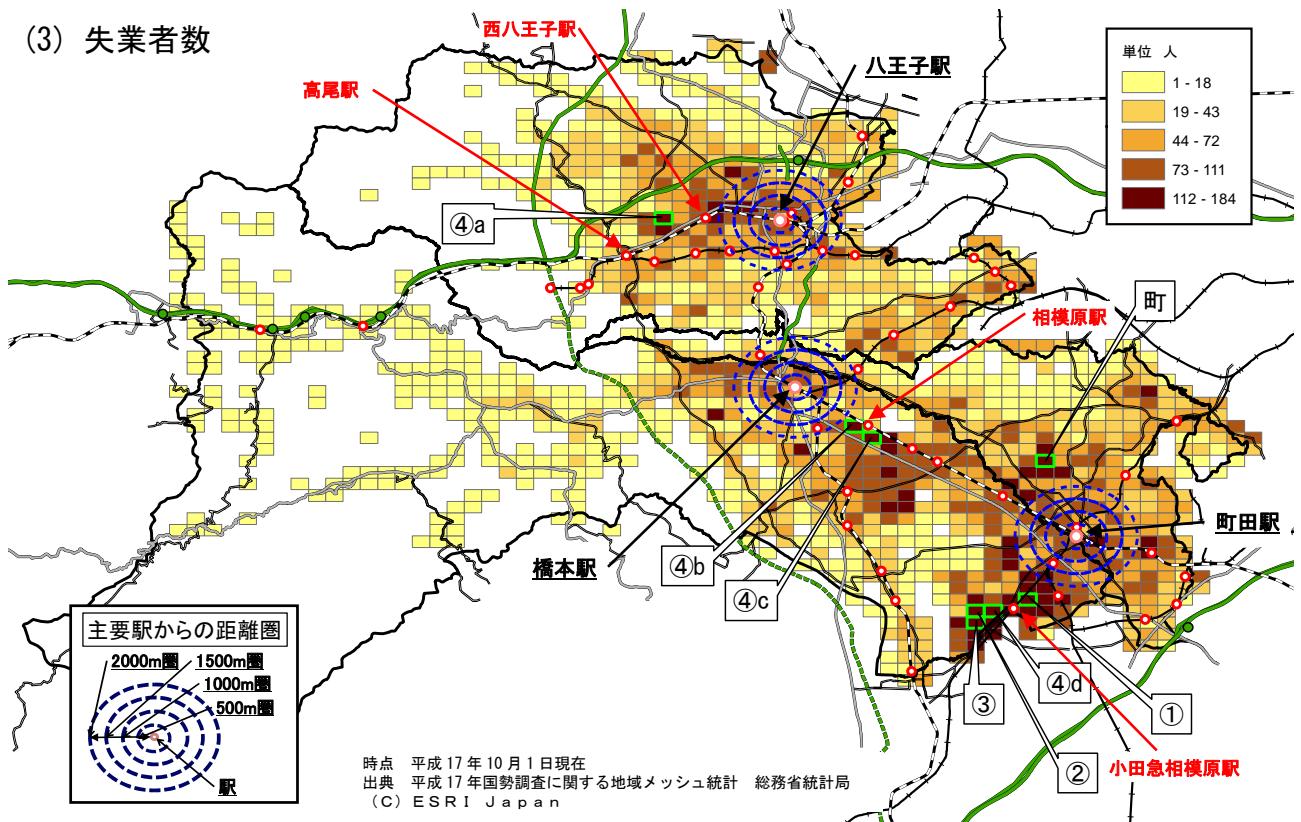
NO	住所	人
①	(相模原市)相模原、中央	2542
②	(相模原市)相南、松が枝町	2504
③	(相模原市)相模台、相武台、相武台団地	2393
④	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	2374
⑤	(相模原市)旭町、上鶴間、南台、東林間	2330
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	2201

①は相模原駅周辺
②、③、⑤は小田急相模原駅周辺
④は八王子駅、西八王子駅間のJR中央線沿線

■主要駅の距離別就業者数



(3) 失業者数



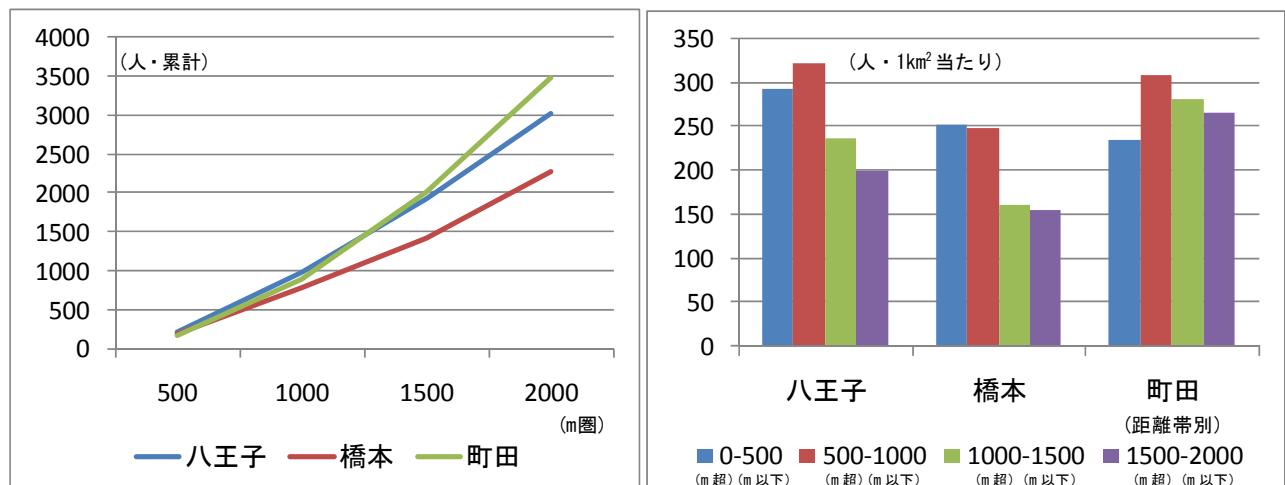
- ・上位 5 位のメッシュは、小田急相模原駅周辺が多い。
- ・主要駅の距離別失業者数は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多く、1km²当たりは、500m 超-1000m 以下の距離帯までは八王子駅が最も多く、その他の距離帯では町田駅が最も多い。

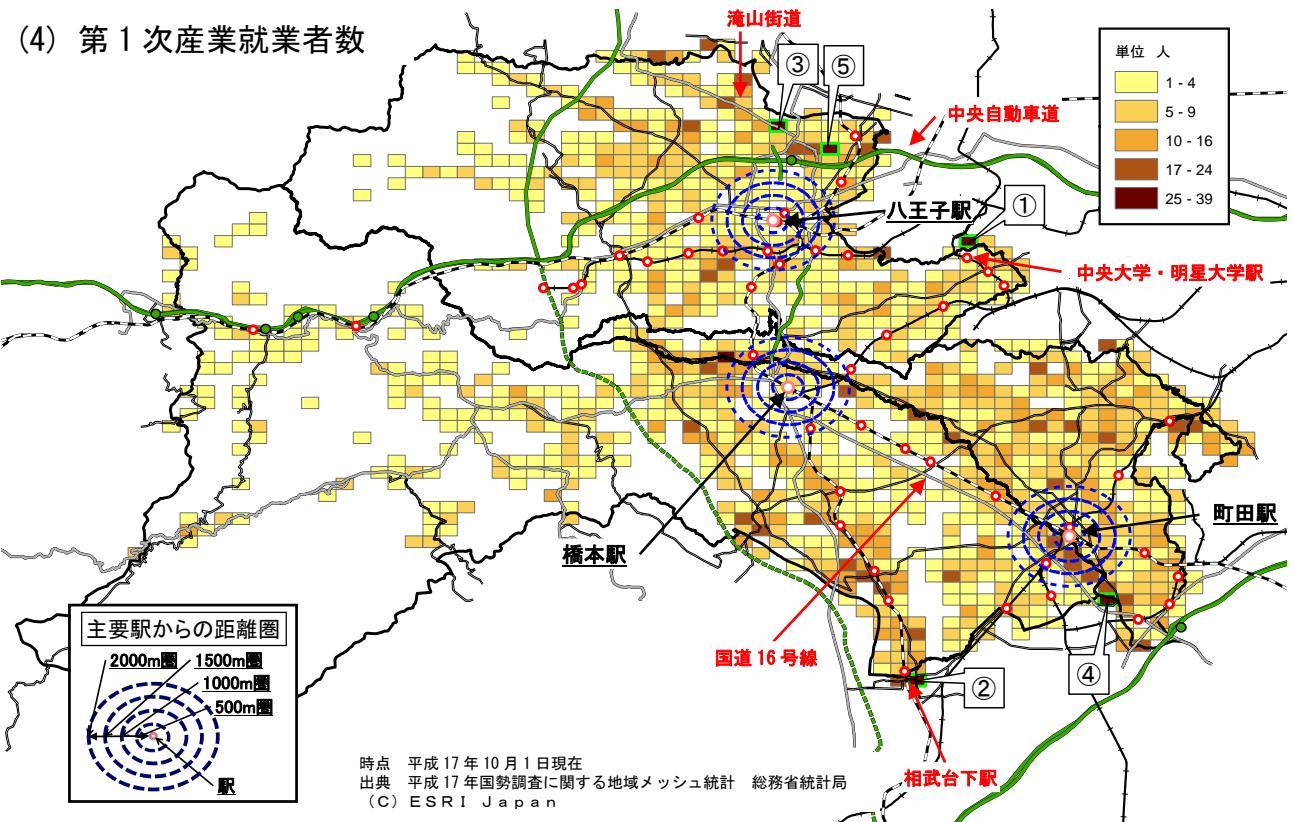
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	人
①	(相模原市)南台、相南、東林間、松が枝町	184
②	(相模原市)新磯野、相模台、相武台団地	182
③	(相模原市)新磯野、相模台、相武台、相武台団地	169
④a	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	164
④b	(相模原市)小山、相模原、清新、氷川町	164
④c	(相模原市)相模原、中央	164
④d	(相模原市)相模台、南台	164
町	(町田市)木曾町、本町田、山崎町	162

- ①、②、③、④d は小田急相模原駅周辺
④a は西八王子駅、高尾駅間の JR 中央線沿線
④b、④c は相模原駅周辺

■主要駅の距離別失業者数





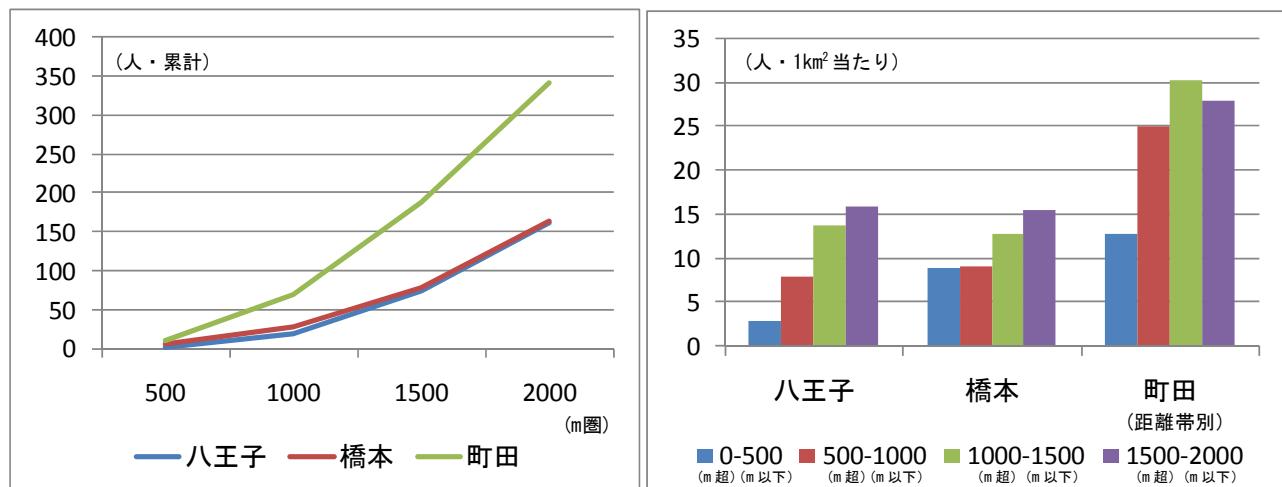
- 上位5位のメッシュは、八王子市が多い。
- 主要駅の距離別第1次産業就業者数は、2000m圏の累計では町田駅が最も多く、八王子駅、橋本駅の約2倍となっている。

■上位5位のメッシュ

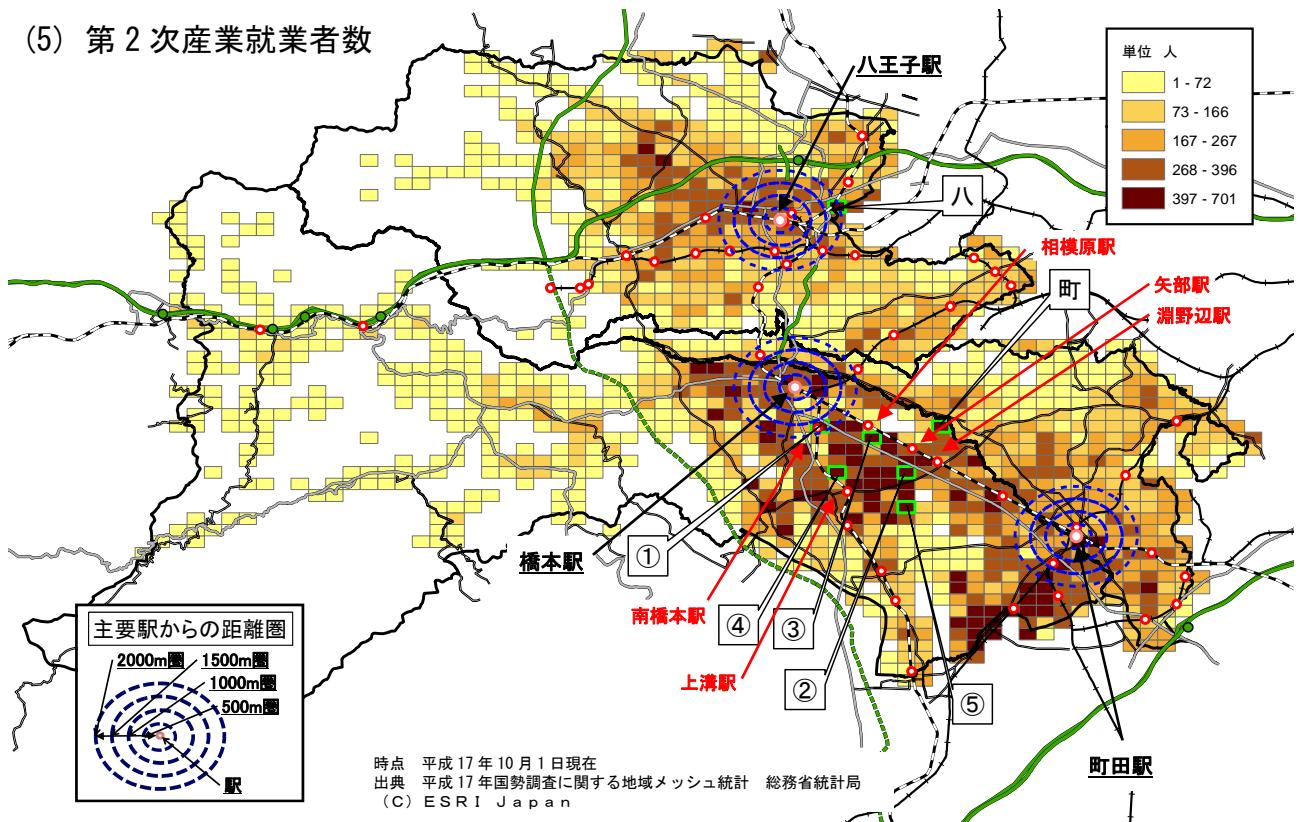
NO	住所	人
①	(八王子市)大塚	39
②	(相模原市)新戸	33
③	(八王子市)左入町、滝山町、梅坪町	29
④	(町田市)金森、鶴間	28
⑤	(八王子市)石川町、宇津木町、久保山町	27

①は多摩モノレールの中央大学・明星大学駅
②はJR相模線相武台下駅
③は滝山街道沿い
④は国道16号線
⑤は中央自動車道沿い

■主要駅の距離別第1次産業就業者数



(5) 第2次産業就業者数



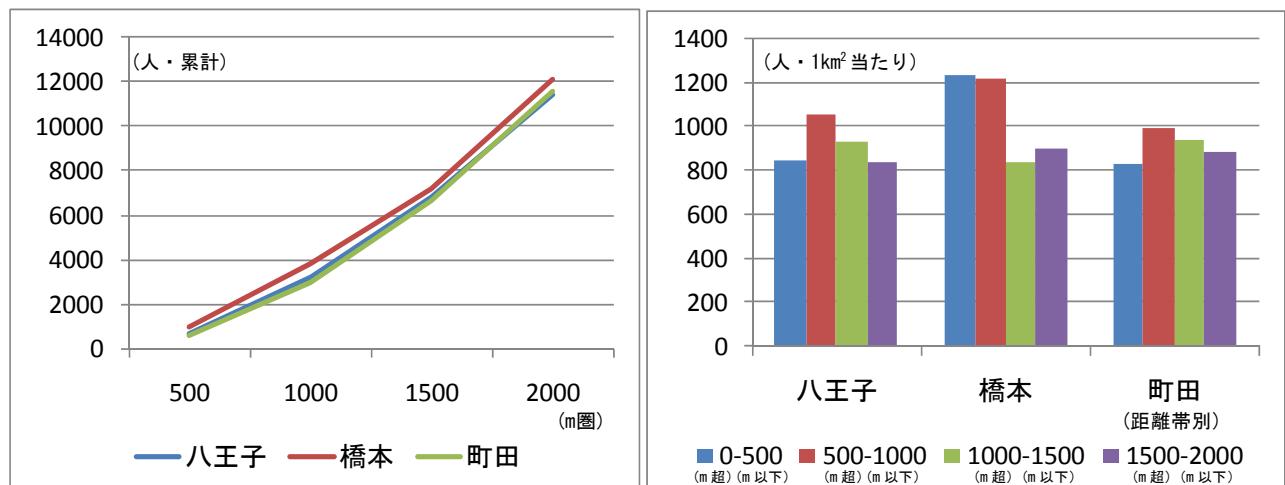
- 上位 5 位のメッシュは、JR 横浜線と JR 相模線に挟まれた地域である。
- 主要駅の距離別第 2 次産業就業者数は、2000m 圏の累計では主要駅間で大きな差はない、1km²当たりは、500m 超-1000m 以下の距離帯までは橋本駅が最も多い。

■上位 5 位のメッシュ

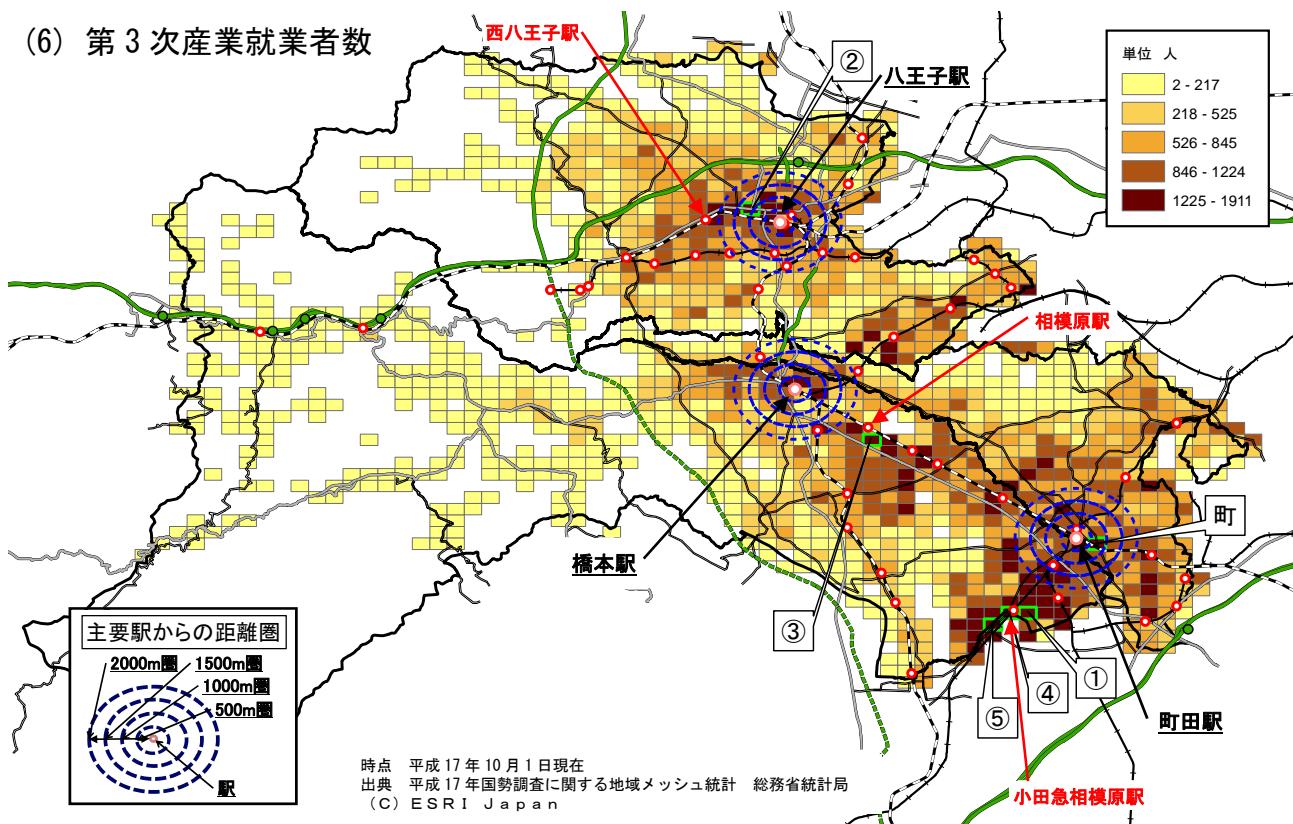
NO	住所	人
①	(相模原市) 小山、清新、南橋本	701
②	(相模原市) 相生、千代田、富士見、鹿沼台	623
③	(相模原市) 相模原、中央	610
④	(相模原市) 横山、横山台、上溝	590
⑤	(相模原市) 青葉、並木、光が丘、緑が丘	573
八	(八王子市) 大和田町、高倉町	498
町	(町田市) 常盤町、矢部町、(相模原市) 上矢部、淵野辺	469

①は南橋本駅周辺
②は矢部駅、淵野辺駅間の JR 横浜線沿線
③は相模原駅周辺
④は上溝駅周辺
⑤は県営上溝団地が所在する地域

■主要駅の距離別第 2 次産業就業者数



(6) 第3次産業就業者数



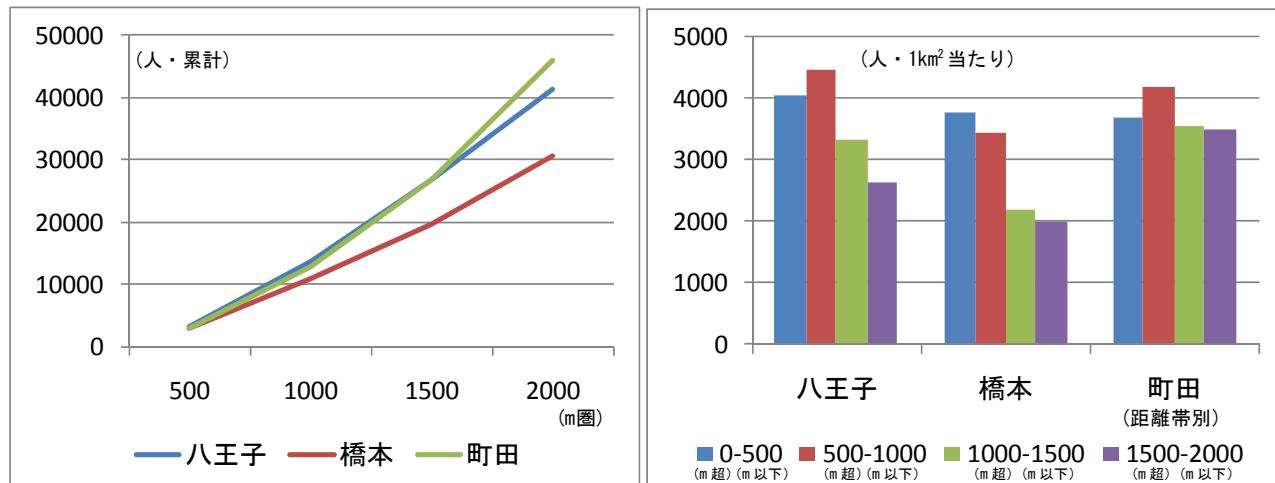
- 上位 5 位のメッシュは、小田急相模原駅周辺が多い。
- 主要駅の距離別第3次産業就業者数は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多く、1km²当たりは、500m 超-1000m 以下の距離帯までは八王子駅が最多。

■上位 5 位のメッシュ

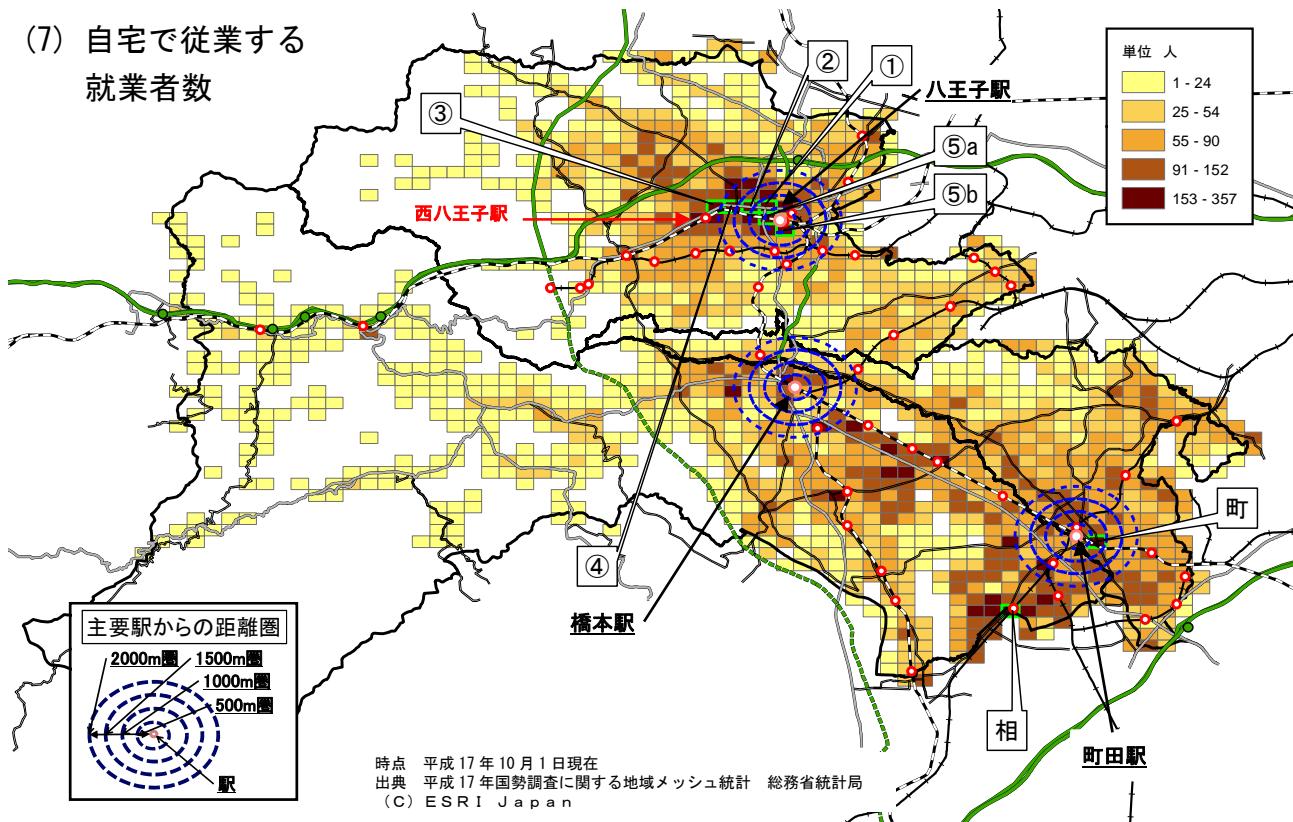
NO	住所	人
①	(相模原市)相南、松が枝町	1911
②	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	1905
③	(相模原市)相模原、中央	1846
④	(相模原市)相模台、南台、相南、松が枝町	1772
⑤	(相模原市)相模台、相武台、相武台団地	1763
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	1741

①、④、⑤は小田急相模原駅周辺
②は八王子駅、西八王子駅間のJR中央線沿線
③は相模原駅周辺

■主要駅の距離別第3次産業就業者数



(7) 自宅で従業する就業者数



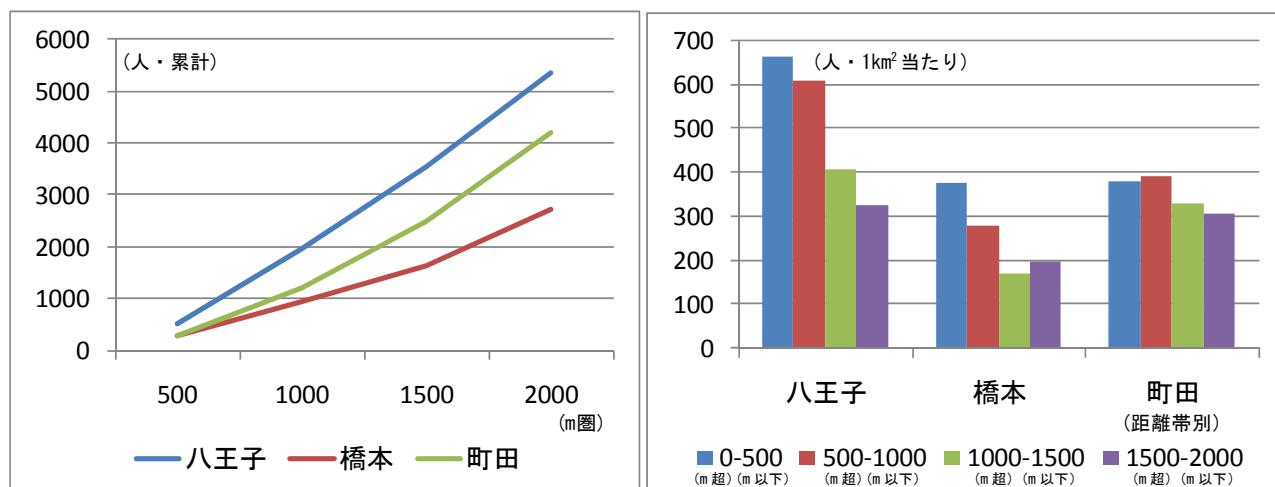
- ・上位 5 位のメッシュは、八王子駅、西八王子駅間の JR 中央線沿線である。
- ・主要駅の距離別自宅で従業する就業者数は、2000m 圏の累計では八王子駅が最多く、1km²当たりは、八王子駅がすべての距離帯で最も多い。

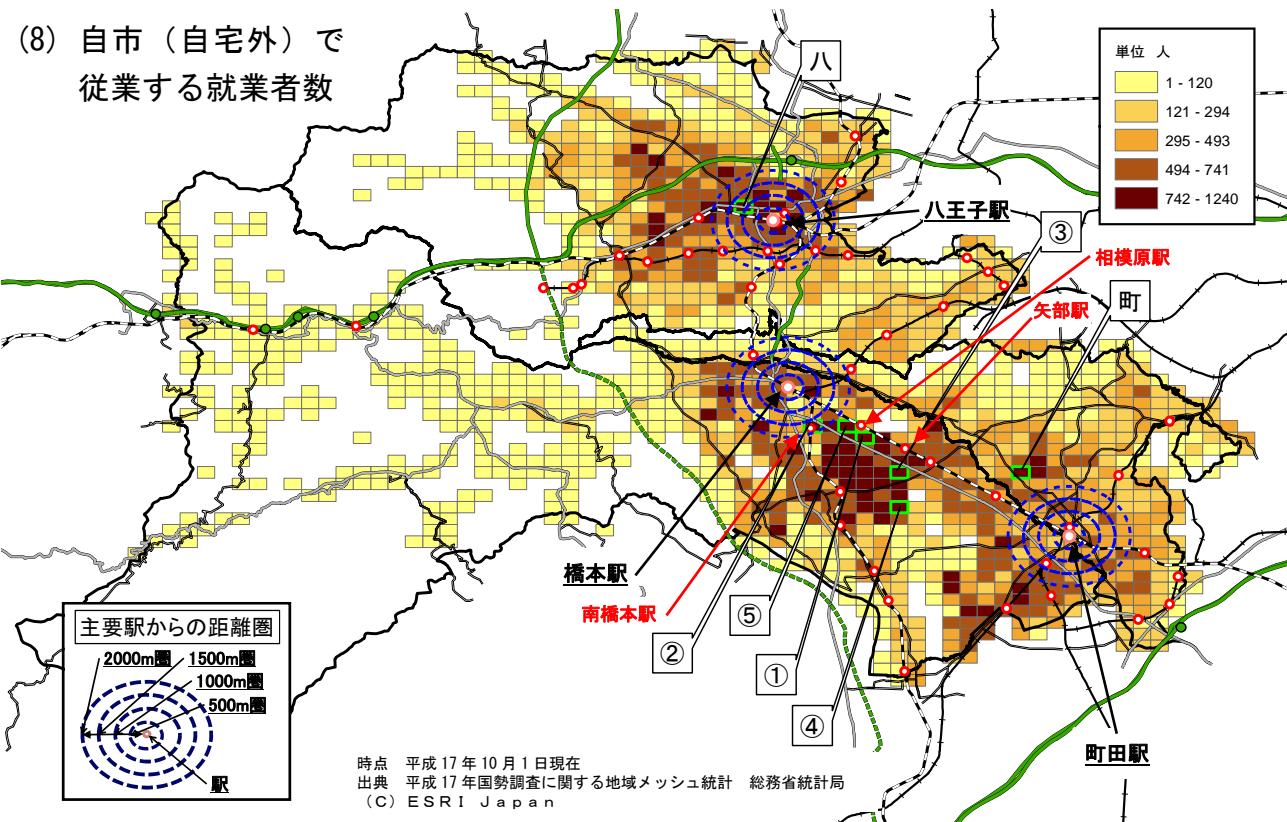
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	人
①	(八王子市)横山村、八日町、本町、元横山村	357
②	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	353
③	(八王子市)八幡町、八木町、追分町、元本郷町	277
④	(八王子市)追分町、千人町、日吉町、元本郷町	244
⑤a	(八王子市)子安町、旭町、三崎町、中町	223
⑤b	(八王子市)子安町、旭町	223
相	(相模原市)相模台、南台、相南、松が枝町	209
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	185

上位 5 位のメッシュは、八王子駅、西八王子駅間の JR 中央線沿線

■主要駅の距離別自宅で従業する就業者数





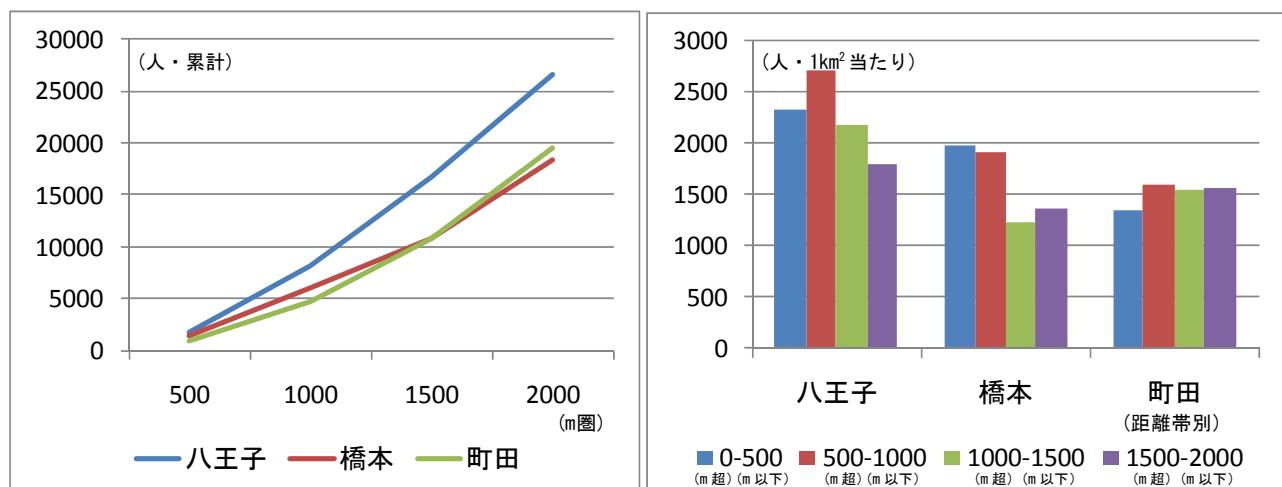
- ・上位 5 位のメッシュは、JR 横浜線と JR 相模線に挟まれた地域である。
- ・主要駅の距離別自市（自宅外）で従業する就業者数は、2000m 圏の累計では八王子駅が最も多く、1km²当たりは、八王子駅がすべての距離帯で最も多い。

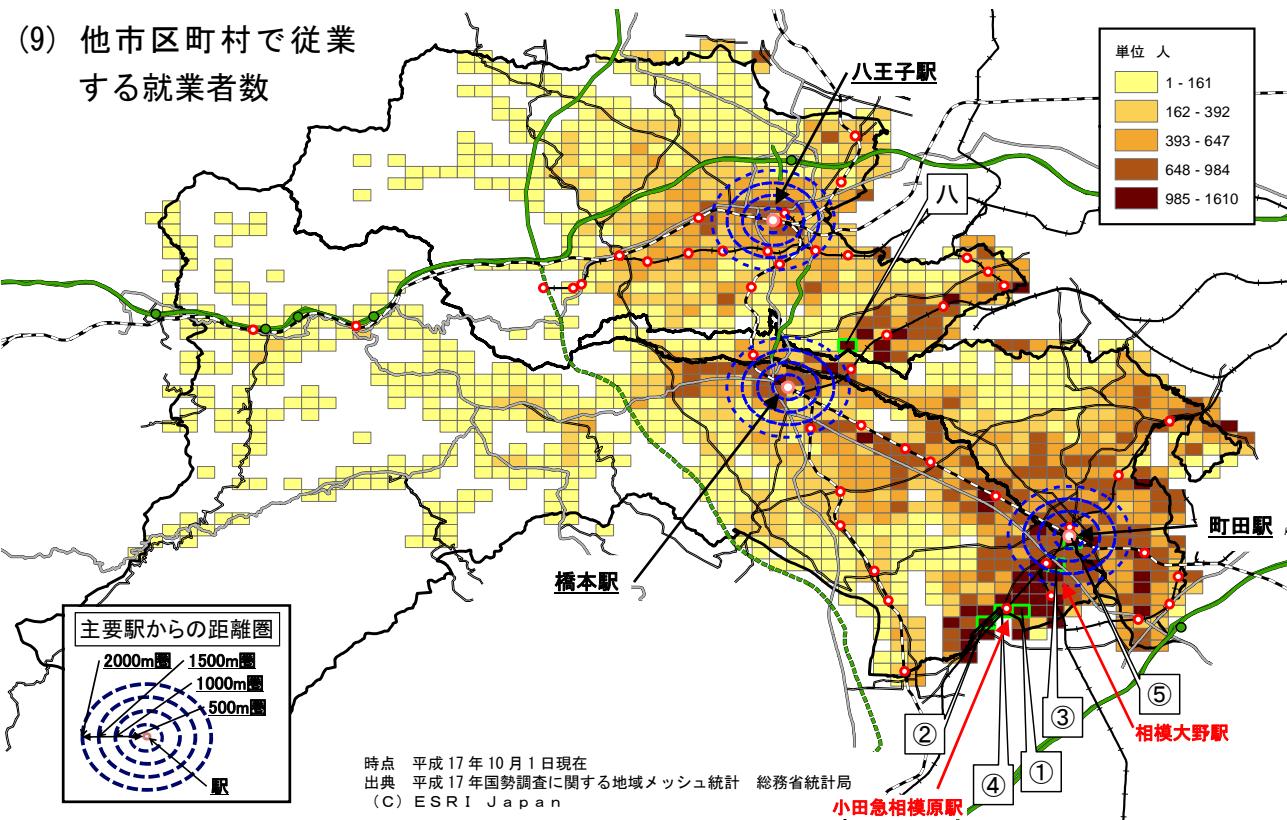
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	人
①	(相模原市)相模原、中央	1240
②	(相模原市)小山、清新、南橋本	1221
③	(相模原市)相生、千代田、富士見、鹿沼台	1144
④	(相模原市)青葉、並木、光が丘、緑が丘	1131
⑤	(相模原市)小山、相模原、清新、氷川町	1123
八	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	1114
町	(町田市)木曾町、本町田	818

- ①、⑤は相模原駅周辺
- ②は南橋本駅周辺
- ③は矢部駅周辺
- ④は県営上溝団地が所在する地域

■主要駅の距離別自市（自宅外）で従業する就業者数





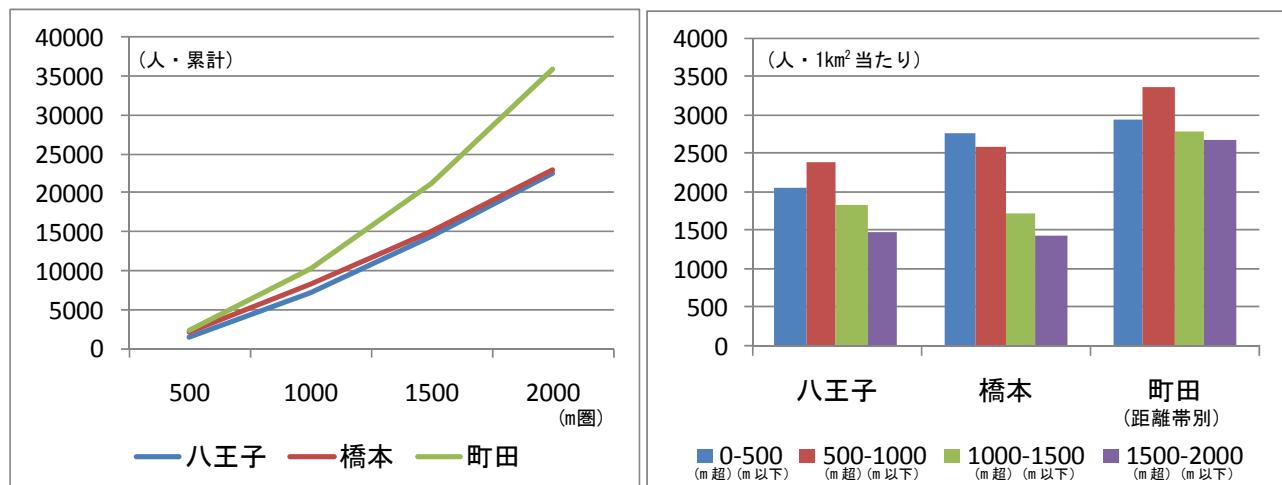
- ・上位 5 位のメッシュは、小田急小田原線沿線である。
- ・主要駅の距離別他市区町村で従業する就業者数は、2000m 圏の累計では町田駅が最も多い、1km²当たりは、町田駅がすべての距離帯で最も多い。

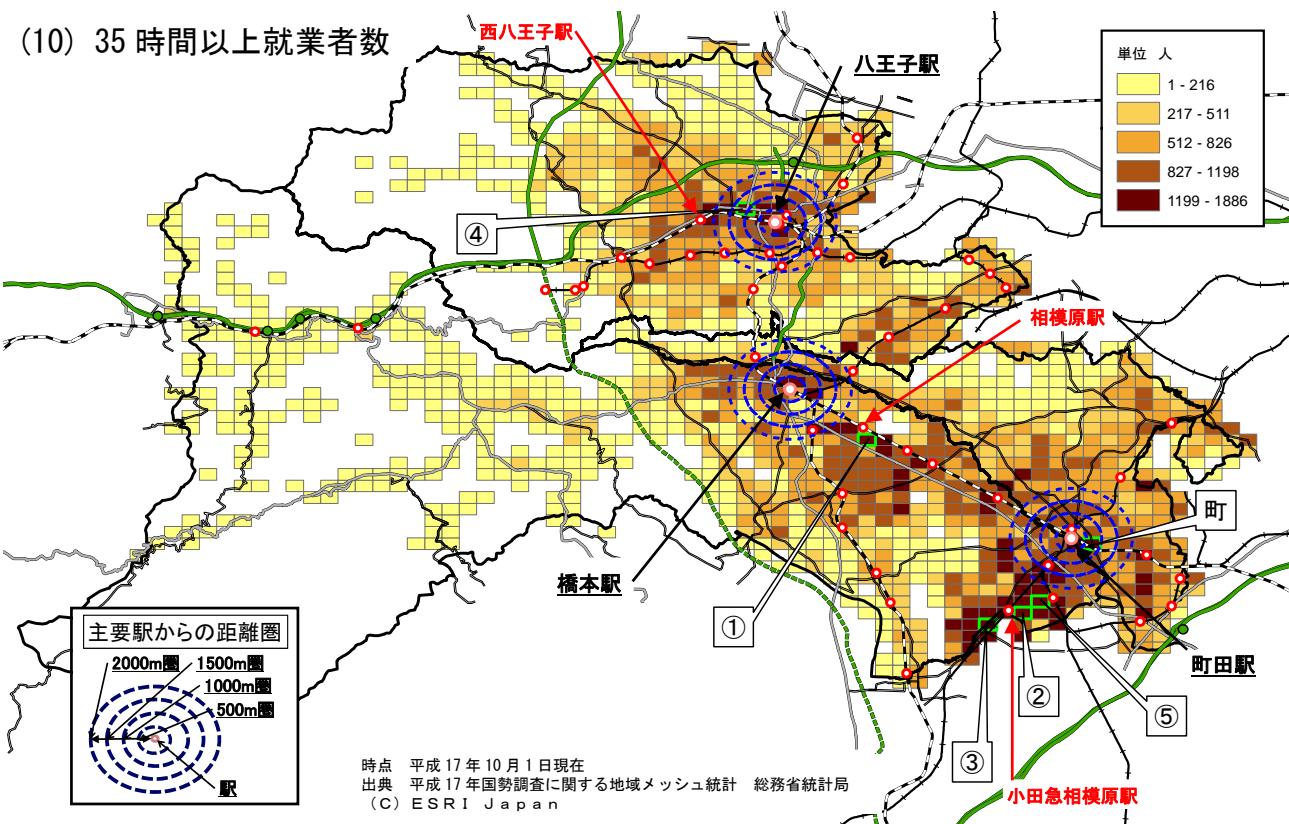
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	人
①	(相模原市)相南、松が枝町	1610
②	(相模原市)相模台、相武台、相武台団地	1600
③	(相模原市)上鶴間、相模大野、上鶴間本町	1518
④	(相模原市)相模台、南台、相南、松が枝町	1511
⑤	(町田市)原町田、(相模原市)上鶴間本町	1483
八	(町田市)小山ヶ丘、(八王子市)鎌水、南大沢	1312

①、②、④は小田急相模原駅周辺
③は相模大野駅周辺
⑤は町田駅周辺

■主要駅の距離別他市区町村で従業する就業者数





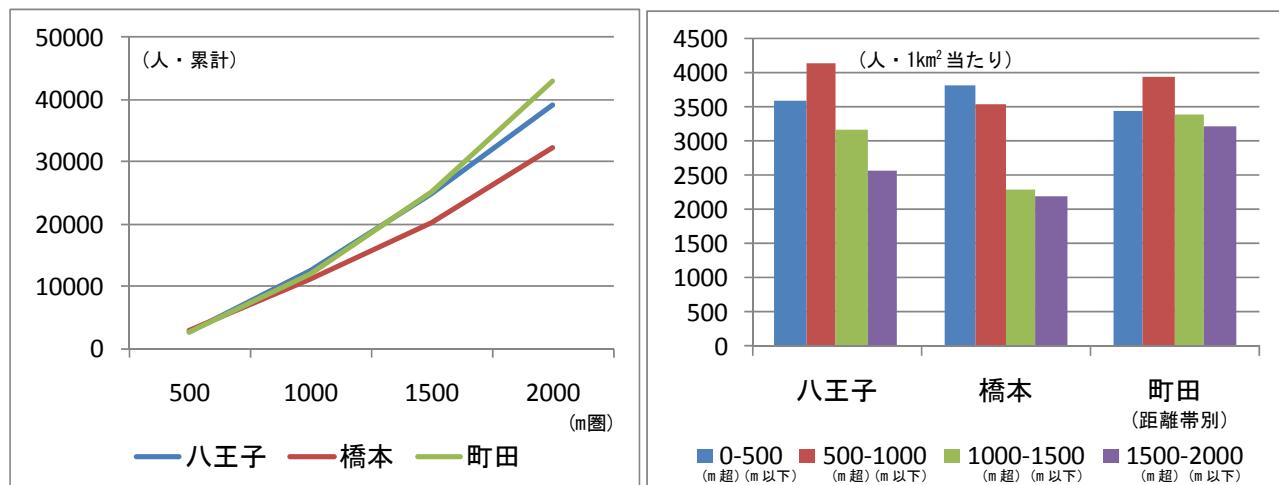
- 上位 5 位のメッシュは、小田急相模原駅周辺が多い。
- 主要駅の距離別 35 時間以上就業者数は、2000m 圏では町田駅が最も多く、1km²当たりは、0m 超-500m 以下では橋本駅、500m 超-1000m 以下では八王子駅が最も多い。

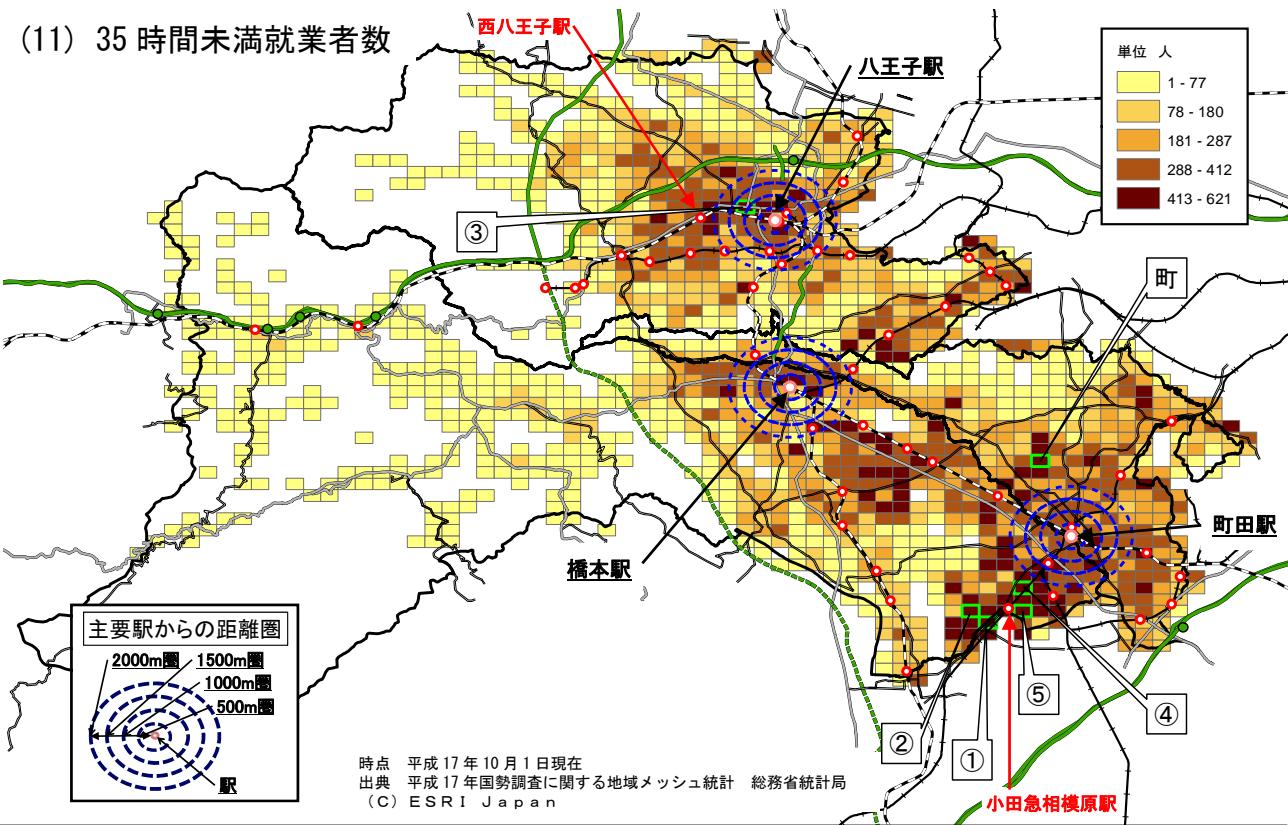
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	人
①	(相模原市)相模原、中央	1886
②	(相模原市)相南、松が枝町	1837
③	(相模原市)相模台、相武台、相武台団地	1725
④	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	1712
⑤	(相模原市)相南、東林間	1691
町	(町田市)金森、高ヶ坂、原町田	1653

①は相模原駅周辺
②、③、⑤は小田急相模原駅周辺
④は八王子駅、西八王子駅間のJR中央線沿線

■主要駅の距離別 35 時間以上就業者数





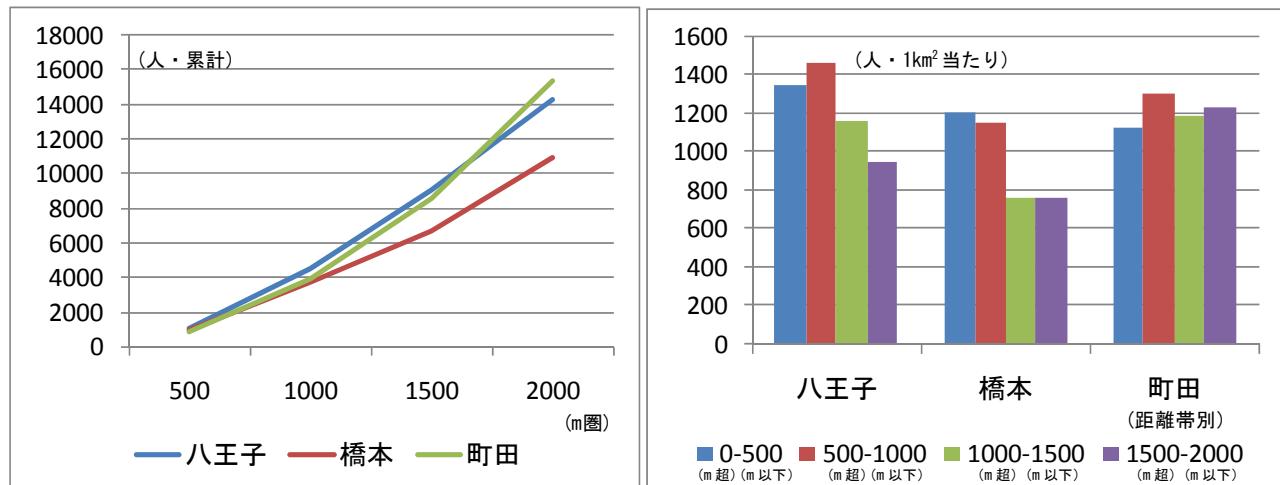
- ・上位5位のメッシュは、小田急相模原駅周辺が多い。
- ・主要駅の距離別35時間未満就業者数は、2000m圏では町田駅が最も多く、1km²当たりは、町田駅が駅から離れるにつれて多くなる傾向がある。

■上位5位のメッシュ

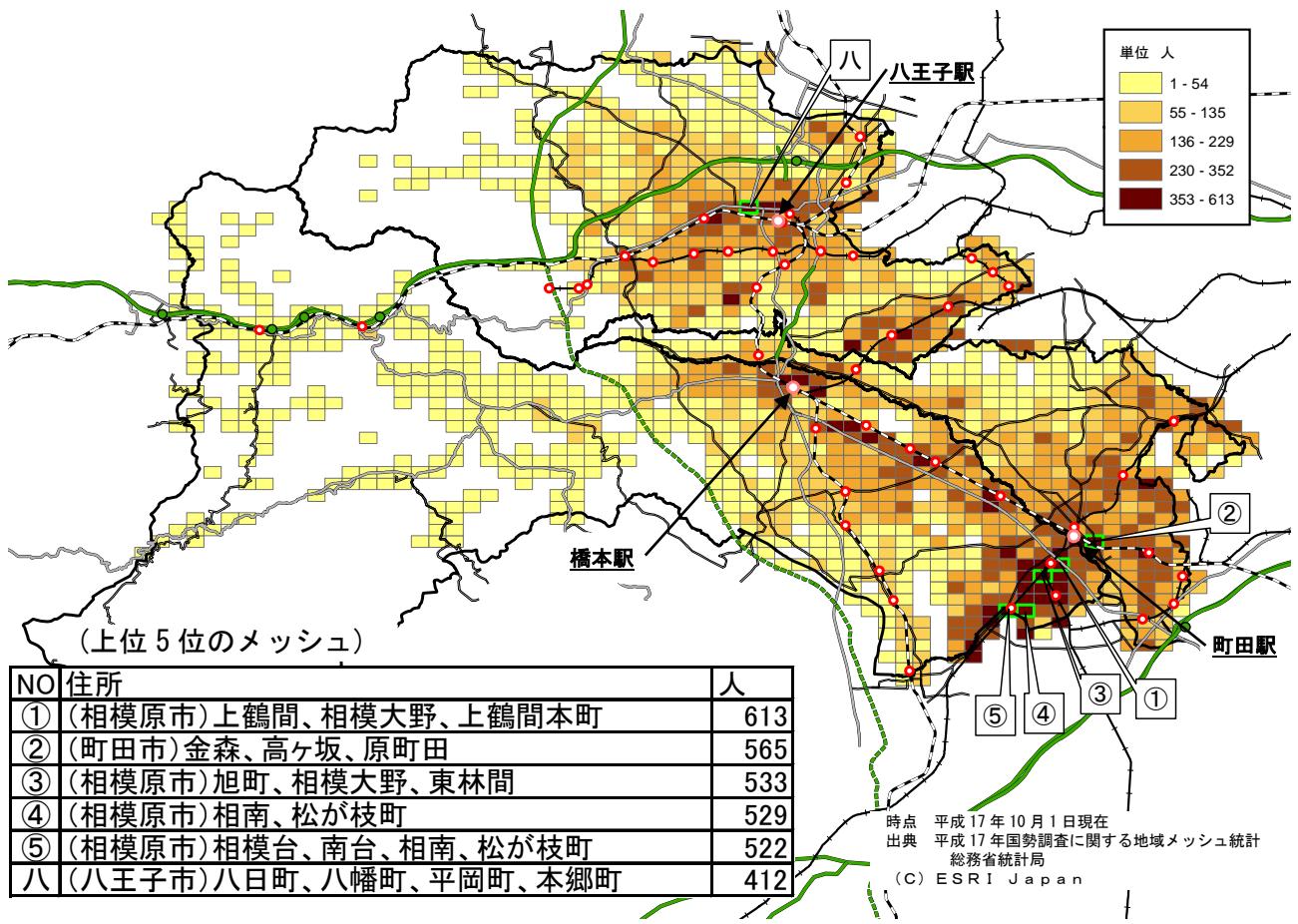
NO	住所	人
①	(相模原市)相模台、相武台、相武台団地	621
②	(相模原市)新磯野、相模台、相武台団地	620
③	(八王子市)八日町、八幡町、平岡町、本郷町	608
④	(相模原市)旭町、上鶴間、南台、東林間	607
⑤	(相模原市)相南、松が枝町	601
町	(町田市)木曾町、本町田、山崎町	543

①、②、④、⑤は小田急相模原駅周辺
③は八王子駅、西八王子駅間のJR中央線沿線

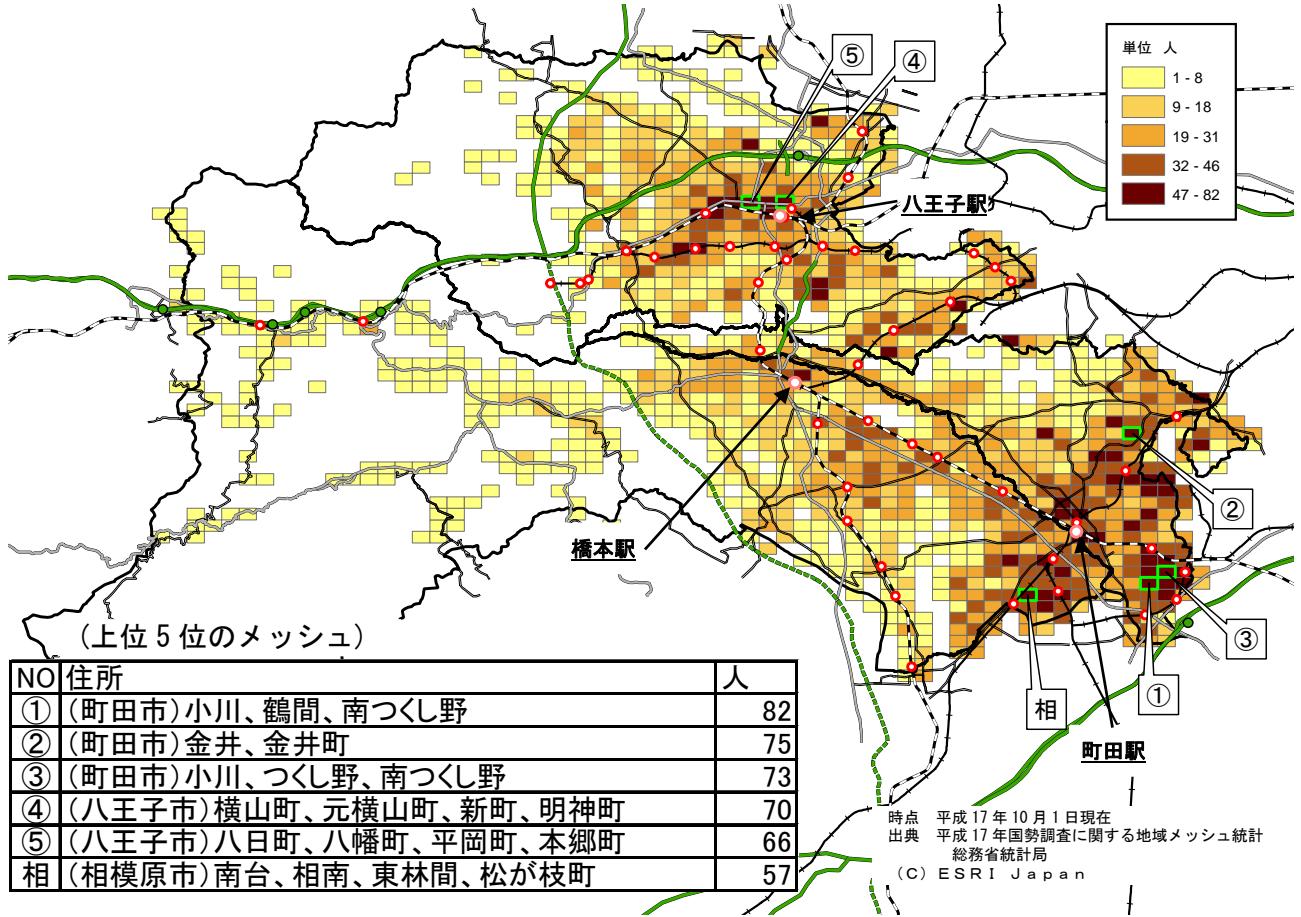
■主要駅の距離別35時間未満就業者数



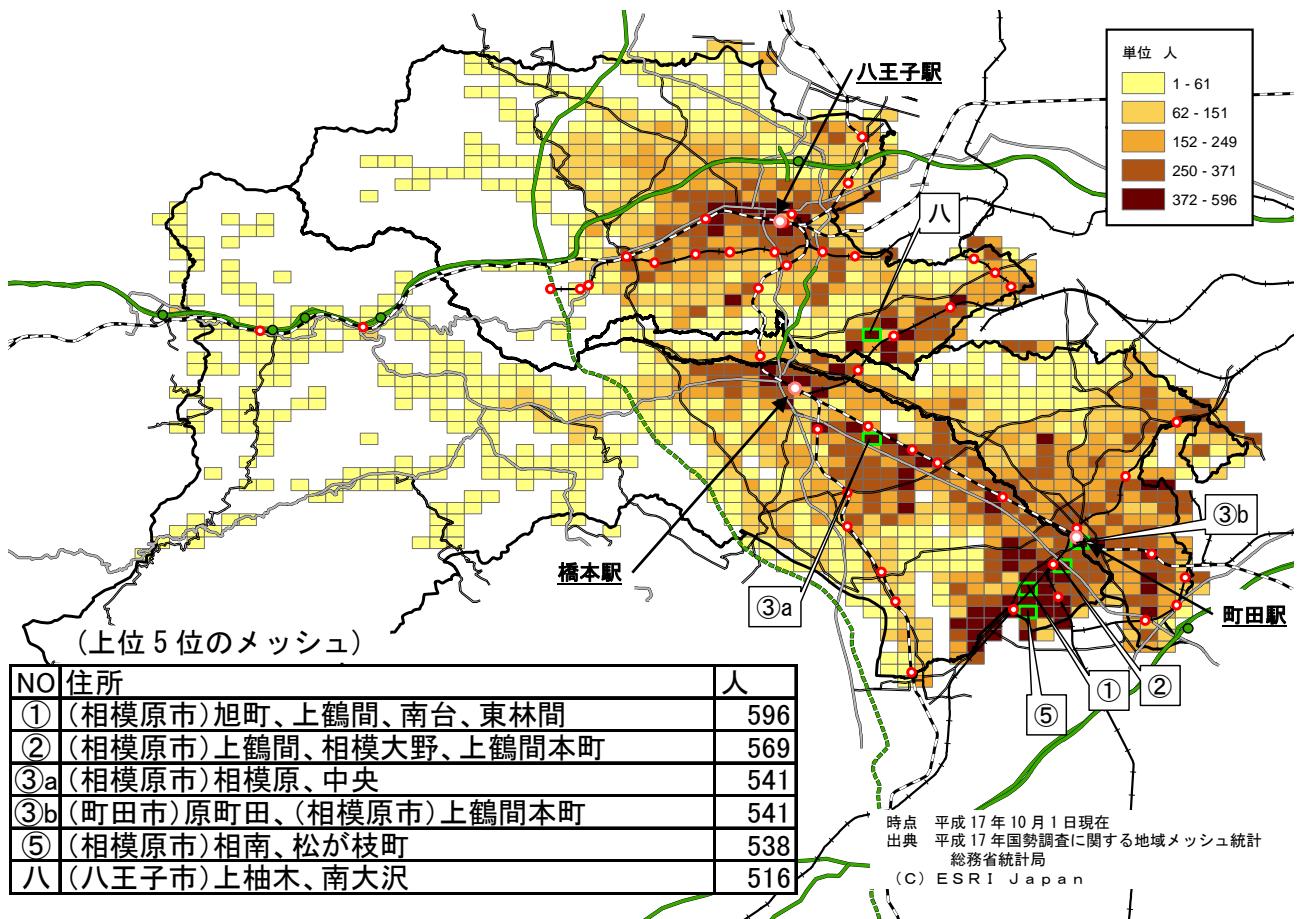
■参考 専門的・技術的職業従事者



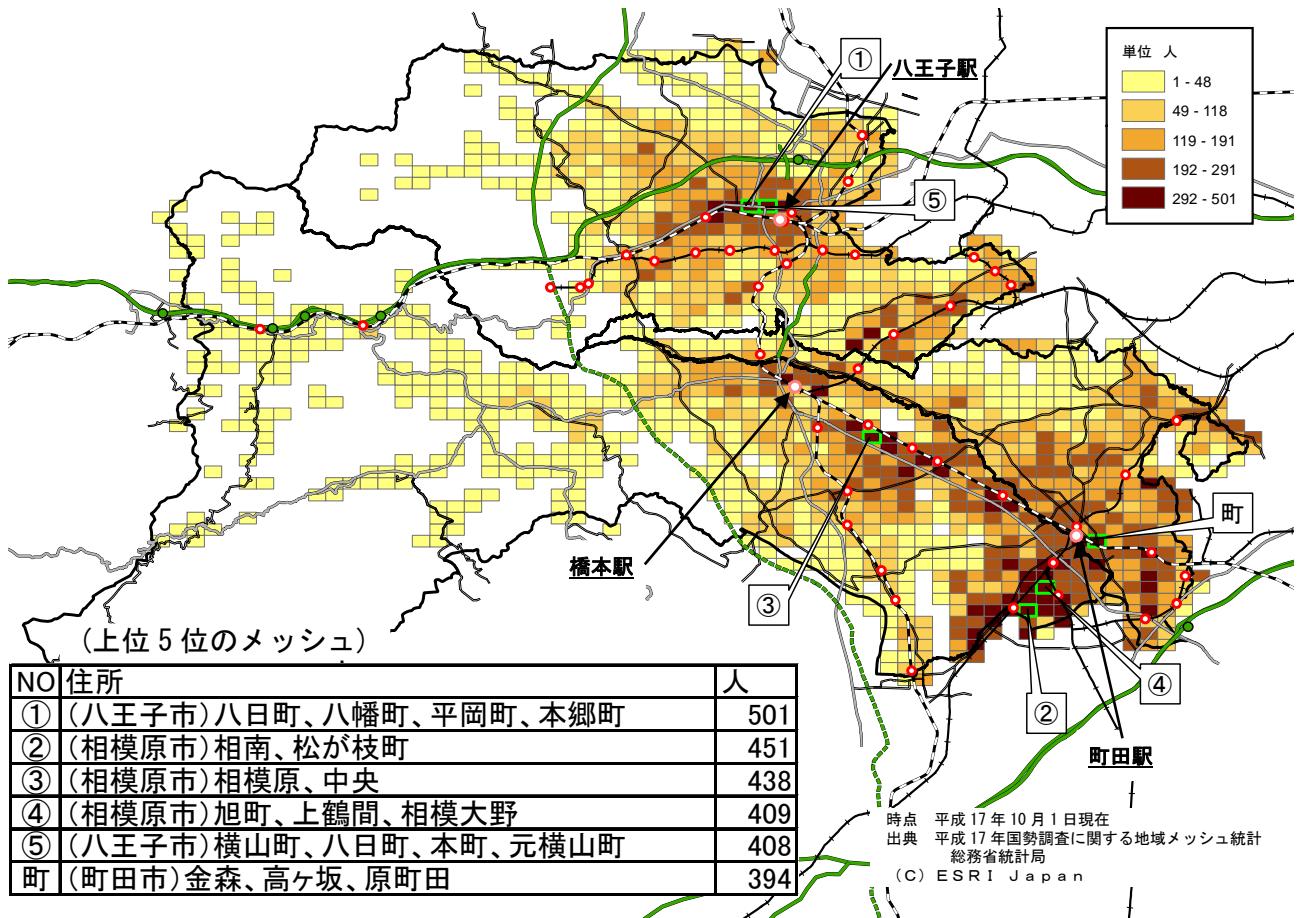
■参考 管理的職業従事者



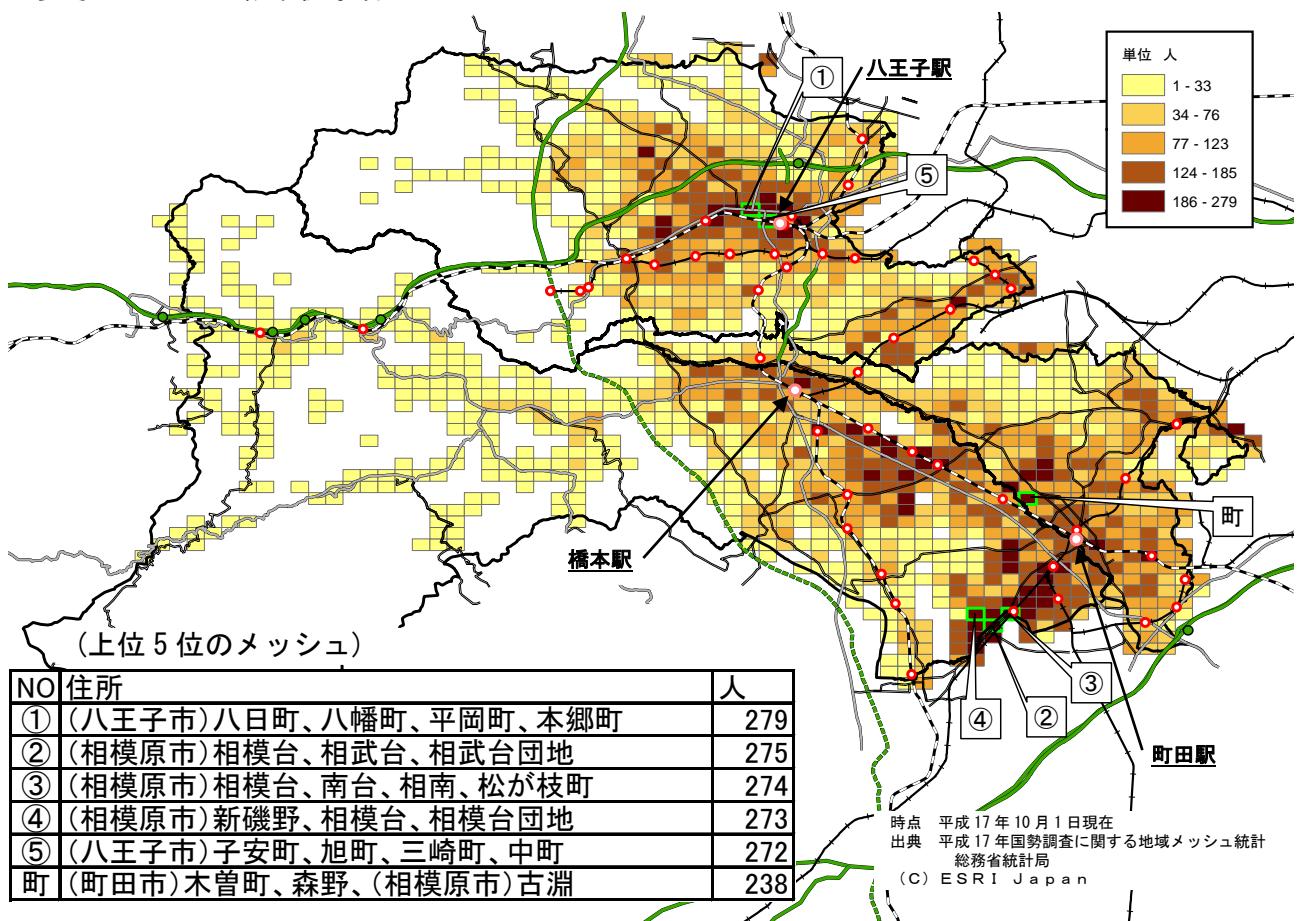
■参考 事務従事者



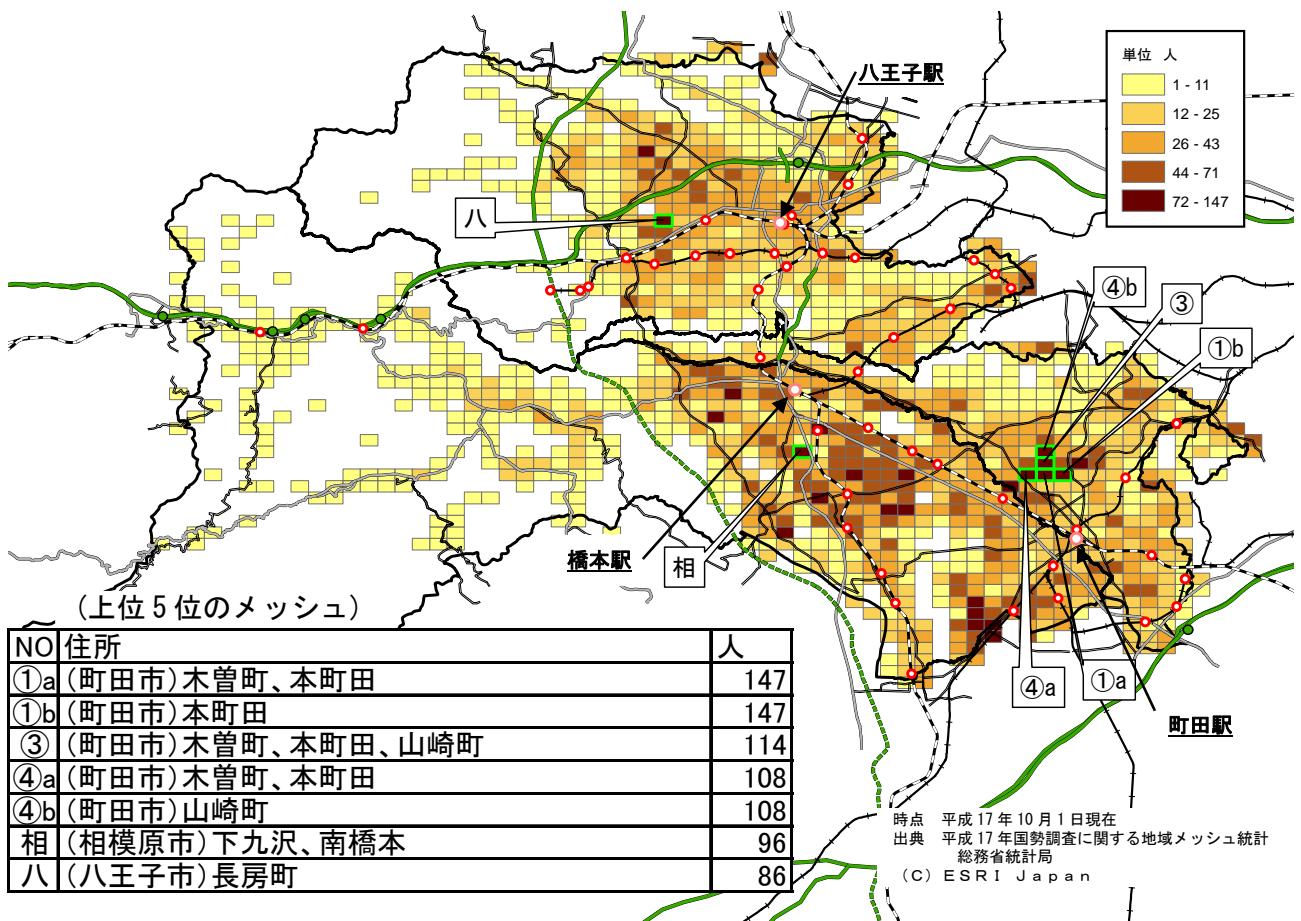
■参考 販売従事者



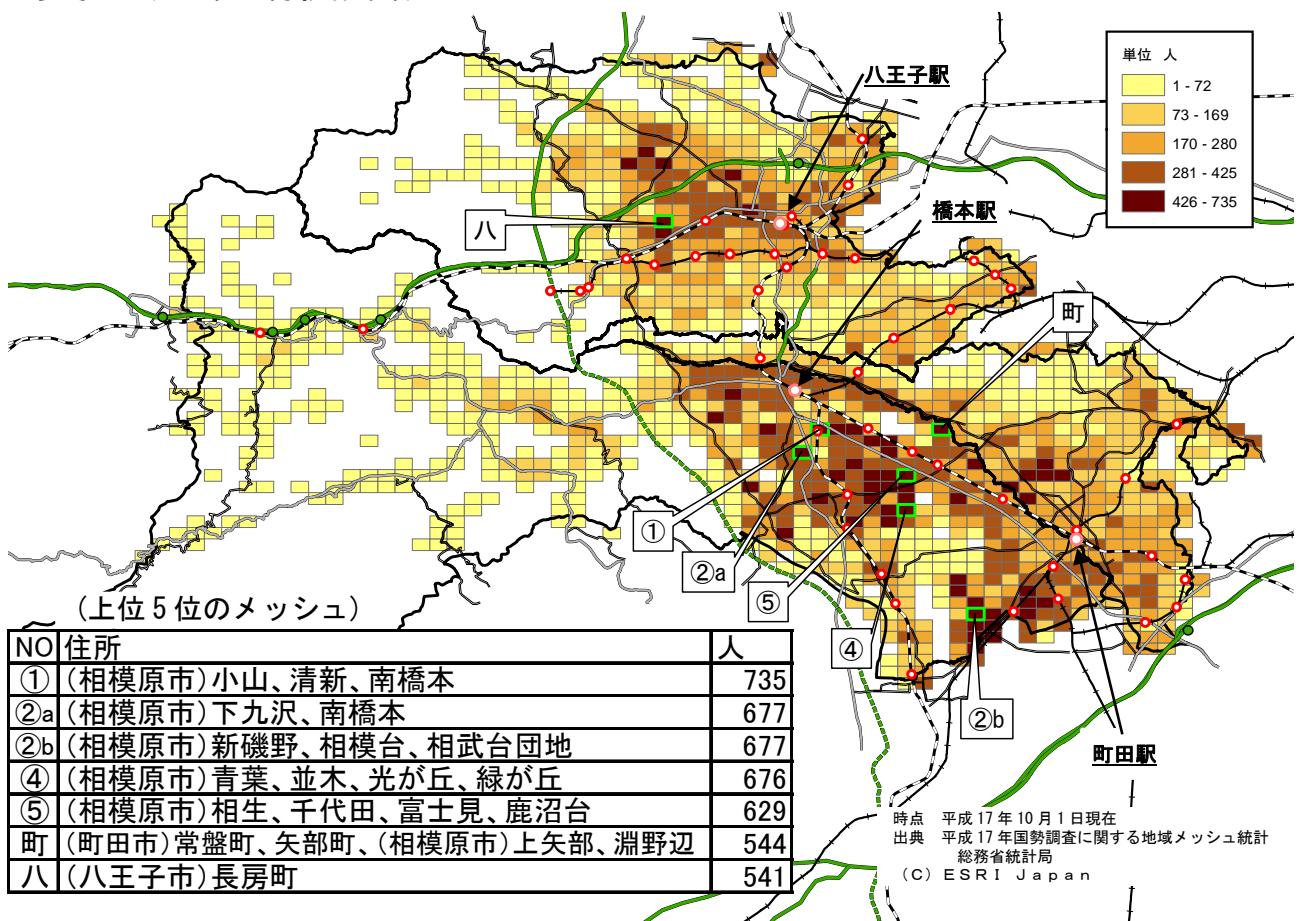
■参考 サービス職業従事者



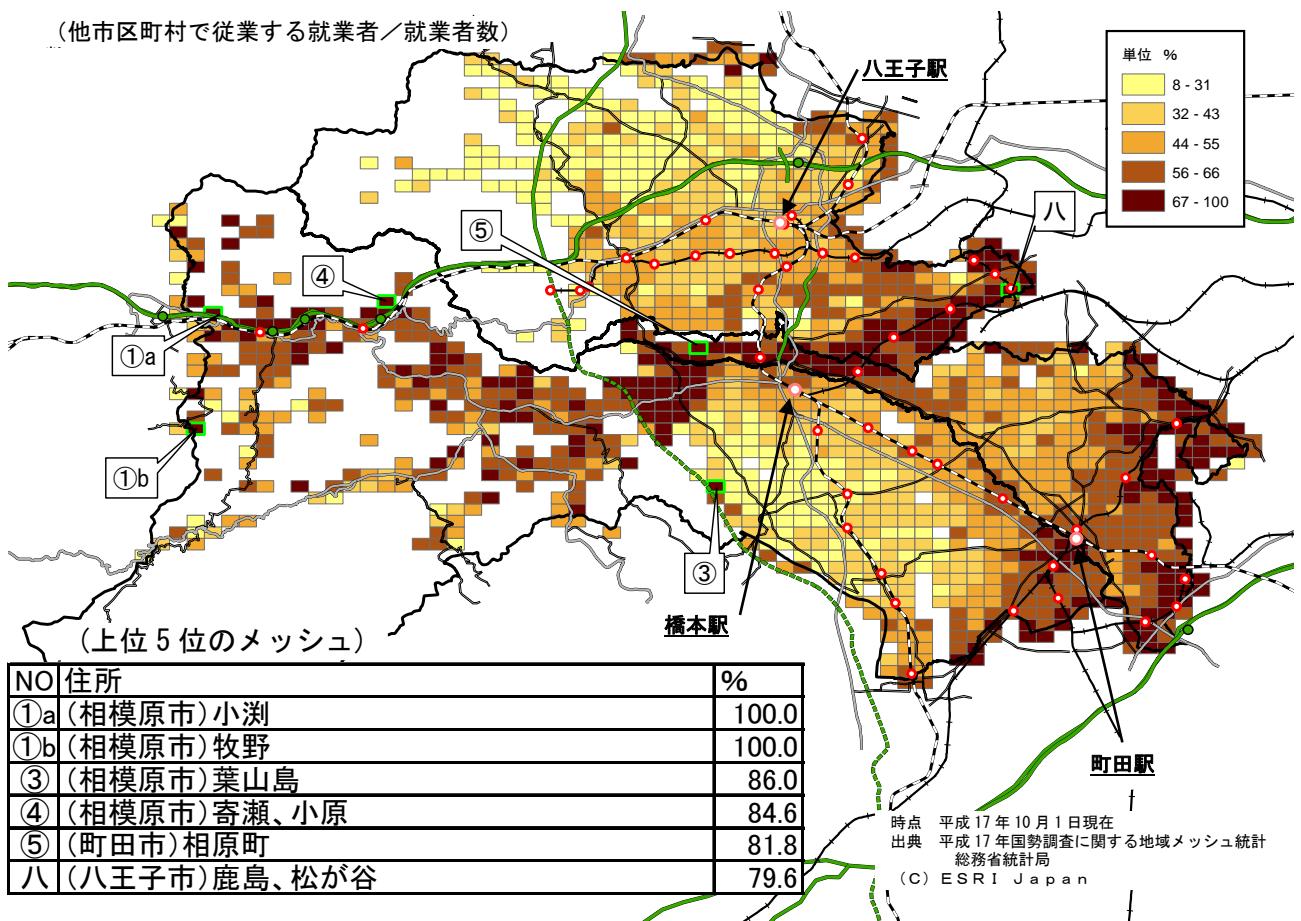
■参考 運輸・通信従事者



■参考 生産工程・労務作業者

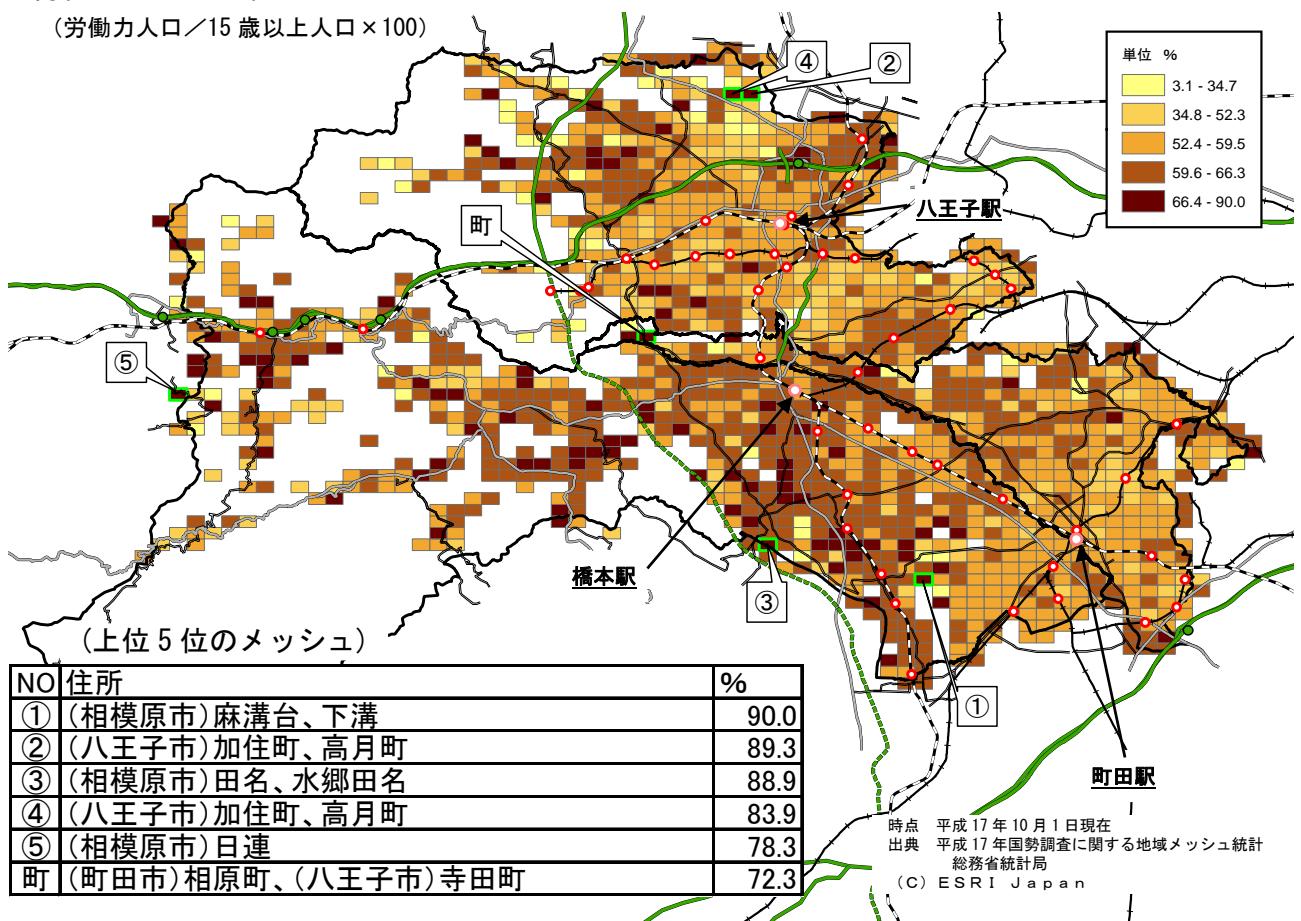


■参考 他市区町村で従業する就業者の比率



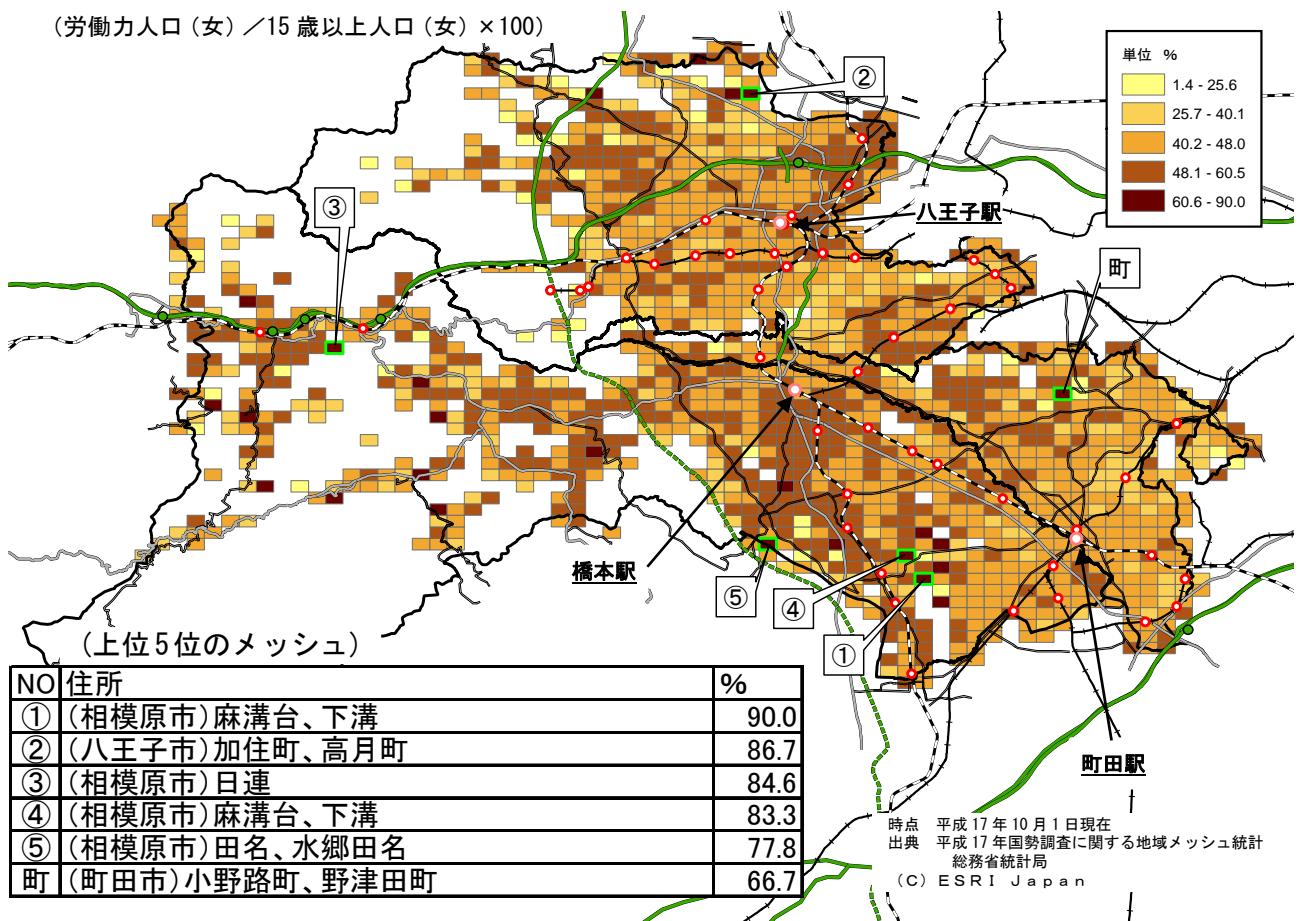
■労働力人口の比率

(労働力人口／15歳以上人口×100)



■女性の労働力人口の比率

(労働力人口(女)／15歳以上人口(女)×100)



<主要駅の距離別就業者構成（産業別）>

■八王子駅 (%・距離帯別)

(合計)

	0m超～ 500m以下	500m超～ 1000m以下	1000m超～ 1500m以下	1500m超～ 2000m以下	0m超～ 2000m以下
農業	0.1	0.1	0.3	0.4	0.3
建設業	5.3	5.7	6.2	7.1	6.4
製造業	11.9	13.4	15.5	16.9	15.2
電気ガス	0.4	0.5	0.4	0.6	0.5
情報通信	5.9	5.9	5.2	4.8	5.3
運輸	4.2	3.6	3.8	4.3	4.0
卸小売	18.4	18.6	18.2	17.9	18.2
金融保険	3.4	3.3	3.0	2.9	3.1
不動産	4.0	3.3	2.6	2.5	2.8
飲食宿泊	9.8	8.1	7.1	6.2	7.2
医療福祉	8.9	8.8	8.4	8.7	8.7
教育学習	5.8	5.8	5.4	5.1	5.4
複合	0.6	0.9	1.7	1.1	1.2
その他	17.6	18.1	18.5	18.5	18.4
公務	3.7	3.9	3.6	2.9	3.4

- ・0m超～2000m以下では、卸売・小売業に従事する就業者の構成比が最も高い（その他を除く）。

- ・0m超～2000m以下では、飲食店、宿泊業、医療、福祉に従事する就業者の構成比が主要駅の中で最も高い。

時点 平成17年10月1日現在

出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

■橋本駅 (%・距離帯別)

(合計)

	0m超～ 500m以下	500m超～ 1000m以下	1000m超～ 1500m以下	1500m超～ 2000m以下	0m超～ 2000m以下
農業	0.2	0.2	0.4	0.5	0.4
建設業	4.9	6.0	6.8	7.0	6.5
製造業	19.8	20.1	21.0	23.8	21.7
電気ガス	0.7	0.4	0.3	0.3	0.4
情報通信	7.1	6.4	5.9	4.6	5.6
運輸	4.7	5.2	5.9	5.7	5.5
卸小売	16.5	17.0	16.9	17.0	16.9
金融保険	2.9	3.0	3.2	2.7	2.9
不動産	2.1	1.9	1.8	1.7	1.8
飲食宿泊	5.5	4.6	4.2	5.0	4.7
医療福祉	8.2	7.5	7.8	7.6	7.7
教育学習	6.6	6.5	5.6	4.7	5.6
複合	0.5	0.7	1.0	0.8	0.8
その他	17.3	17.2	16.6	16.3	16.7
公務	2.9	3.0	2.6	2.6	2.7

- ・0m超～2000m以下では、製造業に従事する就業者の構成比が主要駅の中で最も高い。

- ・すべての距離帯で、卸売・小売業より製造業に従事する就業者の構成比が高い。

時点 平成17年10月1日現在

出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

■町田駅 (%・距離帯別)

(合計)

	0m超～ 500m以下	500m超～ 1000m以下	1000m超～ 1500m以下	1500m超～ 2000m以下	0m超～ 2000m以下
農業	0.3	0.5	0.7	0.6	0.6
建設業	4.6	5.5	7.1	7.1	6.6
製造業	13.8	13.5	13.6	13.1	13.4
電気ガス	0.3	0.2	0.4	0.4	0.3
情報通信	8.3	8.2	7.4	6.8	7.4
運輸	2.3	2.7	3.6	3.9	3.4
卸小売	17.9	18.5	17.6	18.1	18.0
金融保険	4.4	4.2	3.6	3.6	3.8
不動産	3.9	3.6	2.8	2.6	3.0
飲食宿泊	6.5	5.6	5.6	5.6	5.7
医療福祉	9.2	7.9	7.9	8.7	8.3
教育学習	7.2	6.9	6.3	6.6	6.6
複合	0.4	0.6	0.7	0.8	0.7
その他	18.7	19.6	19.9	18.8	19.3
公務	2.3	2.4	2.7	3.4	2.9

- ・0m超～2000m以下では、卸売・小売業に従事する就業者の構成比が最も高い（その他を除く）。

- ・0m超～2000m以下では、情報通信業に従事する就業者の構成比が主要駅の中で最も高い。

時点 平成17年10月1日現在

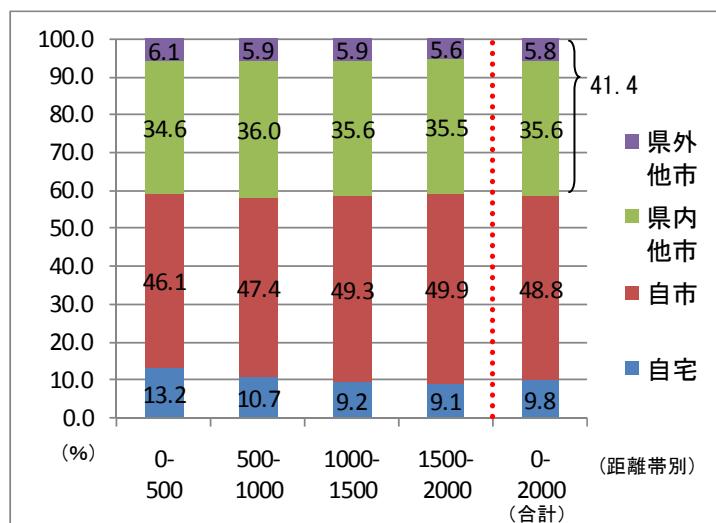
出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

(凡例)

●産業分類 農業…農業、建設業…建設業、製造業…製造業、電気ガス…電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信…情報通信業、運輸…運輸業、卸小売…卸売・小売業、金融保険…金融・保険業、不動産…不動産業、飲食宿泊…飲食店、宿泊業、医療福祉…医療、福祉、教育学習…教育、学習支援業、複合…複合サービス事業、その他…サービス業（他に分類されないもの）、公務…公務（他に分類されないもの）

<主要駅の距離別就業者構成（従業地別）>

■八王子駅



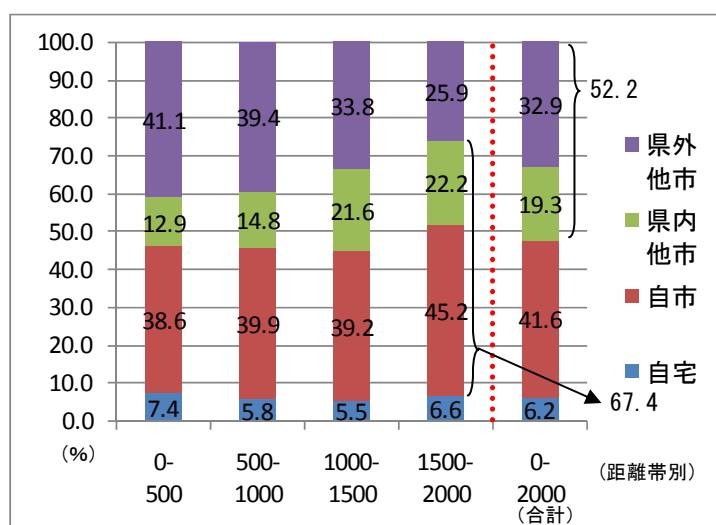
・0m超～2000m以下では、自宅で従業する就業者の構成比が主要駅の中で最も高い。

・0m超～2000m以下では、自市（自宅外）で従業する就業者の構成比が約半数となっており、主要駅の中で最も高い。

・0m超～2000m以下では、従業先が常住地と同じ都県内の他の市区町村にある就業者の構成比が主要駅の中で最も高い。

時点 平成17年10月1日現在
出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

■橋本駅

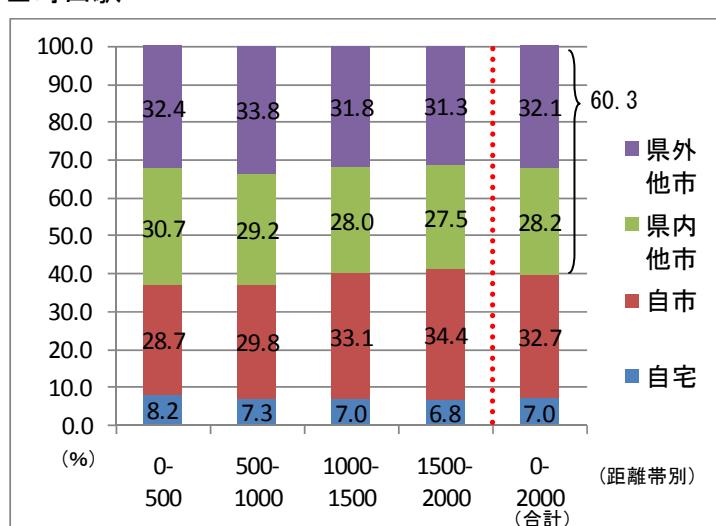


・0m超～500m以下では、従業先が常住地と異なる都県内の市区町村にある就業者の構成比が主要駅の中で最も高い。

・自市（自宅外）で従業する就業者と従業先が常住地と同じ都県内の他の市区町村にある就業者を合計した構成比が、駅から離れるにつれて高くなり、1500m超～2000m以下では67.4%になる。

時点 平成17年10月1日現在
出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

■町田駅



・0m超～2000m以下では、従業先が常住地と同じ都県内の他の市区町村にある就業者と従業先が常住地と異なる都県内の市区町村にある就業者を合計した構成比が主要駅の中で最も高い。

時点 平成17年10月1日現在
出典 平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

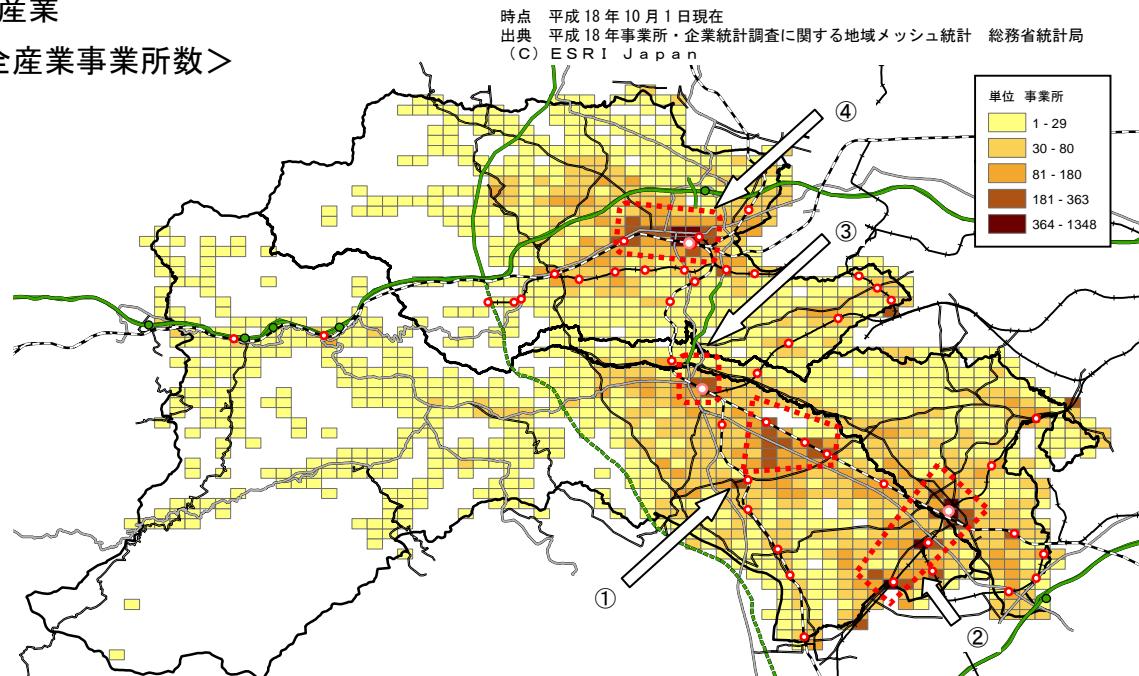
(凡例)

●距離帯区分 0-500…0m超～500m以下、500-1000…500m超～1000m以下、1000-1500…1000m超～1500m以下、1500-2000…1500m超～2000m以下、0-2000…0m超～2000m以下

●従業地区区分 自宅…自宅で従業する就業者、自市…自市（自宅外）で従業する就業者、県内他市…従業先が常住地と同じ都県内の他の市区町村にある就業者、県外他市…従業先が常住地と異なる都県内の市区町村にある就業者

5. 産業

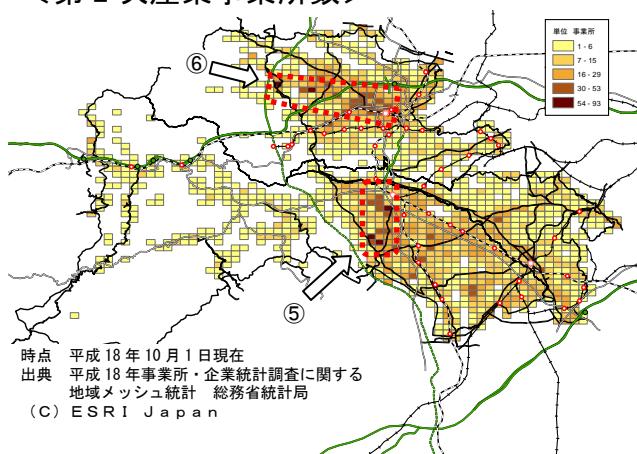
<全産業事業所数>



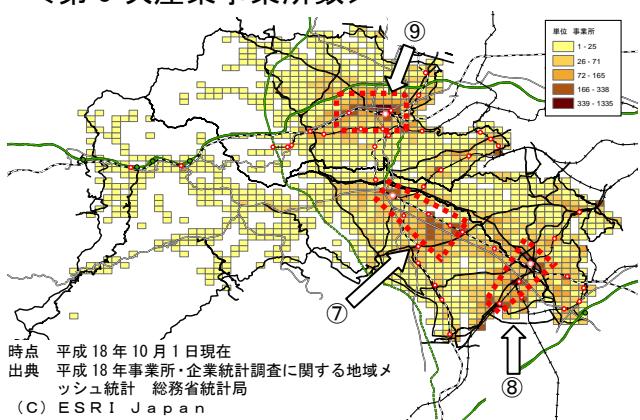
鉄道駅の周辺など交通利便性の高い地域で事業所が多い。

- ・相模原市の JR 横浜線沿線①
- ・相模原市の小田急相模原駅周辺、相模大野駅周辺、町田市の町田駅周辺②
- ・相模原市の橋本駅周辺③
- ・八王子市の JR 中央線沿線④

<第 2 次産業事業所数>



<第 3 次産業事業所数>



<主要駅 2000m 圏の就業者・従業者の比率>

	八王子	橋本	町田
全産業就業者数(人)	54,665	44,220	59,773
全産業従業者数(人)	77,303	45,453	74,670
従業者数/就業者数 × 100(%)	141.4	102.8	124.9

◆就業者とは、賃金、給料、諸手当、営業収益など収入になる仕事を少しでもした人（ここでは、3市に常住している就業者に限る）をいう（以下、この項目において同じ）。

時点 平成 17 年 10 月 1 日現在

出典 平成 17 年国勢調査に関する地域メッシュ統計 総務省統計局

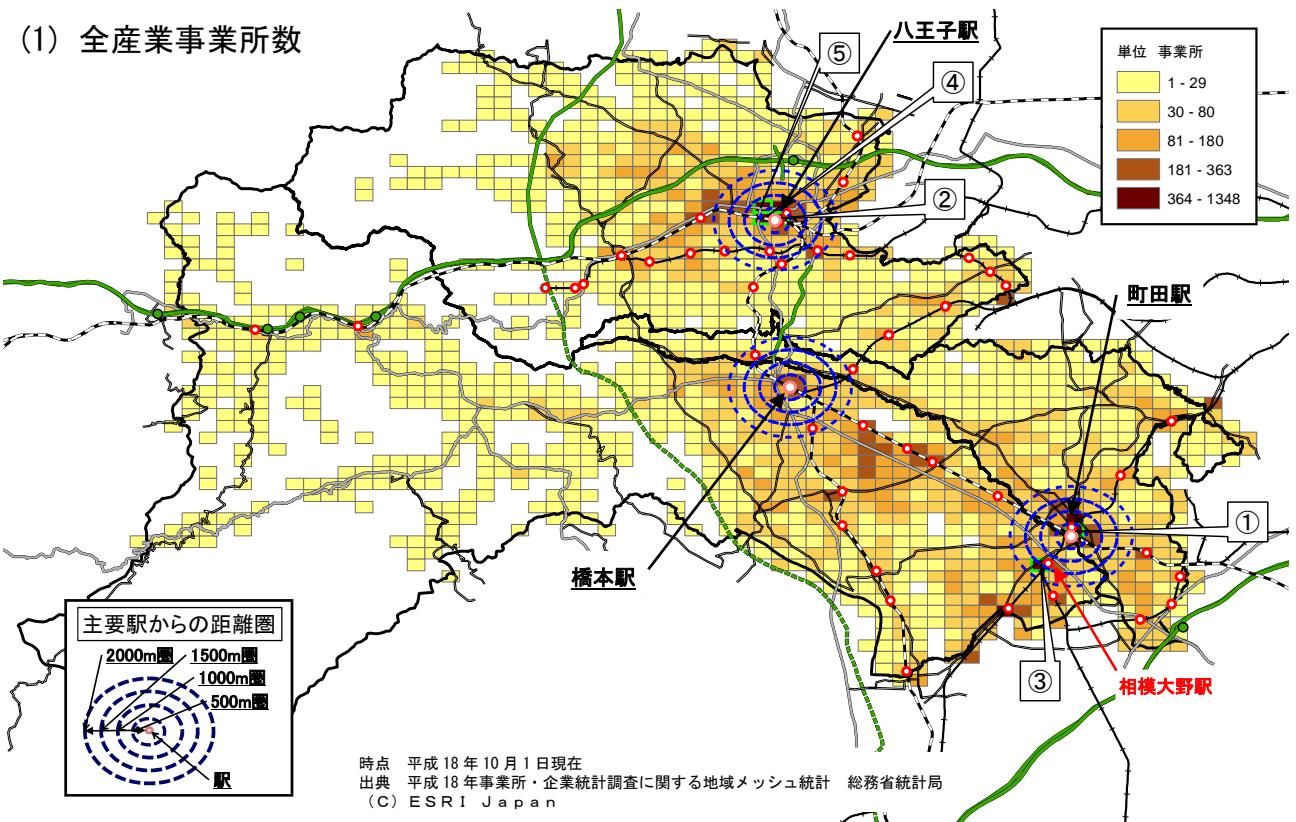
◆従業者とは、事業所（ここでは、3市に所在する事業所に限る）に所属して働いているすべての人をいう（以下、この項目において同じ）。

時点 平成 18 年 10 月 1 日現在

出典 平成 18 年事業所・企業統計調査に関する地域メッシュ統計

総務省統計局

- ・第 2 次産業事業所は、相模原市の国道 129 号線沿い⑤、八王子市の首都圏中央連絡自動車道沿い、中央自動車道沿い、国道 20 号線沿い⑥で多い。
- ・第 3 次産業事業所は、相模原市の JR 横浜線沿線⑦、相模原市の小田急相模原駅周辺、相模大野駅周辺、町田市の町田駅周辺⑧、八王子市の JR 中央線沿線⑨で多い。
- ・主要駅 2000m 圏の就業者に対する従業者の比率は八王子駅で 140% を超えている。



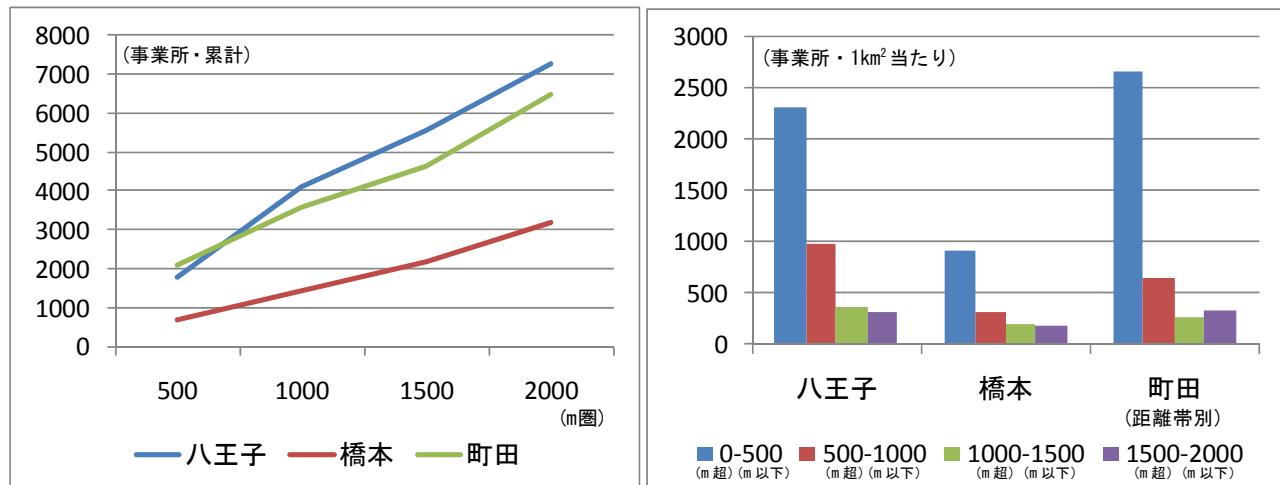
- 上位 5 位のメッシュは、八王子駅周辺が多い。
- 主要駅の距離別全産業事業所数は、2000m 圏では八王子駅が最も多く、1km²当たりは、0m 超-500m 以下では町田駅が最も多く、2500 事業所を超えていている。

■上位 5 位のメッシュ

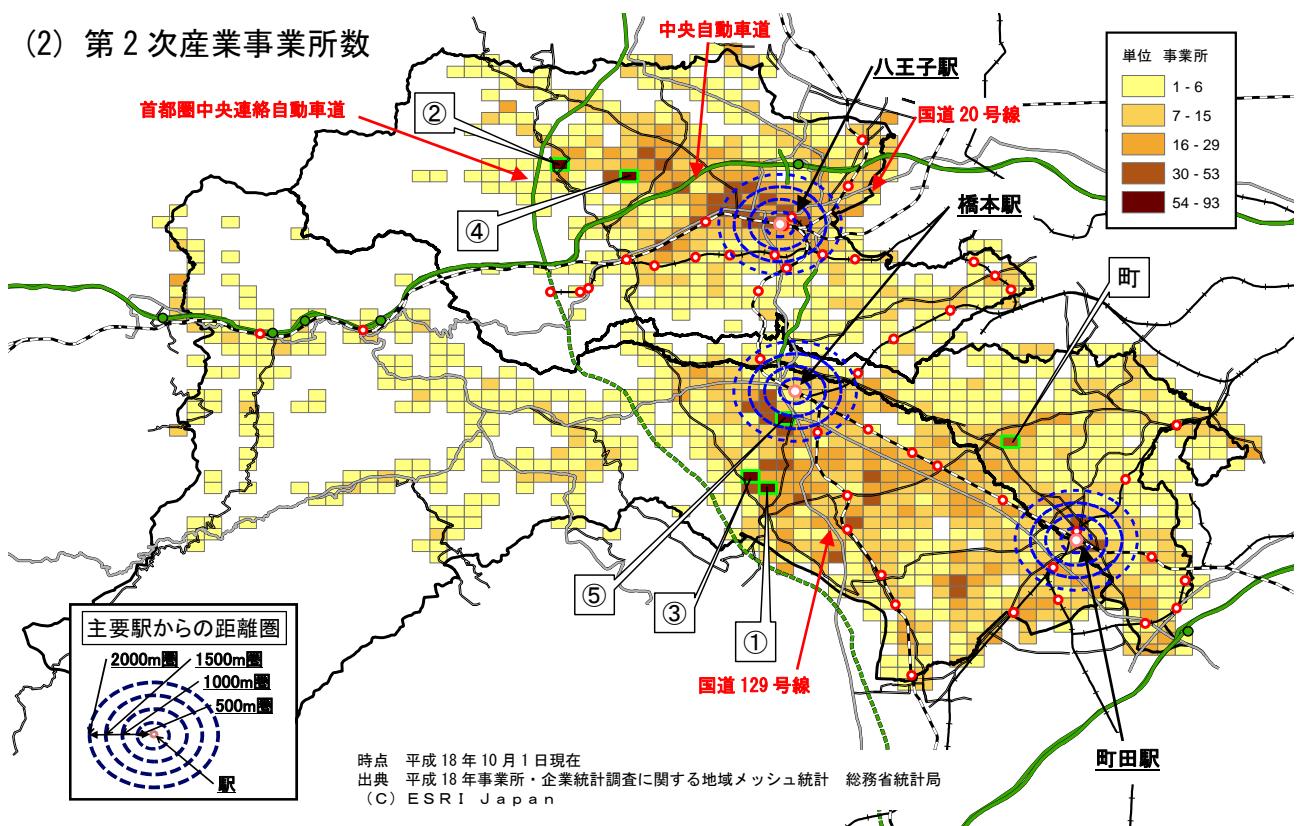
NO	住所	事業所
①	(町田市)中町、原町田、森野、(相模原市)上鶴間本町	1348
②	(八王子市)明神町、子安町、東町、旭町	923
③	(相模原市)相模大野	798
④	(八王子市)横山村、八日町、本町、元横山村	699
⑤	(八王子市)子安町、旭町、三崎町、中町	670

①は町田駅周辺
②、④、⑤は八王子駅周辺
③は相模大野駅周辺

■主要駅の距離別全産業事業所数



(2) 第2次産業事業所数



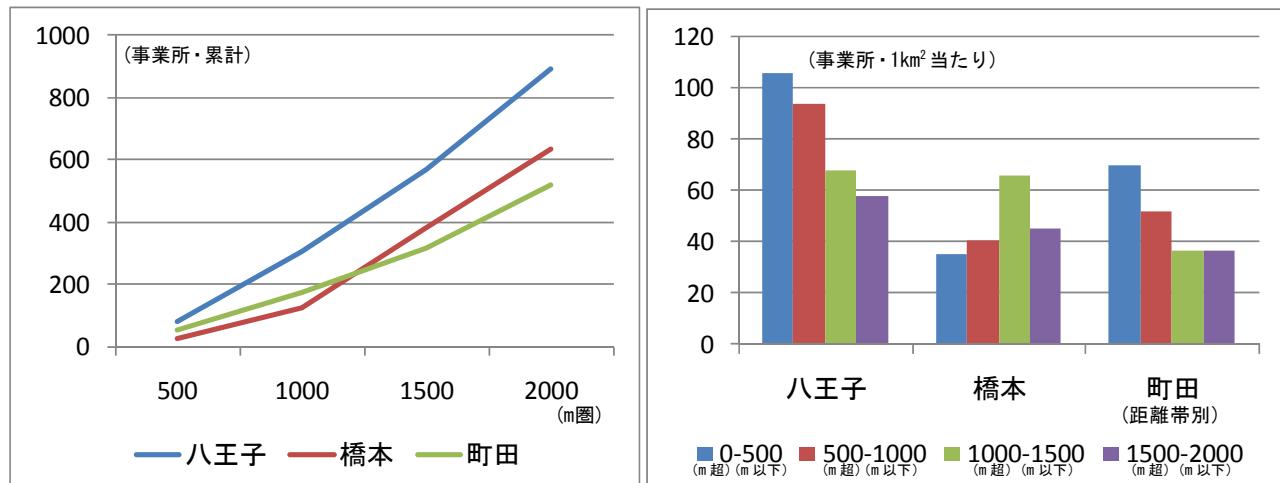
- 上位5位のメッシュは、工業団地が所在する地域に多い。
- 主要駅の距離別第2次産業事業所数は、2000m圏の累計では八王子駅が最も多く、1km²当たりは、橋本駅が駅から離れるにつれて多くなる傾向がある。

■上位5位のメッシュ

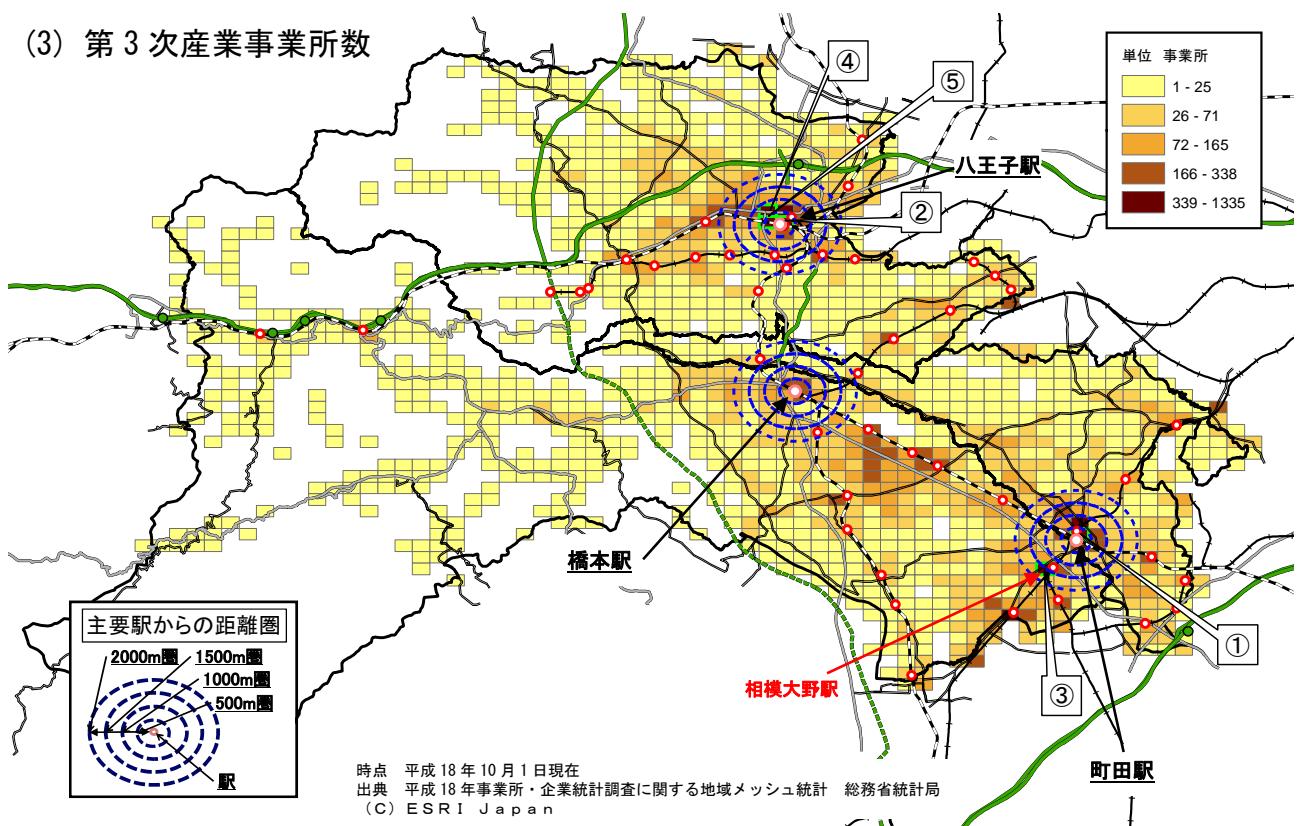
NO	住所	事業所
①	(相模原市)田名	93
②	(八王子市)下恩方町	69
③	(相模原市)大島、田名	66
④	(八王子市)大楽寺町、式分方町、川町	66
⑤	(相模原市)下九沢、西橋本、橋本台	64
町	(町田市)図師町、忠生	35

①、③は田名工業団地
②は下恩方工業団地
④は中央自動車道沿い
⑤は大山工業団地

■主要駅の距離別第2次産業事業所数



(3) 第3次産業事業所数



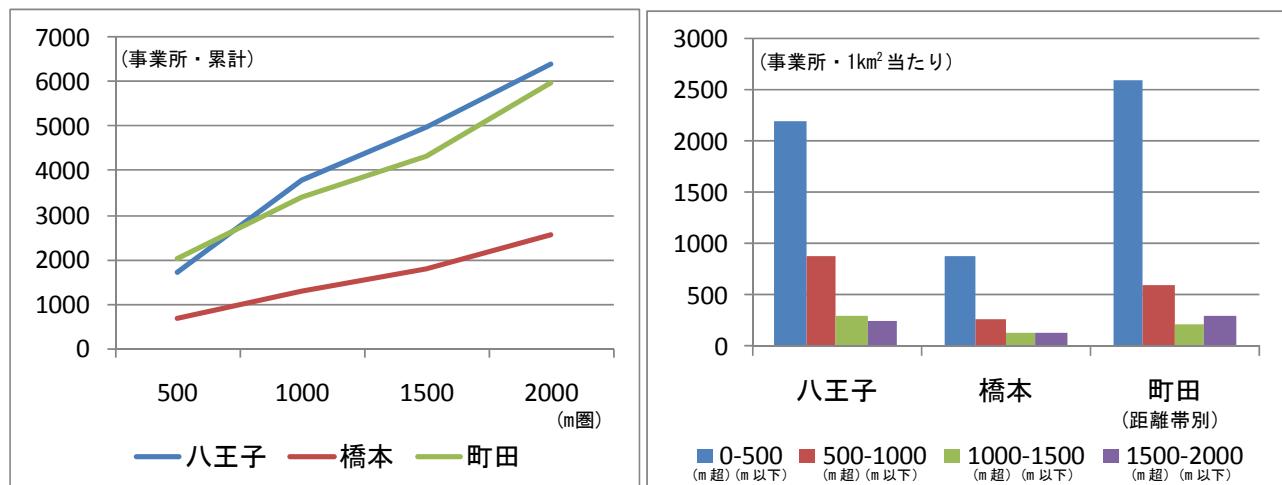
- 上位5位のメッシュは、駅周辺の商業地区である。
- 主要駅の距離別第3次産業事業所数は、2000m圏の累計ではハチōじ駅が最も多く、1km²当たりは、0m超-500m以下では町田駅が最も多く、2500事業所を越えている。

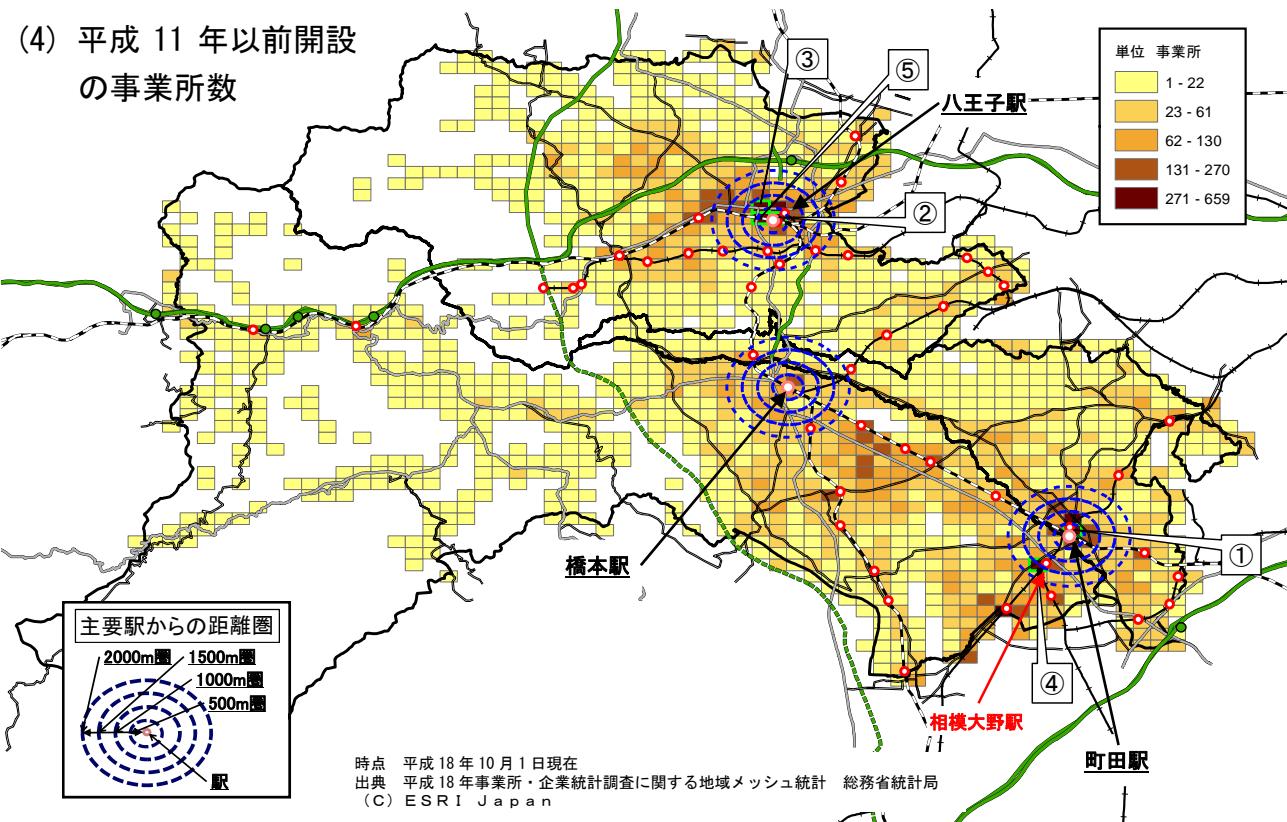
■上位5位のメッシュ

NO	住所	事業所
①	(町田市)中町、原町田、森野、(相模原市)上鶴間本町	1335
②	(八王子市)明神町、子安町、東町、旭町	897
③	(相模原市)相模大野	776
④	(八王子市)横山村、八日町、本町、元横山村	674
⑤	(八王子市)子安町、旭町、三崎町、中町	639

①は町田駅周辺
②、④、⑤はハチōじ駅周辺
③は相模大野駅周辺

■主要駅の距離別第3次産業事業所数





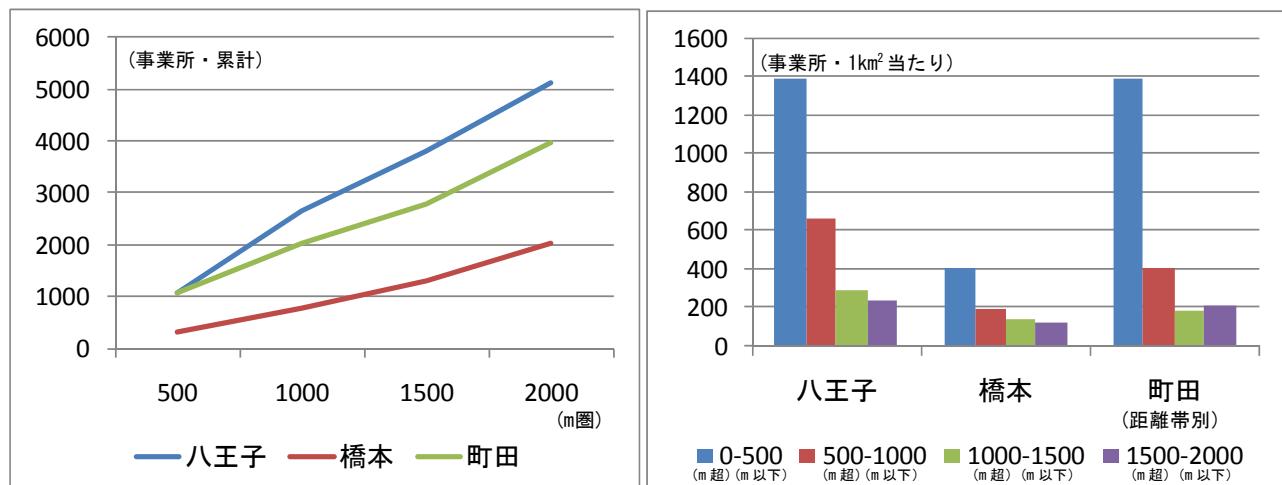
- 上位 5 位のメッシュは、八王子駅周辺が多い。
- 主要駅の距離別平成 11 年以前開設の事業所数は、2000m 圏の累計では八王子駅が最多く、1km²当たりは、0m 超-500m 以下では八王子駅、町田駅が約 1400 事業所となっている。

■上位 5 位のメッシュ

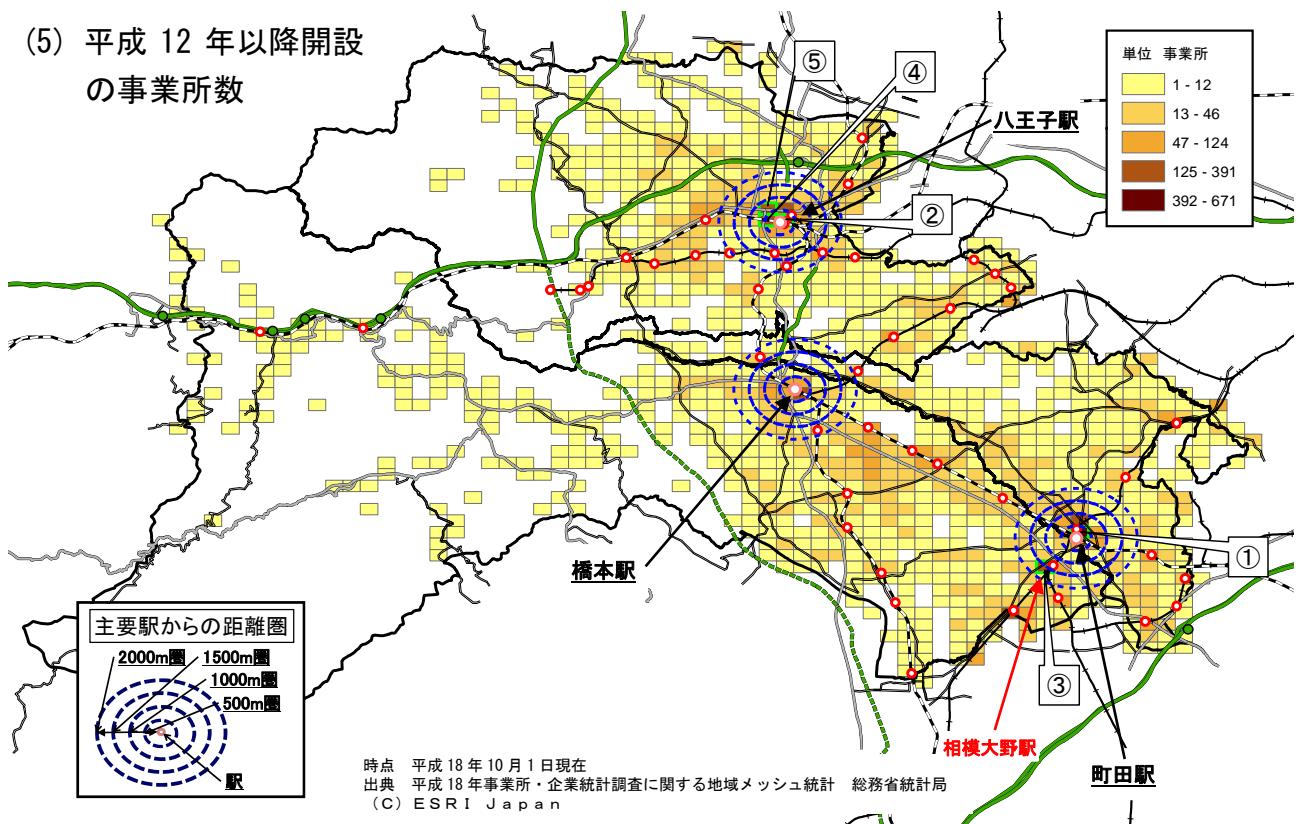
NO	住所	事業所
①	(町田市)中町、原町田、森野、(相模原市)上鶴間本町	659
②	(八王子市)明神町、子安町、東町、旭町	512
③	(八王子市)横山町、八日町、本町、元横山町	463
④	(相模原市)相模大野	428
⑤	(八王子市)子安町、旭町、三崎町、中町	419

①は町田駅周辺
②、③、⑤は八王子駅周辺
④は相模大野駅周辺

■主要駅の距離別平成 11 年以前開設の事業所数



(5) 平成 12 年以降開設の事業所数



- 上位 5 位のメッシュは、八王子駅周辺が多い。
- 主要駅の距離別平成 12 年以降開設の事業所数は、2000m 圏の累計では町田駅が最多く、1km²当たりは、0m 超-500m 以下では町田駅が最も多く、1200 事業所となっている。

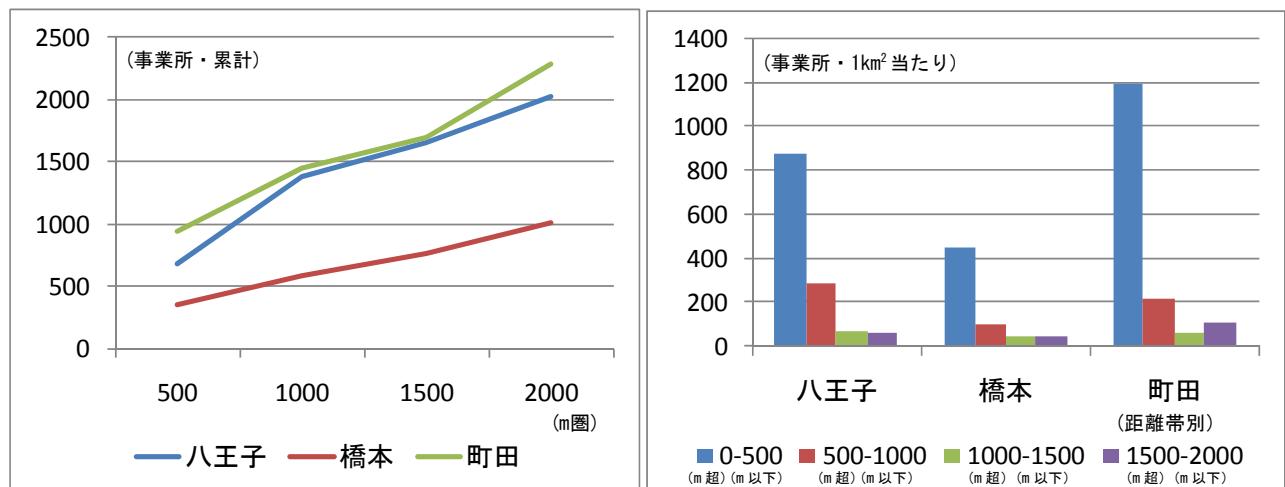
■上位 5 位のメッシュ

NO	住所	事業所
①	(町田市)中町、原町田、森野、(相模原市)上鶴間本町	671
②	(八王子市)明神町、子安町、東町、旭町	391
③	(相模原市)相模大野	336
④	(八王子市)子安町、旭町、三崎町、中町	248
⑤	(八王子市)横山村、八日町、本町、元横山村	230

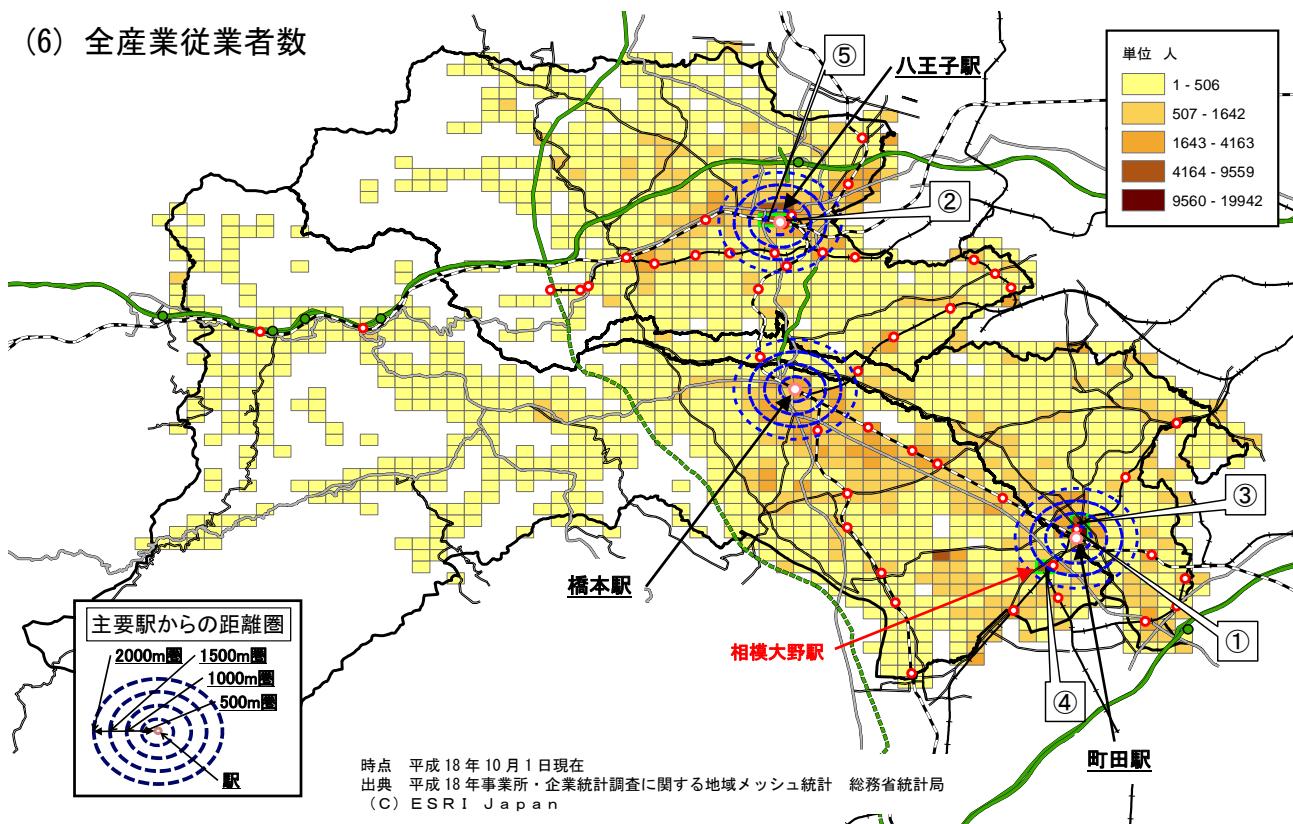
①は町田駅周辺
②、④、⑤は八王子駅周辺
③は相模大野駅周辺

町田駅周辺の①は平成 11 年以前開設の事業所数より多い

■主要駅の距離別平成 12 年以降開設の事業所数



(6) 全産業従業者数



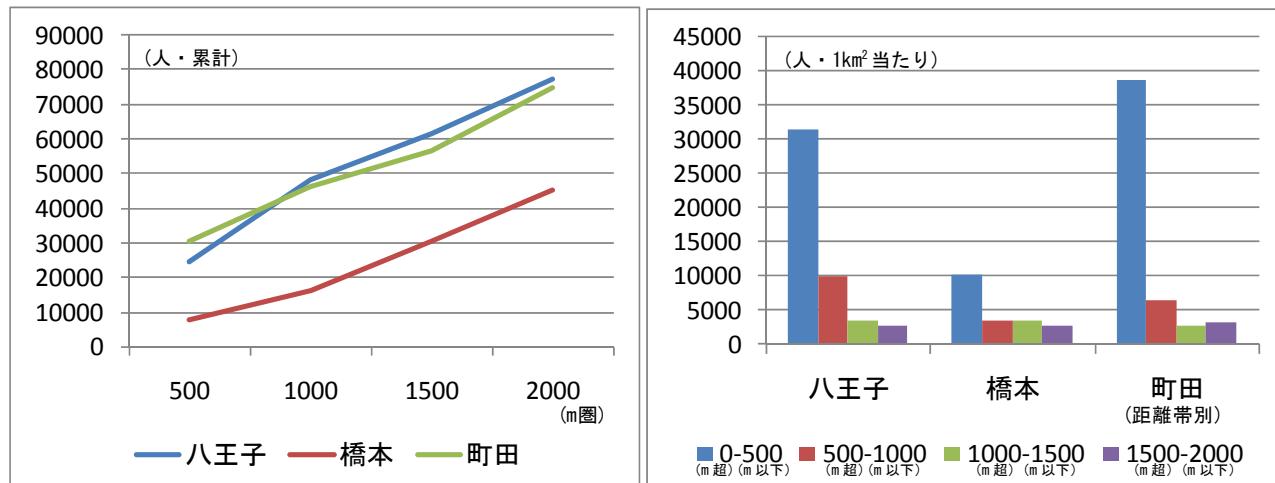
- 上位 5 位のメッシュは、駅の周辺である。
- 主要駅の距離別全産業従業者数は、500m 圏では町田駅が多いが、1000m 圏の累計以降では八王子駅が最も多く、1km²当たりは、0m 超～500m 以下では町田駅が最も多く、35000 人を超えている。

■上位 5 位のメッシュ

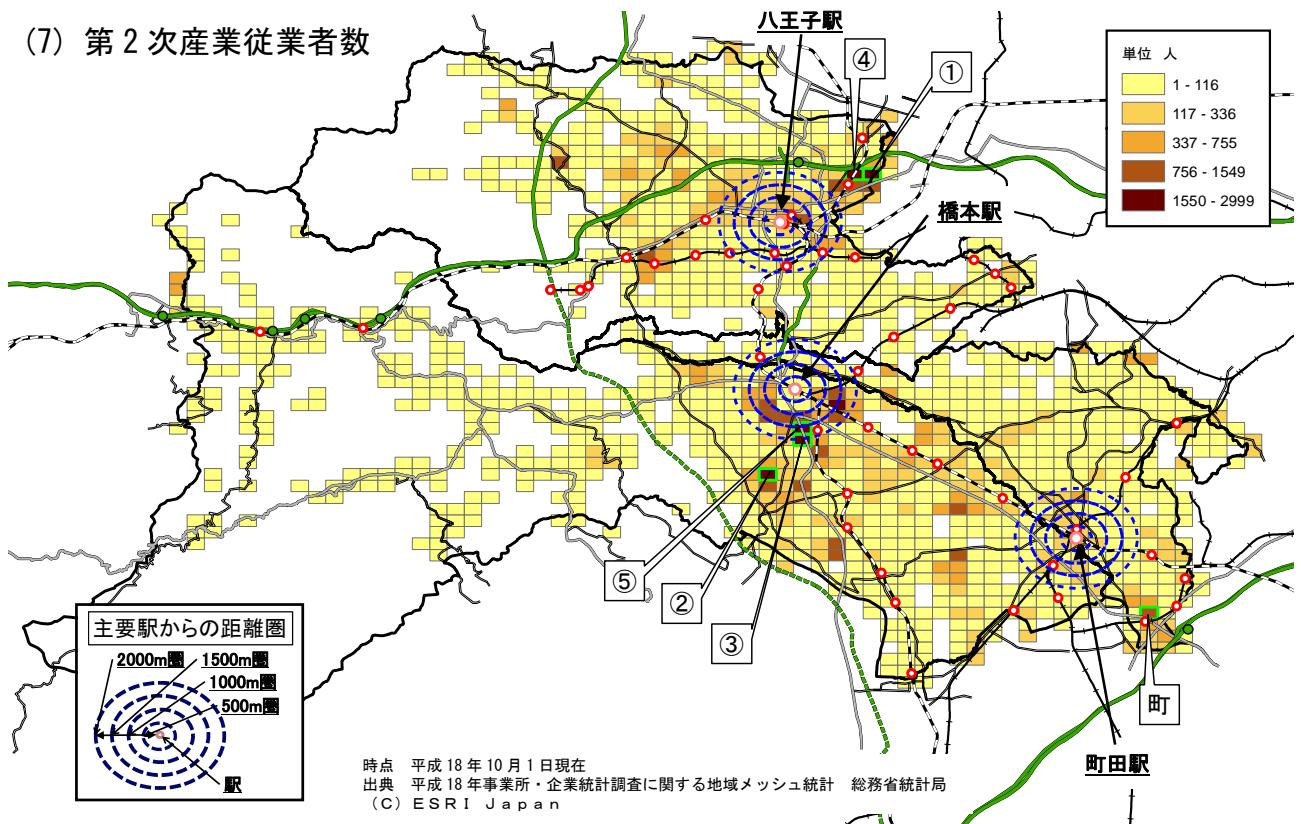
NO	住所	人
①	(町田市)中町、原町田、森野、(相模原市)上鶴間本町	19942
②	(八王子市)明神町、子安町、東町、旭町	15761
③	(町田市)中町、原町田、森野	9559
④	(相模原市)相模大野	8559
⑤	(八王子市)子安町、旭町、三崎町、中町	7126

①、③は町田駅周辺
②、⑤は八王子駅周辺
④は相模大野駅周辺

■主要駅の距離別全産業従業者数



(7) 第2次産業従業者数



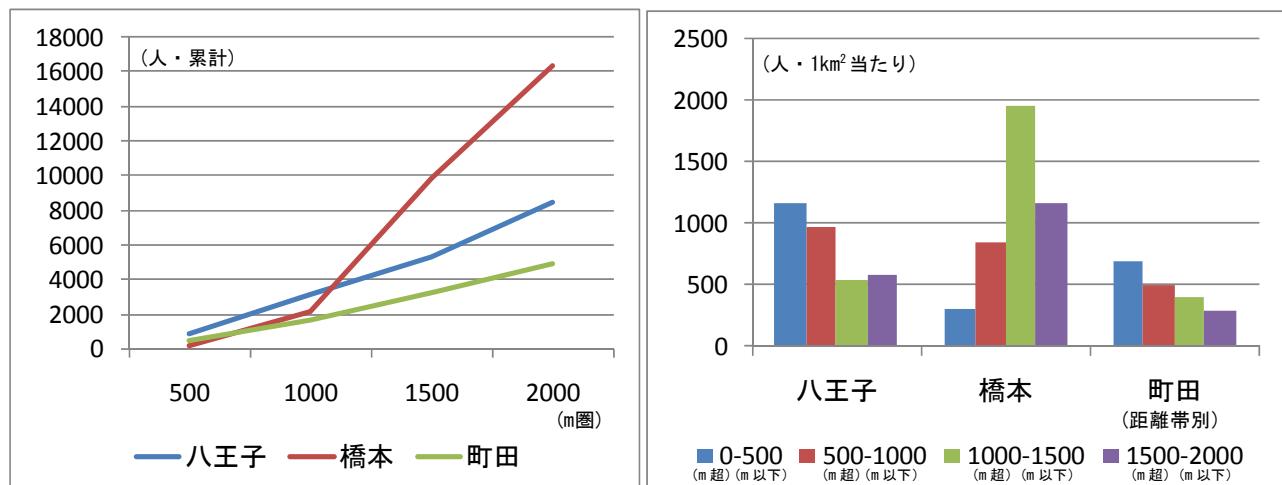
- 上位5位のメッシュは、大手製造業の工場が所在する地域である。
- 主要駅の距離別第2次産業従業者数は、橋本駅では1000m圏の累計から1500m圏の累計で大きく増加し、2000m圏では町田駅の約3.3倍となっている。

■上位5位のメッシュ

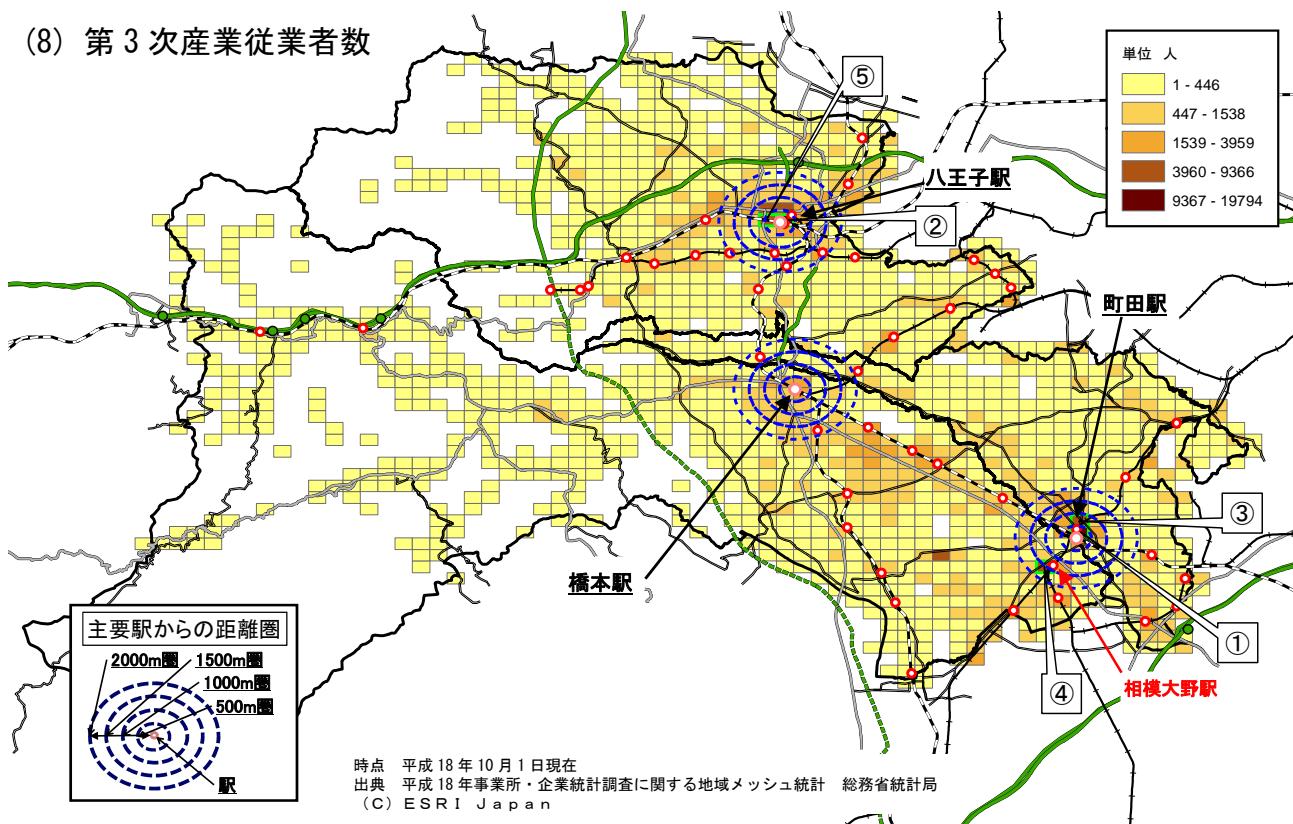
NO	住所	人
①	(八王子市)高倉町、石川町	2999
②	(相模原市)田名	2910
③	(相模原市)下九沢、南橋本	2014
④	(八王子市)高倉町、石川町	1991
⑤	(相模原市)下九沢、南橋本、橋本台	1768
町	(町田市)小川、鶴間、南つくし野	1019

①～⑤は、大手製造業の工場が所在する地域

■主要駅の距離別第2次産業従業者数



(8) 第3次産業従業者数



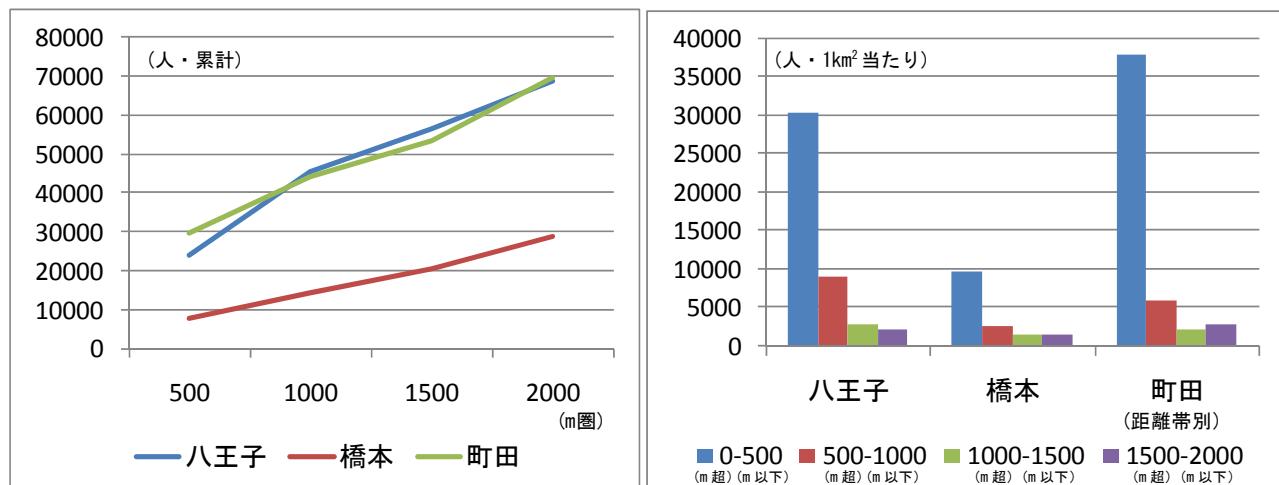
- 上位5位のメッシュは、駅周辺の商業地区である。
- 主要駅の距離別第3次産業従業者数は、500m圏、2000m圏の累計では町田駅が多いが、1000m圏、1500m圏の累計では八王子駅が最も多い。

■上位5位のメッシュ

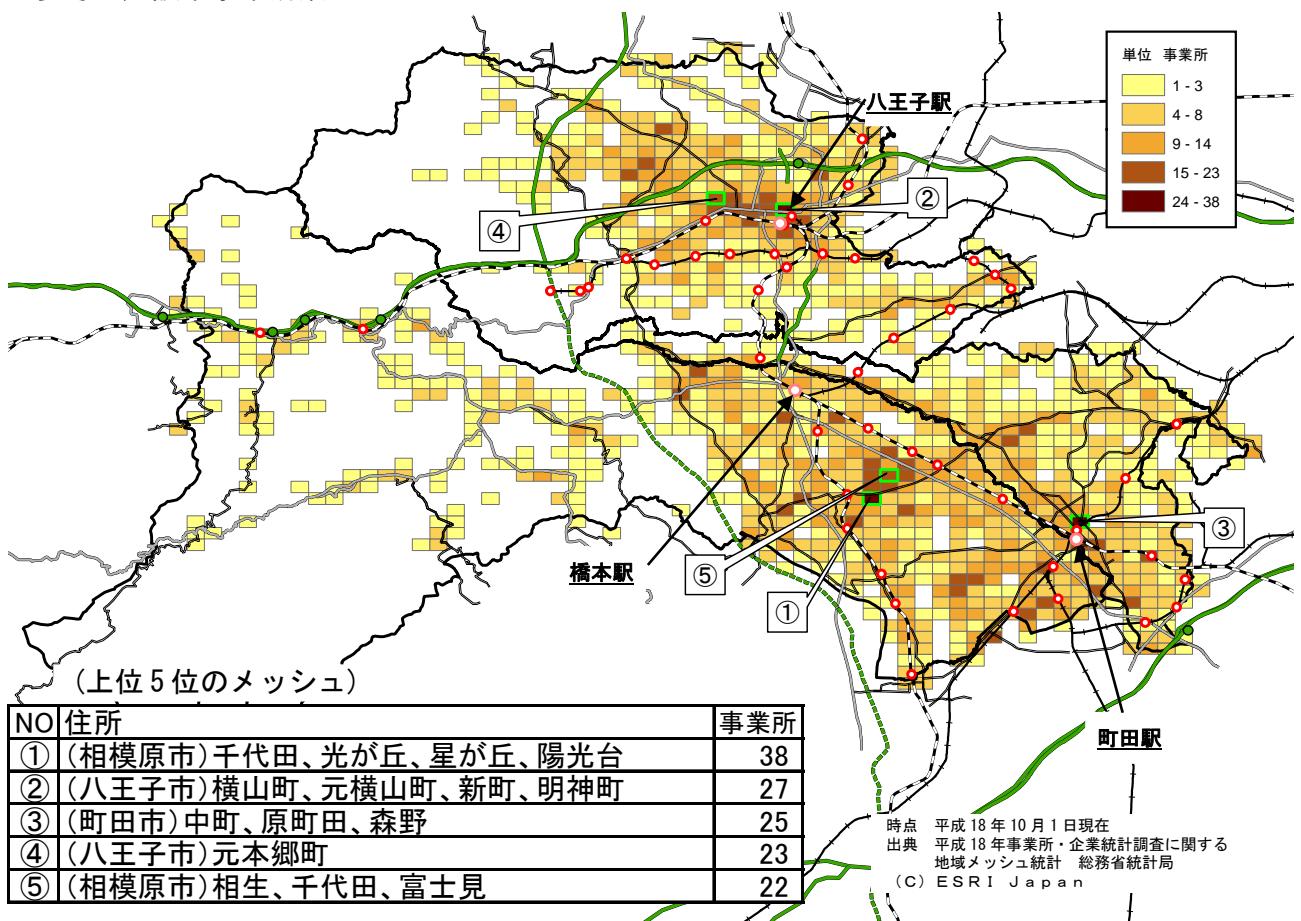
NO	住所	人
①	(町田市)中町、原町田、森野、(相模原市)上鶴間本町	19794
②	(八王子市)明神町、子安町、東町、旭町	15289
③	(町田市)中町、原町田、森野	9366
④	(相模原市)相模大野	8399
⑤	(八王子市)子安町、旭町、三崎町、中町	6928

①、③は町田駅周辺
②、⑤は八王子駅周辺
④は相模大野駅周辺

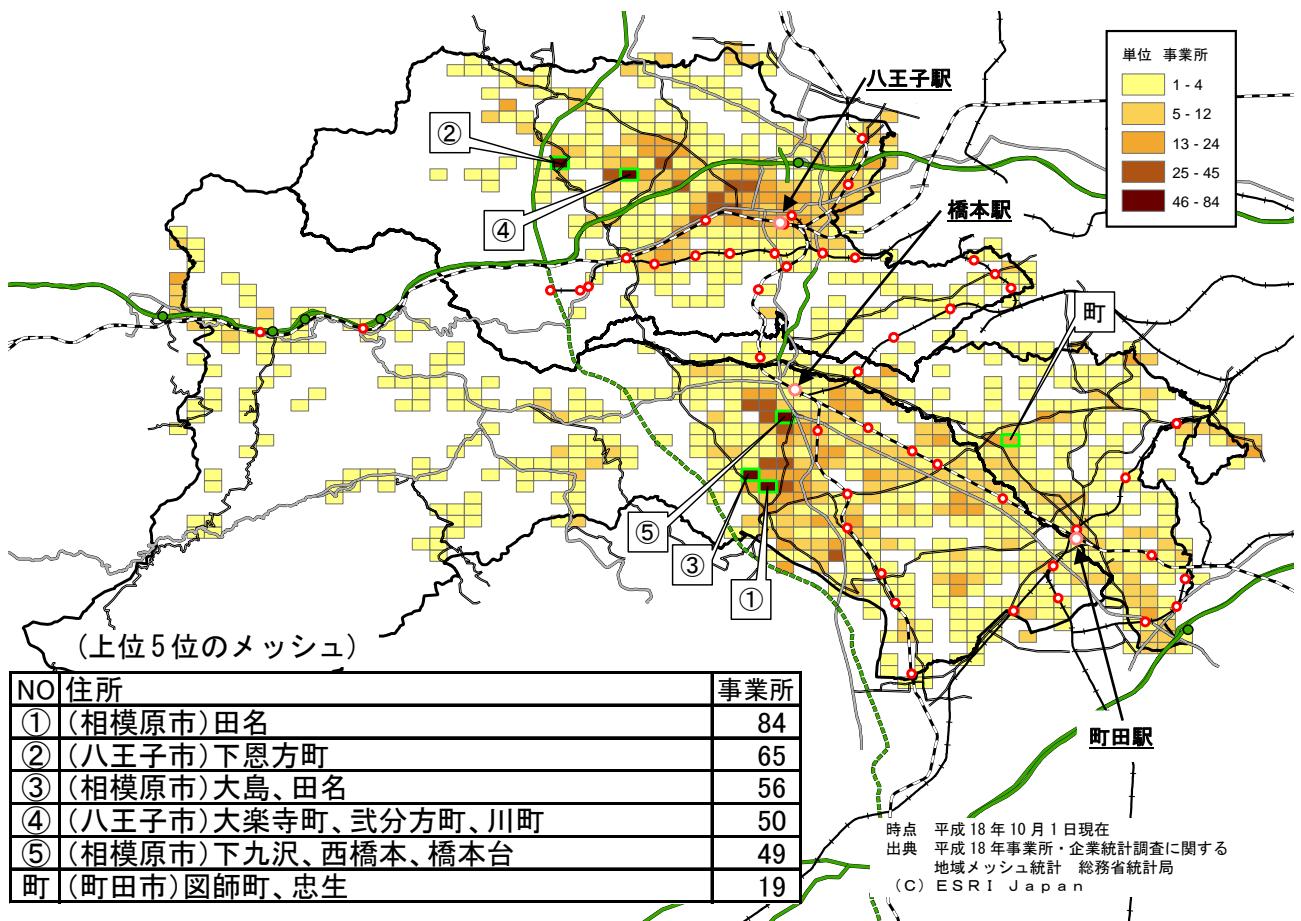
■主要駅の距離別第3次産業従業者数



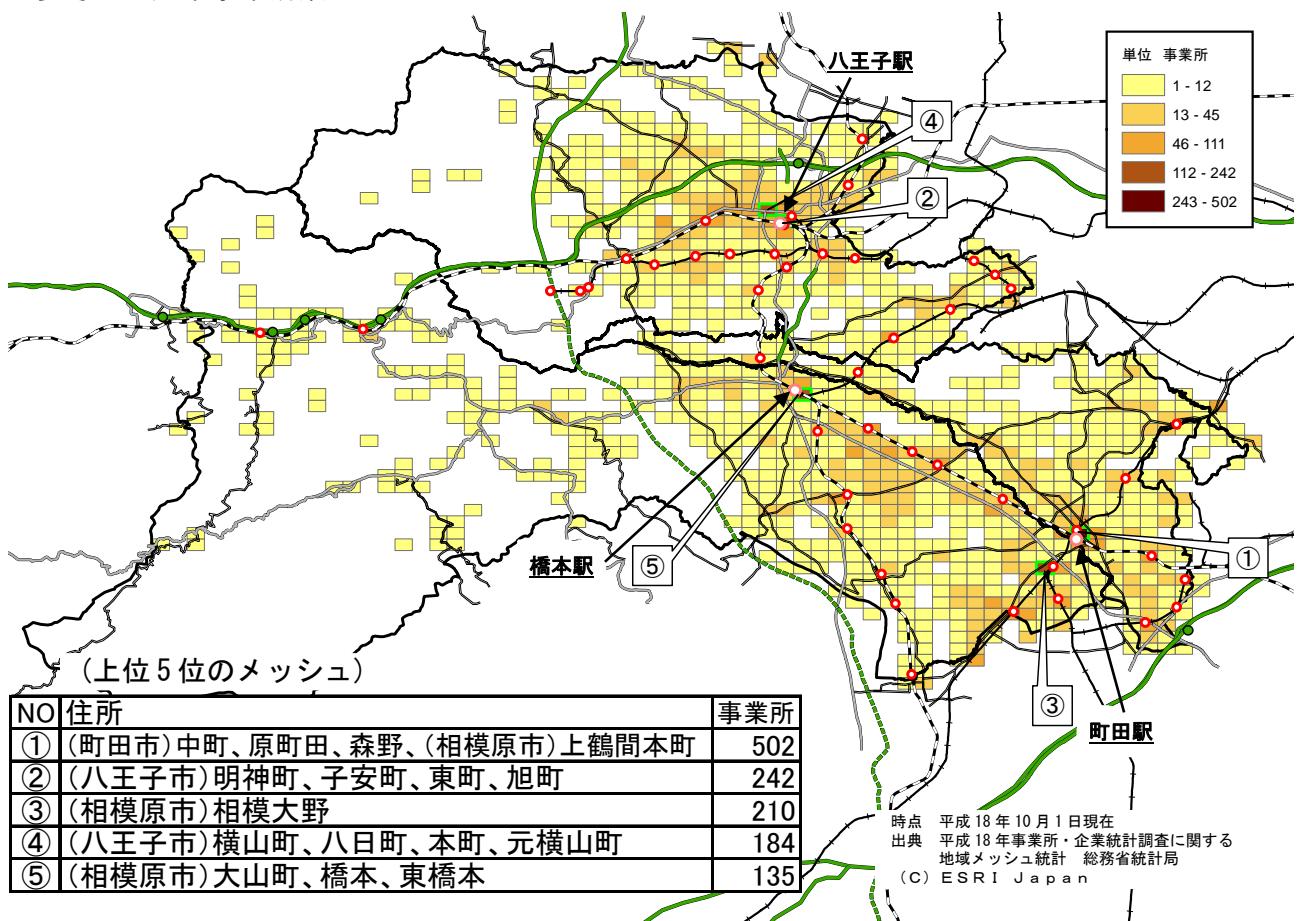
■参考 建設業事業所数



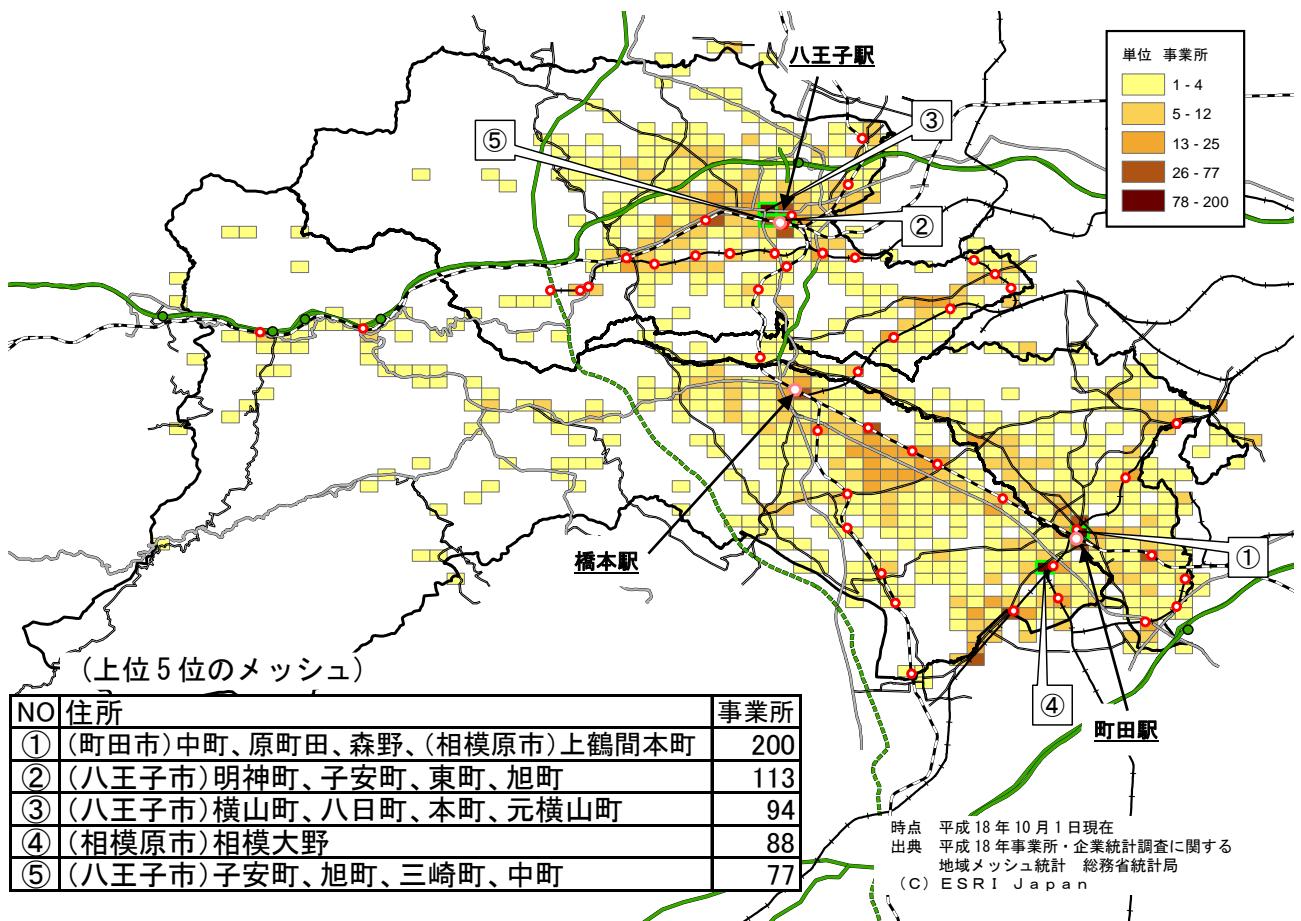
■参考 製造業事業所数



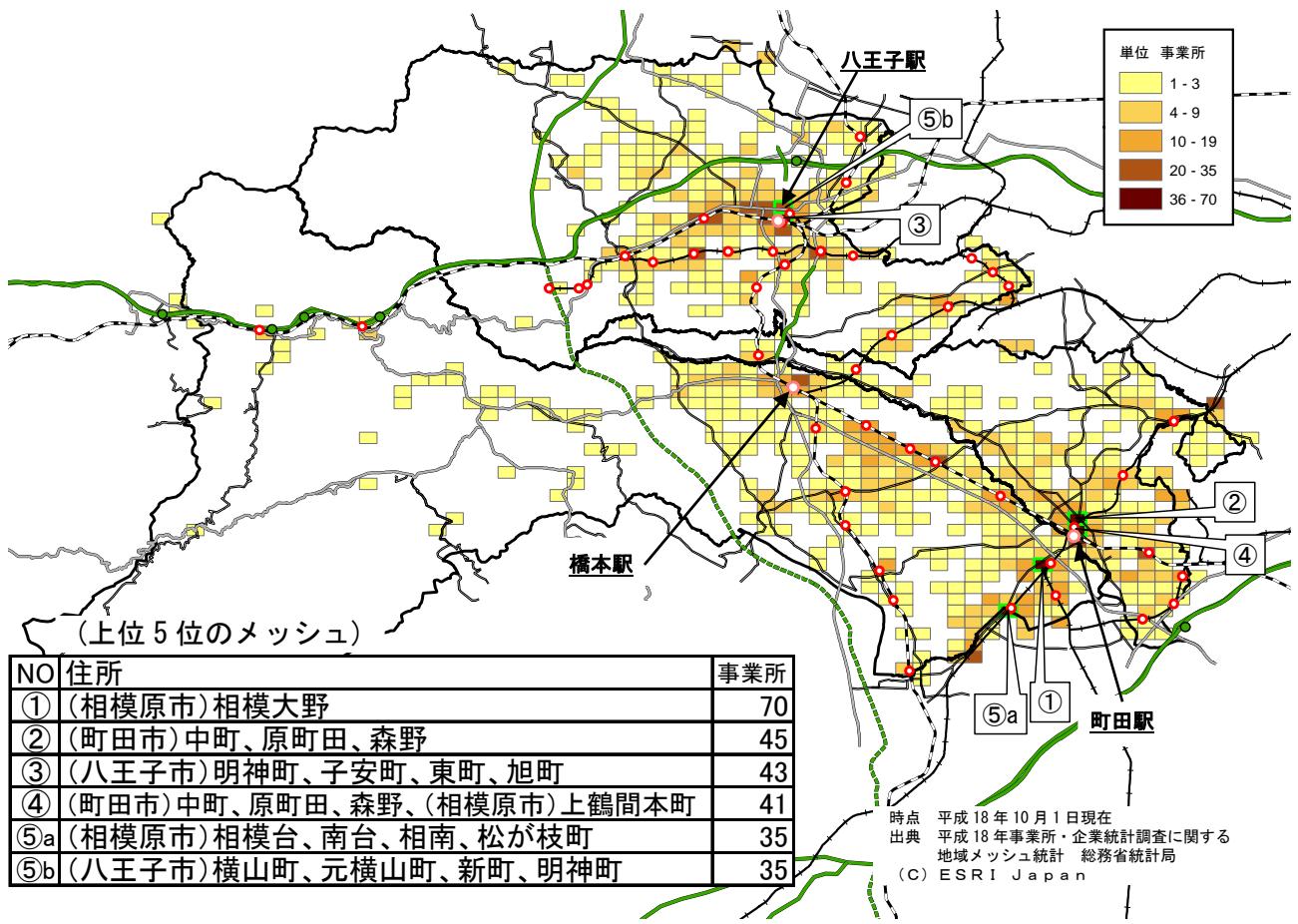
■参考 小売業事業所数



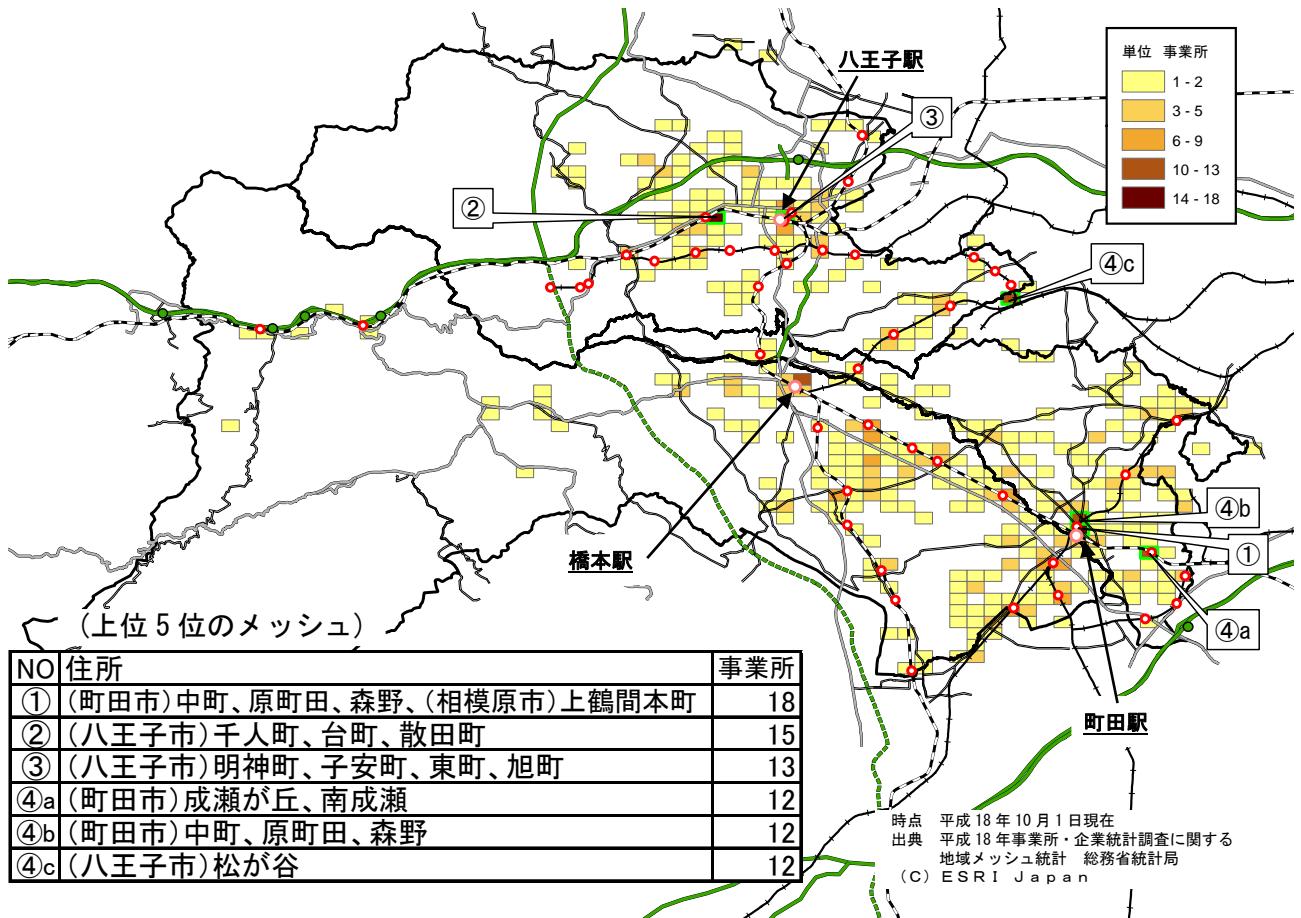
■参考 一般飲食店事業所数



■参考 医療業事業所数



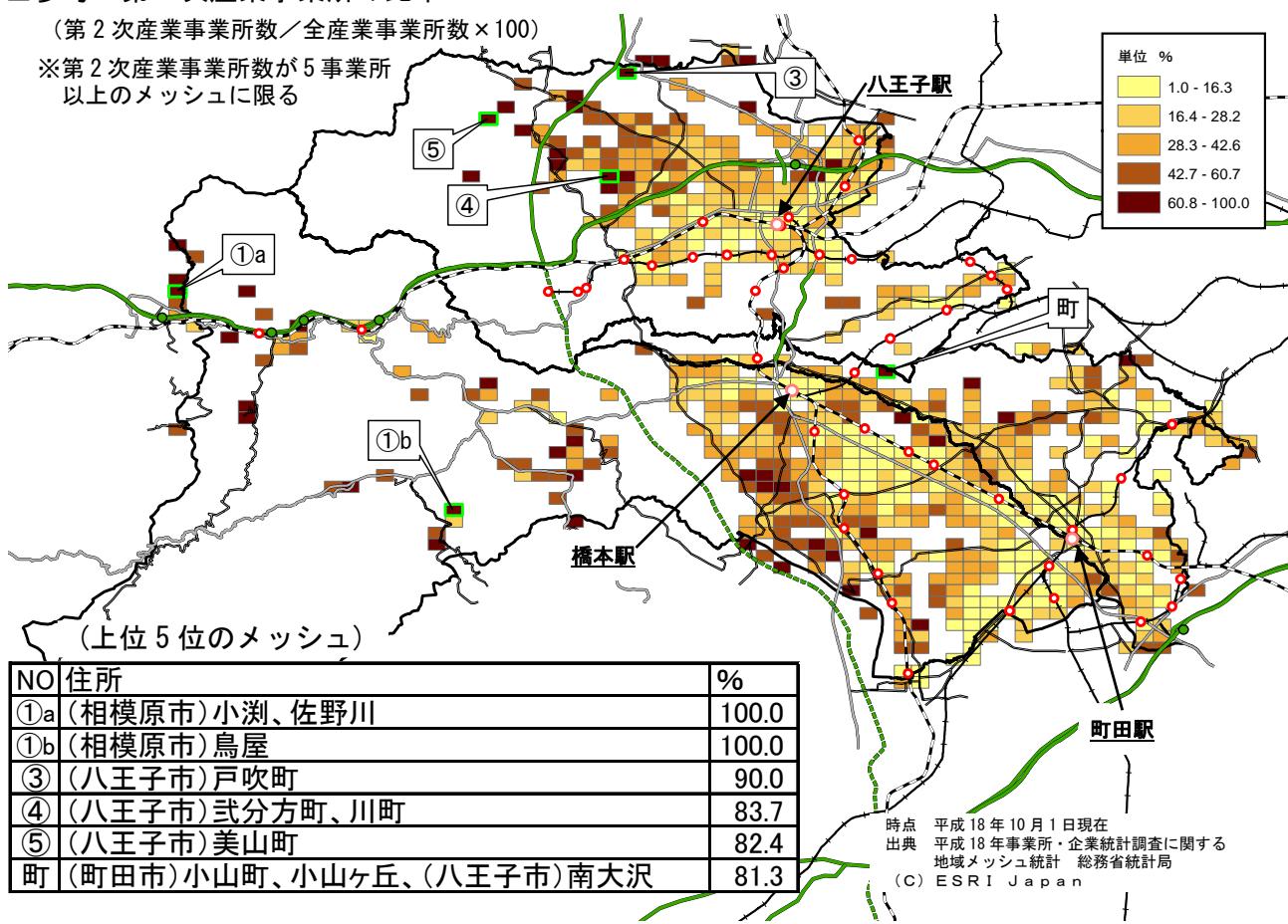
■参考 学習塾事業所数



■参考 第2次産業事業所の比率

(第2次産業事業所数／全産業事業所数×100)

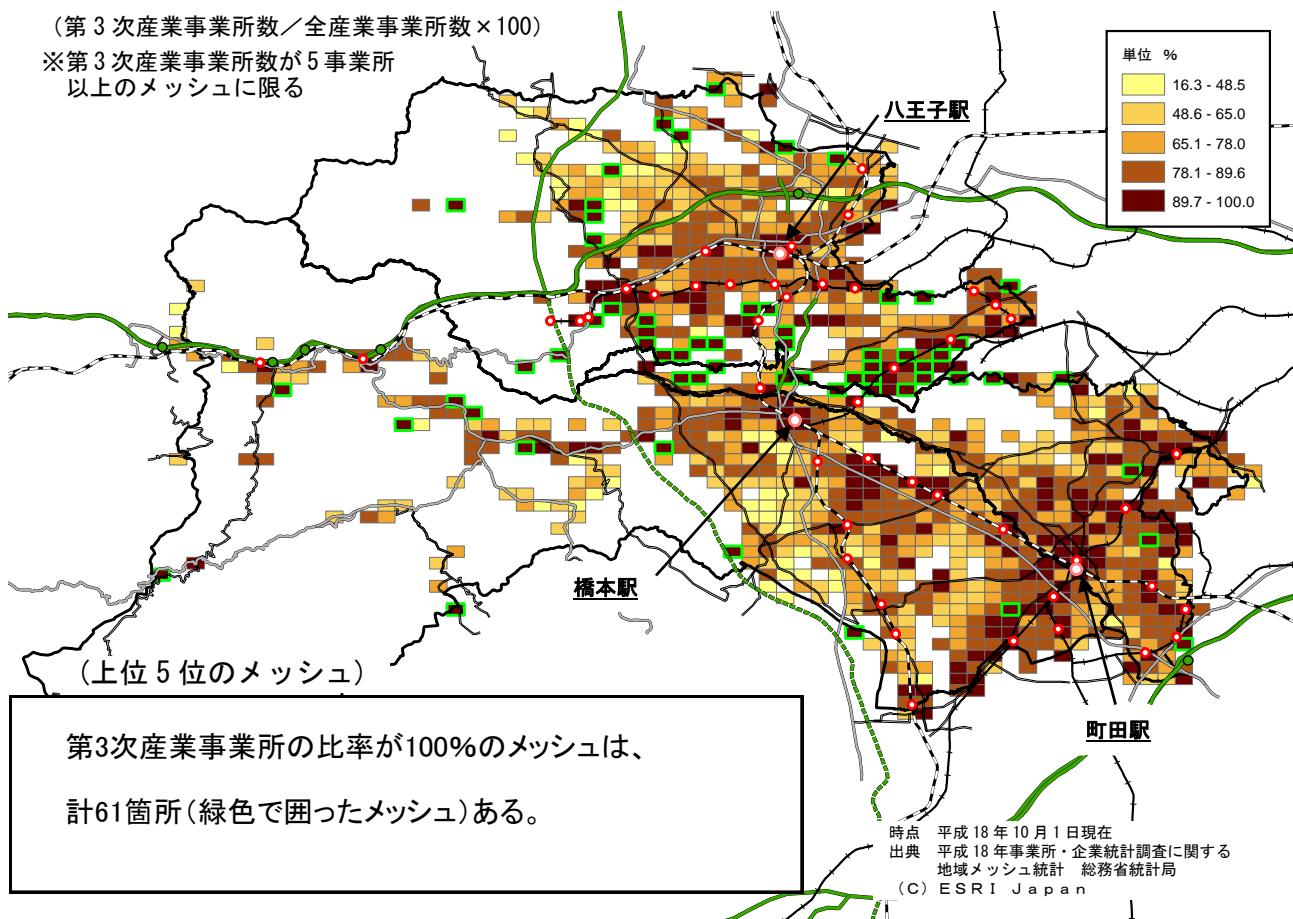
※第2次産業事業所数が5事業所
以上のメッシュに限る



■参考 第3次産業事業所の比率

(第3次産業事業所数／全産業事業所数×100)

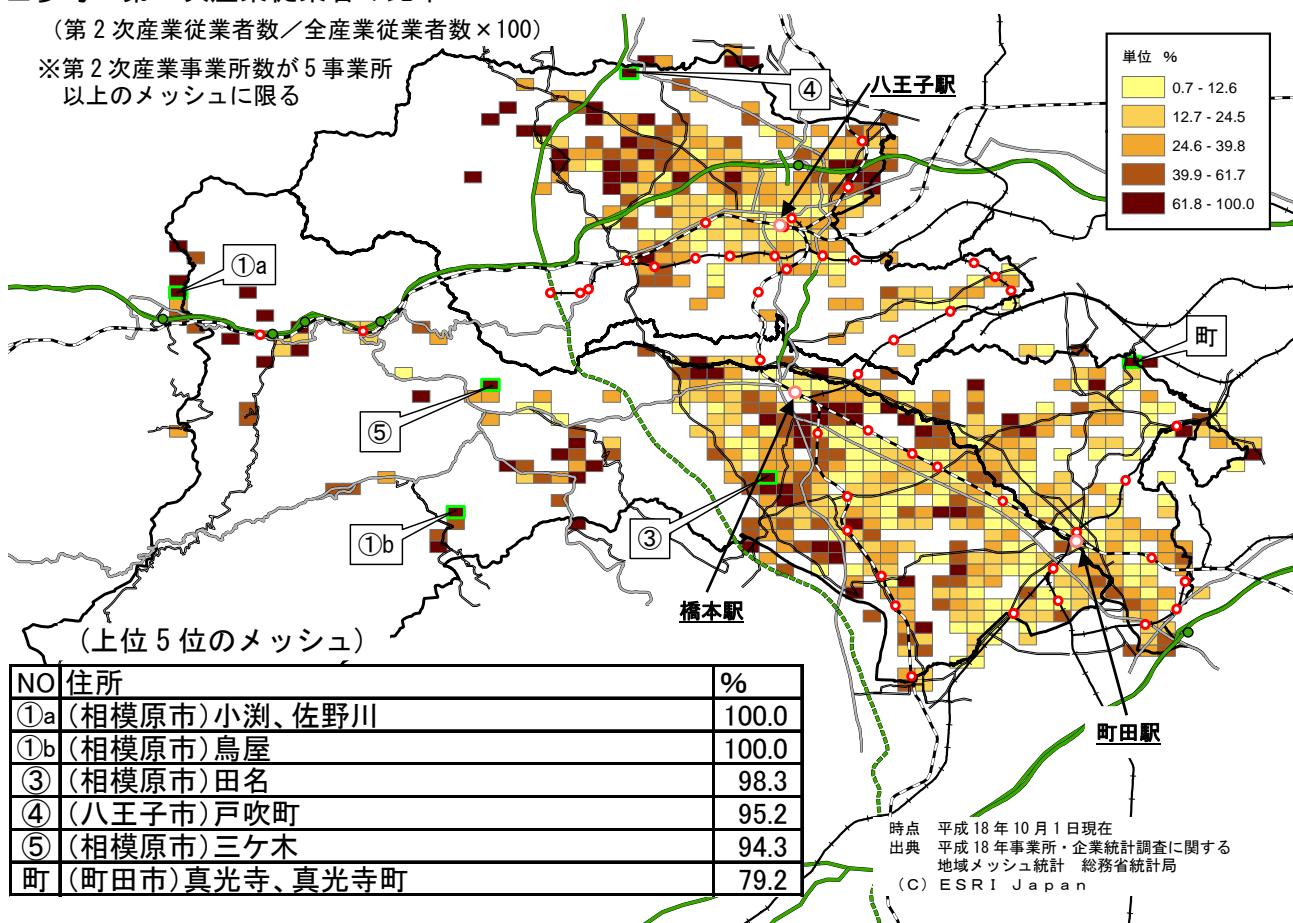
※第3次産業事業所数が5事業所
以上のメッシュに限る



■参考 第2次産業従業者の比率

(第2次産業従業者数／全産業従業者数×100)

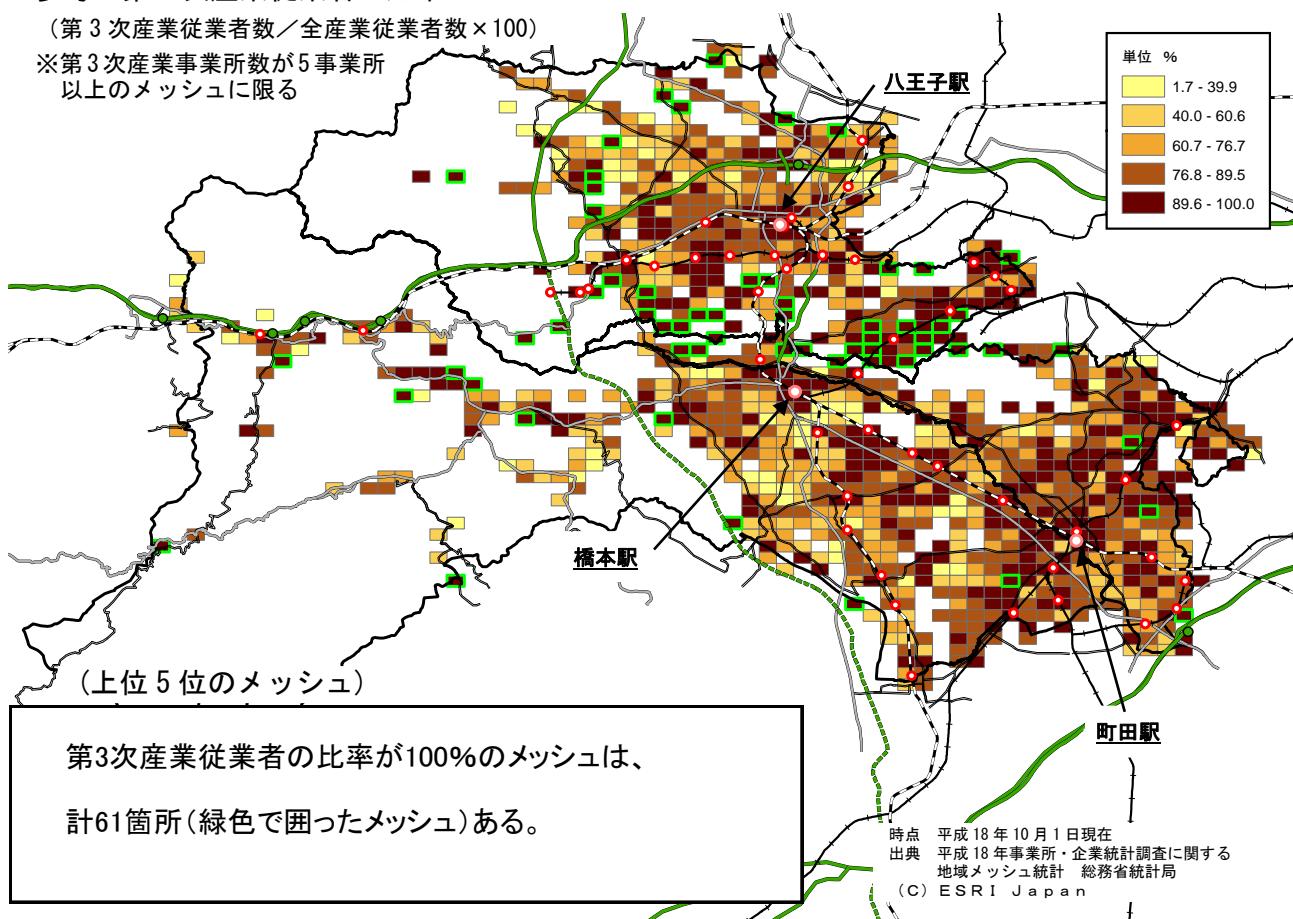
※第2次産業事業所数が5事業所
以上のメッシュに限る



■参考 第3次産業従業者の比率

(第3次産業従業者数／全産業従業者数×100)

※第3次産業事業所数が5事業所
以上のメッシュに限る



<主要駅の距離別事業所構成（産業別）>

■八王子駅

(%・距離帯別)

(合計)

	0m超～ 500m以下	500m超～ 1000m以下	1000m超～ 1500m以下	1500m超～ 2000m以下	0m超～ 2000m以下
建設業	2.8	5.5	8.8	8.3	6.2
製造業	1.8	4.2	9.4	10.3	6.1
電気ガス	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1
情報通信	2.0	2.0	0.9	0.8	1.5
運輸	0.9	0.9	2.0	1.7	1.3
卸小売	25.3	24.5	27.2	28.5	26.2
金融保険	3.1	2.2	1.4	0.9	2.0
不動産	7.8	8.6	7.8	7.0	7.9
飲食宿泊	26.4	22.0	9.8	10.4	17.9
医療福祉	5.8	7.0	7.3	7.6	6.9
教育学習	4.2	3.3	3.9	4.6	3.9
複合	0.1	0.2	0.5	0.3	0.3
その他	19.4	19.2	20.5	19.3	19.5
公務	0.3	0.4	0.5	0.2	0.3

- ・0m超～2000m以下では、飲食店、宿泊業の事業所の構成比が主要駅の中で最も高い。飲食店、宿泊業の事業所の構成比は、駅から離れるにつれて低くなる傾向がある。

時点 平成18年10月1日現在
出典 平成18年事業所・企業統括調査に関する地域メッシュ統計
総務省統計局

■橋本駅

(%・距離帯別)

(合計)

	0m超～ 500m以下	500m超～ 1000m以下	1000m超～ 1500m以下	1500m超～ 2000m以下	0m超～ 2000m以下
建設業	2.7	5.5	8.9	9.0	6.8
製造業	1.1	7.6	25.2	15.9	12.9
電気ガス	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
情報通信	1.0	1.0	1.0	0.4	0.8
運輸	1.0	1.7	4.0	3.8	2.8
卸小売	33.4	25.9	18.7	21.6	24.5
金融保険	1.8	0.8	0.3	0.5	0.8
不動産	8.0	11.6	5.2	5.8	7.5
飲食宿泊	15.9	12.2	8.1	14.7	12.8
医療福祉	9.0	8.0	4.3	4.8	6.4
教育学習	5.8	6.0	4.1	4.4	5.0
複合	0.1	0.2	0.4	0.5	0.3
その他	19.9	19.2	19.5	18.4	19.2
公務	0.2	0.2	0.4	0.1	0.2

- ・0m超～2000m以下では、製造業の事業所の構成比が主要駅の中で最も高い。
- ・1000m超～1500m以下の距離帯では、製造業の事業所の構成比が卸売・小売業の事業所の構成比より高い。

時点 平成18年10月1日現在
出典 平成18年事業所・企業統括調査に関する地域メッシュ統計
総務省統計局

■町田駅

(%・距離帯別)

(合計)

	0m超～ 500m以下	500m超～ 1000m以下	1000m超～ 1500m以下	1500m超～ 2000m以下	0m超～ 2000m以下
建設業	1.8	5.8	9.8	7.9	5.7
製造業	0.8	2.2	4.1	3.0	2.3
電気ガス	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
情報通信	1.7	2.6	1.2	1.2	1.7
運輸	0.3	0.4	0.9	1.1	0.6
卸小売	32.6	23.0	24.0	26.5	27.2
金融保険	3.2	2.9	1.2	1.4	2.3
不動産	6.9	11.0	14.0	8.8	9.5
飲食宿泊	23.7	13.9	8.8	15.1	16.6
医療福祉	5.2	7.7	6.8	9.0	7.1
教育学習	4.8	6.0	5.7	6.1	5.6
複合	0.1	0.4	0.5	0.2	0.3
その他	18.1	23.5	22.6	19.7	20.5
公務	0.8	0.5	0.3	0.2	0.5

- ・0m超～2000m以下では、卸売・小売業の事業所の構成比が主要駅の中で最も高い。

時点 平成18年10月1日現在
出典 平成18年事業所・企業統括調査に関する地域メッシュ統計
総務省統計局

(凡例)

●産業分類 建設業…建設業、製造業…製造業、電気ガス…電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信…情報通信業、運輸…運輸業、卸小売…卸売・小売業、金融保険…金融・保険業、不動産…不動産業、飲食宿泊…飲食店、宿泊業、医療福祉…医療、福祉、教育学習…教育、学習支援業、複合…複合サービス事業、その他…サービス業（他に分類されないもの）、公務…公務（他に分類されないもの）

第3章

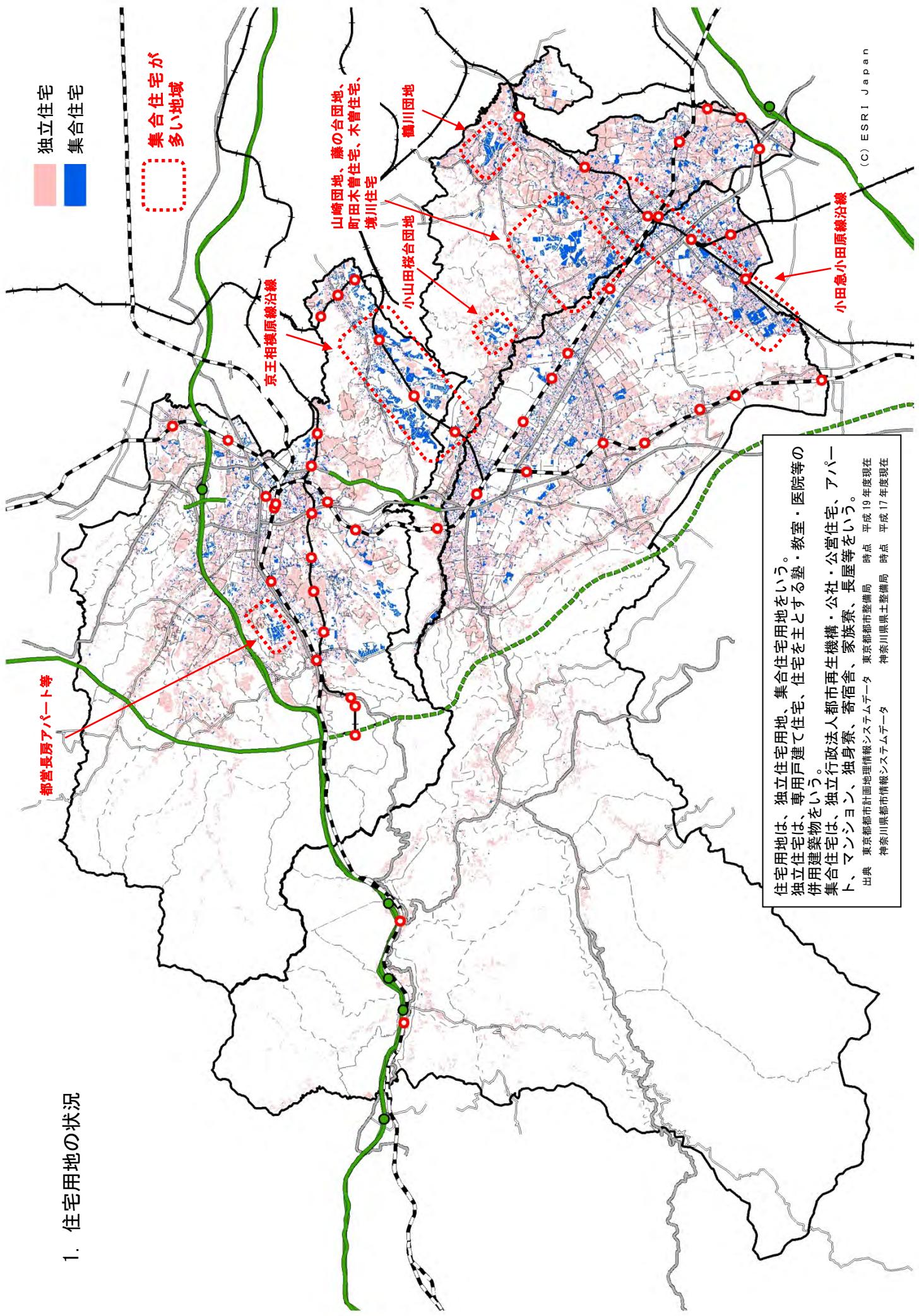
3市エリアの土地利用状況 (都市計画基礎調査) の分析

■留意事項

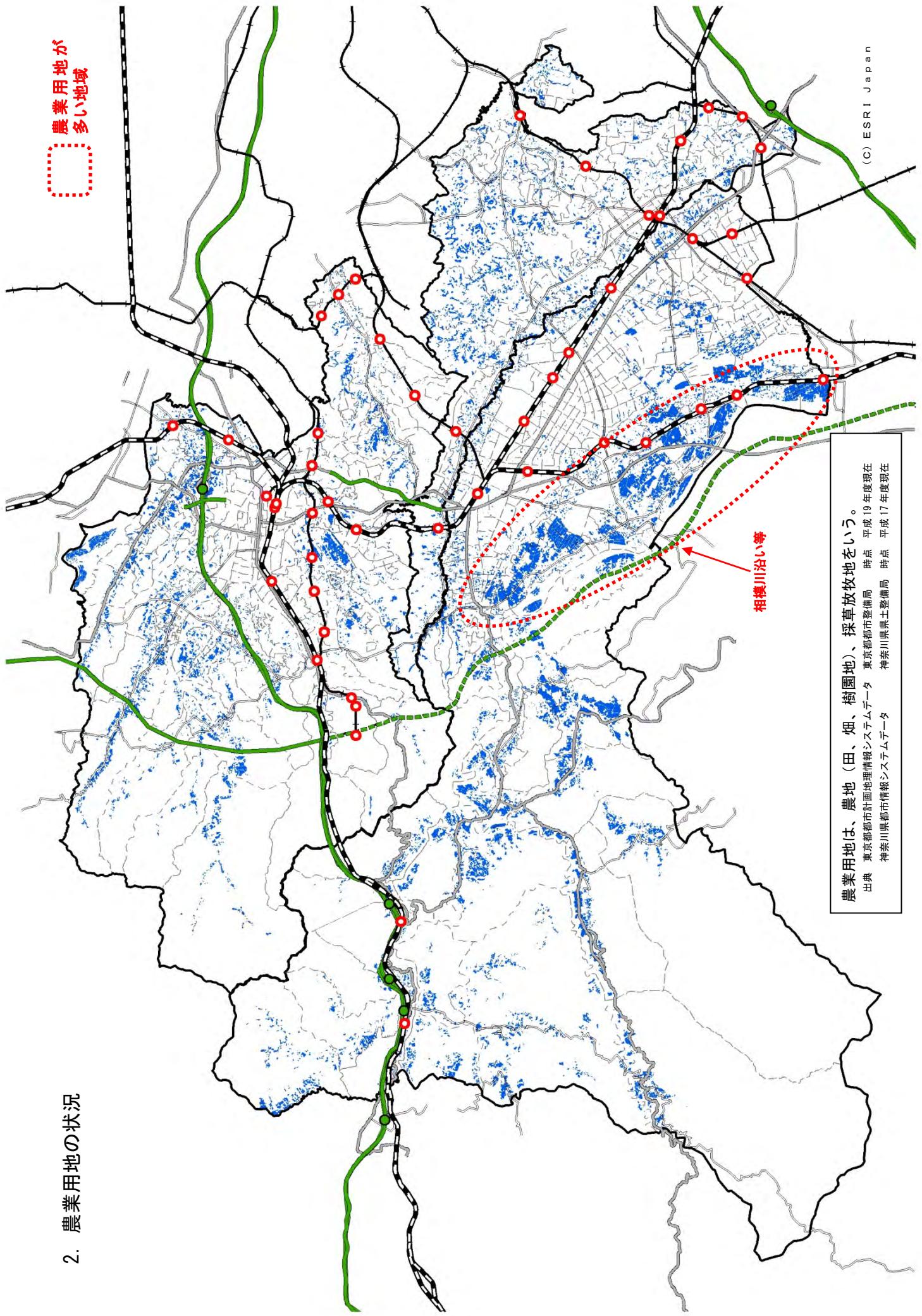
◆使用しているデータ

本研究では、平成19年度に東京都、平成17年度に神奈川県が実施した都市計画調査結果に基づき、それぞれ編成された「東京都都市計画地理情報システムデータ（東京都都市整備局）」「神奈川県都市情報システムデータ（神奈川県県土整備局）」から、3市エリア内の土地利用の状況等を把握できるデータを使用している。

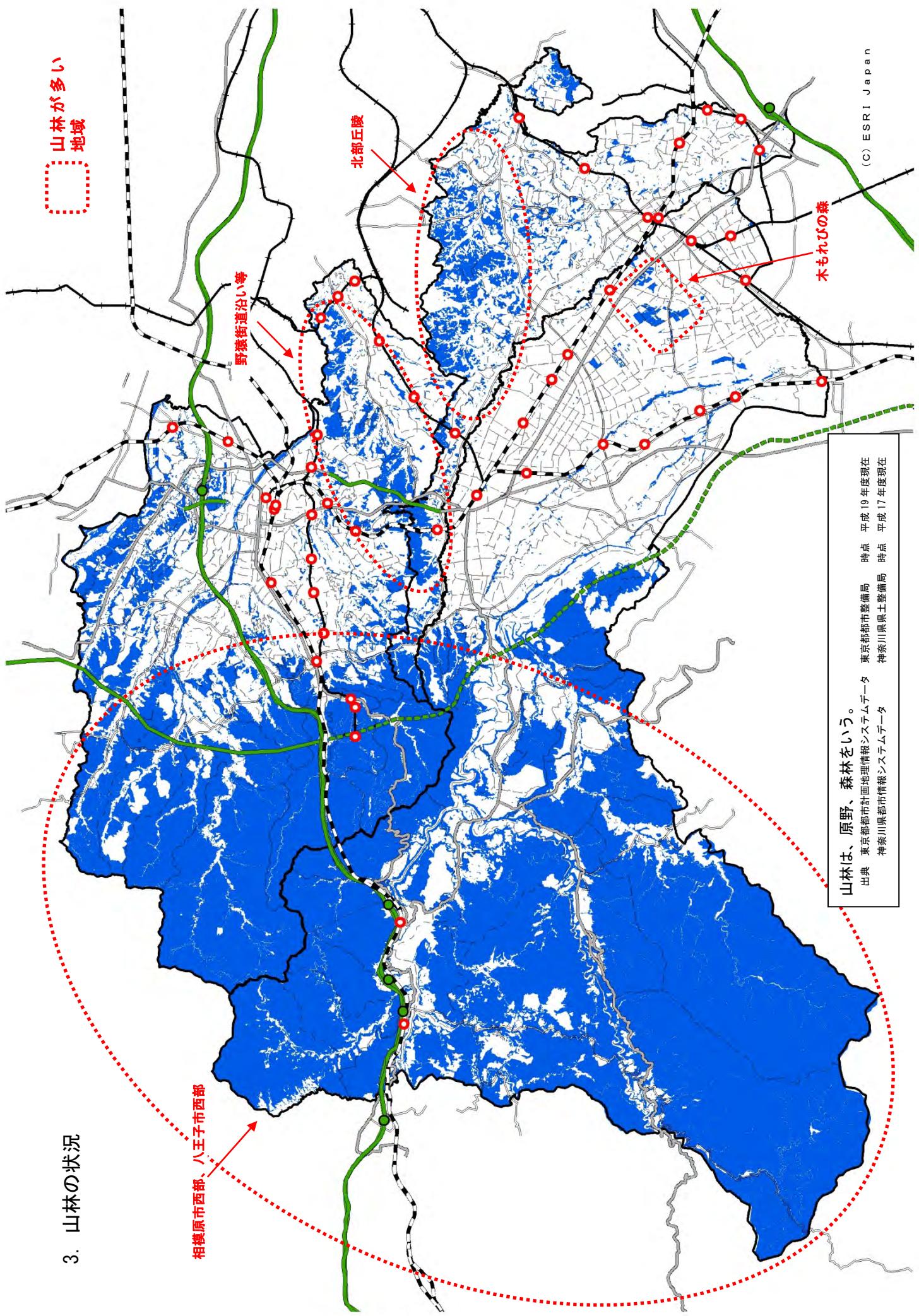
1. 住宅用地の状況



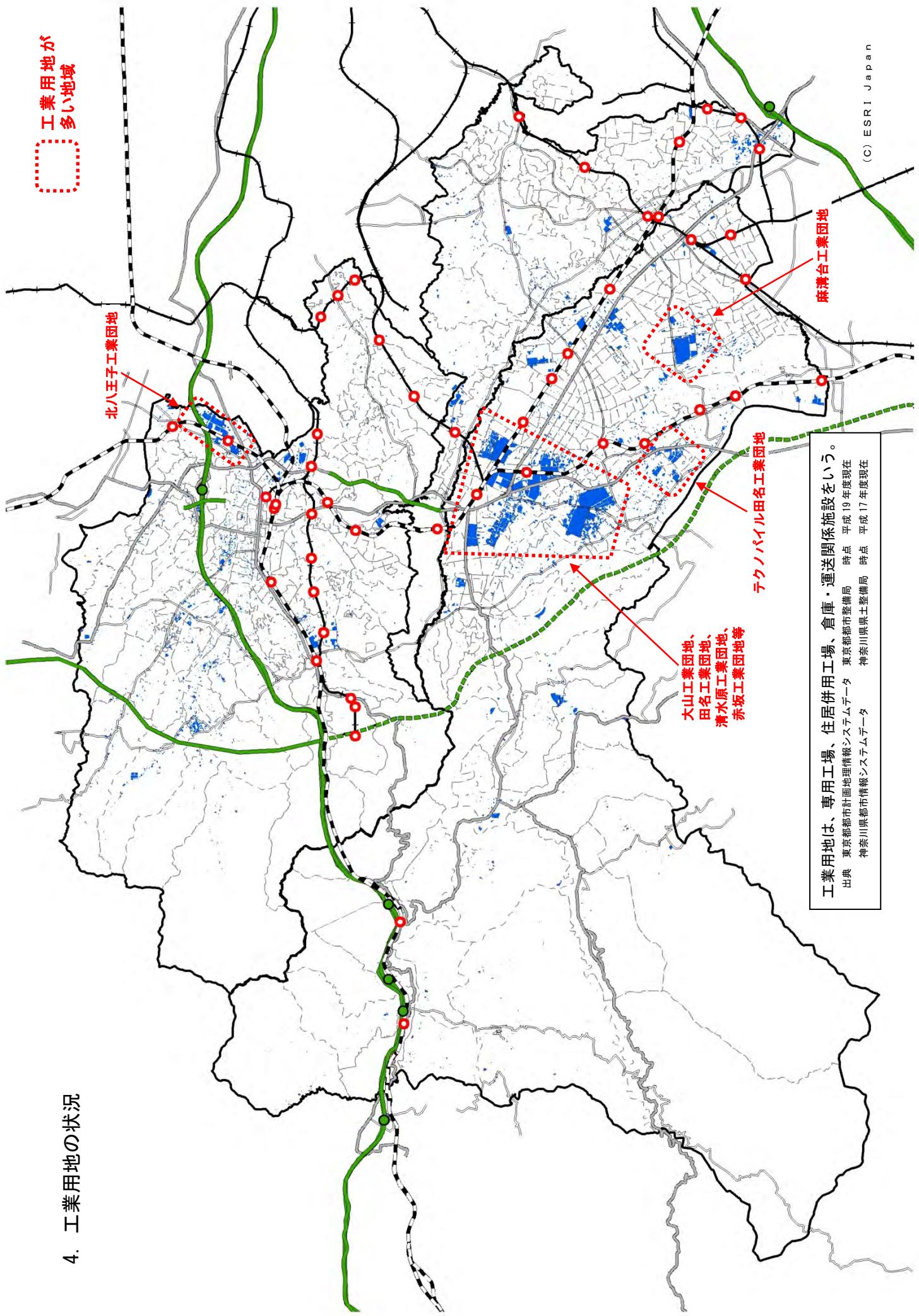
2. 農業用地の状況



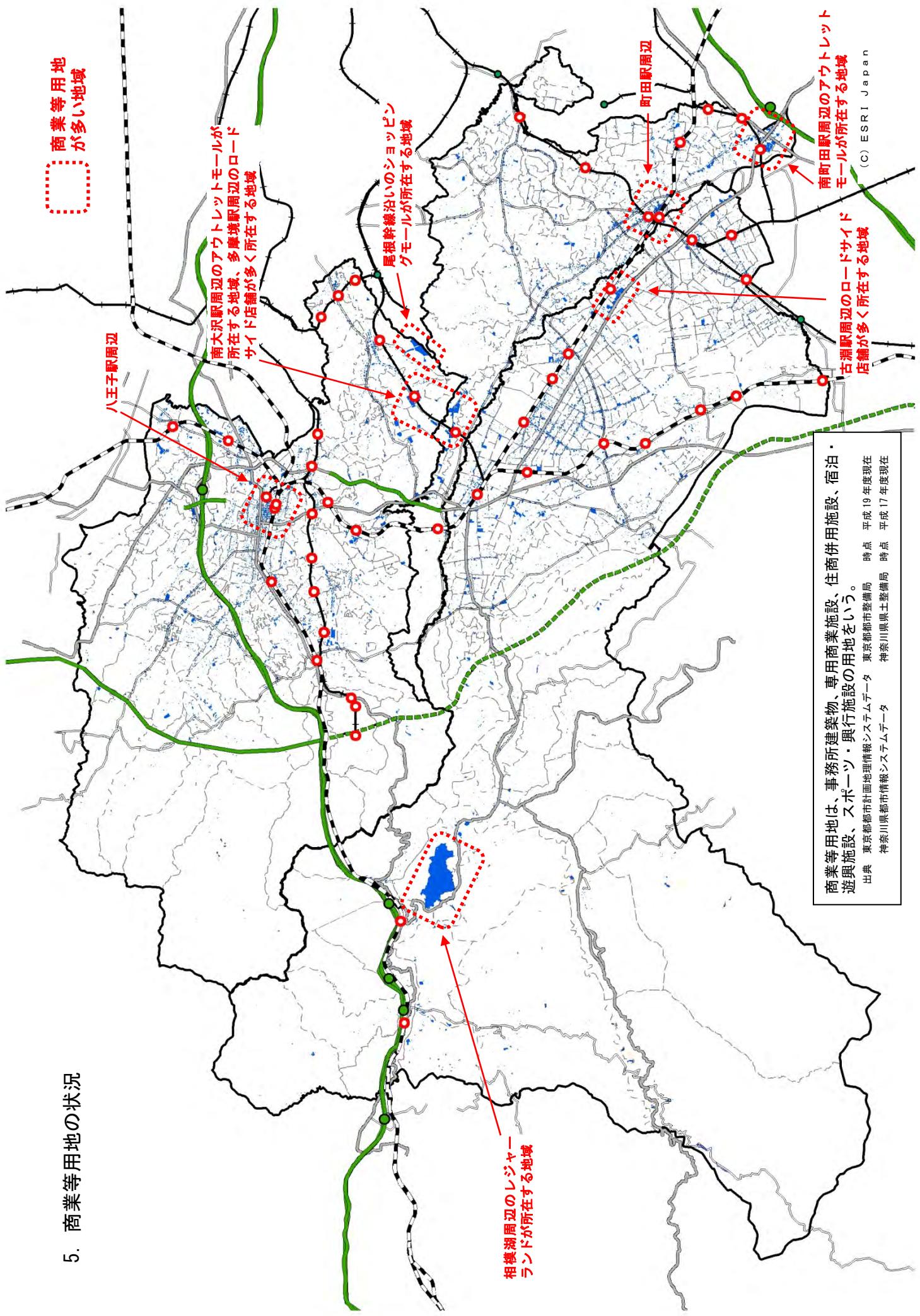
3. 山林の状況



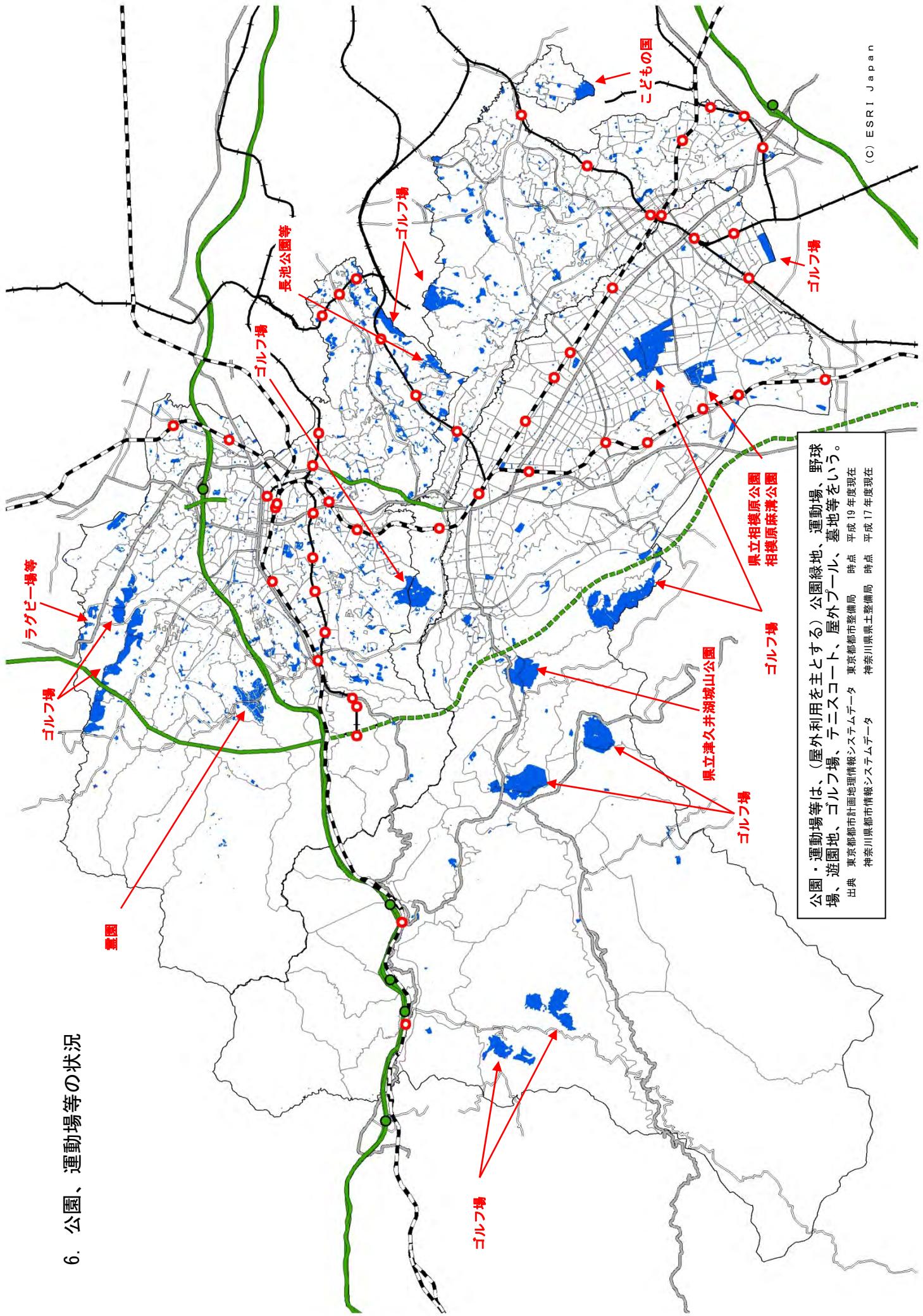
4. 工業用地の状況



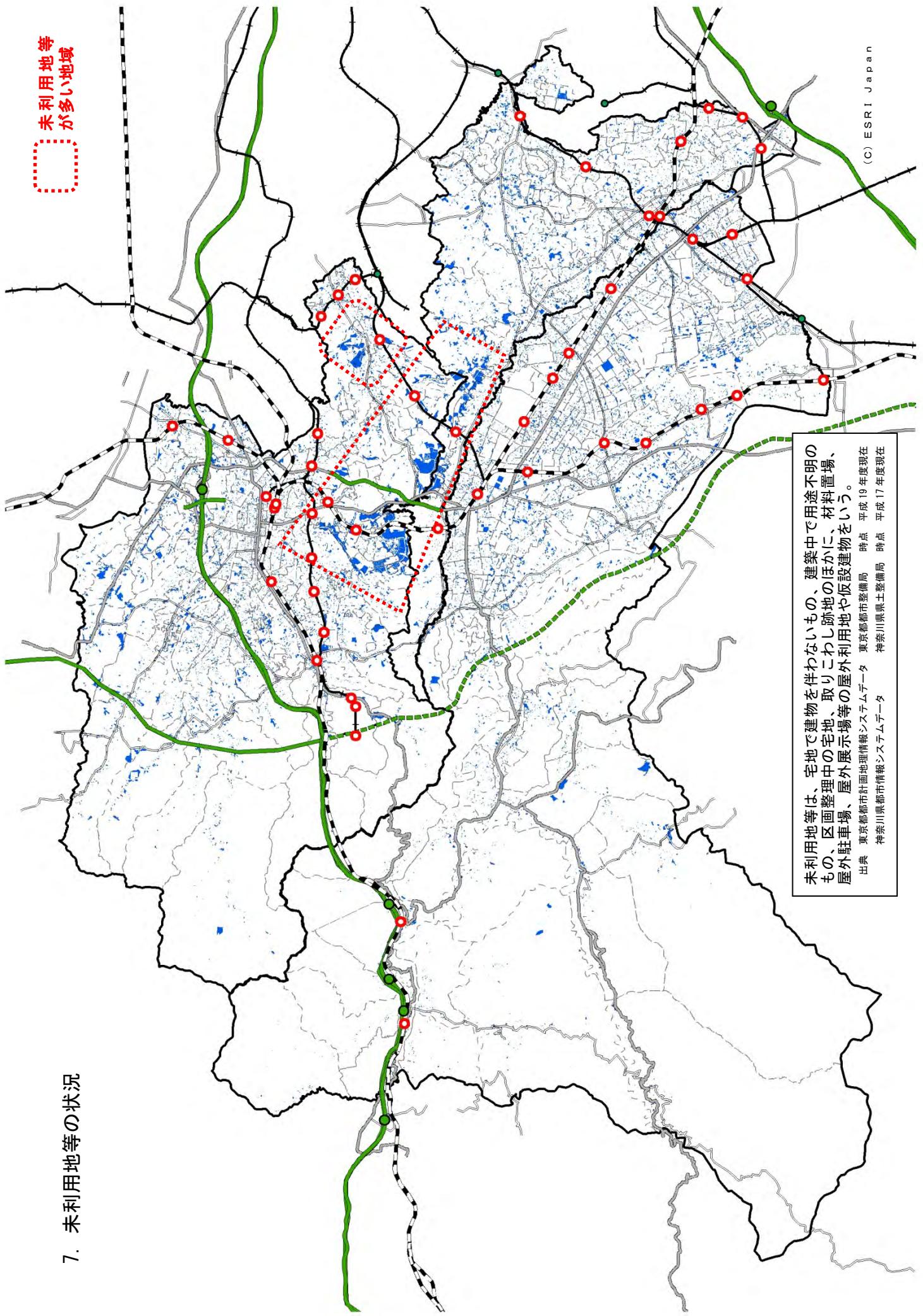
5. 商業等用地の状況



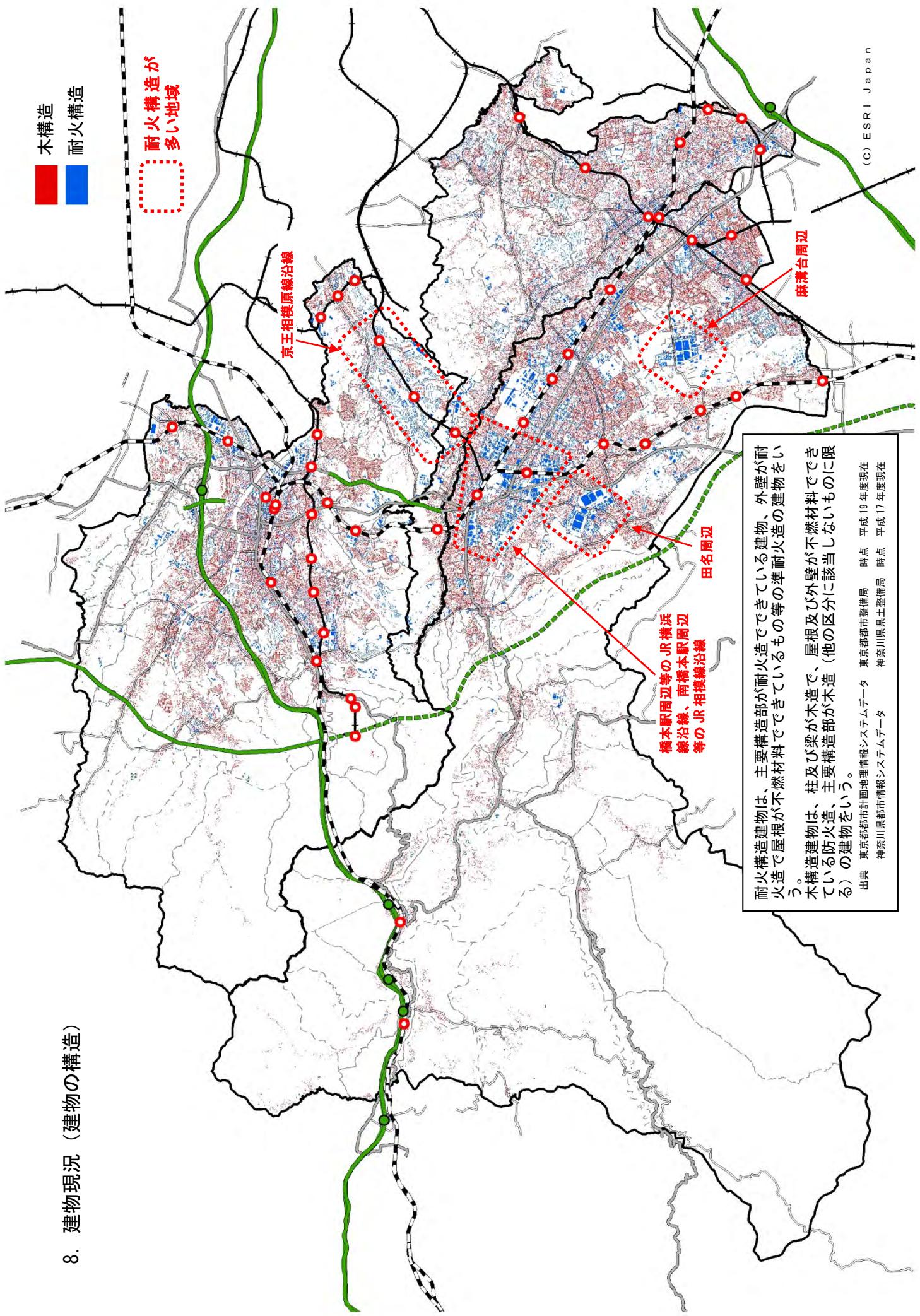
6. 公園、運動場等の状況



7. 未利用地等の状況



8. 建物現況（建物の構造）



第4章

3市エリアの地価

(公示価格) の分析

【第4章の地図データの留意点】

- ・各駅から1km圏を円で表示している。
- ・各標準地の特徴を明確にするため、数値を5段階に分類（データ値の変化量が大きいところを境界として分割する自然分類を採用）している。
- ・用途区分が「住宅地」のみを表示している。「住宅地」とは、市街化区域内の第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域及び第二種住居地域並びに非線引都市計画区域内及び都市計画区域外の公示区域内において、居住用の建物の敷地の用に供されている土地をいう。
- ・過去の公示価格に対する比率については、継続的に比較できる地点のみを表示している。

【地価公示の概要】

《地価公示の目的》

地価公示法に基づいて、国土交通省の土地鑑定委員会が毎年1月1日時点における標準地の正常な価格を公示するものであり、一般の土地取引価格に対して指標を与え、公共用地の取得価格の算定に資するとともに、不動産鑑定士等が土地についての鑑定評価を行う場合の規準等となることにより、適正な地価の形成に寄与することを目的としている。

《公示価格の判定方法》

土地鑑定委員会が、2人以上の不動産鑑定士の鑑定評価を求め、その結果を審査し、必要な調整を行い、当該標準地の1平方メートル当たりの正常な価格を判定している。

《標準地とは》

土地周辺のさまざまな条件を考慮し、標準的な土地を地価公示の対象としている。住宅向きや商業向き等の用途や、駅に近い・遠い土地等、いろいろな地点がある。

《その他の公的な土地評価（国土交通省のHPより引用）》

土地評価の種類	目的	実施機関	価格時点	評価水準
都道府県地価調査	標準的な土地についての正常な価格を示すもの	都道府県知事	毎年7月1日時点	—
相続税評価 (相続税路線価)	相続税及び贈与税課税のための評価	国税庁・国税局長	毎年1月1日時点	地価公示の8割程度
固定資産税評価 (固定資産税路線価)	固定資産税課税のための評価	総務省・市町村長	1月1日時点	地価公示の7割程度

【東京都・神奈川県の平成22年地価公示結果の特徴】

《一部地域が下落幅縮小》

- ・東京都と神奈川県の全体の平均変動率は、前年に引き続き下落している。
- ・都心から比較的近くブランド力のある地域（武蔵野市、三鷹市等）や住環境に優れ、利便性も高い地域（横浜市の青葉区や都筑区等）では下落幅が縮小している。

《地価変動の要因等（東京都・神奈川県のHPより引用・抜粋）》

- ・地価の変動に大きな影響を与える経済動向については、GDPがプラスに転じたものの、日本経済はデフレ基調の中にあって、雇用、所得環境等は依然厳しい状況となっている。
- ・経済の低迷を背景に、不動産投資市場は、取引時価総額が減少し市場規模も縮小しており、新設住宅着工戸数についても減少傾向が続いている。
- ・住宅地においては、新築マンション、中古マンションとともに契約率等に改善の兆しがあるものの、市場規模が回復するまでには至っていない。

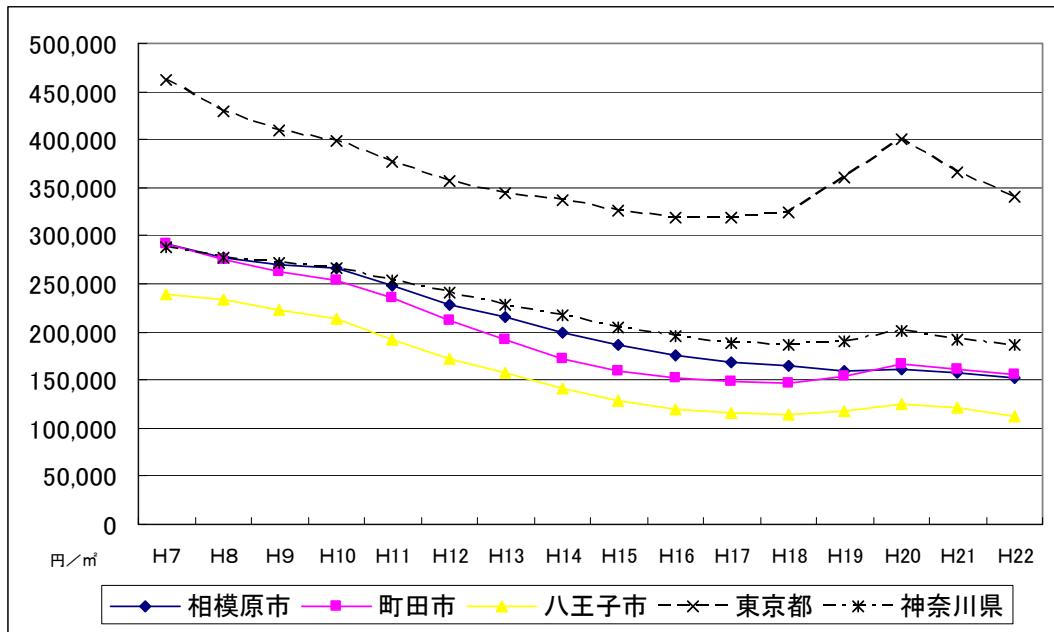
1 平均公示価格の推移

平成 7 年から平成 22 年までの住宅地の平均公示価格の推移をみてみると、東京都、神奈川県及び 3 市すべてで平成 7 年が最も高く、その後下落傾向が続き、平成 19 年から平成 20 年にかけて上昇するものの、平成 21 年には再度下落に転じている。

3 市を比較すると、平成 7 年時点では町田市の平均公示価格が最も高くなっているが、平成 8 年から平成 19 年にかけて相模原市が高くなり、平成 20 年以降は再び町田市が高くなっている。

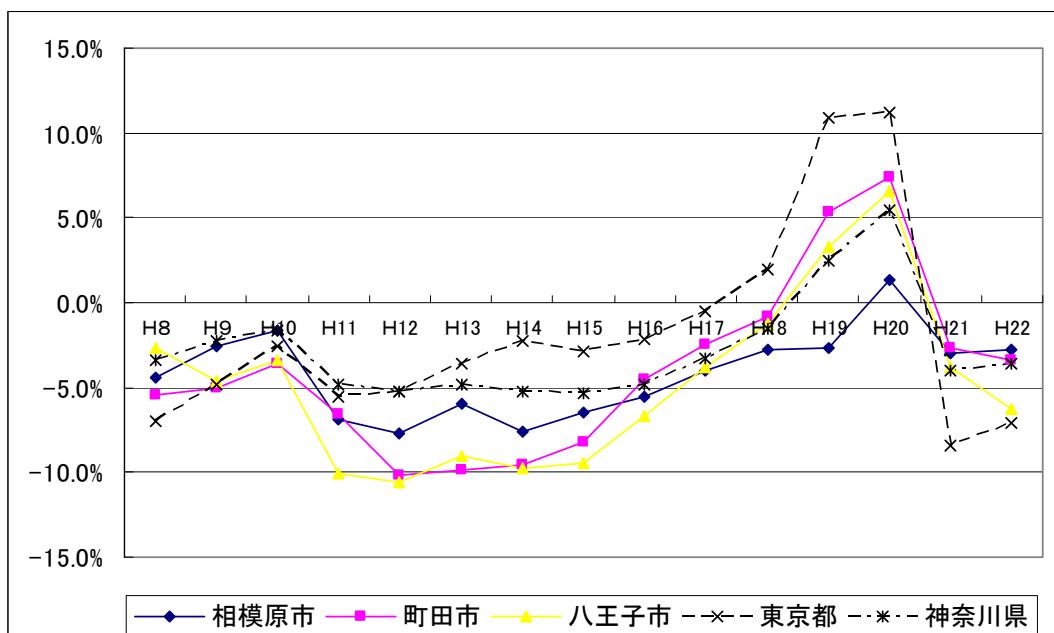
対前年変動率をみると、町田市の上昇率は平成 19 年から平成 20 年にかけて 5 % を超えているが、相模原市の上昇率及び下落率は総じて低く、変動の幅は小さくなっている。

【平均公示価格（住宅地）の推移（H 7 年から H22 年）】



※平均公示価格とは、標準地ごとの価格の和を当該標準地数で除したもの

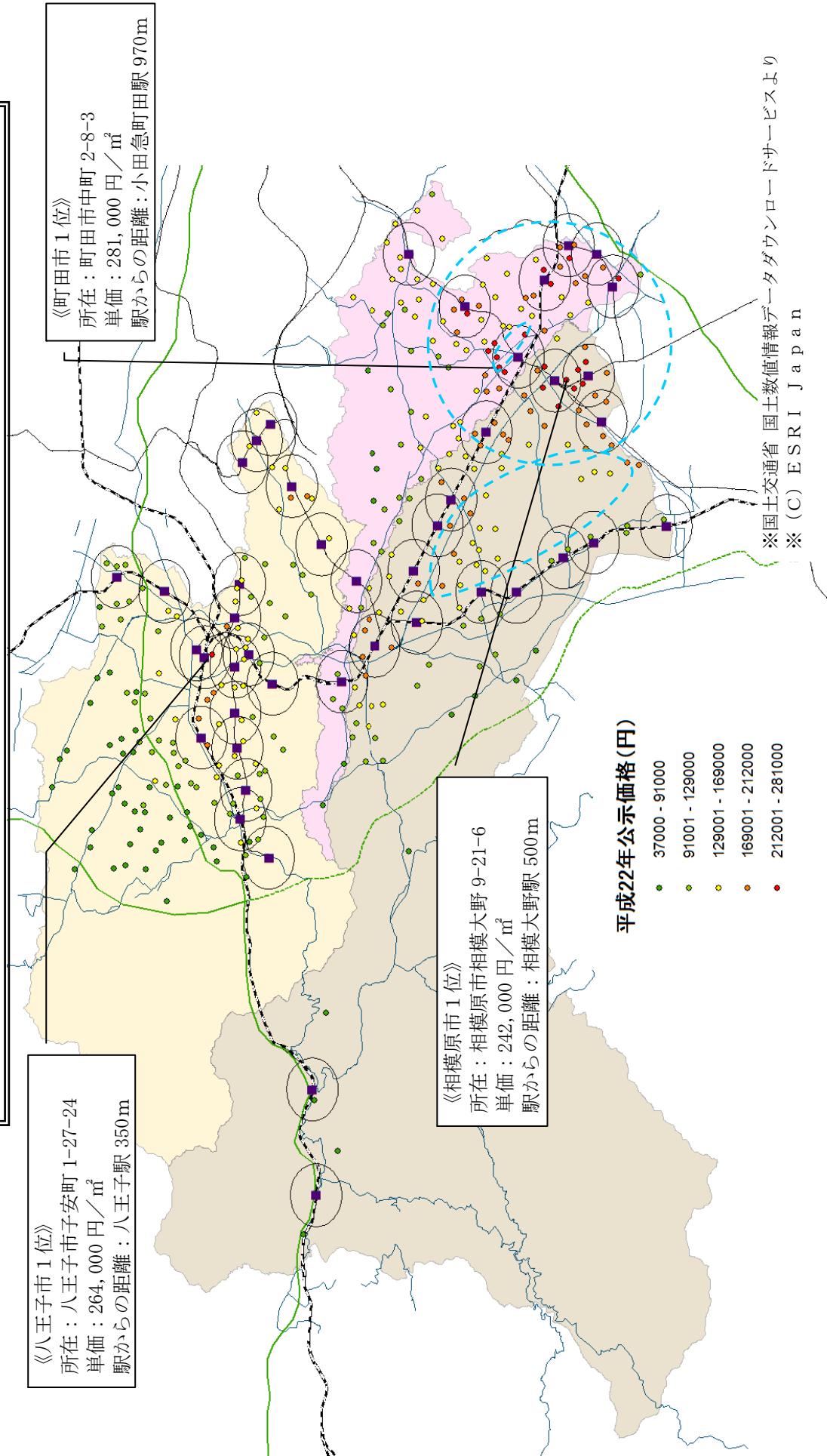
【平均公示価格（住宅地）の対前年変動率（H 8 年から H22 年）】



※対前年変動率とは、当該平均公示価格を前年平均公示価格で除したもの

2 平成 22 年公示価格（住宅地）

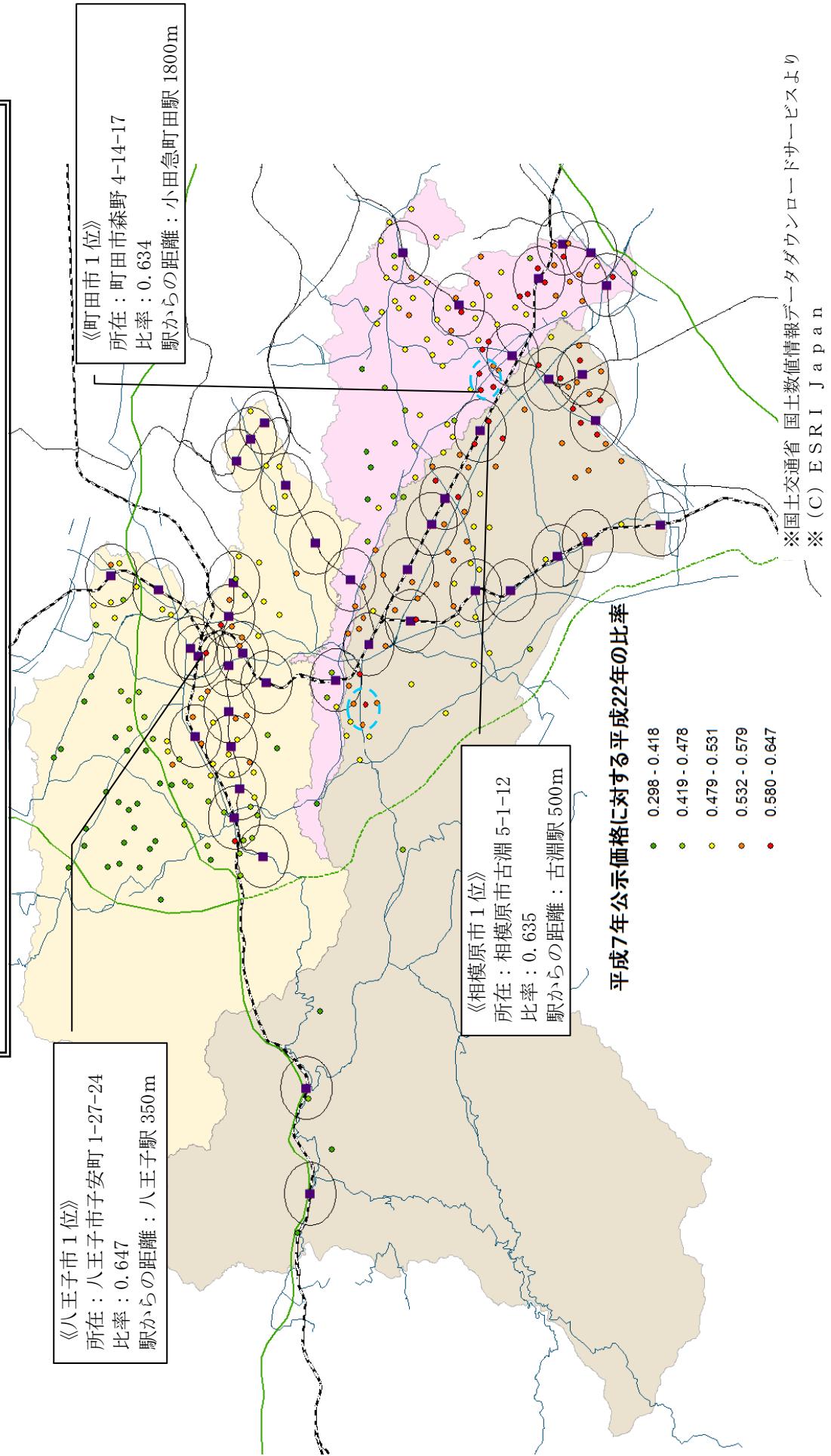
- 町田市と相模原市の南部に価格の高い土地が集中している。
- 相模原市の横浜線と相模線に挟まれている地域のほぼすべてが黄色以上になっている。
- 上位 3 地点については、いずれも町田市で、町田駅から 1 km 圏内に位置している。



3 平成 22 年公示価格の比率（住宅地）

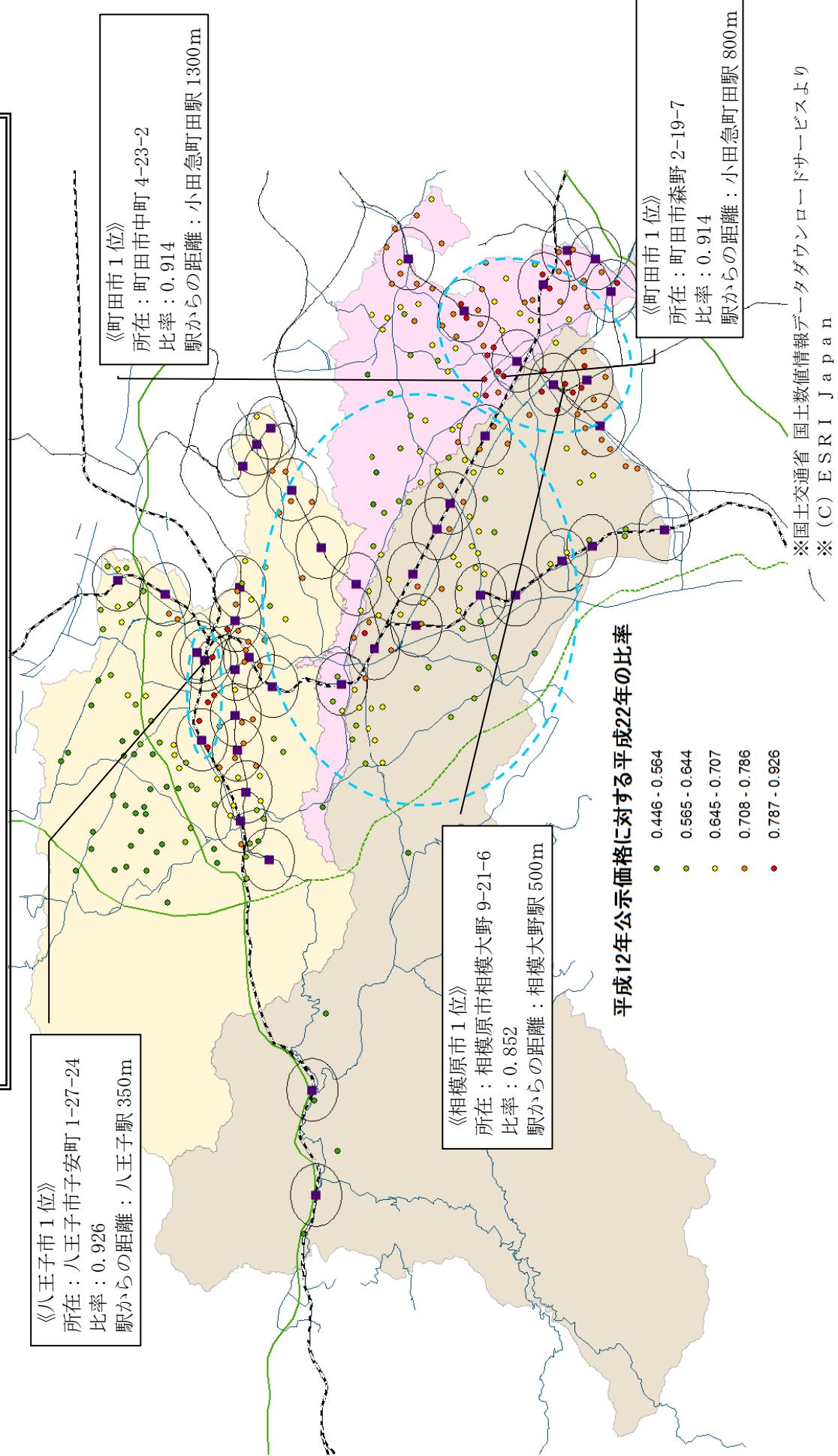
(1) 平成 7 年公示価格に対する比率

- すべての地点でマイナスとなっている。
- 町田市と相模原市の南部及び横浜線沿線の下落率が低くなっている。
- 場所によっては、駅からの距離が 1 km 以遠でも下落率が低い箇所がみられる。



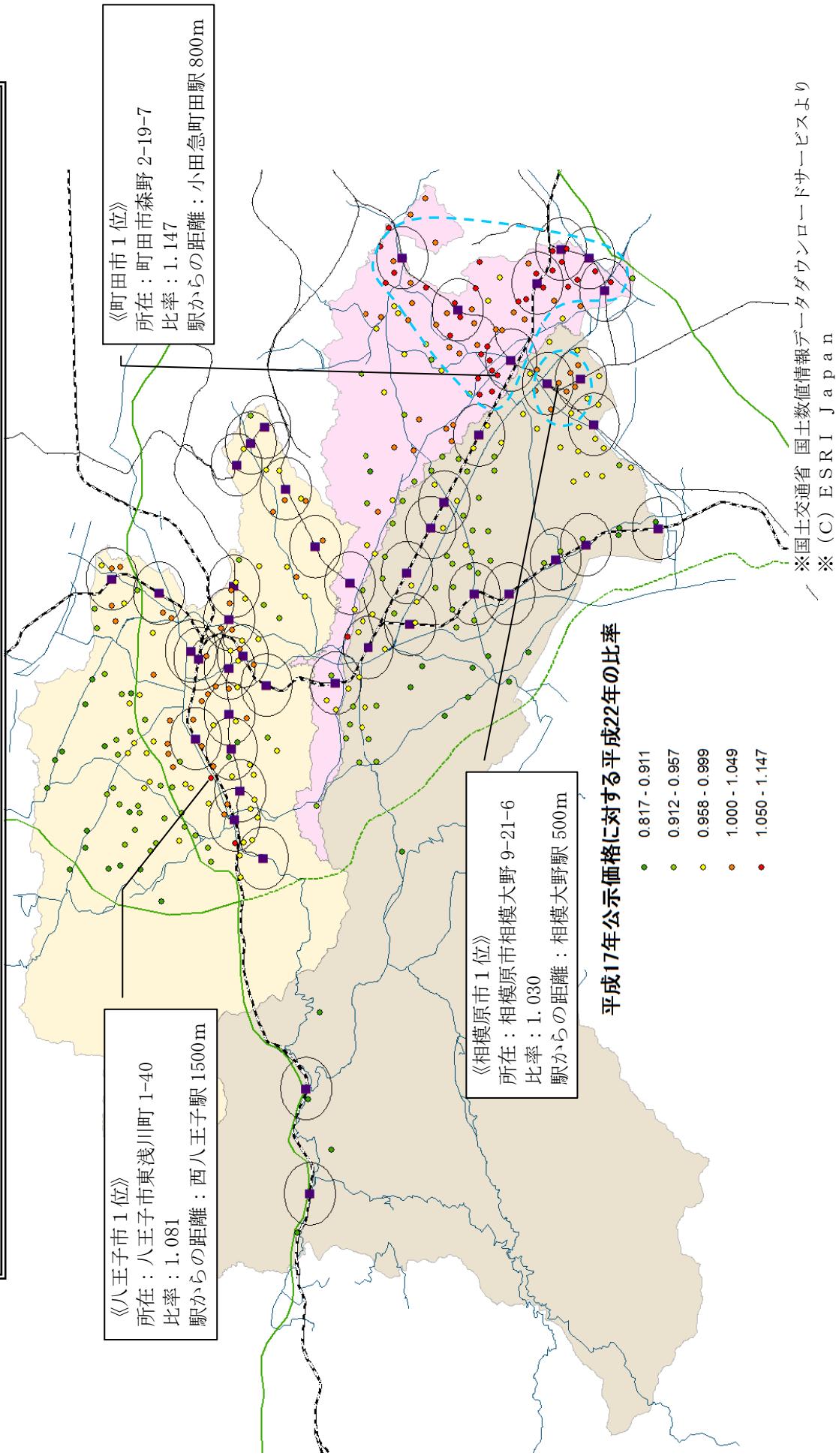
(2) 平成 12 年公示価格に対する比率

- すべての地点でマイナスとなっている。
- 町田市と相模原市の南部及び中央線の八王子駅と西八王子駅の間の下落率が低くなっている。
- 3市の中央近辺（相模原駅を中心とした半径 5 km 範囲内）に赤の箇所はほとんどみられない。

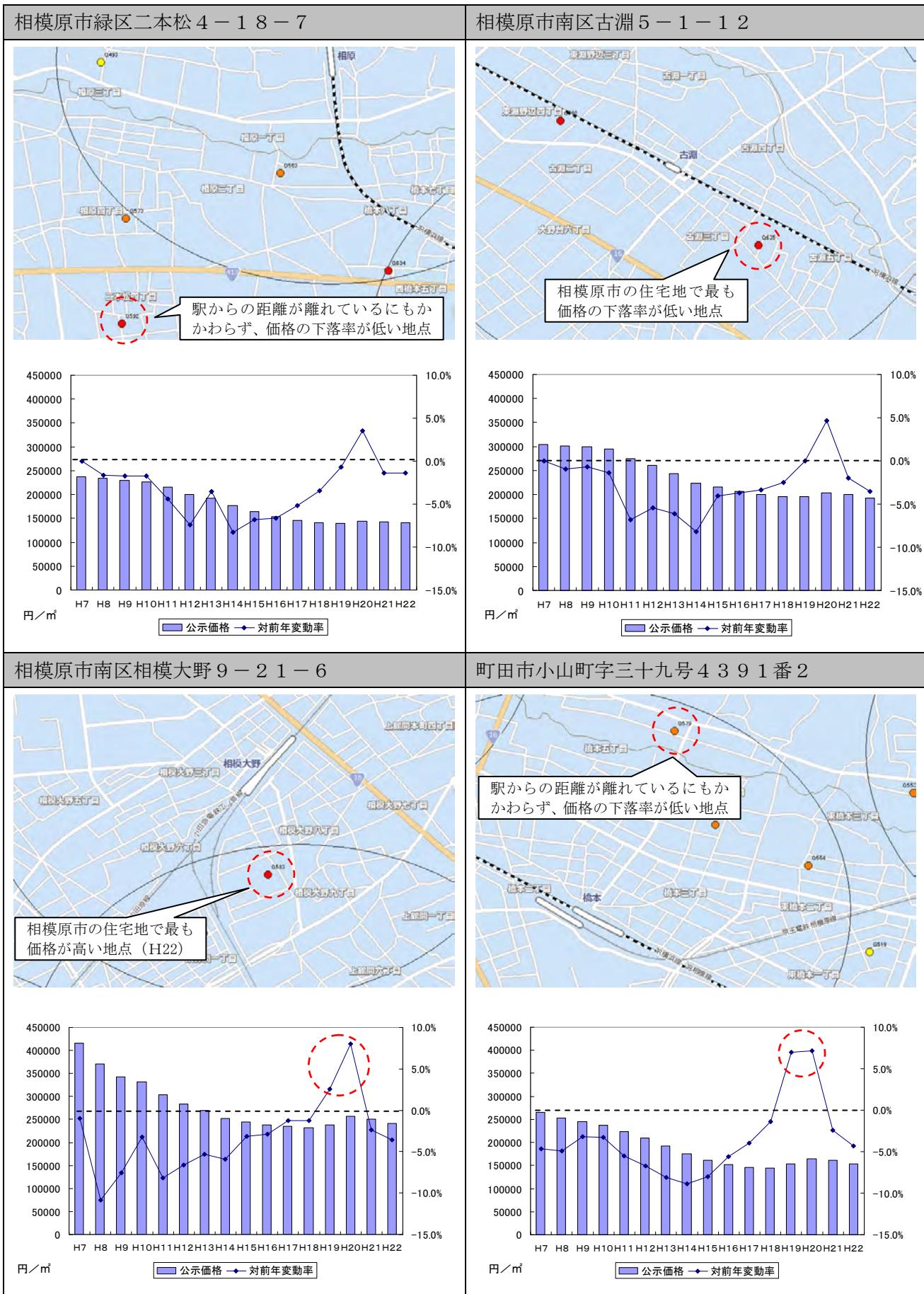


(3) 平成 17 年公示価格に対する比率

- 対平成 7 年比率及び対平成 12 年比率ではみられた「1」以上を示す箇所（上昇地点：オレンジと赤）がみられる。
- 町田市では全域で「1」を超えている地点がみられる（町田市南部はほぼすべての地点が「1」以上）が、八王子市では中央線の八王子駅と高尾駅の間、相模原市では南部の一部にオレンジがみられる程度である。

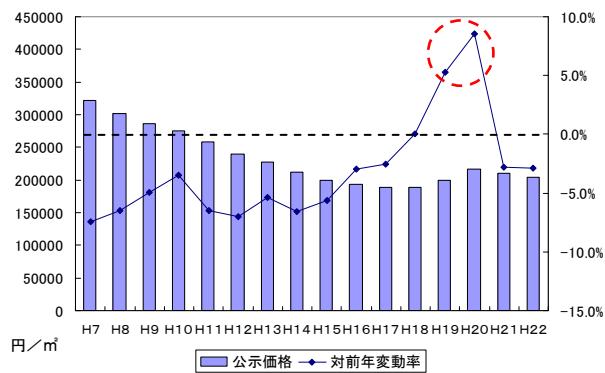


(4) 特徴的な標準地の詳細情報（表示されている地図は「平成7年公示価格に対する比率」）

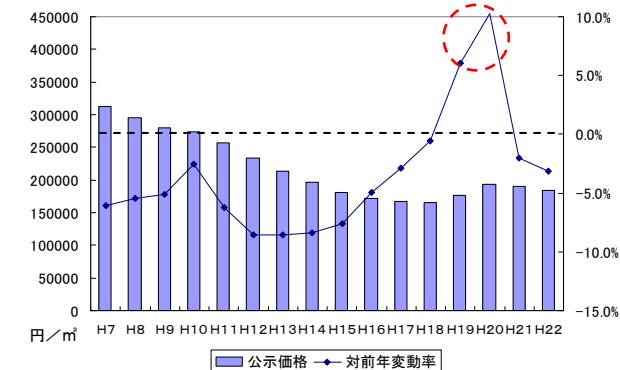


※国土交通省 国土数値情報データダウンロードサービスより
※ (C) E S R I J a p a n

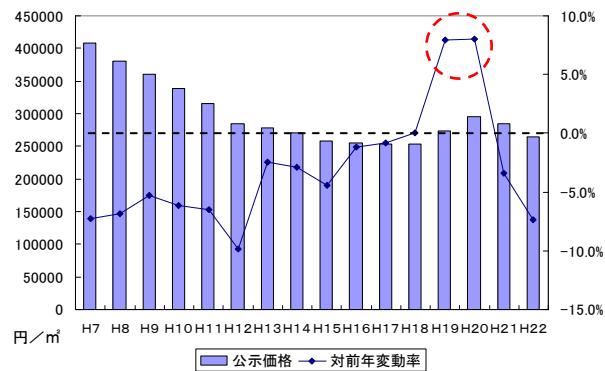
町田市森野 4-14-17



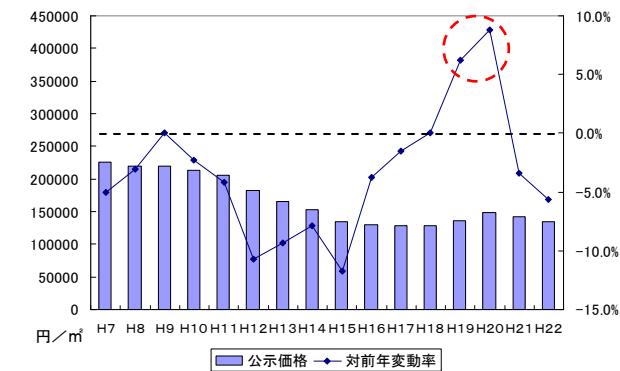
町田市成瀬字十三号 2307番8



八王子市子安町 1-27-24



八王子市高尾町 1733番3

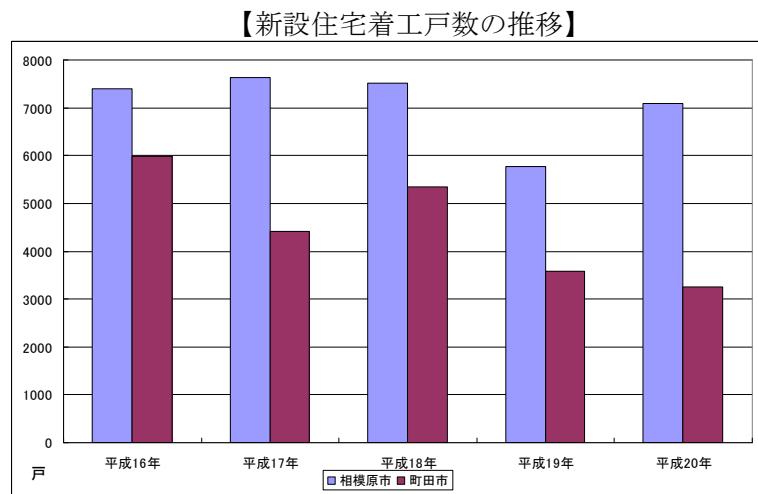


※国土交通省 国土数値情報データダウンロードサービスより
※ (C) ESRI Japan

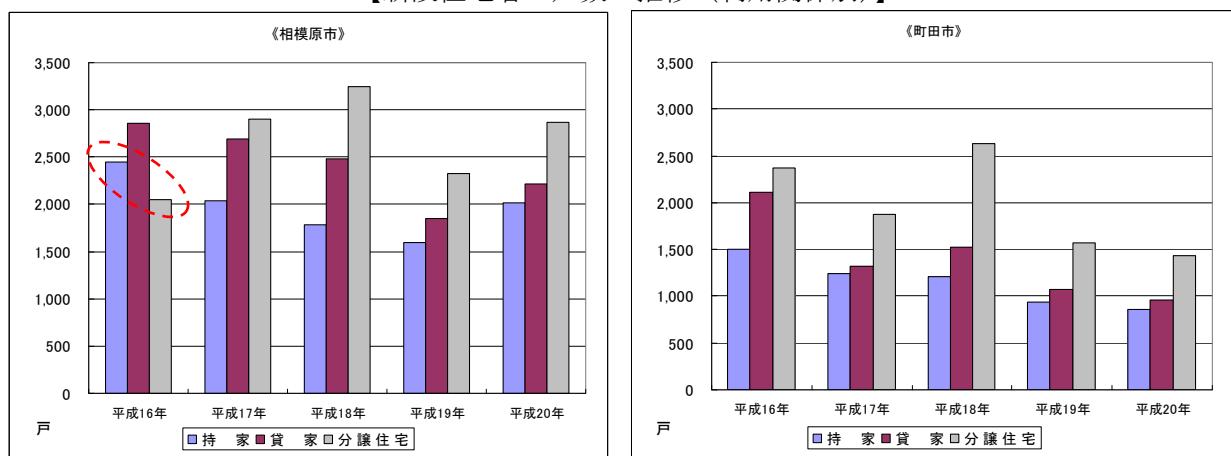
4 新設住宅着工戸数

地価変動の要因の一つといえる新設住宅着工戸数の推移については、相模原市は平成 19 年に総数が減少しているものの、町田市ほど大きな変化はみられず、首都圏の新設住宅着工戸数（グラフの灰色の枠内）とほぼ同じ傾向になっている。

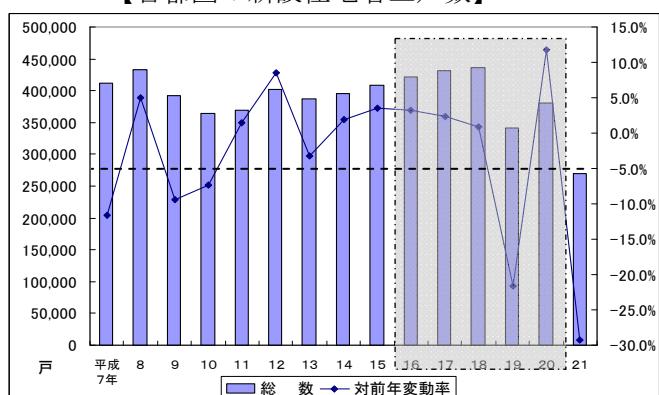
利用関係別の推移については、相模原市の「持家」と「貸家」は平成 19 年にかけて減少しているものの平成 20 年には増加に転じている。年別に新設住宅着工戸数の内訳を比較すると、平成 16 年は「持家」が「分譲住宅」を上回っていたが、平成 17 年以降、「分譲住宅」が「持家」を上回っている。一方、町田市の「持家」は減少傾向にあり、「貸家」と「分譲住宅」は平成 19 年まで増加と減少を繰り返していたが、平成 20 年にはすべての種類で最も少なくなっている。また、年別に「持家」と「分譲住宅」を比較すると、すべての年で「分譲住宅」が上回っている。



【新設住宅着工戸数の推移（利用関係別）】



【首都圏の新設住宅着工戸数】



【利用関係別とは】

持家：建築主が自分で居住する目的で建築するもの。
貸家：建築主が賃貸する目的で建築するもの。
分譲住宅：建て売り又は分譲の目的で建築するもの。

新設住宅着工戸数

持家

貸家

給与住宅(数が少ないためグラフ非表示)

分譲住宅

一戸建

マンション

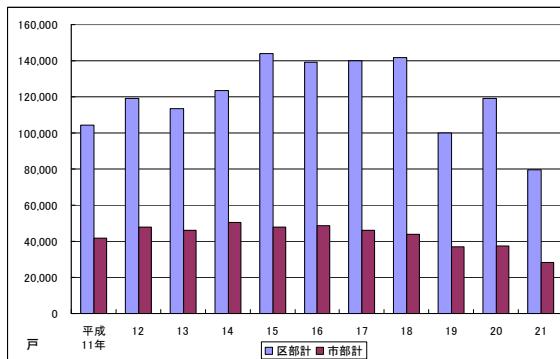
※相模原市統計書及び町田市統計書より

※国土交通省 建築着工統計調査より

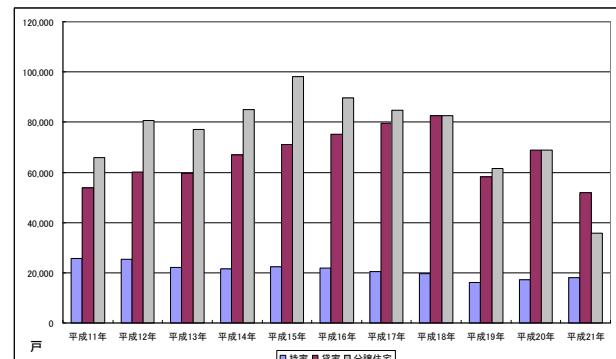
【コラム：東京都の新設住宅着工戸数等（東京都HPより）】

平成11年以降の東京都の地域別（区部と市部）の新設住宅着工戸数は、利便性や収益性の観点から地価が敏感に反応する影響もあり「区部」の変動幅が大きく、「市部」については平成14年を頂点として緩やかな減少傾向となっている。利用関係別の推移については、「持家」はそれほど大きな変動ではなく、「分譲住宅」は平成15年を頂点として減少傾向にあり、「貸家」は平成18年が最も多く、ここ数年（平成21年を除く）は「分譲住宅」とほぼ等しくなっている。

《地域別新設住宅着工戸数の推移》

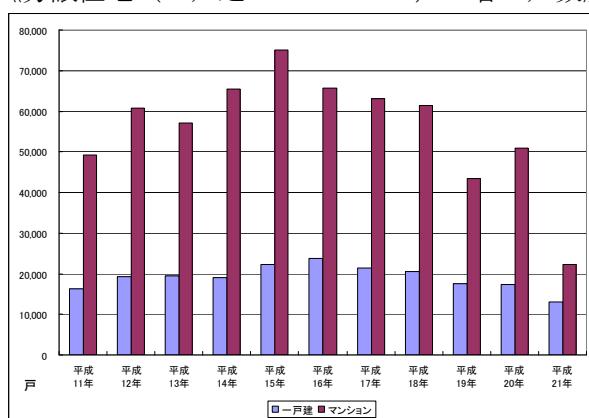


《新設住宅着工戸数の推移（利用関係別）》

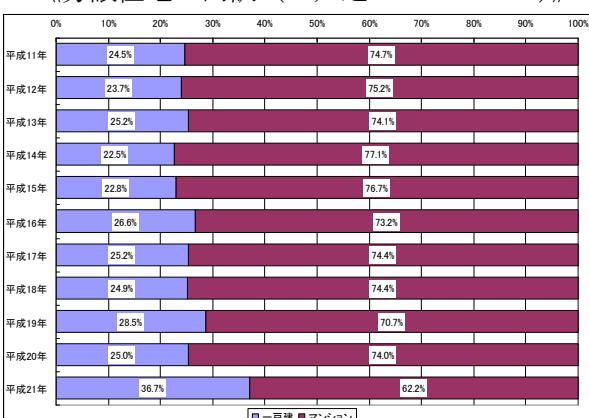


分譲住宅を「一戸建」と「マンション」に分けてみると、平成21年はリーマンショックの影響もあり、マンションの在庫調整が行われ極端な落ち込みを示している。割合については、平成21年を除き、概ねマンションが75%を占め、大きな変動はみられない。

《分譲住宅（一戸建・マンション）の着工戸数》



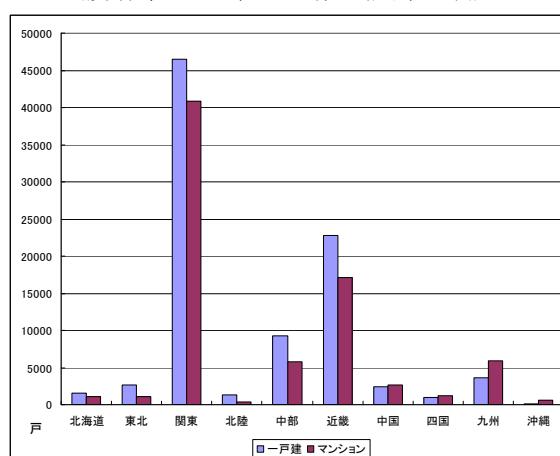
《分譲住宅の内訳（一戸建・マンション）》



【コラム：圏域別の分譲住宅の新設着工戸数等（平成21年）（国土交通省HPより）】

圏域別に分譲住宅の新設着工戸数をみると、関東が極端に多く、近畿、中部が続いている。着工戸数の違いが大きいため一概に比較はできないが、マンションの割合は沖縄、九州、四国が高く、一都三県では東京が高くなっている。

《分譲住宅の着工戸数（圏域別）》



《分譲住宅の内訳（圏域別・一都三県別）》

